
令和元年度一般廃棄物処理実態等調査
資料編（アンケート調査結果）

令和2年2月
仙台市

目次

第1章 生活ごみ排出行動調査について	1
1. 実施概要.....	1
1.1 調査の概要.....	1
1.2 回答率.....	1
2. 調査結果.....	2
2.1 回答者の属性.....	2
2.2 生活ごみの排出実態.....	3
2.3 生活ごみの排出に関わる行動・意識.....	18
2.4 調査結果のまとめ.....	24
2.5 自由回答.....	25
3. 【参考】調査票と結果概要.....	34
第2章 市民アンケート	39
1. 実施概要.....	39
1.1 調査の概要.....	39
1.2 回答率.....	39
2. 調査結果.....	40
2.1 回答者の属性.....	40
2.2 ごみと資源物の出し方などについて.....	44
2.3 ごみの減量・3Rの取り組み等について.....	60
2.4 食品ロス・生ごみについて.....	67
2.5 プラスチックについて.....	79
2.6 紙類について.....	82
2.7 更なるごみ減量・3Rの推進について.....	92
2.8 自由回答.....	103
3. 【参考】調査票と結果概要.....	108
第3章 事業者アンケート	125
1. 実施概要.....	125
1.1 調査の概要.....	125
1.2 回答率.....	125
2. 調査結果.....	126
2.1 回答排出事業者の属性.....	126

2.2	ごみの排出について（産業廃棄物を除く）	130
2.3	ごみ減量・リサイクルの取り組み等について	145
2.4	食品廃棄物・食品ロスについて	168
2.5	プラスチックについて	176
2.6	紙類について	181
2.7	自由回答	193
3.	【参考】 調査票と結果概要	195

第1章 生活ごみ排出行動調査について

1. 実施概要

1.1 調査の概要

市政モニター制度は、仙台市の市政に関するアンケートを実施し、施策の企画や行政運営上の基礎的参考資料として活用する制度である。

市政モニターは、公務員や公職に就いている者を除く仙台市内に居住する満20歳以上の者が公募による応募者の中から選ばれ委嘱を受けており、令和元年度は200名が登録されている。本調査では、市政モニター制度を活用し、各家庭からのごみ排出量、及び排出に関わる行動について調査を行った。

平成26年度に前回調査を実施しており、一部集計結果においては前回調査との比較を行った。

1) 調査の目的

仙台市では、一般廃棄物処理に係る基本的な方向性を定める「仙台市一般廃棄物処理基本計画」を平成28年に改定した。本調査では、5年ごとに行われる改定に向けた情報の収集を目的とし、ごみの排出状況、ごみの減量・リサイクル・現状での課題及び市民の意向等を把握し、今後の仙台市のごみ処理事業を適正に行うための基礎資料を得るとともに、実態を把握・整理し、計画の精度を高めることを目指した。

2) 調査項目

家庭から排出される「家庭ごみ」及び資源化の対象としている「缶・びん・ペットボトル等」「プラスチック製容器包装」「紙類」の計4分類について、排出量の調査を行った。

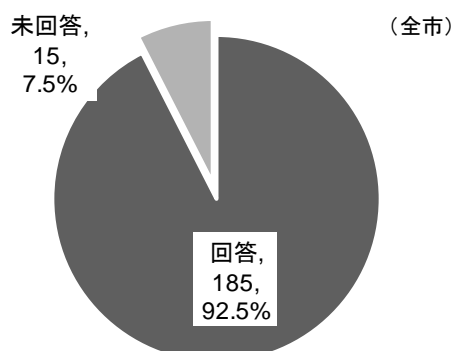
また、ごみ・資源物の排出に関連する項目として、「食品ロスの発生状況」「プラスチック製容器包装の分別状況」「紙類の排出方法」「せん定枝リサイクル事業の認知度・利用意向」「紙容器回収拠点の認知度・利用意向」の計5項目を調査した。

3) 調査対象地区および調査期間

調査対象地区は仙台市内各区とし、令和元年10月17日（木）～10月31日（木）を調査期間とした。

1.2 回答率

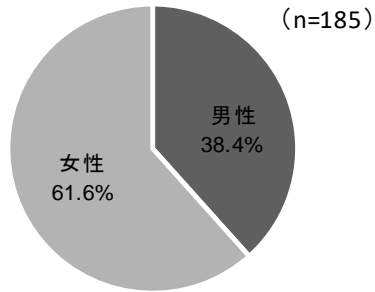
200件の送付に対し、総回答数は185件で、回答率は92.5%だった。



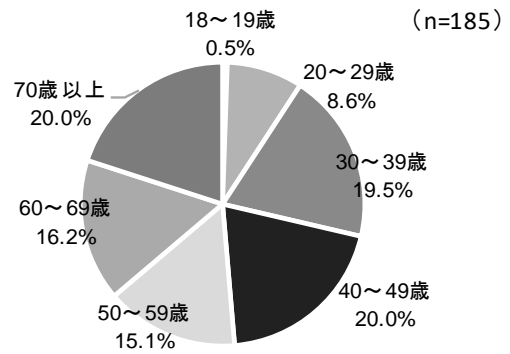
2. 調査結果

2.1 回答者の属性

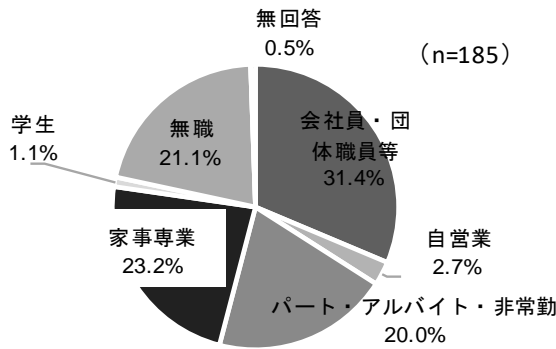
図表 1 性別



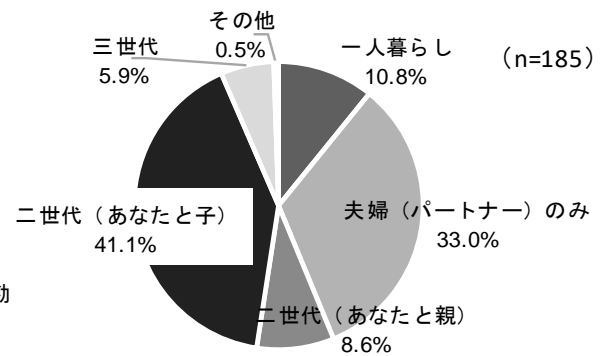
図表 2 年齢



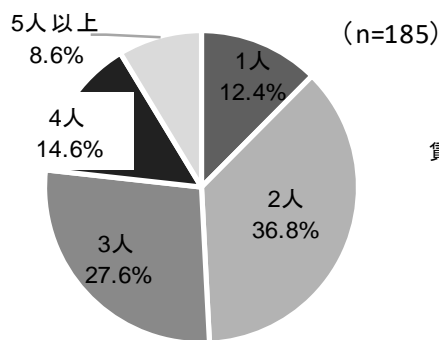
図表 3 職業



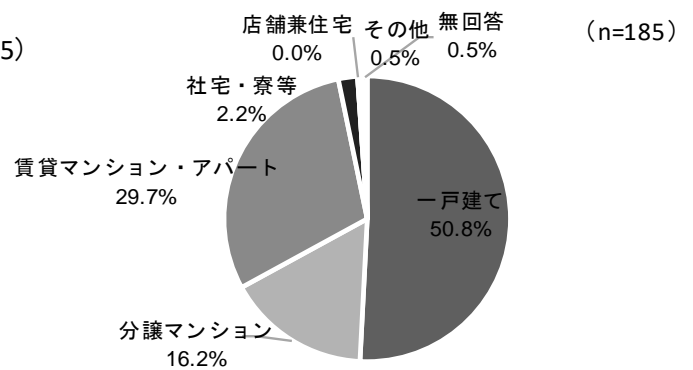
図表 4 世帯構成



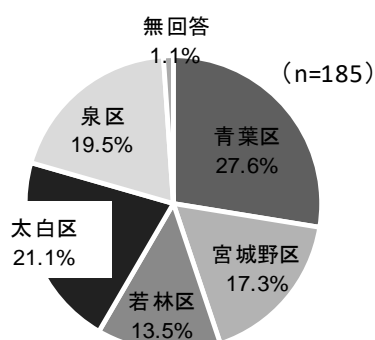
図表 5 同居人数(回答者含む)



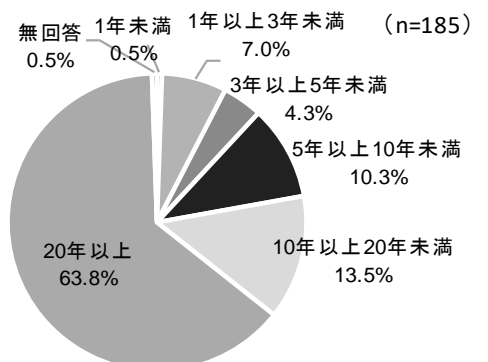
図表 6 居住形態



図表 7 居住区



図表 8 居住期間



2.2 生活ごみの排出実態

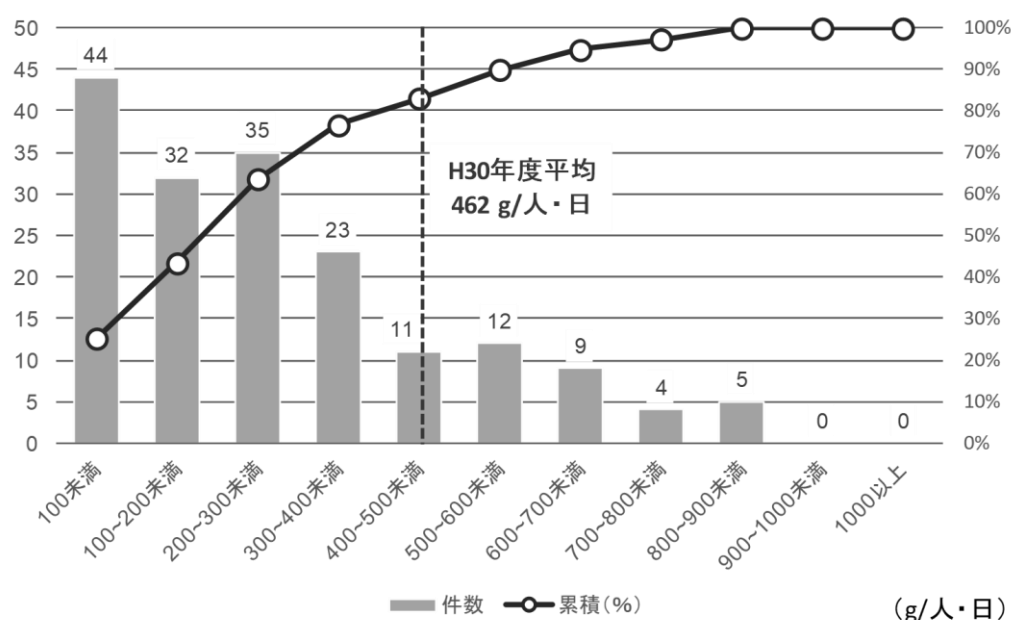
2.2.1 家庭ごみ

1) 1人1日あたり排出量の度数分布

185 件の回答のうち、内容に不備がある回答¹である 10 件を除いた計 175 件を対象に、1 人 1 日あたり排出量の分析²を行った。

最も件数が多かったのが「100g/人・日未満」の 44 件で、次いで「200～300 g/人・日未満」が 35 件、「100～200 g/人・日未満」が 32 件と続いた。平成 30 年度の 1 人 1 日あたり家庭ごみ量実績値³である 462g/人・日と比較すると、回答者の約 8 割が家庭ごみ量実績値以下の排出量となっており、市政モニターの家庭ごみ排出量の少なさがうかがえる。

(件) 図表 9 1人1日あたり排出量の度数分布 (家庭ごみ)



¹ 「数値が読み取れない」「重量が不明」「95%信頼区間を外れる値」等の回答。

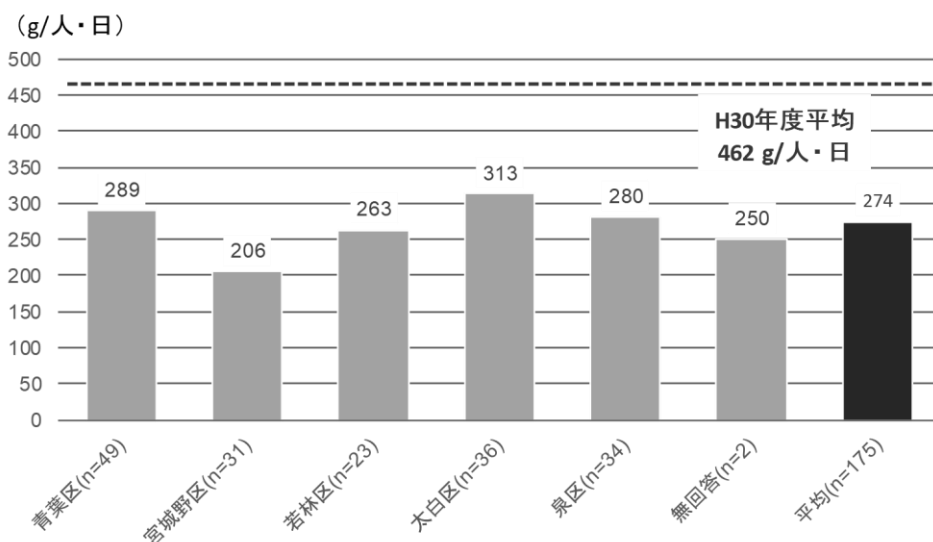
² 1人1日あたり排出量は、調査期間の14日を日数として一律に除し、同居人数で除することで算出した。空白の回答については、「排出をしていない」と仮定して、「0」と記入された回答と同様に扱った。以降の各ごみの1人1日あたり排出量も、同様の方法で算出している。

³ 仙台市の1人1日あたり家庭ごみ量実績値(平成30年度)は、市の年間家庭ごみ収集量を人口及び年間の日数で除することで算出した。以降の各ごみ量実績値も、同様の方法で算出している。

2) 居住区別排出量

居住区別にみると、1人1日あたり排出量が最も多かったのは「太白区」の313g/人・日で、モニター平均値の274g/人・日と比較すると14%多かった。次いで「青葉区」が289g/人・日、「泉区」が280g/人・日と続き、最も少なかったのは「宮城野区」の206g/人・日で、モニター平均値より25%少なかった。

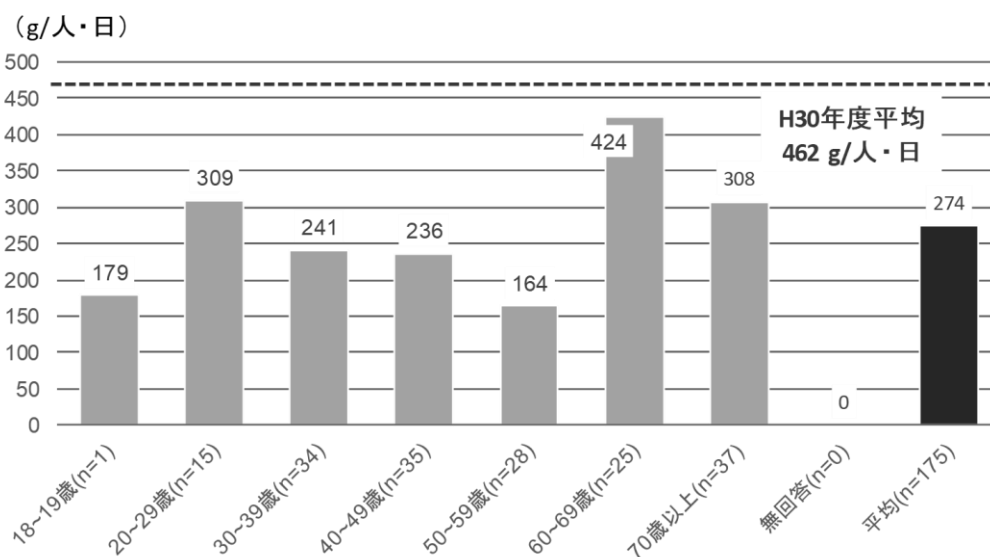
図表 10 居住区別 1人1日あたり排出量（家庭ごみ）



3) 年齢別排出量

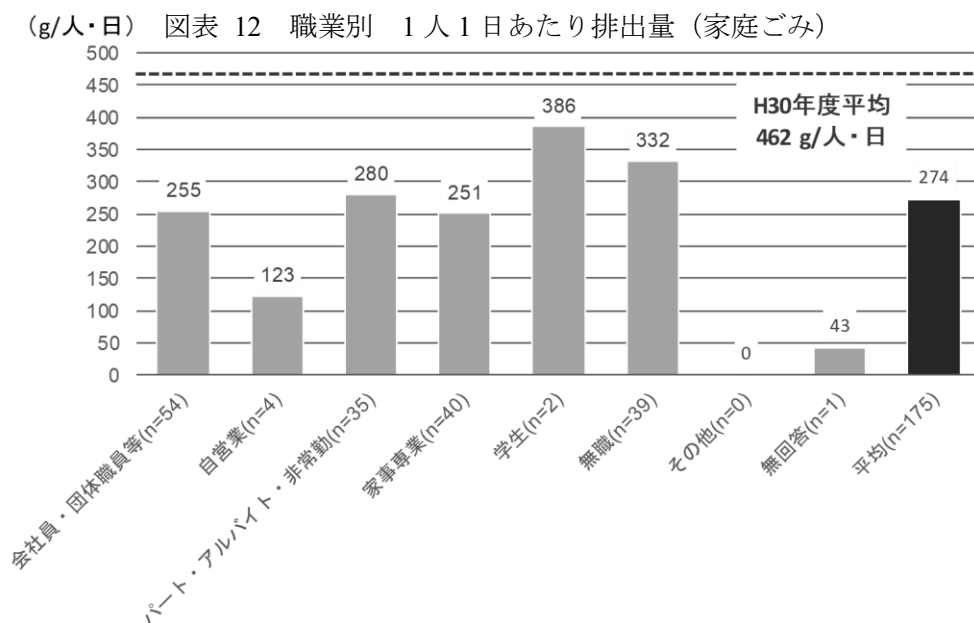
年齢別にみると、1人1日あたり排出量が最も多かったのは「60~69歳」の424g/人・日で、モニター平均値の274g/人・日と比較すると55%多かった。次いで「20~29歳」が309g/人・日、「70歳以上」が308g/人・日と続き、最も少なかったのは「50~59歳」の164g/人・日で、モニター平均値より40%少なかった。

図表 11 年齢別 1人1日あたり排出量（家庭ごみ）



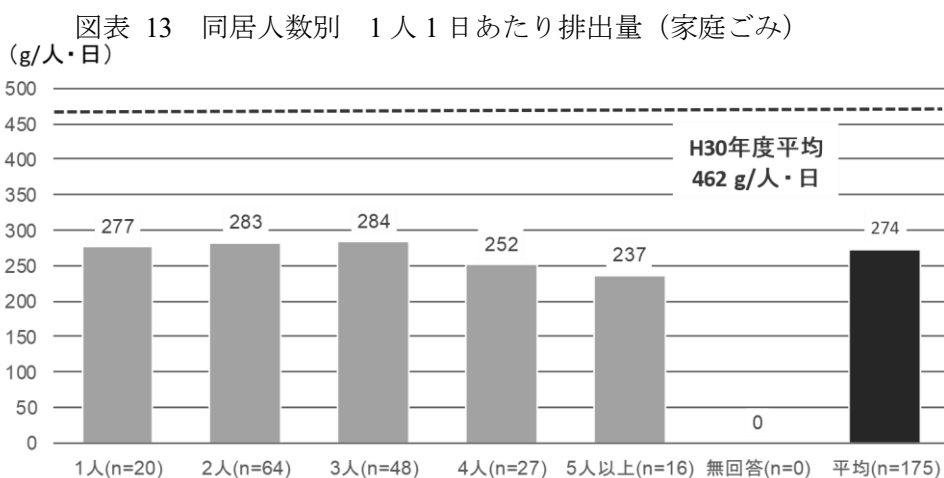
4) 職業別排出量

職業別にみると、1人1日あたり排出量が最も多かったのは「学生」の386g/人・日で、モニター平均値の274g/人・日と比較すると41%多かった。次いで「無職」が332g/人・日、「パート・アルバイト・非常勤」が280g/人・日と続き、最も少なかったのは「自営業」の123g/人・日で、モニター平均値より55%少なかった。



5) 同居人数別排出量

同居人数別にみると、1人1日あたりの排出量が最も多かったのは「3人」の284g/人・日で、モニター平均値の274g/人・日と比較すると4%多かった。次いで「2人」が283g/人・日、「1人」が277g/人・日と続き、最も少なかったは「5人以上」の237g/人・日で、モニター平均値より13%少なかった。



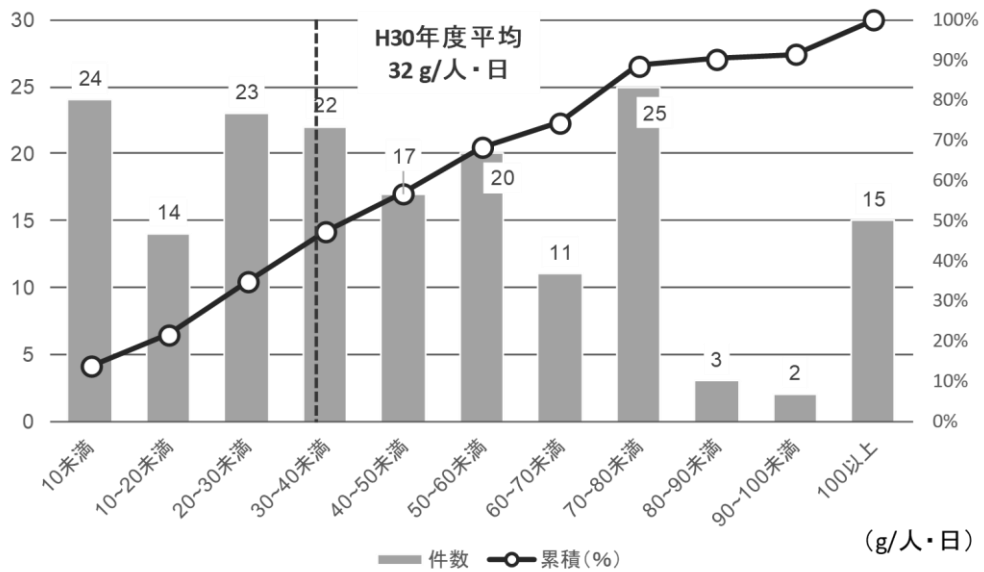
2.2.2 プラスチック製容器包装

1) 1人1日あたり排出量の度数分布

185件の回答のうち、内容に不備がある回答9件を除き、計176件を対象に分析を行った。

最も件数が多かったのが「70～80g/人・日未満」の25件で、次いで「10g/人・日未満」が24件だった。平成30年度の1人1日あたりプラスチック製容器包装排出量実績値である32g/人・日と比較すると、回答者の約5割が実績値以上の排出量だった。

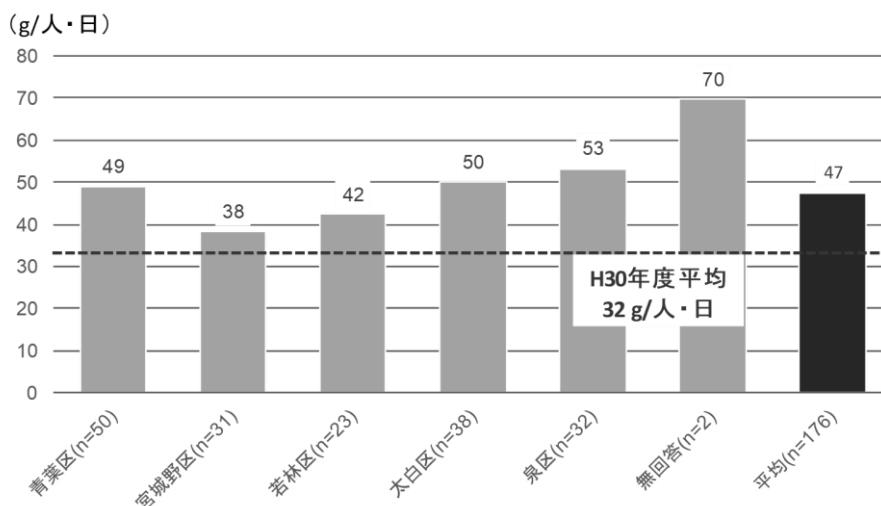
図表 14 1人1日あたり排出量の度数分布（プラスチック製容器包装）
(件)



2) 居住区別排出量

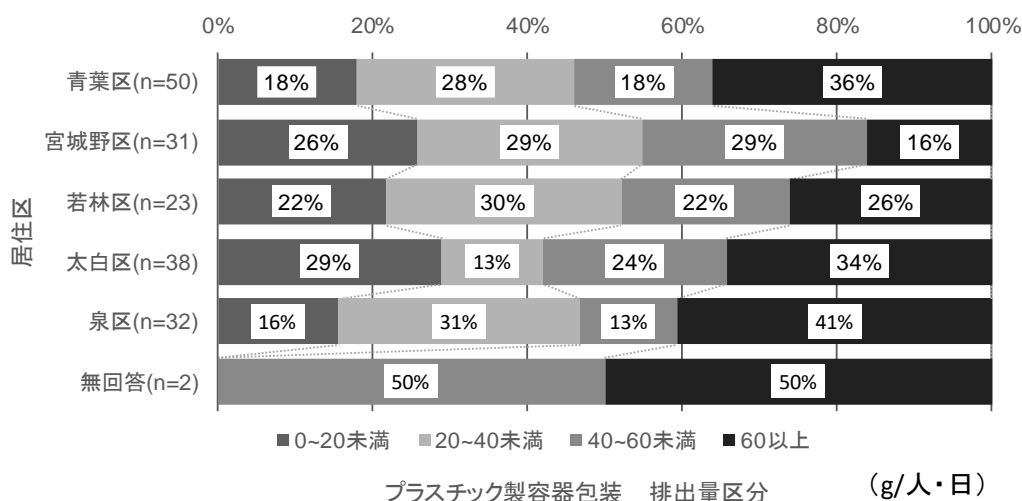
居住区別にみると、1人1日あたり排出量が最も多かったのは「泉区」の53g/人・日で、モニター平均値の47g/人・日と比較すると12%多かった。次いで「太白区」が50g/人・日、「青葉区」が49g/人・日と続き、最も少なかったのは「宮城野区」の38g/人・日で、モニター平均値より19%少なかった。

図表 15 居住区別 1人1日あたり排出量（プラスチック製容器包装）



排出量の区分でみると、「60g/人・日以上」は「泉区」が41%、「青葉区」が36%と多かった。「0~20g/人・日未満」は「太白区」が29%、「宮城野区」が26%と多く、「太白区」はプラスチック製容器包装の排出量が多い層と少ない層に二分されている傾向が見られた。

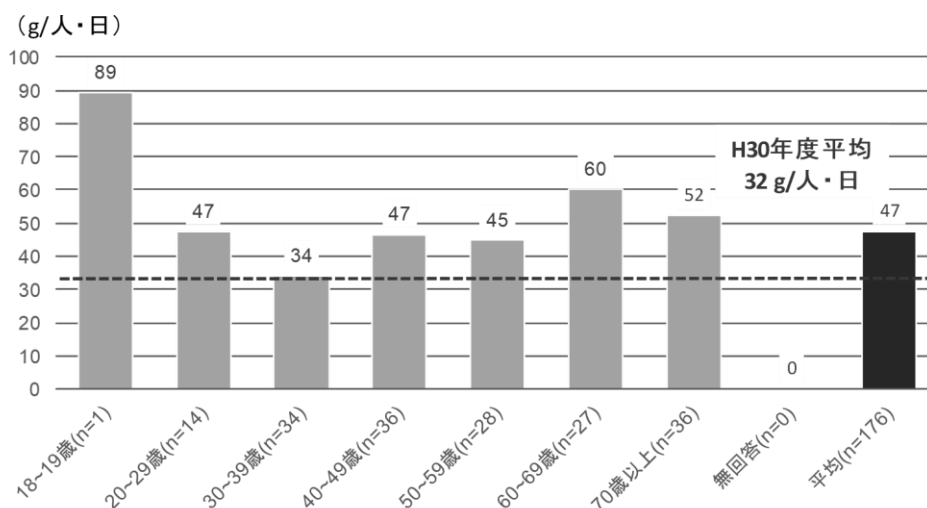
図表 16 プラスチック製容器包装排出量×居住区（1人1日あたり）



3) 年齢別排出量

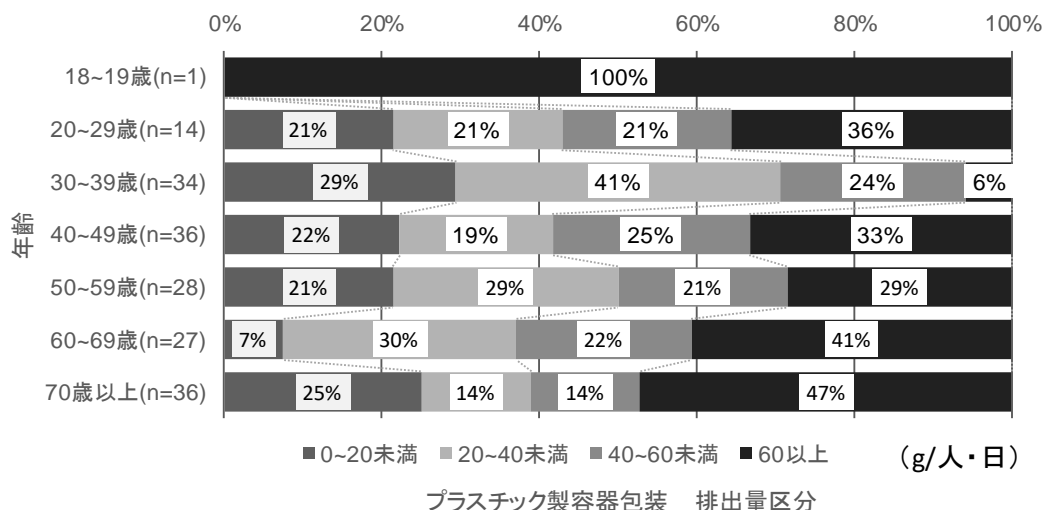
年齢別にみると、1人1日あたり排出量が最も多かったのは「18~19歳」の89g/人・日で、モニター平均値の47g/人・日と比較すると88%多かった(ただし、n=1)。次いで「60~69歳」が60g/人・日、「70歳以上」が52g/人・日と続き、最も少なかったのは「30~39歳」の34g/人・日で、モニター平均値より28%少なかった。

図表 17 年齢別 1人1日あたり排出量 (プラスチック製容器包装)



排出量の区分でみると、「60g/人・日以上」は「70歳以上」が47%、「60~69歳」が41%と多かった。「0~20g/人・日未満」は「30~39歳」が29%、「70歳以上」が25%と多く、世代に応じて異なる排出傾向が見られた。

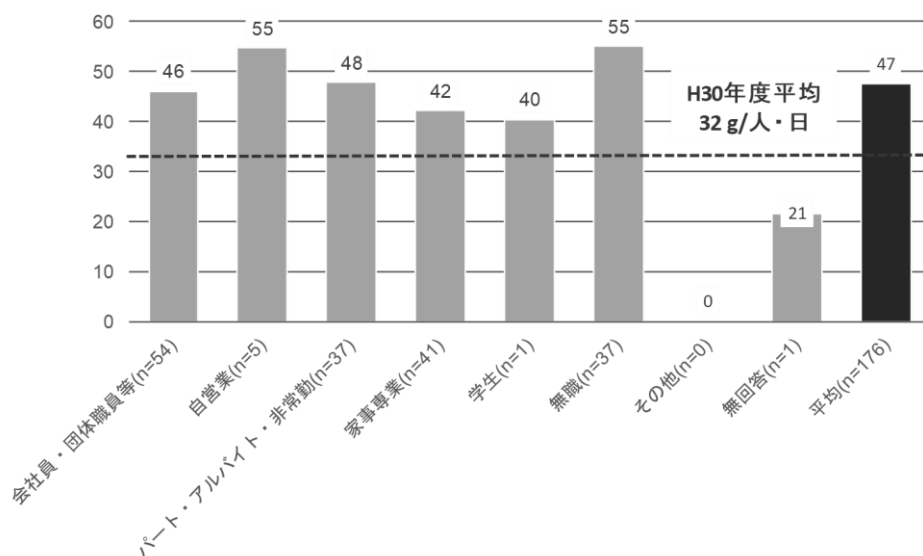
図表 18 プラスチック製容器包装排出量×年齢 (1人1日あたり)



4) 職業別排出量

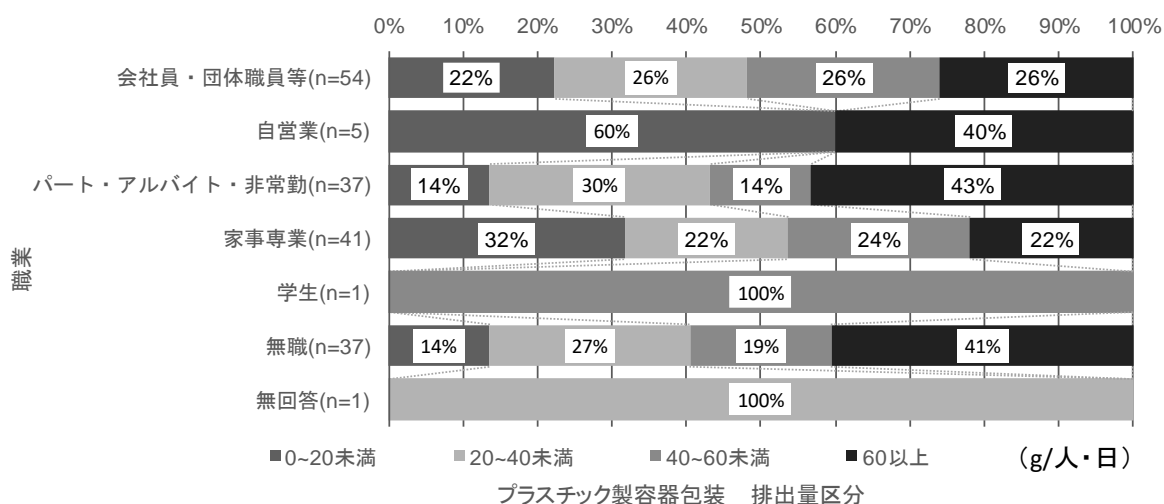
職業別にみると、1人1日あたり排出量が最も多かったのは「無職」の55g/人・日で、モニター平均値の47g/人・日と比較すると16%多かった。次いで「自営業」が55g/人・日、「パート・アルバイト・非常勤」が48g/人・日と続き、最も少なかったのは「学生」の40g/人・日で、モニター平均値より15%少なかった（ただし、n=1）。

図表 19 職業別 1人1日あたり排出量（プラスチック製容器包装）
(g/人・日)



排出量の区分でみると、「60g/人・日以上」は「パート・アルバイト・非常勤」が43%、「無職」が41%と多かった。「0~20g/人・日未満」は「自営業」が60%、「家事専業」が32%と多かった。

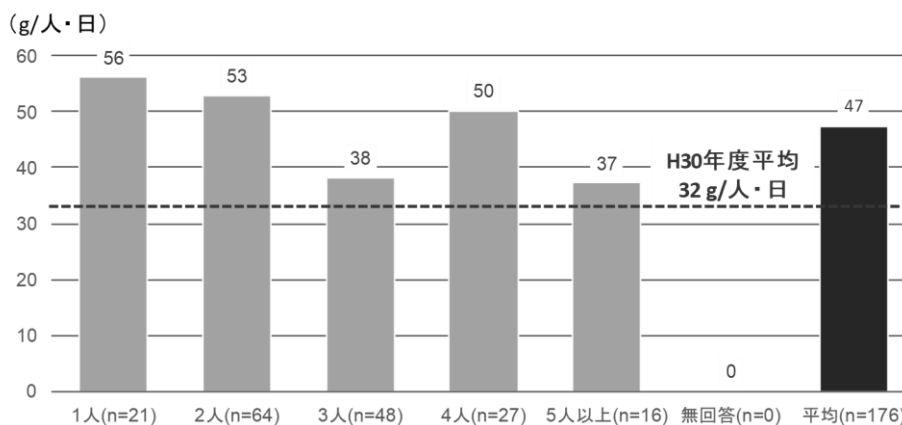
図表 20 プラスチック製容器包装排出量×職業（1人1日あたり）



5) 同居人数別排出量

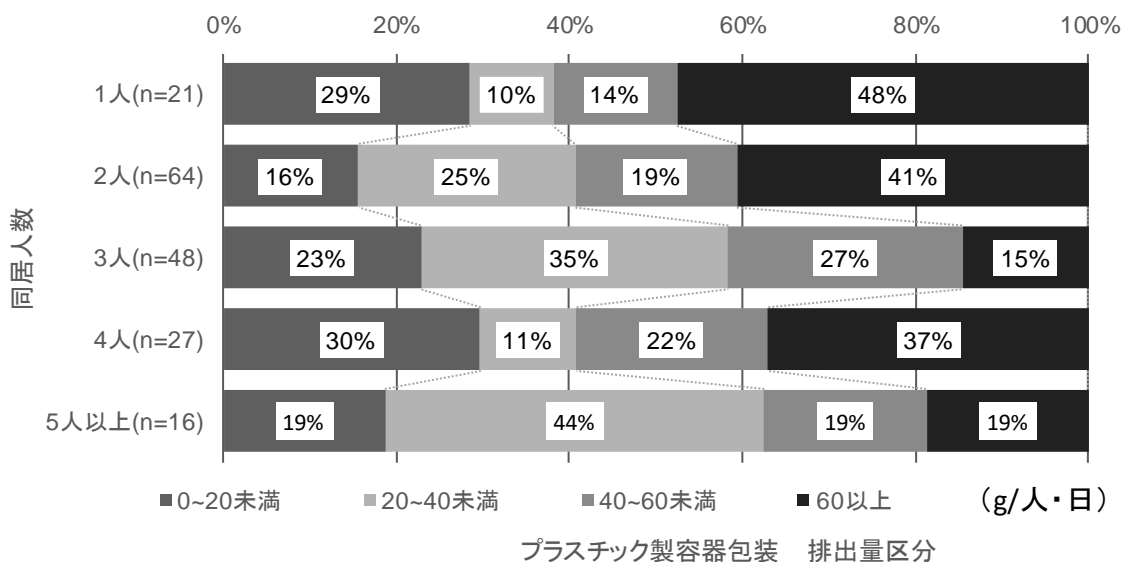
同居人数別にみると、1人1日あたり排出量が最も多かったのは「1人」の56g/人・日で、モニター平均値の47g/人・日と比較すると18%多かった。次いで「2人」が53g/人・日、「4人」が50g/人・日と続き、最も少なかったのは「5人以上」の37g/人・日で、モニター平均値と比較して22%少なかった。

図表 21 同居人数別 1人1日あたり排出量（プラスチック製容器包装）



「60g/人・日以上」は「1人」が48%、「2人」が41%と、同居人数が少ないほど排出量が多い傾向が見られた。「0~20g/人・日未満」は「4人」が30%、「1人」が29%と多かった。

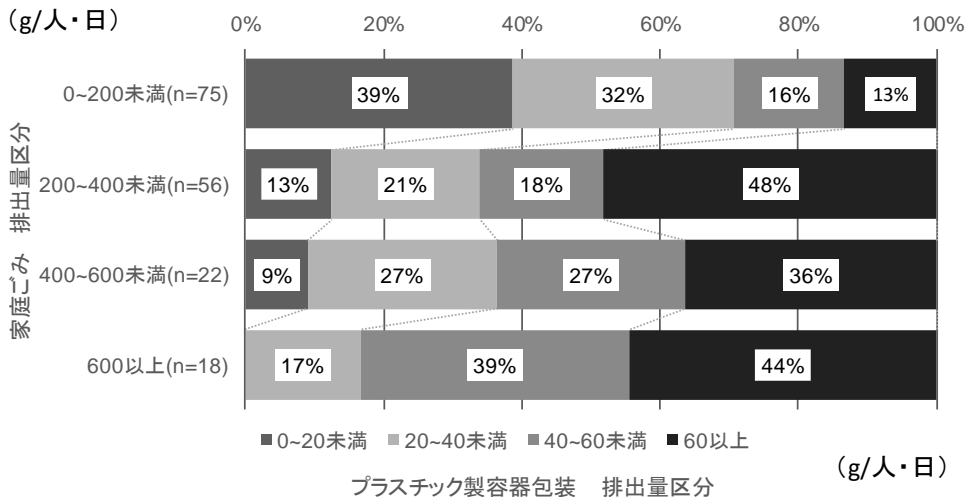
図表 22 プラスチック製容器包装排出量×同居人数（1人1日あたり）



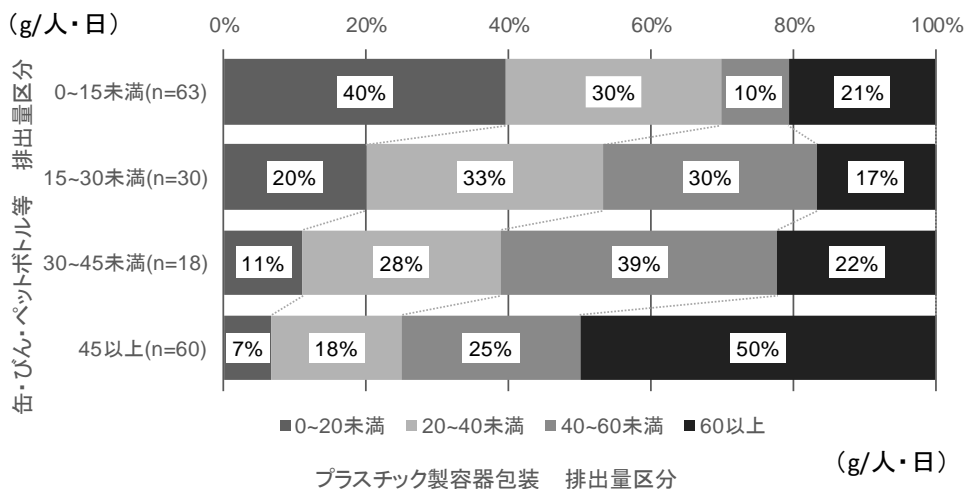
6) 他の資源物・ごみ排出量とのクロス集計

プラスチック製容器包装の排出量を他の資源物・ごみ排出量とクロス集計すると、家庭ごみ量、缶・びん・ペットボトル等、紙類の排出量が少ないほど、プラスチック製容器包装の排出量が少ない傾向が見られた。このことから、プラスチックの排出量が少ない要因がその他のごみ・資源物への混入でなく、発生抑制による影響が大きいと推察される。

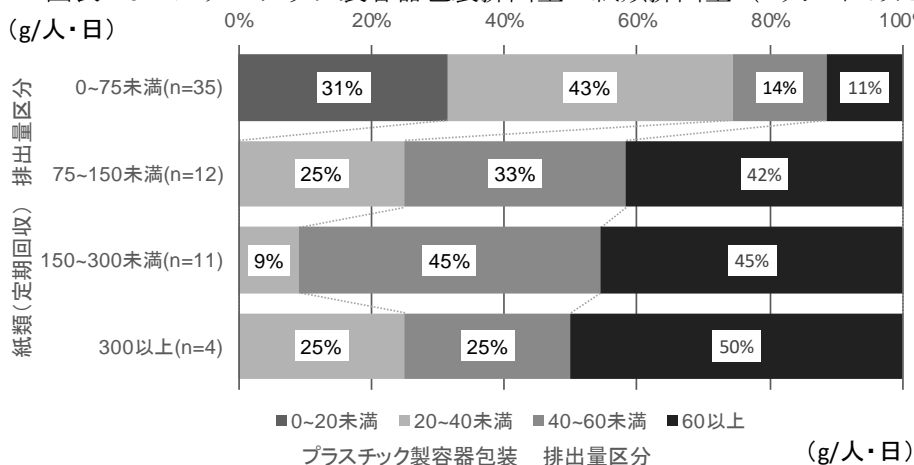
図表 23 プラスチック製容器包装排出量×家庭ごみ排出量 (1人1日あたり)
(g/人・日)



図表 24 プラスチック製容器包装排出量×缶・びん・ペットボトル等排出量(1人1日あたり)
(g/人・日)



図表 25 プラスチック製容器包装排出量×紙類排出量 (1人1日あたり)
(g/人・日)

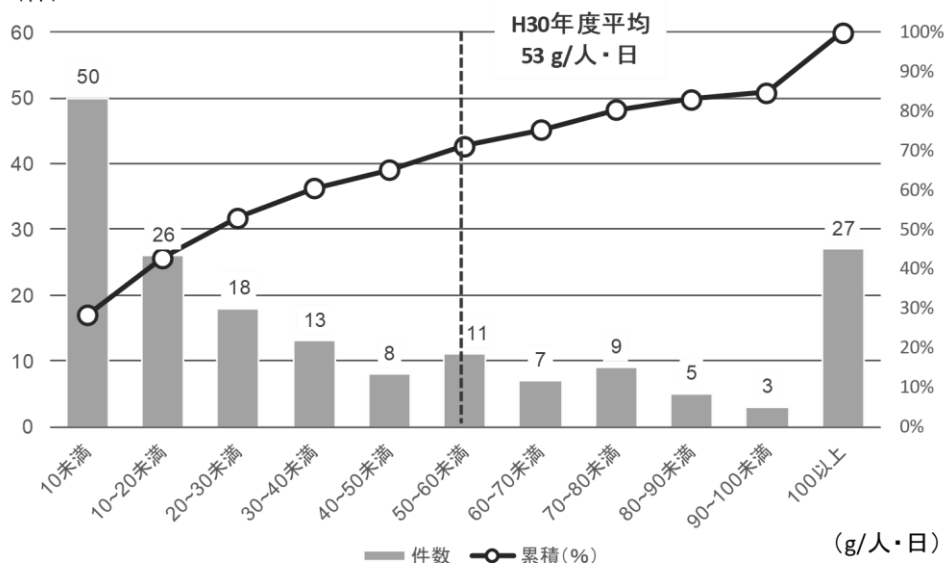


2.2.3 缶・びん・ペットボトル等

1) 1人1日あたり排出量の度数分布

185件の回答のうち、内容に不備がある回答8件を除き、計177件を対象に分析を行った。
最も件数が多かったのが「10g未満」の50件で、次いで「100g/人・日以上」の27件だった。
平成30年度の1人1日あたり缶・びん・ペットボトル等排出量実績値である53g/人・日と比較すると、回答者の約7割が実績値以下の排出量だった。

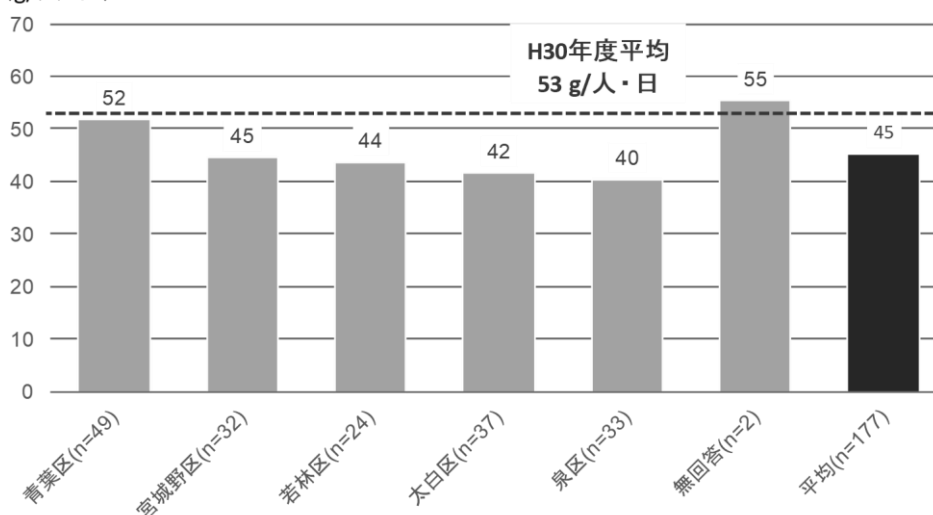
図表 26 1人1日あたり排出量の度数分布（缶・びん・ペットボトル等）
（件）



2) 居住区別排出量

居住区別にみると、1人1日あたり排出量が最も多かったのは「青葉区」の52g/人・日で、モニター平均値の45g/人・日と比較すると15%多かった。最も少なかったのは「泉区」の40g/人・日で、モニター平均値より11%少なかった。

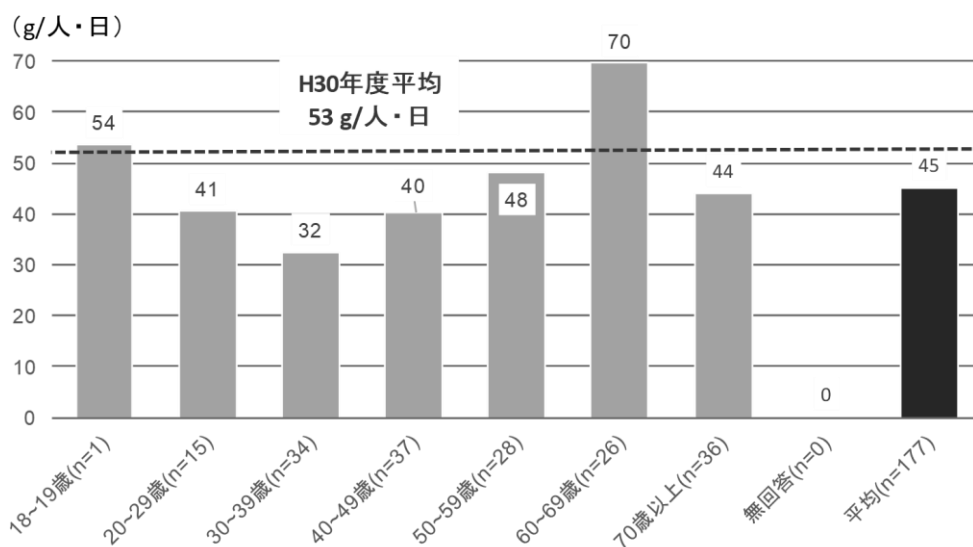
図表 27 居住区別 1人1日あたり排出量（缶・びん・ペットボトル等）
（g/人・日）



3) 年齢別排出量

年齢別にみると、1人1日あたり排出量が最も多かったのは「60~69歳」の70g/人・日で、モニター平均値の45g/人・日と比較すると54%多かった。次いで「18~19歳」が54g/人・日（ただし、n=1）、「50~59歳」が48g/人・日と続き、最も少なかったのは「30~39歳」の32g/人・日で、モニター平均値より28%少なかった。

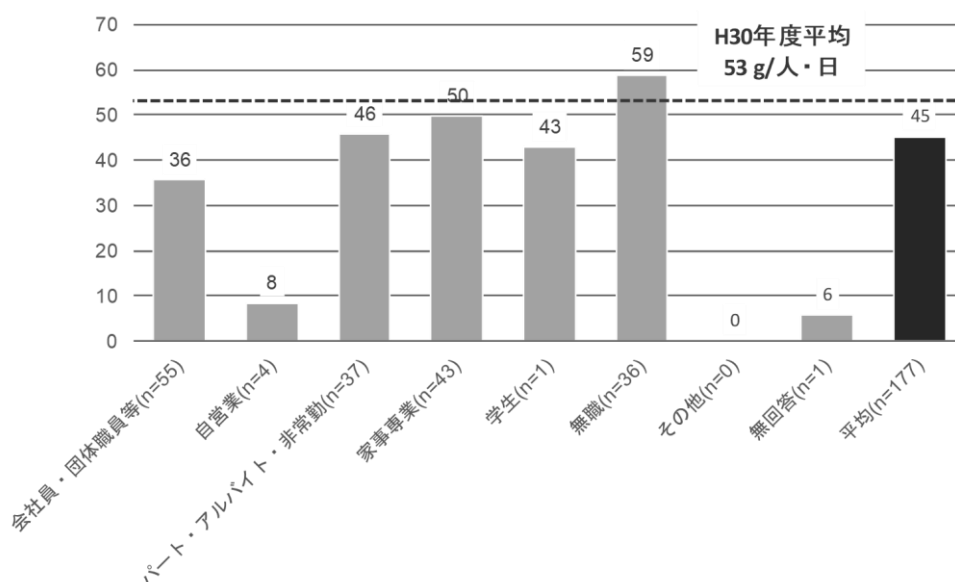
図表 28 年齢別 1人1日あたり排出量（缶・びん・ペットボトル等）



4) 職業別排出量

職業別にみると、1人1日あたり排出量が最も多かったのは「無職」の59g/人・日で、モニター平均値の45g/人・日と比較すると30%多かった。次いで「家事専業」が50g/人・日、「パート・アルバイト・非常勤」が46g/人・日と続き、最も少なかったのは「自営業」の8g/人・日で、モニター平均値より81%少なかった。

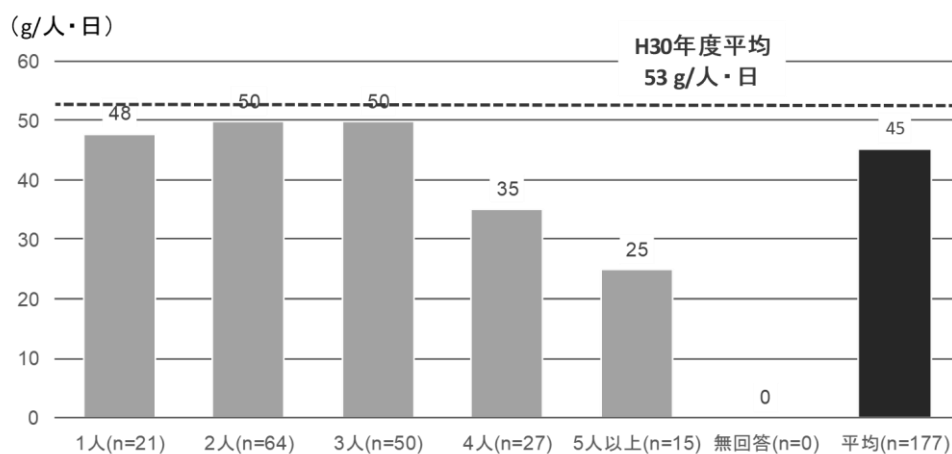
図表 29 職業別 1人1日あたり排出量（缶・びん・ペットボトル等）



5) 同居人数別排出量

同居人数別にみると、1人1日あたり排出量が最も多かったのは「2人」および「3人」の50g/人・日で、モニター平均値の45g/人・日と比較すると10%多かった。同居人数が多いほど排出量が減少する傾向が見られ、「5人以上」が25g/人・日と、モニター平均値と比較して45%少なかった。

図表 30 同居人数別 1人1日あたり排出量（缶・びん・ペットボトル等）

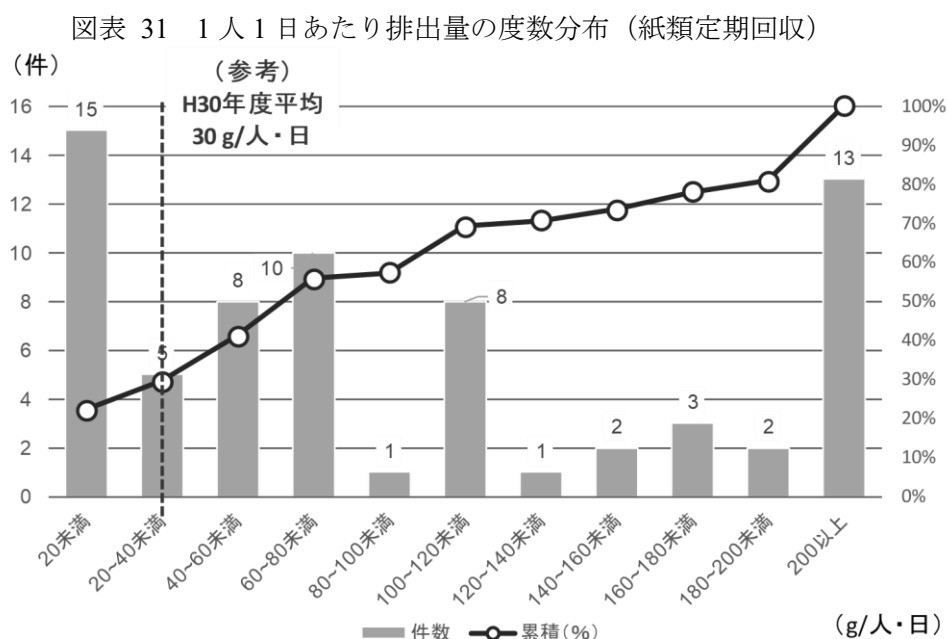


2.2.4 紙類定期回収

1) 1人1日あたり排出量の度数分布

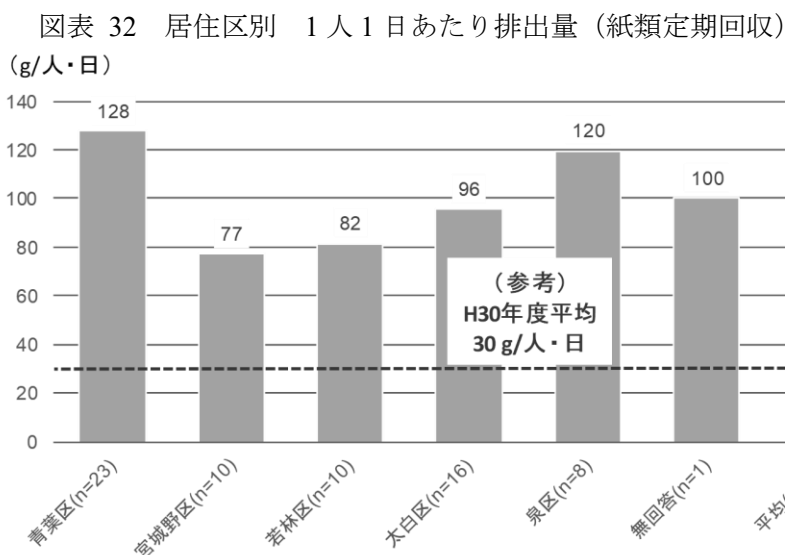
紙類の排出方法を伺う問14において「紙類定期回収に出している」と回答があった76件(41%)のうち、内容に不備がある回答8件を除き、計68件を対象に分析を行った。最も件数が多かったのが「20g/人・日未満」の15件で、次いで「200g/人・日以上」が13件であった。1人1日あたり排出量の平均値は105g/人・日だった。

なお、「紙類定期回収に出していない」回答者(109件)を母数に含めた計177件の平均値は40g/人・日で、市の定期回収の実績を基に算出された市全体の平均値は、30g/人・日だった。



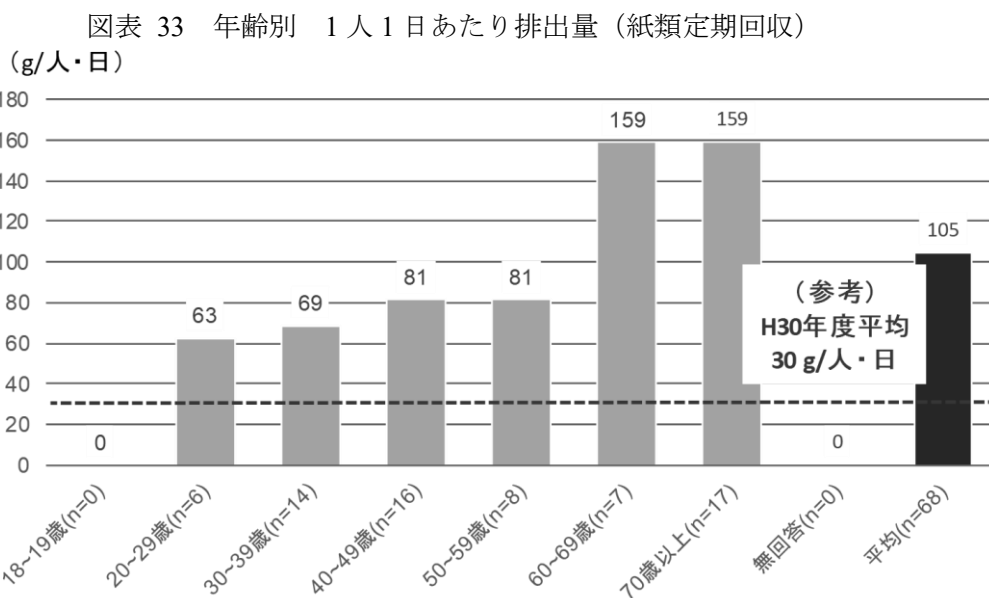
2) 居住区別排出量

居住区別にみると、1人1日あたり排出量が最も多かったのは「青葉区」の128g/人・日で、モニター平均値の105g/人・日と比較すると22%多かった。最も少なかったのは「宮城野区」の77g/人・日で、モニター平均値より26%少なかった。



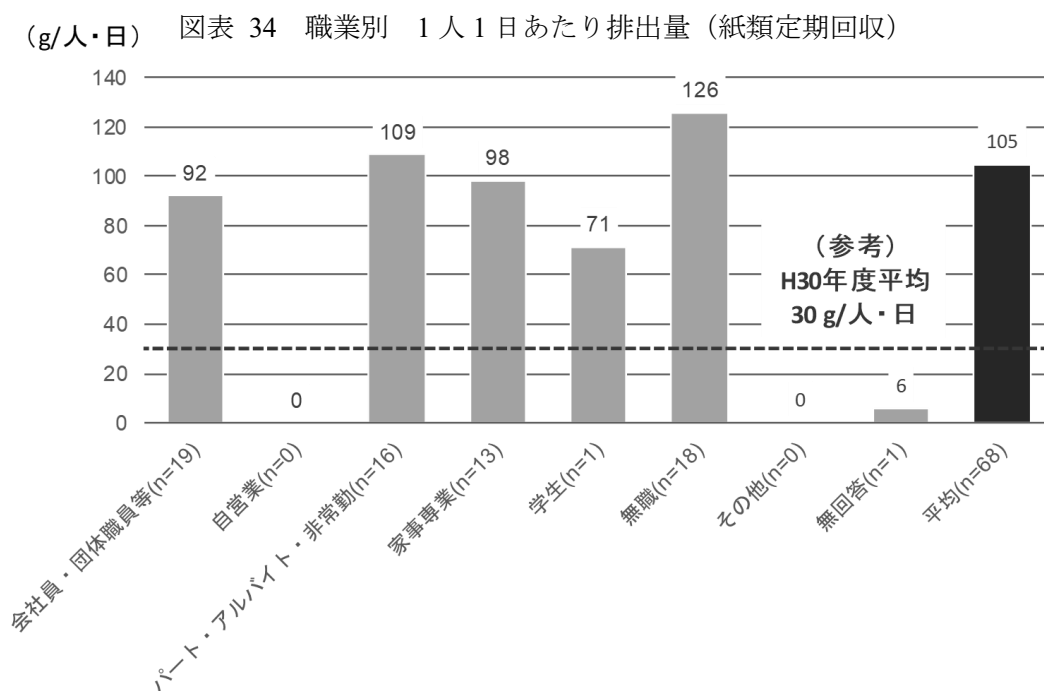
3) 年齢別排出量

年齢別にみると、1人1日あたり排出量が最も多かったのは「60~69歳」および「70歳以上」の159g/人・日で、モニター平均値の105g/人・日と比較すると52%多かった。次いで「40~49歳」および「50~59歳」が81g/人・日と続き、最も少なかったのは「20~29歳」の63g/人・日で、モニター平均値より40%少なかった。



4) 職業別排出量

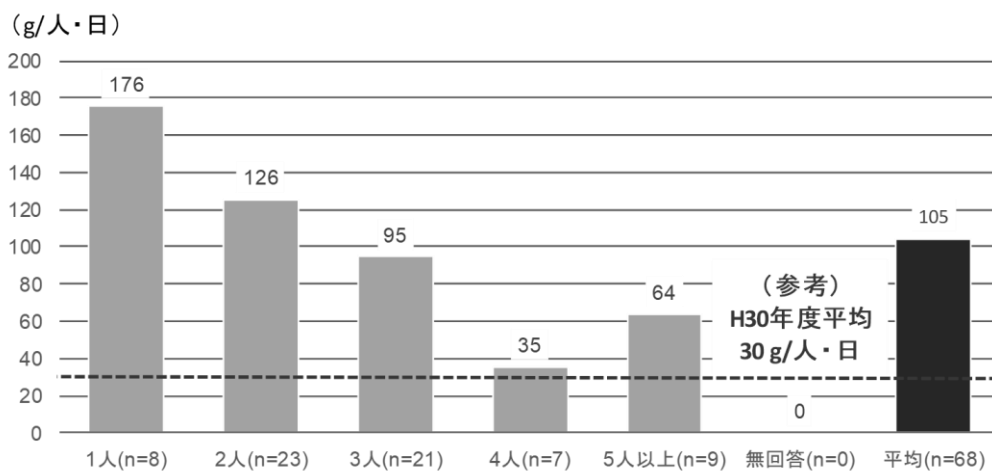
職業別にみると、1人1日あたり排出量が最も多かったのは「無職」の126g/人・日で、モニター平均値の105g/人・日と比較すると20%多かった。次いで「パート・アルバイト・非常勤」が109g/人・日、「家事専業」が98g/人・日と続き、最も少なかったのは「学生」の71g/人・日で、モニター平均値より32%少なかった（ただし、n=1）。



5) 同居人数別排出量

同居人数別にみると、1人1日あたり排出量が最も多かったのは「1人」の176g/人・日で、モニター平均値の105g/人・日と比較すると68%多かった。同居人数が多いほど排出量が減少する傾向が見られ、「4人」が35g/人・日と、モニター平均値と比較して66%少なかった。

図表 35 同居人数別 1人1日あたり排出量（紙類定期回収）

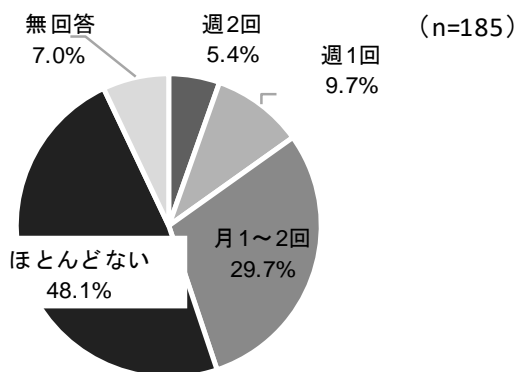


2.3 生活ごみの排出に関わる行動・意識

2.3.1 食品ロスの発生状況

問10において家庭で食品ロスが発生する頻度について伺ったところ、「ほとんどない」(48.1%)が最も多く、「月1~2回」(29.7%)、「週1回」(9.7%)と続いた。

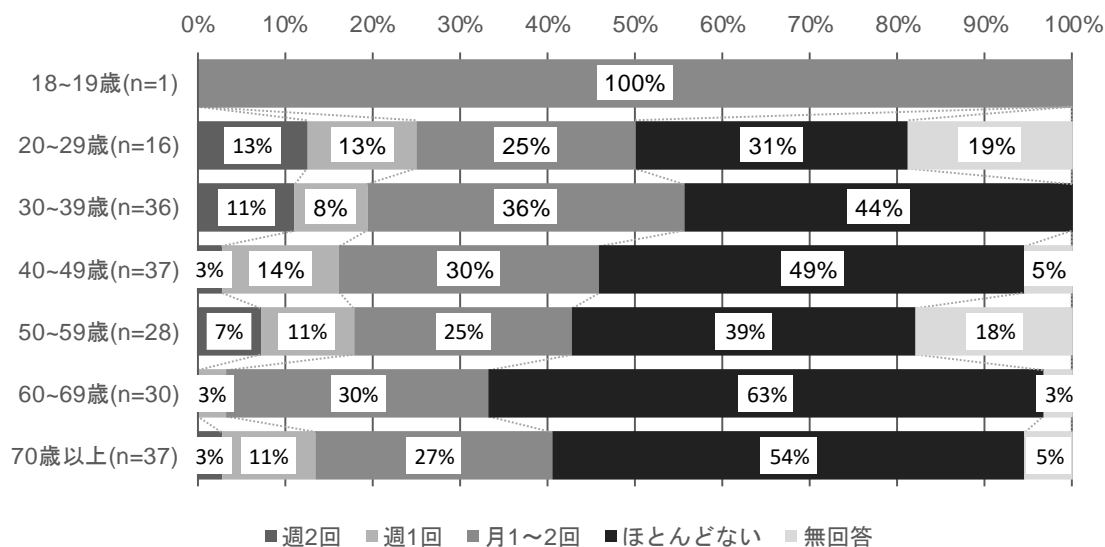
図表 36 食品ロスの発生頻度



年齢別にみると、「週2回」と回答した人の割合が最も高いのが「20~29歳」の13%、次いで「30~39歳」以上の11%で、年齢層が高いほど食品ロス排出頻度が低下する傾向が見られた。

頻度に関わらず食品ロスの排出があると回答した人（「週2回」と「週1回」と「月1~2回」の合計）は、「30~39歳」の56%、「20~29歳」の50%の順に多かった。

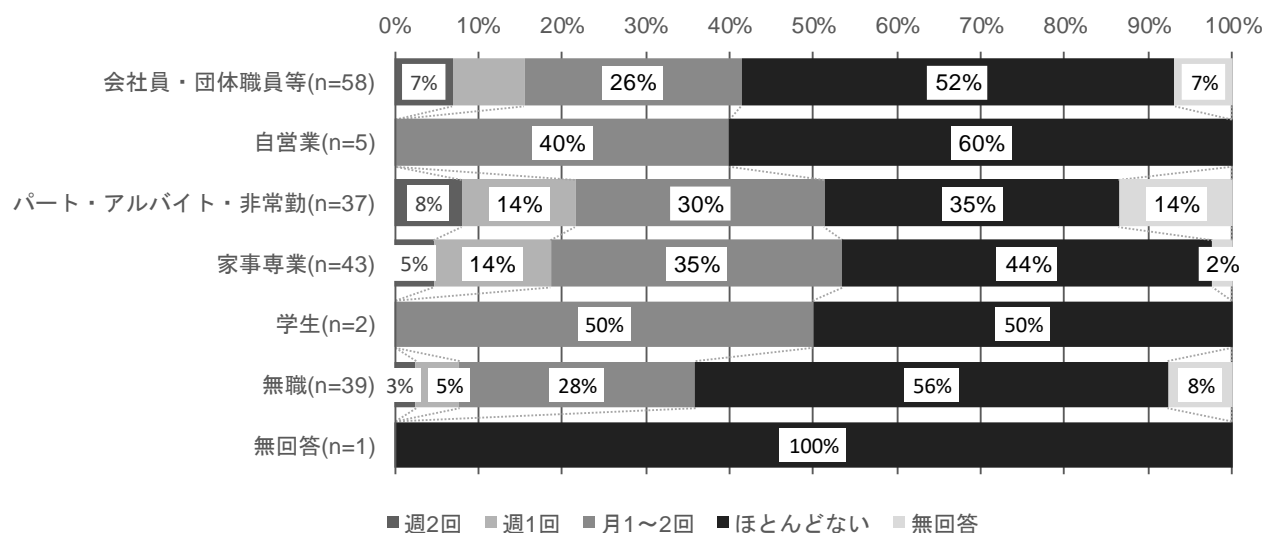
図表 37 食品ロスの発生頻度（年齢別）



職業別にみると、「週2回」と回答した人の割合が最も高いのが「パート・アルバイト・非常勤」の8%、続いて「会社員・団体職員等」の7%だった。

頻度に関わらず食品ロスの排出があると回答した人（「週2回」と「週1回」と「月1～2回」の合計）は、「家事専業」の53%、「パート・アルバイト・非常勤」の51%の順に多かった。

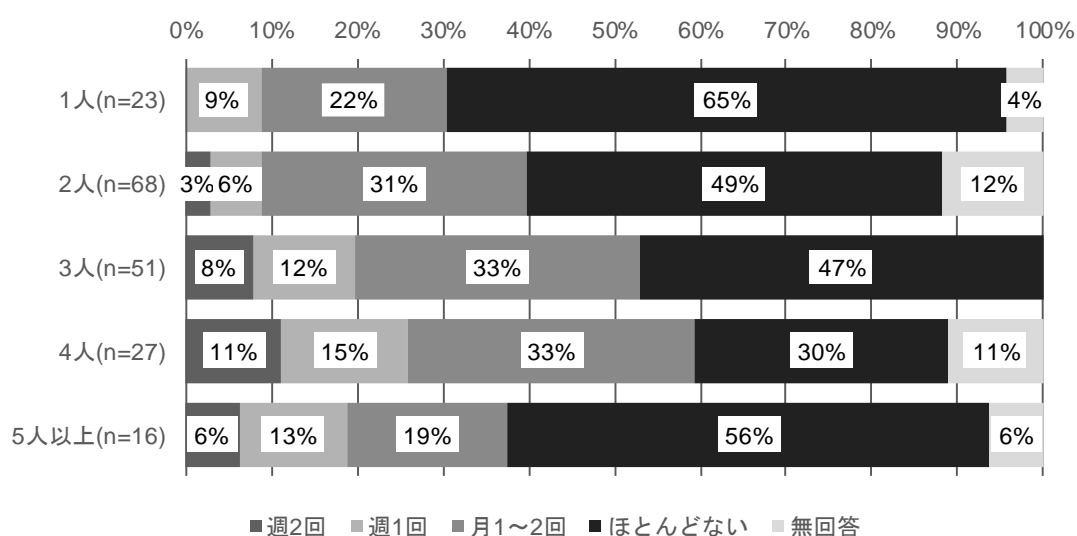
図表 38 食品ロスの発生頻度（職業別）



同居人数別にみると、「週2回」と回答した人の割合が最も高いのが「4人」の11%、続いて「3人」の8%だった。

頻度に関わらず食品ロスの排出があると回答した人（「週2回」と「週1回」と「月1～2回」の合計）は、「4人」の59%、「3人」の53%の順に多く、傾向は変わらなかった。

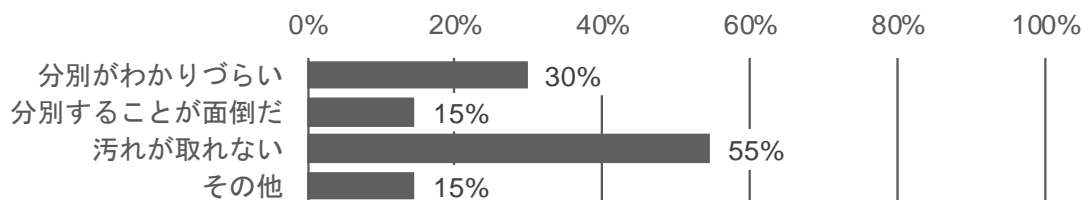
図表 39 食品ロスの発生頻度（同居人数別）



2.3.2 プラスチック製容器包装の分別状況

問 12 においてプラスチック製容器包装の分別状況について伺ったところ、「汚れが取れない」が 55%と最も多く、次いで「分別がわかりづらい」が 30%、「分別することが面倒だ」が 15%と続いた。

図表 40 プラスチック製容器包装の分別について ※該当するものすべてを回答 (n=185)



○「その他」の内容

<分類がわかりにくい (1 件) >

- プラか？家庭か？わかりづらいものあり。そんな時はいつも悩む。(宮城野区 70 歳以上女性)

<分類・洗浄作業が面倒 (3 件) >

- 汚れているものは、家庭ごみに入れることが多い。(太白区 50～59 歳女性)
- 商品の値札シールなどが綺麗に剥がれない。(若林区 60～69 歳男性)
- 蓋部分のキャップ受け口取外しが大変 (若林区 60～69 歳男性)

<どこまで洗浄すればよいか迷う (2 件) >

- どの程度の汚れならよいのか判断に困る (太白区 40～49 歳女性)
- 綺麗に洗ってから捨てていますが、水を使い洗ってから捨てるべきか悩むことがある (若林区 50～59 歳女性)

<分別に前向きに取り組んでいる (9 件) >

- 分別が楽しい (宮城野区 30～39 歳女性)
- 特に不便を感じたことないです。(宮城野区 30～39 歳女性)
- 面倒とは思わず当たり前と思って分別している (若林区 70 歳以上男性)
- 分別が習慣になっているので特に困っていることもない。(若林区 50～59 歳女性)
- 分類は慣れてきていて、おおむねキッチリと行っています。(青葉区 70 歳以上女性)
- 分けている (泉区 70 歳以上男性)
- きちんと分別できている。(若林区 20～29 歳女性)
- 特に面倒だとは思いません。(泉区 60～69 歳女性)
- 月に一度くらいだけです。分別はそれほど大変ではありませんが、内容によってリサイクルできないものは、普通に紙ゴミとして処分してます。(青葉区 60～69 歳女性)

<リサイクル方法 (1 件) >

- 近くの生協に持っていき、リサイクルしています。(泉区 70 歳以上女性)

<そもそものプラスチックごみの軽減が必要 (1 件) >

- そもそもプラスチック容器包装の品物が多すぎる。事業者の皆さんにリデュースの実践をお願いできないものか。消費者から提言したい。(泉区 50～59 歳女性)

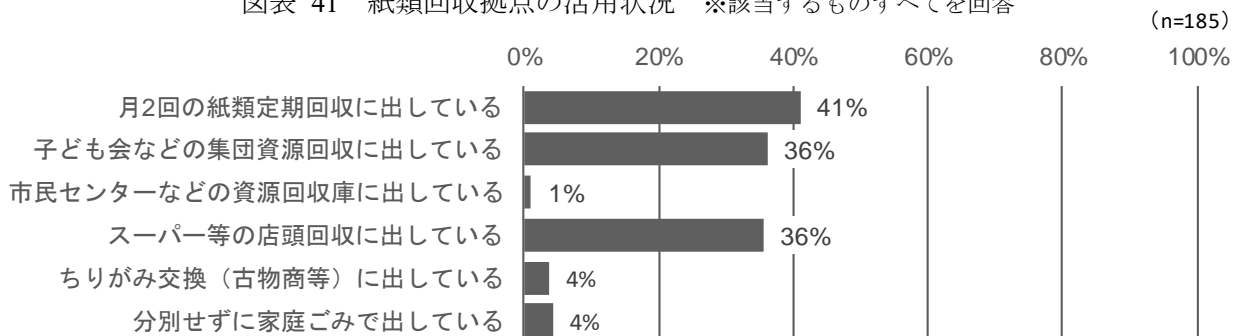
<その他 (2 件) >

- プラスチック製品も回収してほしい (泉区 40～49 歳女性)
- 分別を徹底しているが、プラスチックゴミが海外で処理されたり、焼却処分されたりしている現状を知り、だったら分別しなくてもいいのではと思い始めている。(若林区 30～39 歳男性)

2.3.3 紙類の排出方法

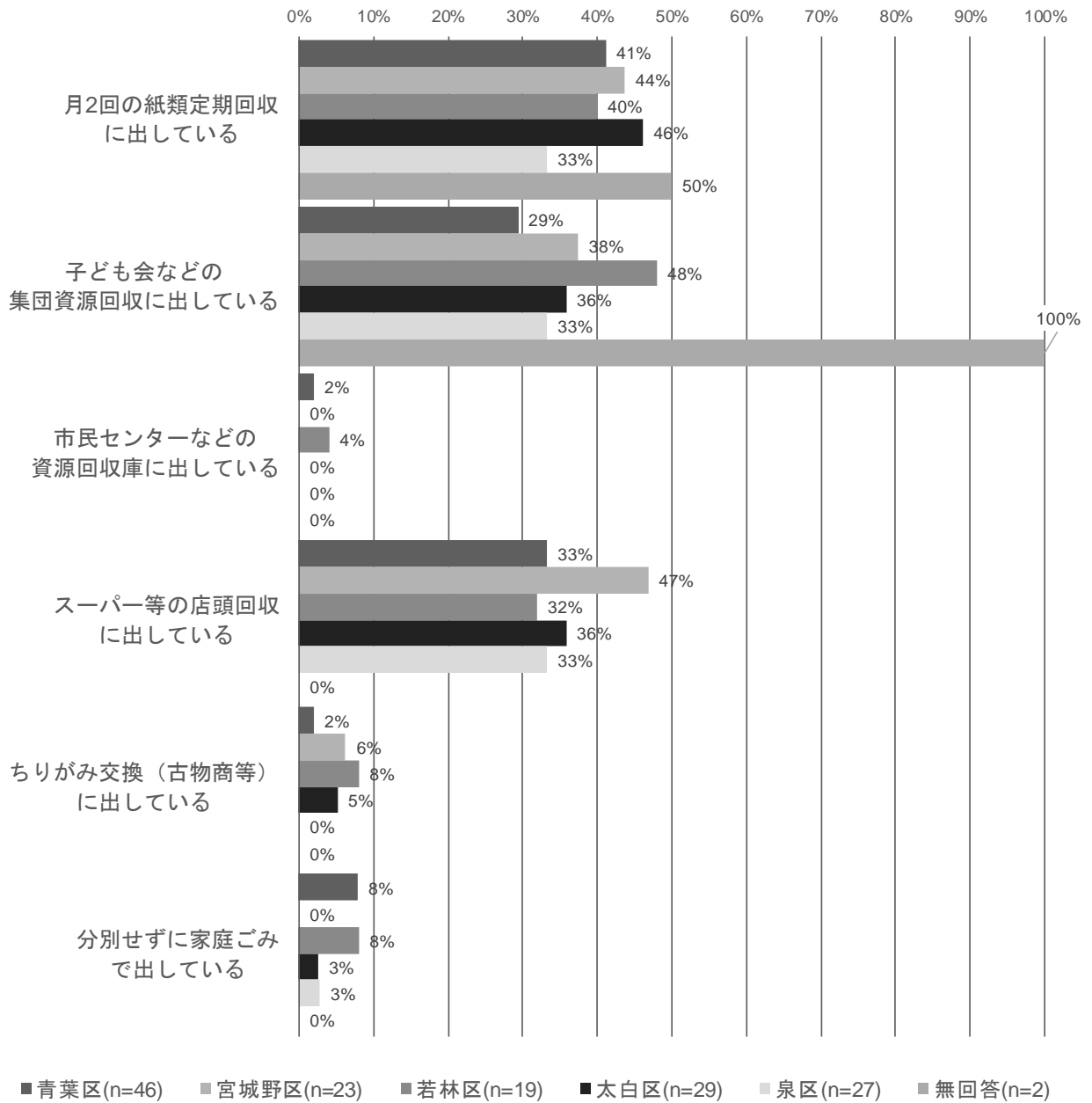
問 14 において紙類の排出方法について伺ったところ、「月 2 回の紙類定期回収に出している」が 41%と最も多く、「子ども会などの集団資源回収に出している」および「スーパー等の店頭回収に出している」が 36%と続いた。

図表 41 紙類回収拠点の活用状況 ※該当するものすべてを回答



居住区別にみると、「月2回の紙類定期回収に出している」割合は「泉区」が33%と低かった。「子ども会などの集団資源回収に出している」割合は「若林区」が48%と高く、「スーパー等の店頭回収に出している」割合は「宮城野区」が47%と高かった。

図表 42 紙類回収拠点の活用状況（居住区別）



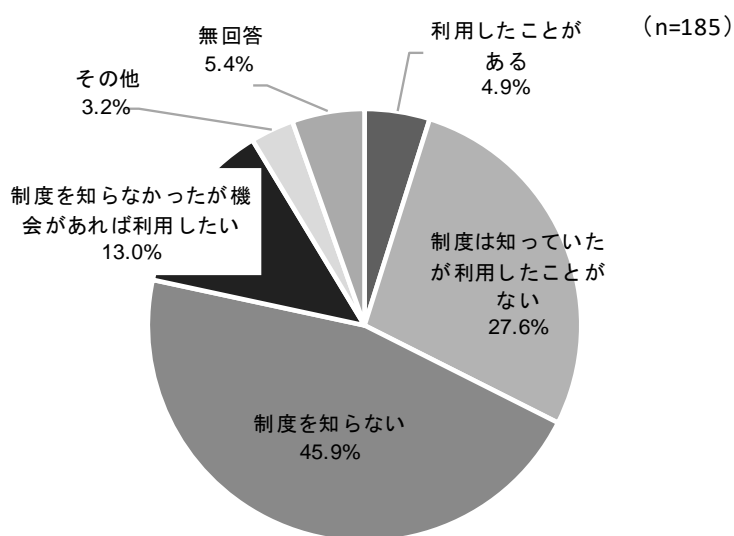
※なお、「無回答」は居住区が無回答だった回答者を示す。

2.3.4 仙台市事業の認知度、利用意向

1) せん定枝のリサイクル

家庭から出たせん定枝を戸別収集または自己搬入し、原料チップへリサイクルするモデル事業の認知度について伺ったところ、「利用したことがある」は4.9%にとどまり、制度を知らない回答者（「制度を知らない」と「制度を知らなかったが機会があれば利用したい」の合計）が58.9%と、6割近くを占めた。

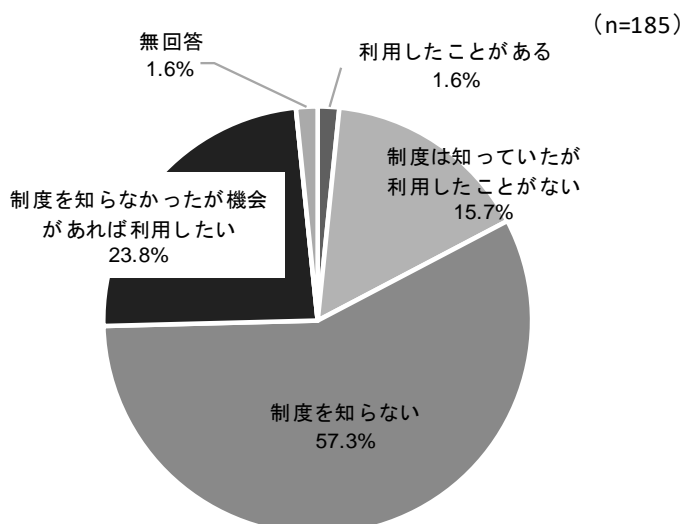
図表 43 せん定枝リサイクル事業の認知度、利用意向



2) 紙容器拠点回収

ヨーグルト容器などの防水加工された紙容器を区役所や市民センターの資源回収庫で拠点回収し、リサイクルする取組の認知度について伺ったところ、「利用したことがある」は1.6%にとどまり、制度を知らない回答者（「制度を知らない」と「制度を知らなかったが機会があれば利用したい」の合計）が81.1%と、8割を超える結果となった。

図表 44 紙容器拠点回収の認知度、利用意向

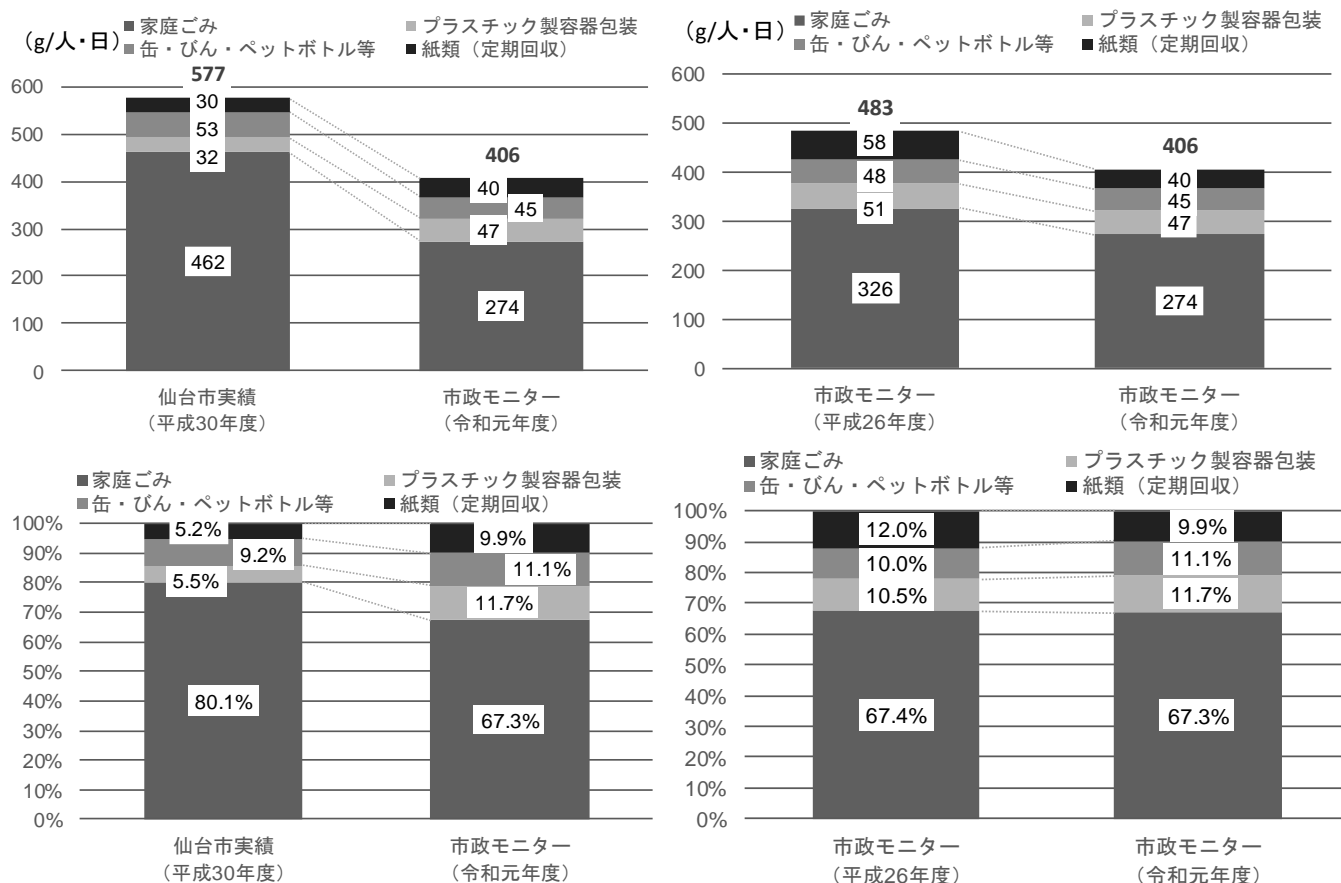


2.4 調査結果のまとめ

市政モニターのごみ・資源物の合計排出量⁴は406g/人・日で、平成30年度の1人1日あたり生活ごみ排出量実績値の577g/人・日と比較すると、29.6%少なかった。ごみが274g/人・日、資源物は133g/人・日で、実績値と比較すると、ごみは40.8%少なく、資源物は15.6%多かった。

平成26年度に行われた前回調査の結果と比較すると、1人1日あたり家庭ごみ量は16.1%減少しており、資源物の1人1日あたり排出量はプラスチック製容器包装が6.8%、缶・びん・ペットボトル等が6.7%、紙類（定期回収）が30.9%減少し、資源物合計で15.7%減少していた。

図表 45 1人1日あたり排出量・割合の状況（上：排出量、下：割合）



図表 46 1人1日あたり排出量・割合の状況

（左：仙台市排出量実績値（H30）との比較、右：前回調査（H26）との比較）

	(g/人・日)		(g/人・日)	
	仙台市実績 (平成30年度)	市政モニター (令和元年度)	市政モニター (平成26年度)	市政モニター (令和元年度)
家庭ごみ	461.8	273.5	326	273.5
プラスチック製容器包装	31.8	47.5	50.9	47.5
缶・びん・ペットボトル等	52.8	45.1	48.4	45.1
紙類(定期回収)	30.3	40.2	58.1	40.2
ごみ	461.8	273.5	326.0	273.5
資源物	114.9	132.8	157.4	132.8
合計	576.7	406.3	483.4	406.3

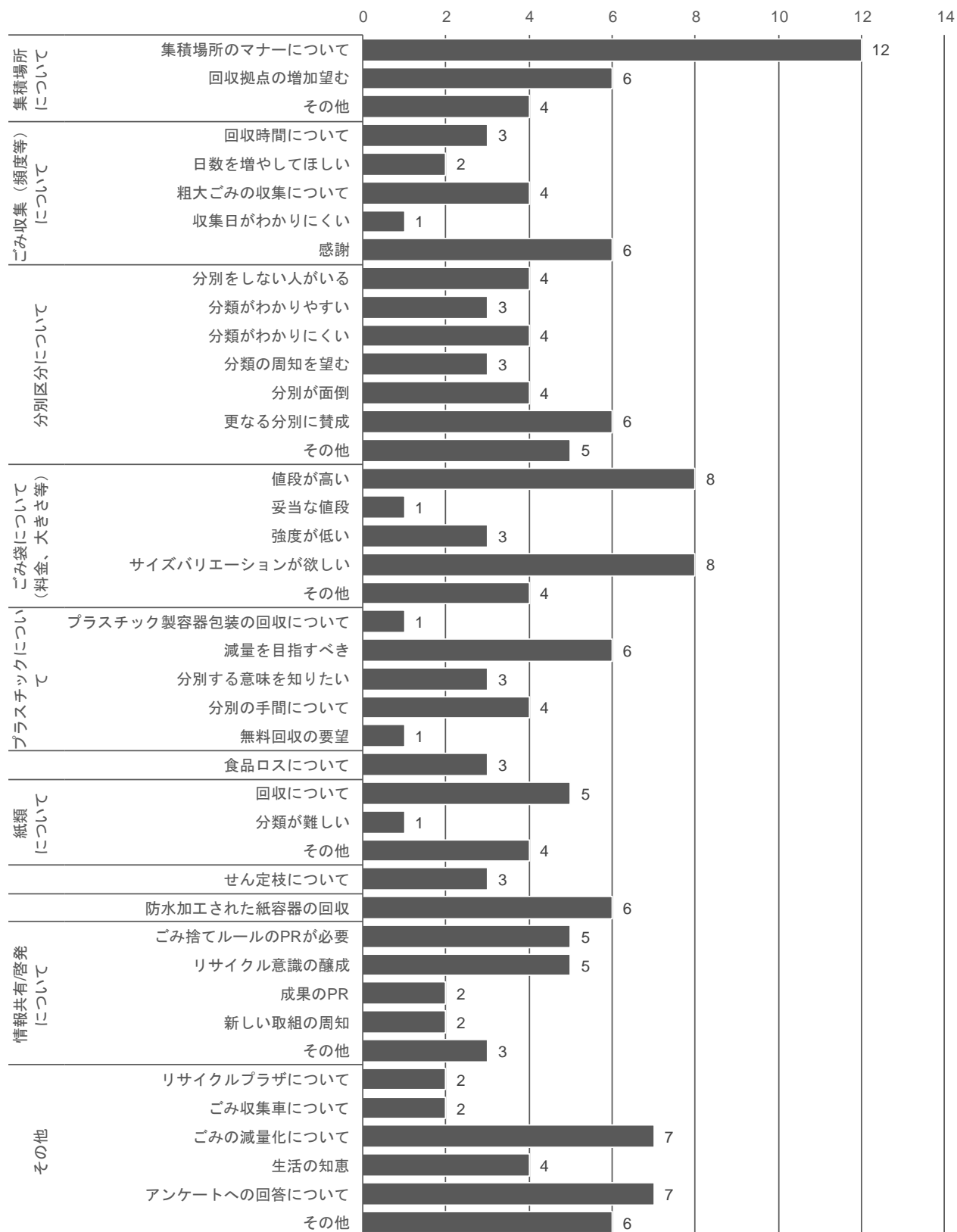
⁴ 仙台市の実績値と比較するにあたり、紙類の1人1日あたり排出量の平均値は問14において「紙類定期回収に出していない」回答者を含めた計177件の平均値を使用し、40g/人・日と算出している。

2.5 自由回答

仙台市のごみ・資源物収集に関して自由記載で意見を求め、以下の通り分類し、回答集計を行った。「分別区分について」が29件と多く、次いで「その他」が28件、「ごみ袋について（料金、大きさ等）」が24件、「集積場所について」が22件と続いた。

図表 47 自由回答の内容、件数

(件)



○代表的な回答

【集積場所について】

＜集積場所のマナーについて＞

● 家から一番近い収集場所の、マナーが悪く、引っ越してきたころはカラスがたくさんいました。今はネットも張ってもらえたので、カラスは来なくなりましたが、相変わらずマナーは良くないです。どうしてこの日にこのごみを捨てるの？ということも。実家（亘理）では、ごみ袋に記名することが義務なので、こういうトラブルは少なかったです。（でも、それはそれで面倒です。）（宮城野区 40～49 歳女性）

● 収集日の前日夜にゴミを出している方がいるようですが、特に燃えるごみの場合は火事などが起きないか不安に思うことがあります。また、収集しない日に、ごみを出されて取り残されている時もあります。個人の事情や意識の問題だと思いますが、何か改善方法があれば、市政だより等に掲載されるといいのかなと思いました。（太白区 40～49 歳女性）

＜回収拠点の増加望む＞

● 牛乳パックや食肉用トレイなどは、最寄りスーパーに回収庫が設置されているので、まとめて持ち込むようにしています。このような取り組みに協力している拠点を広く紹介しても良いのではないのでしょうか。（青葉区 60～69 歳女性）

● ビン・カン・ペットボトルなどの自動回収機を広く設置してほしい。願わくばポイント制にしてくれたら、回収率が上がるのでは。（若林区 30～39 歳男性）

＜その他＞

● びん・缶・ペットボトルの回収箱の数に比べて、この地域のごみの量が多く、箱からあふれていることが多く見受けられるので、箱の数を増やしてもらえないのかと疑問です。（青葉区 30～39 歳女性）

● <缶・ビン・ペットボトル等>資源回収場所で回収箱の過不足状態が散見される。担当部局は回収委託業者と定期的に実査し、回収箱の多寡を点検・対策を講じてはどうか。（太白区 70 歳以上男性）

【ごみの収集（頻度等）について】

＜回収時間について＞

● 特に不満はありませんが、回収する時刻が地域毎で概ね分かると助かります。（若林区 20～29 歳男性）

● 回収に来る時間が遅い。（太白区 30～39 歳男性）

＜日数を増やしてほしい＞

● 家庭ごみや紙類収集の日にちを増やして欲しい。家族が多いのでごみが多く、家に貯めておく形になってしまう。（泉区 30～39 歳女性）

● 富谷市みたいに家庭ごみ回収を夏だけでも週 3 にして欲しい。缶等のリサイクル空かごを道路に置く時に飛んだり邪魔なのでゴミ置き場の中に置くとか寄せて欲しい。（泉区 30～39 歳女性）

＜粗大ごみの収集について＞

● 自己搬入をしたいのですが、方法がよくわかりません。ホームページで図解していただけないでしょうか。せめて土日どちらかを受付してほしいです（泉区 40～49 歳女性）

- 以前実施されていた粗大ごみ無料回収が年1~2回あれば大変うれしいです。リサイクルも回収車が回る等すれば、ご高齢の方も利用できると思います。(太白区 60~69 歳女性)

<収集日がわかりにくい>

- 隔週回収の紙の日は、いつ回収なのかわからなくて出しにくい。回収日がわかるカレンダーとかほしい。(泉区 40~49 歳女性)

【分別区分について】

<分類をしない人がいる>

- 紙類の分別がなされずそのまま家庭ごみに入っていることが多く残念だ。何とか分別周知徹底したい。我が家の家庭ごみのほとんどは紙おむつで多くて重くて申し訳ないと思っている。焼却の障害になっていないか心配だ。(泉区 50~59 歳女性)

- 仙台市では、資源物収集用として、水曜日には、かん・びん用のかごを配置してきておりますが、ペットボトル、びん等、ビニール袋と一緒に入れてかごに出している方が結構おります。もっと各家庭で、キッチンとぶんべつしてかごにそれぞれ分けてくれたらと思っております。捨てる人の意識をもう少し指導してください。公報でPRして下さい。(青葉区 70 歳以上女性)

<分類がわかりにくい>

- 不明な時は回収品別の本を見ますが、分別がどうしてもわからない物が多々あります。そういう時の相談窓口があっても良いのではと思っております。(太白区 70 歳以上男性)
- 「資源とごみの分け方・出し方」等で周知されているところではありますが、家庭ごみとプラスチックの分け方が複雑です。プラのマークで確認しているのが一般的だと思いますが、一部製品が家庭ごみとなる内容が分別を難しくしています。「容器包装リサイクル法」に基づくことですが、例えば CD のケースは「容器」に該当しないのでしょうか。(宮城野区 60~69 歳男性)

<分類の周知を望む>

- 山形市に暮らしていた時は、ものすごく詳しい分別の項目の冊子があり、あいうえお順に、本当に詳しく書かれていた。(Ex.植木鉢も、素材の違い、大きさ、形、長さなど、詳しく項目毎に書かれていた。)仙台市に引っ越してきて、似た分別冊子をももらったが、書いてないのが多く、これはどうすれば良いのか?と思う物があった。やはり、分からないと適当に捨ててしまう。一度、山形市から、分別冊子をもって、参考に見たら良いのではないかと。(宮城野区 70 歳以上女性)

- 資源物は家族全員が取り組まなければ収集にならず資源として出すことができません。我が家は、プラ、ビン缶、雑誌等、分別の場所がそれぞれあるので、資源として出せています。プラごみの回収袋には、プラではない物が入っていることもありましたが(収集場にて)。『プラごみとは』をもっと分かりやすいように、各収集所にポスターとして貼ってほしいと思います。

(若林区 50~59 歳女性)

<分別が面倒>

- できるだけ協力したいと思うが、子育て、育児、フルタイムの仕事だと、洗って乾かして、分別して指定の日を持っていくなど難しいのが現状です。でも出来るだけは努力します(泉区 40~49 歳女性)
- 分別が多くて面倒くさい。もっと単純化して欲しい。(青葉区 60~69 歳男性)

<更なる分別に賛成>

- モデル地区を決めてもう少し細かい分別をする必要がでてきているのではないかと。細かすぎると現実的に大変で無理だと思うが、例えばびんを「カラーびん」のかごと「とうめいなびん」のかご 2 つにするとか、比較的手軽にできる一步進んだりサイクルが必要になってきていると思う。(若林区 40~49 歳女性)
- ごみは燃えるゴミ、プラスチック、ビン、缶、ペットボトル、新聞紙、雑紙類と 6 種類のごみ箱と民間企業で回収している発泡トレイ類と合わせて 7 種類のごみ箱を細かく分別することによってガムの巻紙は雑紙のごみ箱へ、あめのプラスチックの袋はプラスチックのごみ箱へ等手間なく資源ごみを分別できていると思います。(太白区 50~59 歳女性)

<その他>

- 事業所・施設から出されるごみの分別は営業ごみと家庭ごみの大袋に分けて収集しているが会社ではない法人では、家庭ごみ扱いとして排出しても問題なし処理しているのか。社会福祉法人は営業目的ではないから家庭ごみ扱いとして出していいのなら、回収日を週に 2 回を 3 回に見直すべきである。(※家庭ごみ 週 2 回→3 回、営業ごみ 週 3 回→2 回)家庭ごみの量が圧倒的に多い事からの対応の変更必要 (太白区 70 歳以上男性)
- 分別への一方策：回収箱の新規作成時に「色分け」してはどうか。(太白区 70 歳以上男性)

【ごみ袋について (料金、大きさ等)】

<値段が高い>

- 基本的に町内会のごみ回収場所も減っていき、高齢化を迎え近くまで行くのが大変困難な中生活を強いられていくが、市民は多忙な中でもゴミの分別を判断して分けて努力はしているが、ごみ袋代が切手のように値上がりするだけで困っている。(太白区 50~59 歳男性)
- ゴミ袋料金が他の市と比べて高すぎる。(太白区 30~39 歳男性)

<妥当な値段>

- 他市町村では、ごみ袋がびっくりするほど高い所もあるそうなので、仙台市民で良かったです。(青葉区 60~69 歳女性)

<強度が低い>

- ごみ指定袋は昔のものより薄くなったのか破けやすい。(青葉区 30~39 歳女性)
- 袋が値段の割にすぐ破れる。(太白区 30~39 歳男性)

<サイズバリエーションが欲しい>

- プラスチック製容器包装指定袋の一番小さいサイズは小ですが、トレイや卵パックをスーパーの回収に持っていくので、大人 3 人家族の我が家では、小サイズの袋が一杯になるには 3~4 週間かかります。しかし、夏の暑い時には、プラスチック製容器包装に付着した食品(汁など)が悪臭を放ち、小さい虫が寄ってきてしまうので、袋が一杯になる前に排出しています。(ちなみに食品が付着したものは水ですすいでいます。)もしかしたら、あまり利用はないのかもしれませんが、小より小さいサイズの袋があったら良いと思います。(宮城野区 50~59 歳女性)
- 家庭ごみの袋をもう少し小さ目(特小より小さい)があると良いと思います。それほど 1 回当たり出す量が多くないため。生ごみはこまめに出したいです。(青葉区 40~49 歳女性)

<その他>

- 産まれた子供のおむつ廃棄に対してゴミ袋の補助があるが枚数が足りない。一度きりでは

なく複数回支給があると助かる。(太白区 30～39 歳男性)

- <指定袋のデザイン変更による広告収入と料金値下げ>注意書き印刷スペースを狭くして、表裏の空きスペースを広告としスポンサーを募るなどして、広告収入で安価に販売できないか。(太白区 70 歳以上男性)

【プラスチックについて】

<プラスチック製容器包装の回収について>

- プラスチックはかさばりすぐたまるので、収集日が週 2 回だと助かります (青葉区 40～49 歳女性)

<減量を目指すべき>

- プラスチック類に関しては持続可能なライフスタイルの観点からも本気で使わない暮らしを目指すことが必要だと思う。行政・事業者・消費者の連携で実現したい。(泉区 50～59 歳女性)

- 資源は、できるだけ、人のために役に立つような有効活用が大事じゃないかと思います。プラスチックのごみを減らしたいのですが、どうしても減らせず、それが悩みの種です。どうしたら、プラごみを減らせるだろう…思案に促されています。私の住んでいる地区では、ペットボトル容器をきちんと出さない人が多いです。皆に周知されていないのかもわかりませんが、ペットボトルのキャップをイオンさんで回収していたり、そういう取り組みをしている企業や自治体をもっと、推奨すべきだと思います。(太白区 30～39 歳女性)

<分別する意味を知りたい>

- テレビで、プラスチックごみは燃料として燃やされていると聞きました。プラスチックごみや、缶、の資源ごみが、どの程度活用されているのか知りたいと思います。ごみ焼却によって、どの程度の二酸化炭素が出るのでしょうか？地球温暖化のためにどのような方法が良いのか知りたいです。(泉区 60～69 歳女性)

- プラゴミを本当にリサイクルしているのか不明。とりあえず洗って分別はしているが、汚れか落としきれない。洗うために水や洗剤を使うので、結局環境は汚れているのでは？プラも燃やして、その熱を利用したらどうか。詳しくはわかりませんが、プラも燃やしている自治体ありますよね。(青葉区 40～49 歳女性)

<分別の手間について>

- 家族内でプラごみに入れるごみの考え方が違う (サークルなどでごみを出しても家庭ごちがうのがはっきりと分かる)。自分も絶対の自信があるわけではないので、ちがうのでは？と言えない。(若林区 40～49 歳女性)

- スーパーのトレイ等の回収の透明トレイのシールがうまく取れなかったりします。ゴミ置き場で、他の方の袋に普通ごみでもプラとかよく入っているのを見かけます。地域、皆で、きれいに心がけできればうれしいです。(泉区 50～59 歳女性)

<無料回収の要望>

- プラスチックごみは他の市では無料回収のところが多い。家庭で削減しにくいごみなので無料にしてほしい。(太白区 40～49 歳男性)

【食品ロスについて】

- また、食品ロスについても、キャベツや大根など 1 度で使い切れないものは、その素材を

使ったメニューを、毎日レパートリーを変えながら作って、使い残すことがないようにしています。冷凍できるものは1回分をジップロックに入れて使いやすいように冷凍したり、煮物等は作り置きをしてタッパーに小分けして保存しています。洋服やタオル等の布類も子供会の資源回収に出してごみを減らすようにしています。(太白区 50～59 歳女性)

- 食品ロスについては、なるべく作りすぎないように工夫し、鍋の大きさを変えたりするとロスが少ないことにも気づきました。(太白区 50～59 歳女性)

【紙類について】

<回収について>

- 3紙の回収、月3回(現2回)にすべきと思う。小学生が漸次減るため、子供会が成り立たない所がでてきている。私の住んでいる旧URの住公も今年度より取りやめになった。(泉区 70歳以上男性)

- 段ボール等大きいものの対応、スーパーまで持って行くのにも大変。何かいい方法がないかと思っています。(宮城野区 60～69 歳男性)

<分類が難しい>

- 雑紙の分類がむずかしい。資源物として出せるものが有効に活用していないと反省しています。今後は注意をして分類したいと思います。(宮城野区 70 歳以上男性)

<その他>

- 紙ごみを捨てる用の袋も販売してほしい。昔はよく紙袋がもらえていたが、最近はわざわざ買わないといけなくなっている。指定の紙ごみ用の袋があれば、もっと紙ごみの分別がされるようになると思う。しぼる紙ひももついていれば、なお使い易い。(青葉区 30～39 歳女性)

- 紙類定期回収で雑紙(トイレトペーパーの芯、ティッシュ箱、商品のタグ紙、食品箱等)を紙袋に入れて出していますが、適当な大きさの紙袋が無いときは困りますので、再生紙等で雑紙回収袋を作っていただき月2袋無料配付いただければ、雑紙回収率が向上すると思います。(若林区 60～69 歳男性)

【せん定枝について】

- 現行でよろしいかと思っています。が、一点の要望としては、家庭の庭木を剪定して出た枝や幹の無料による個別回収について良い制度だと思っていますので、該当期に期間を決めて実施する事にしてほしいです。家庭ごみとして出す場合は長さ制限が短いため、労力も多分にかかります。モデル事業の様ですが、定期的な事業にしていただければ助かります。(青葉区 60～69 歳男性)

- 雑草用の袋もあると、家庭ごみと分別できるので、ごみ減量になると思う。(畑等やっている家庭は困らないが。)(青葉区 30～39 歳女性)

【防水加工された紙容器の回収】

- 問17の資源回収庫にしても、設置拠点が少なく、そもそも大量に発生するものでもないの、結果的に一般ゴミと同じ扱いにしています。(太白区 50～59 歳女性)

- ヨーグルト容器の回収は全く知らなかった。ぜひどこでやっているのか、おしえてほしい(例えば町内の回覧などで)。スーパーで回収できるようになれば便利だと思う。(若林区 40～

49 歳女性)

【情報共有／啓発について】

<ごみ捨てルールの PR が必要>

- ごみの回収場所にメッセージボード等を設置して、例えば家庭の庭木をせん定して出た枝や幹を無料で回収中等、時節に合う情報を提供して積極的に周知徹底すべきです。正直言ってごみ出し担当(私を含め)の市民に情報が届いていませんよ。(青葉区 60～69 歳男性)
- 一人暮らしの人のごみ出しマナーレベルが低い人が多い。もっと大家さんや不動産屋さんをまきこんで啓蒙活動をしてほしい。(若林区 40～49 歳女性)

<リサイクル意識の醸成>

- リサイクルについて知らない制度があるので、何かのイベントや出前授業のようなもので、知っていただけたらいいなと思います(太白区 40～49 歳女性)
- 家庭ごみや資源ごみについて、回収された後にどこでどうなっているのかを詳しく知れる方法はありますか？それに係るコストや危険等もアピールして欲しいです。(青葉区 30～39 歳男性)

<成果の PR>

- 他の市で、ペットボトルも家庭ごみに入れている市もあるが、市の財政はどうか？と思ってしまう。仙台市では 88 歳以上 1 万円、100 歳を超えると敬老祝金で 5 万円もらえるようだが。ペットボトルも家庭ごみに入れている市では、地区でおまんじゅうだけの様だった。この様な所にも財政がかかってくるのだろうか…。このようなことをアピールして資源物ごみの分別の徹底を呼び掛けるといいのかなとも思う。(青葉区 50～59 歳女性)
- 分別は大事なことという認識があるが、もっと広めるためには、分別・リサイクルの結果を市民へ公表した方が市民の分別意識が高まると思います。例えば、分別の結果、〇〇万円支出が減ったとか、公園を作ったなど(太白区 30～39 歳男性)

<新しい取り組みの周知>

- せん定枝のリサイクル事業のことを知りましたが、せん定して出た枝や幹をどのくらいの量まで無料で収集してくれるのでしょうか？あまり、知りませんでしたし、内容も多くの方にはわからない方も多いと思います。ごみの量を、減らしたいと思うのは、私も初め沢山います。ただ、今、紙類、ヨーグルト容器などの防水加工されている回収等、新しい取り組みが始まり、知っている人、利用している人の差が大きいのだと思います。取り組みをしても、市民が知らない人の方が多いのです。宣伝、アピールが足りないのだと私は思います。(宮城野区 50～59 歳女性)
- 剪定枝リサイクル事業やヨーグルト容器等の新しいごみ収集は知らなかった。中年になって新しい事はなかなか身に着けると指導されたところでなかなか行動には移せないのが社会現状だろう。(太白区 50～59 歳男性)

<その他>

- ゴミ回収に積極的に参加(参画)する市民にはポイント等の何かしらの付帯サービスを実施してほしい(泉区 40～49 歳男性)
- ゴミ袋を結ばないで出している人が多い。下部にしっかり結んでくださいと書いてありますが、この部分をしっかり見ている人は少ないのではないのでしょうか。ですから袋の上部中央

に「袋の口を結んでください」と印刷したほうが良いと思う。(太白区 60～69 歳男性)

【その他】

＜リサイクルプラザについて＞

- 今回のアンケートで久しぶりに葛岡リサイクルプラザに子供と行きました。イオン・生協にリサイクルしているのは見たことがあるが、利用すべきかもとおもった。(太白区 50～59 歳男性)
- 泉リサイクルプラザの展示(見学するもの)が何年も変わっていない。(ゴミピットが話すやつとか。入り口で「ここからはもうのがれられない」とか言っているやつ。で始まるコース)もっと定期的に変更させるとか、見学者が少ないのなら、壊して別なことに使ってほしい。税金なので。若林区のリサイクルプラザは手作りの品づくりを定期的にしたりにしているの、わかりやすいが(手ぬぐいの草履や新聞でつくるエコバッグ)。(若林区 40～49 歳女性)

＜ごみ収集車について＞

- ごみ収集車を運転している人の運転マナーが悪い人が多いように思います。危ないと思うことが何度もありました。何か所も回らないといけなくて大変だとは思いますが、気を付けて頂きたいと思います。(宮城野区 30～39 歳女性)
- 家庭ごみの収集の民間委託に係る業者の皆様の勤務態度はすばらしく、頭が下がります。今後とも応援いたしております。頑張れ、環境局！(青葉区 60～69 歳男性)

＜ごみの減量化について＞

- そもそも商品のパッケージやレジ袋が無くならないと減らない。スーパーのまとめ売りをやめさせる。(青葉区 20～29 歳女性)
- ごみになる物がとにかく多すぎるので、世の中全体で減らさないといけないといつも思います。コンビニやファーストフード店の廃棄も悪い所は公表や指導してほしいです。(青葉区 60～69 歳女性)

＜生活の知恵＞

- びん、缶、ペットボトルは、びんのはなるべく買わずに、ペットボトルのものを購入する。缶もなるべく買わずにペットボトルを購入すると、びん、缶、ペットボトルの資源回収は出す回数がずいぶん減り、買い物の際の店頭回収でまかなえるようになってきます。ペットボトル、紙パックのものの利用を多くすることで、資源回収は週 1 回から 2 週に 1 回というの也有可能でないかと思えます。(泉区 50～59 歳女性)
- 野菜は、使い切る工夫を、新聞・チラシなどの活用をもっと考えるべきだと思っています。(太白区 30～39 歳女性)

＜アンケート回答について＞

- 今回の調査中、カン・瓶や紙類を出していない等、ごみが少なかったです。新聞・雑誌等はネット利用で紙媒体の利用が減っているのも大きいのかと思いました。(太白区 50～59 歳女性)
- このアンケートですが、出してないときに、「出さなかった」という選択肢も欲しいです。(若林区 20～29 歳女性)

＜その他＞

- スーパーにペットボトル、缶、プラスチック容器、牛乳パックの回収ボックスがあるため、そちらにもっていくが多いのですが、市の回収の際に出したほうがよいのでしょうか(今回のア

ンケートで缶・ペットボトル・牛乳パックがほぼないのはそのため)リサイクルする費用の市の負担が増えて良くないのでしょうか (太白区 40～49 歳女性)

- 焼鳥の串など、うまい捨て方を教えてください。けがしそうで。(青葉区 60～69 歳女性)

3. 【参考】調査票と結果概要

◆あなたの市政モニター番号を記入してください。(必須)

【はじめに、あなた自身のことについてお聞きします】

該当する番号1つにチェック☑をしてください。

問1 あなたの性別をお答えください。(必須)

- 1 男性 2 女性

	合計	男性	女性
合計	185	71	114
	100.0%	38.4%	61.6%

問2 あなたの年齢をお答えください。(必須)

- 1 18～19歳 2 20～29歳 3 30～39歳
 4 40～49歳 5 50～59歳 6 60～69歳
 7 70歳以上

	合計	18～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
合計	185	1	16	36	37	28	30	37
	100.0%	0.5%	8.6%	19.5%	20.0%	15.1%	16.2%	20.0%

問3 あなたのご職業をお答えください。

- 1 会社員・団体職員等 2 自営業 3 パート・アルバイト・非常勤
 4 家事専業 5 学生 6 無職 7 その他 ()

	合計	会社員・団体職員等	自営業	パート・アルバイト・非常勤	家事専業	学生	無職	その他	無回答
合計	185	58	5	37	43	2	39	0	1
	100.0%	31.4%	2.7%	20.0%	23.2%	1.1%	21.1%	0.0%	0.5%

問4 あなたの世帯構成をお答えください。

- 1 一人暮らし 2 夫婦(パートナー)のみ 3 二世帯(あなたと親)
 4 二世帯(あなたと子) 5 三世帯 6 その他 ()

	合計	一人暮らし	夫婦(パートナー)のみ	二世帯(あなたと親)	二世帯(あなたと子)	三世帯	その他
合計	185	20	61	16	76	11	1
	100.0%	10.8%	33.0%	8.6%	41.1%	5.9%	0.5%

問5 あなたを含む同居する人数をお答えください。

- 1 1人 2 2人 3 3人 4 4人 5 5人以上

	合計	1人	2人	3人	4人	5人以上
合計	185	23	68	51	27	16
	100.0%	12.4%	36.8%	27.6%	14.6%	8.6%

問6 あなたの居住形態をお答えください。

- 1 一戸建て 2 分譲マンション 3 賃貸マンション・アパート
4 社宅・寮等 5 店舗兼住宅 6 その他 ()

	合計	一戸建て	分譲マンション	賃貸マンション・アパート	社宅・寮等	店舗兼住宅	その他	無回答
合計	185	94	30	55	4	0	1	1
	100.0%	50.8%	16.2%	29.7%	2.2%	0.0%	0.5%	0.5%

問7 あなたのお住まいの区をお答えください。

- 1 青葉区 2 宮城野区 3 若林区 4 太白区 5 泉区

	合計	青葉区	宮城野区	若林区	太白区	泉区	無回答
合計	185	51	32	25	39	36	2
	100.0%	27.6%	17.3%	13.5%	21.1%	19.5%	1.1%

問8 あなたは仙台市にどのくらい住んでいますか。

- 1 1年未満 2 1年以上3年未満 3 3年以上5年未満
4 5年以上10年未満 5 10年以上20年未満 6 20年以上

	合計	1年未満	1年以上3年未満	3年以上5年未満	5年以上10年未満	10年以上20年未満	20年以上	無回答
合計	185	1	13	8	19	25	118	1
	100.0%	0.5%	7.0%	4.3%	10.3%	13.5%	63.8%	0.5%

【資源物とごみに関するアンケート】

問9 家庭ごみについてお答えください。

10月17日(木)から10月31日(木)までの期間において、あなたが排出した「①袋の大きさ」「②袋の数量」「③袋に入れた量の目安」の項目で該当する番号1つにチェック☑をしてください。「④重さ」の計量は、体重計を用いるなど簡易な方法で構いません。小数点1桁までご記入ください。(例：400g→0.4kg)

収集日	①袋の大きさ	②袋の数量	③量の目安	④重さ
1回目	<input type="checkbox"/> 1 大 <input type="checkbox"/> 2 中 <input type="checkbox"/> 3 小 <input type="checkbox"/> 4 特小	<input type="checkbox"/> 1 1袋 <input type="checkbox"/> 2 2袋 <input type="checkbox"/> 3 3袋 <input type="checkbox"/> 4 4袋以上	<input type="checkbox"/> 1 袋一杯 <input type="checkbox"/> 2 3/4 <input type="checkbox"/> 3 半分 <input type="checkbox"/> 4 1/3	. kg
2回目	<input type="checkbox"/> 1 大 <input type="checkbox"/> 2 中 <input type="checkbox"/> 3 小 <input type="checkbox"/> 4 特小	<input type="checkbox"/> 1 1袋 <input type="checkbox"/> 2 2袋 <input type="checkbox"/> 3 3袋 <input type="checkbox"/> 4 4袋以上	<input type="checkbox"/> 1 袋一杯 <input type="checkbox"/> 2 3/4 <input type="checkbox"/> 3 半分 <input type="checkbox"/> 4 1/3	. kg
3回目	<input type="checkbox"/> 1 大 <input type="checkbox"/> 2 中 <input type="checkbox"/> 3 小 <input type="checkbox"/> 4 特小	<input type="checkbox"/> 1 1袋 <input type="checkbox"/> 2 2袋 <input type="checkbox"/> 3 3袋 <input type="checkbox"/> 4 4袋以上	<input type="checkbox"/> 1 袋一杯 <input type="checkbox"/> 2 3/4 <input type="checkbox"/> 3 半分 <input type="checkbox"/> 4 1/3	. kg

4回目	<input type="checkbox"/> 1 大 <input type="checkbox"/> 2 中 <input type="checkbox"/> 3 小 <input type="checkbox"/> 4 特小	<input type="checkbox"/> 1 1袋 <input type="checkbox"/> 2 2袋 <input type="checkbox"/> 3 3袋 <input type="checkbox"/> 4 4袋以上	<input type="checkbox"/> 1 袋一杯 <input type="checkbox"/> 2 3/4 <input type="checkbox"/> 3 半分 <input type="checkbox"/> 4 1/3	. kg
5回目	<input type="checkbox"/> 1 大 <input type="checkbox"/> 2 中 <input type="checkbox"/> 3 小 <input type="checkbox"/> 4 特小	<input type="checkbox"/> 1 1袋 <input type="checkbox"/> 2 2袋 <input type="checkbox"/> 3 3袋 <input type="checkbox"/> 4 4袋以上	<input type="checkbox"/> 1 袋一杯 <input type="checkbox"/> 2 3/4 <input type="checkbox"/> 3 半分 <input type="checkbox"/> 4 1/3	. kg

問10 食品ロスについてお答えください。

食品ロスとは、手をつけずに捨てた食品や食べ残しのことをいい調理くずは除きます。あなたの排出実態について該当する番号1つにチェック☑をしてください。

1 週2回 2 週1回 3 月1～2回 4 ほとんどない

	合計	週2回	週1回	月1～2回	ほとんどない	無回答
合計	185	10	18	55	89	13
	100.0%	5.4%	9.7%	29.7%	48.1%	7.0%

問11 プラスチック製容器包装についてお答えください。

10月17日(木)から10月31日(木)までの期間において、あなたが排出した「①袋の大きさ」「②袋の数量」「③袋に入れた量の目安」の項目で該当する番号1つにチェック☑をしてください。「④重さ」の計量は、体重計を用いるなど簡易な方法で構いません。小数点1桁までご記入ください。(例：400g→0.4kg)

収集日	①袋の大きさ	②袋の数量	③量の目安	④重さ
1回目	<input type="checkbox"/> 1 大 <input type="checkbox"/> 2 中 <input type="checkbox"/> 3 小	<input type="checkbox"/> 1 1袋 <input type="checkbox"/> 2 2袋 <input type="checkbox"/> 3 3袋 <input type="checkbox"/> 4 4袋以上	<input type="checkbox"/> 1 袋一杯 <input type="checkbox"/> 2 3/4 <input type="checkbox"/> 3 半分 <input type="checkbox"/> 4 1/3	. kg
2回目	<input type="checkbox"/> 1 大 <input type="checkbox"/> 2 中 <input type="checkbox"/> 3 小	<input type="checkbox"/> 1 1袋 <input type="checkbox"/> 2 2袋 <input type="checkbox"/> 3 3袋 <input type="checkbox"/> 4 4袋以上	<input type="checkbox"/> 1 袋一杯 <input type="checkbox"/> 2 3/4 <input type="checkbox"/> 3 半分 <input type="checkbox"/> 4 1/3	. kg
3回目	<input type="checkbox"/> 1 大 <input type="checkbox"/> 2 中 <input type="checkbox"/> 3 小	<input type="checkbox"/> 1 1袋 <input type="checkbox"/> 2 2袋 <input type="checkbox"/> 3 3袋 <input type="checkbox"/> 4 4袋以上	<input type="checkbox"/> 1 袋一杯 <input type="checkbox"/> 2 3/4 <input type="checkbox"/> 3 半分 <input type="checkbox"/> 4 1/3	. kg

問12 分別状況についてお答えください。

プラスチック製容器包装の分別について該当する番号すべてにチェック☑をしてください。

1 分別がわかりづらい 2 分別することが面倒だ
3 汚れが取れない 4 その他 ()

	合計	分別がわかりづらい	分別することが面倒だ	汚れが取れない	その他
合計	185	55	27	101	27
	100.0%	30%	15%	55%	15%

問13 缶・びん・ペットボトル等についてお答えください。

①重さ ②量の目安をご記入ください。

収集日	①重さ	②量の目安
1回目	. kg	例) 缶10本、ペットボトル10本
2回目	. kg	
3回目	. kg	

問14 紙類についてお答えください。

紙類の出し方について該当する番号すべてにチェック☑をしてください。

- 1 月2回の紙類定期回収に出している ⇒ 問15へ
 2 子ども会などの集団資源回収に出している ⇒ 問16へ
 3 市民センターなどの資源回収庫に出している ⇒ 問16へ
 4 スーパー等の店頭回収に出している ⇒ 問16へ
 5 ちりがみ交換(古物商等)に出している ⇒ 問16へ
 6 分別せずに家庭ごみで出している ⇒ 問16へ

	合計	月2回の紙類定期回収に出している	子ども会などの集団資源回収に出している	市民センターなどの資源回収庫に出している	スーパー等の店頭回収に出している	ちりがみ交換(古物商等)に出している	分別せずに家庭ごみで出している
合計	185	76	67	2	66	7	8
	100.0%	41%	36%	1%	36%	4%	4%

問15 紙類定期回収についてお答えください。(問14で1と回答した方)

①重さ ②量の目安をご記入ください。

収集日	①重さ	②量の目安
1回目	. kg	例) 新聞2週間分、雑誌1束
2回目	. kg	

問 16 せんだ枝のリサイクル事業^{※2}についてお答えください。

該当する番号1つにチェック☑をしてください。

- 1 利用したことがある 2 制度は知っていたが利用したことがない
 3 制度を知らない 4 制度を知らなかったが機会があれば利用したい
 5 その他 ()

※2市では平成30年9～11月、令和元年5～7月、9～11月の期間、家庭の庭木をせんだして出た枝や幹を無料で戸別収集または自己搬入により、原料チップにリサイクルするモデル事業を行っています。原料チップは主に製紙メーカー等のボイラー燃料に活用されます。

	合計	利用したことがある	制度は知っていたが利用したことがない	制度を知らない	制度を知らなかったが機会があれば利用したい	その他	無回答
合計	185	9	51	85	24	6	10
	100.0%	4.9%	27.6%	45.9%	13.0%	3.2%	5.4%

問 17 ヨーグルト容器などの防水加工されている紙容器拠点回収^{※3}についてお答えください。

該当する番号1つにチェック☑をしてください。

- 1 利用したことがある 2 制度は知っていたが利用したことがない
 3 制度を知らない 4 制度を知らなかったが機会があれば利用したい
 5 その他 ()

※3紙として再生が困難な防水加工のためコーティングがされた紙容器について、平成30年9月から区役所や市民センターの資源回収庫に持ち込んでいただく拠点回収を行っています。回収した紙容器は、トイレトペーパーにリサイクルされます。

	合計	利用したことがある	制度は知っていたが利用したことがない	制度を知らない	制度を知らなかったが機会があれば利用したい	その他	無回答
合計	185	3	29	106	44	0	3
	100.0%	1.6%	15.7%	57.3%	23.8%	0.0%	1.6%

問 18 仙台市のごみ・資源物収集に関してご意見等がありましたら、自由にご記入ください。

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

第2章 市民アンケート

1. 実施概要

1.1 調査の概要

仙台市では、令和2年度に仙台市一般廃棄物処理基本計画の改定を行うこととしており、近年のごみの排出状況や市民の率直な意見・要望等を同計画の改定へ反映させていくため、アンケートによる調査を実施した。

平成26年度に前回調査を実施しており、一部集計結果においては前回調査との比較を行った。

1) 調査の目的

仙台市では、一般廃棄物処理に係る基本的な方向性を定める「仙台市一般廃棄物処理基本計画」を平成28年度に改定した。本調査では、5年ごとに行われる改定・見直しに向けた情報の収集を目的とし、ごみ・資源物の排出状況、ごみの減量・リサイクルにおける現状での課題及び市民の意向等を把握し、今後の仙台市のごみ処理事業を適正に行うための基礎資料を得るとともに、実態を把握・整理し、計画の精度を高めることを目指した。

2) 調査項目

「回答者の属性について」、「ごみと資源物の出し方などについて」、「ごみの減量・3Rの取り組み等について」、「食品ロス・生ごみについて」、「プラスチックについて」、「紙類について」、「更なるごみ減量・3Rの促進について」、「自由回答」の計8項目を調査した。

3) 調査対象および調査期間

調査対象、発送日、締切日、調査方法については以下の通り。

- ・ 調査対象：無作為に抽出された仙台市内の3,000世帯
- ・ 発送日：令和元年11月6日（水）
- ・ 締切日：令和元年11月29日（金）
- ・ 調査方法：郵送による発送、回収

1.2 回答率

3,000件の送付に対し、総回答数は1,302件で、回答率は43.4%だった。

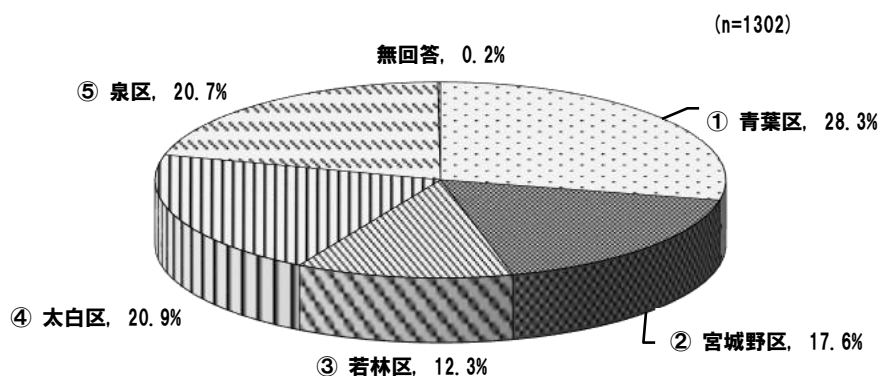
2. 調査結果

2.1 回答者の属性

2.1.1 居住区

「①青葉区」の割合が最も高く 28.3%となっている。次いで、「④太白区 (20.9%)」、「⑤泉区 (20.7%)」となっている。

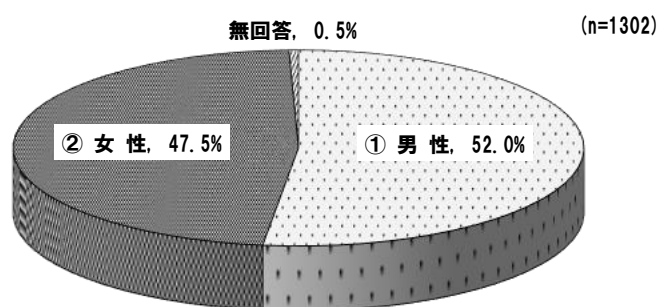
図表 48 居住区



2.1.2 性別

「①男性」の割合が 52.0%、「②女性」の割合が 47.5%となっている。

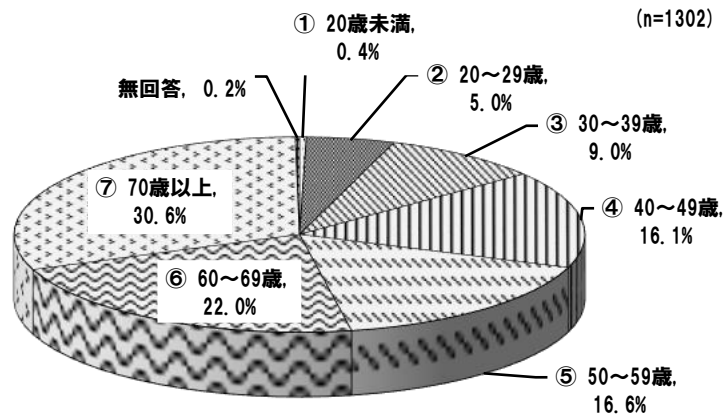
図表 49 性別



2.1.3 年齢

「⑦70歳以上」の割合が最も高く30.6%となっている。次いで、「⑥60～69歳（22.0%）」、「⑤50～59歳（16.6%）」となっている。

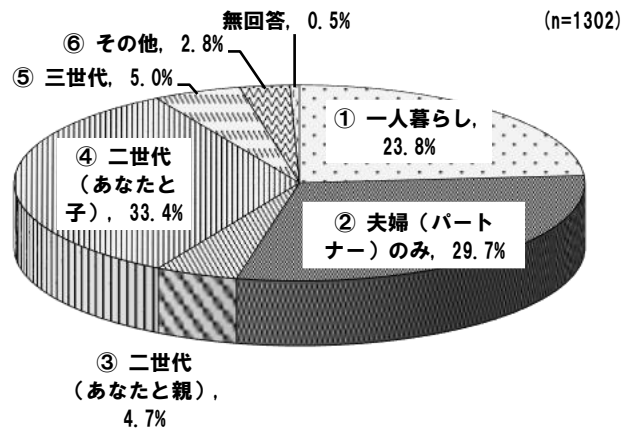
図表 50 年齢



2.1.4 世帯構成

「④二世帯（あなたと子）」の割合が最も高く33.4%となっている。次いで、「②夫婦（パートナー）のみ（29.7%）」、「①一人暮らし（23.8%）」となっている。

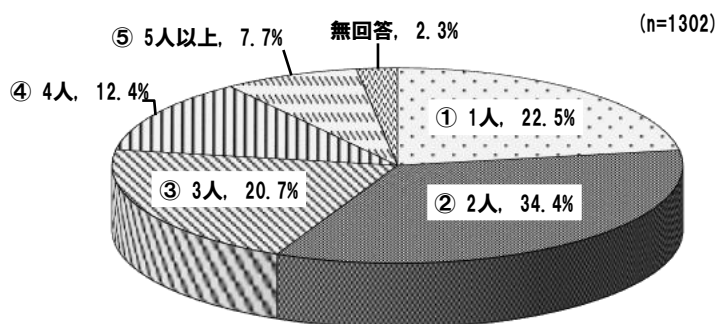
図表 51 世帯構成



2.1.5 家族等同居人数（回答者を含む）

「②2人」の割合が最も高く 34.4%となっている。次いで、「①1人（22.5%）」、「③3人（20.7%）」となっている。

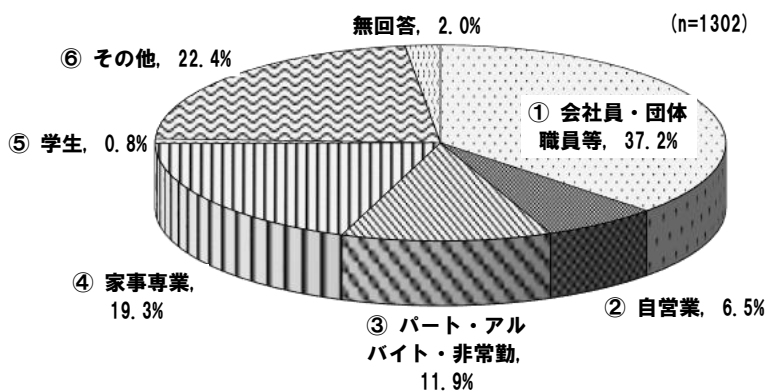
図表 52 家族等同居人数（回答者を含む）



2.1.6 職業

「①会社員・団体職員等」の割合が最も高く 37.2%となっている。次いで、「⑥その他（22.4%）」、「④家事専業（19.3%）」となっている。

図表 53 職業

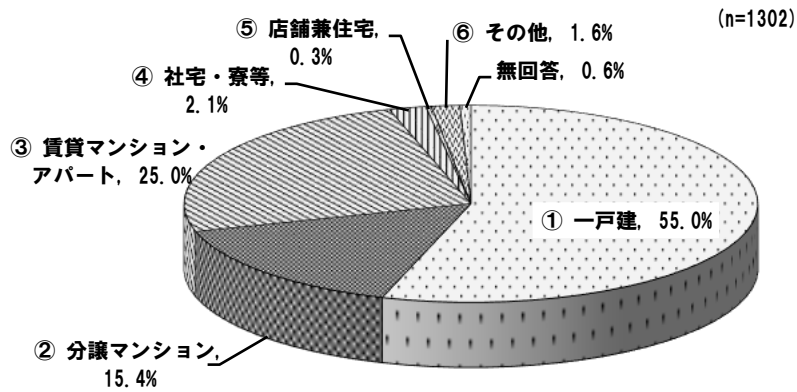


「⑥その他」の内訳		
内訳	件数	割合
無職・年金受給者	186	63.9%
公務員	9	3.1%
主婦	6	2.1%
会社役員	5	1.7%
不動産収入	3	1.0%
生活保護	2	0.7%
その他	18	6.2%
無回答	62	21.3%
合計	291	100.0%

2.1.7 居住形態

「①一戸建」の割合が最も高く 55.0%となっている。次いで、「③賃貸マンション・アパート (25.0%)」、「②分譲マンション (15.4%)」となっている。

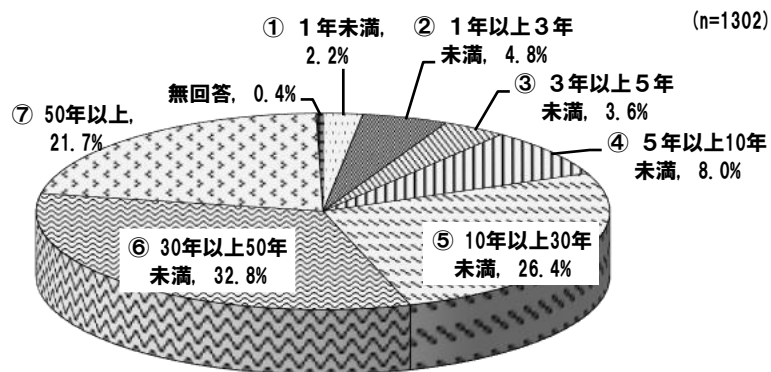
図表 54 居住形態



2.1.8 仙台市内での通算居住年数

「⑥30年以上50年未満」の割合が最も高く 32.8%となっている。次いで、「⑤10年以上30年未満 (26.4%)」、「⑦50年以上 (21.7%)」となっている。

図表 55 仙台市内での通算居住年数

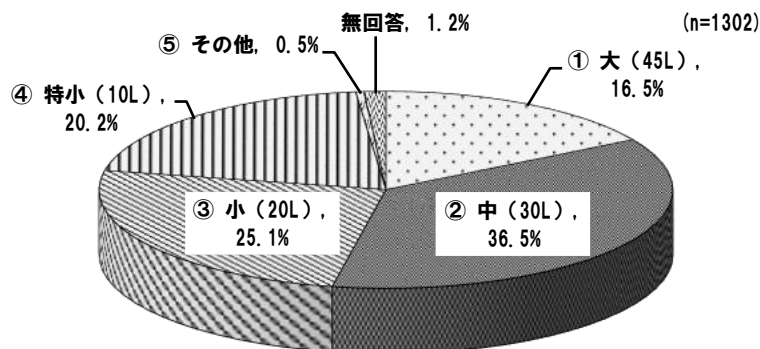


2.2 ごみと資源物の出し方などについて

2.2.1 家庭ごみ（緑の指定袋）を出すときの袋の大きさ

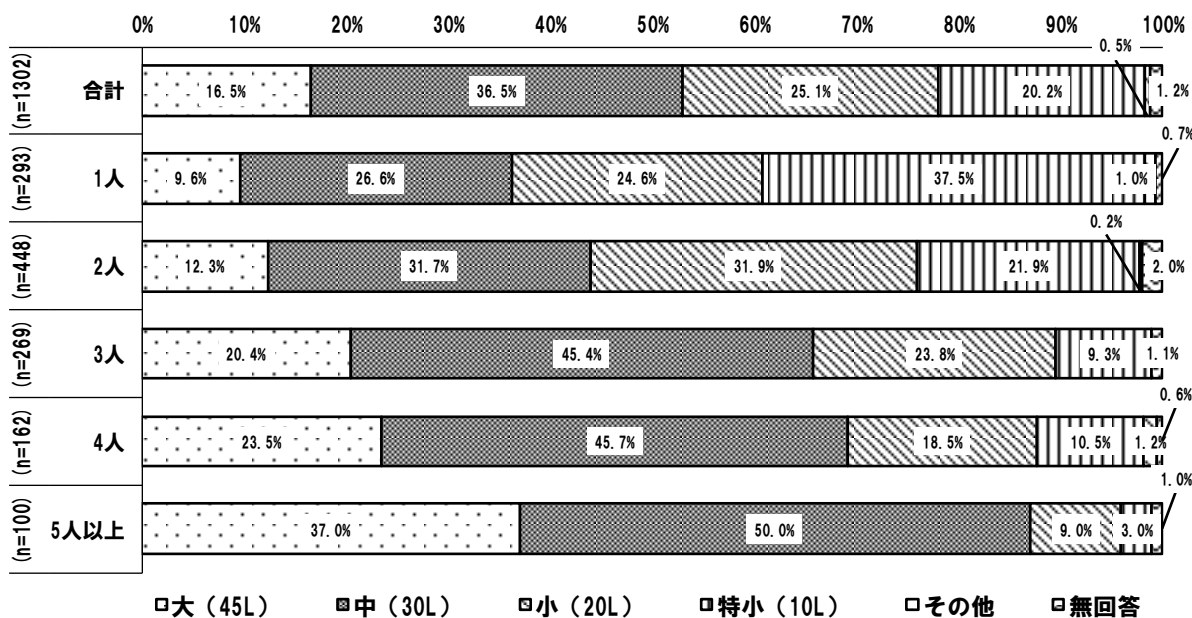
「②中（30L）」の割合が最も高く 36.5%となっている。次いで、「③小（20L）（25.1%）」、「④特小（10L）（20.2%）」となっている。

図表 56 家庭ごみ（緑の指定袋）を出すときの袋の大きさ



同居人数別に見ると、「大（45L）」の割合は「1人」では9.6%と最も低く、同居人数が多いほどその割合が高い傾向にある。「中（30L）」の使用も同様の傾向を示している。「特小（10L）」の使用は、「1人」では37.5%と最も多く、同居人数が多いほどその割合が低い傾向にある。

図表 57 家庭ごみ（緑の指定袋）を出すときの袋の大きさ（同居人数）

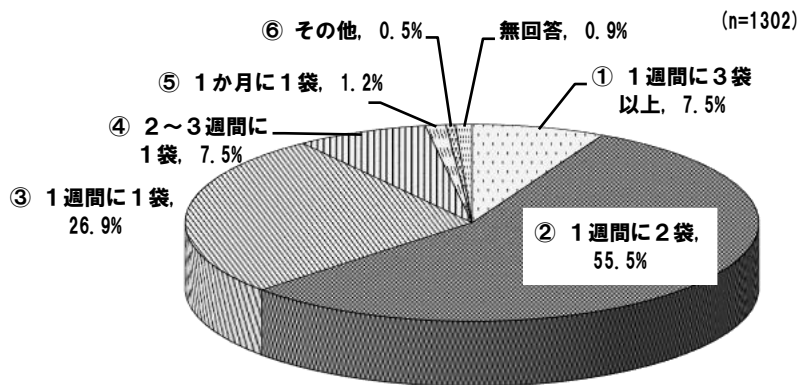


	合計	大 (45L)	中 (30L)	小 (20L)	特小 (10L)	その他	無回答
合計	1,302	215	475	327	263	6	16
	100.0%	16.5%	36.5%	25.1%	20.2%	0.5%	1.2%
1人	293	28	78	72	110	3	2
	100.0%	9.6%	26.6%	24.6%	37.5%	1.0%	0.7%
2人	448	55	142	143	98	1	9
	100.0%	12.3%	31.7%	31.9%	21.9%	0.2%	2.0%
3人	269	55	122	64	25	0	3
	100.0%	20.4%	45.4%	23.8%	9.3%	0.0%	1.1%
4人	162	38	74	30	17	2	1
	100.0%	23.5%	45.7%	18.5%	10.5%	1.2%	0.6%
5人以上	100	37	50	9	3	0	1
	100.0%	37.0%	50.0%	9.0%	3.0%	0.0%	1.0%

2.2.2 家庭ごみの排出量

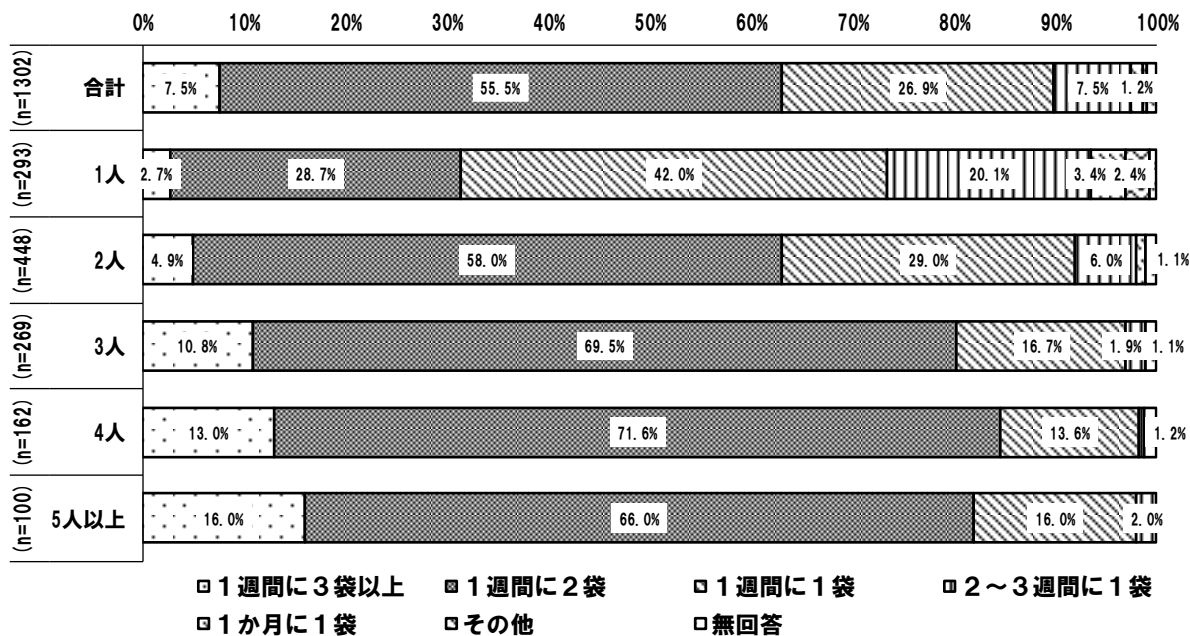
「②1週間に2袋」の割合が最も高く55.5%となっている。次いで、「③1週間に1袋(26.9%)」、「①1週間に3袋以上(7.5%)」、「④2～3週間に1袋(7.5%)」、「⑤1か月に1袋(1.2%)」、「⑥その他(0.5%)」、「無回答(0.9%)」となっている。

図表 58 家庭ごみの排出量



同居人数別に見ると、「1週間に1袋」は「1人」では42.0%と最も高いが、同居人数が多いほどその割合は低い傾向にある。一方で、「1週間に2袋」は「1人」では28.7%となっているが、2人以上の割合では過半数を占めている。

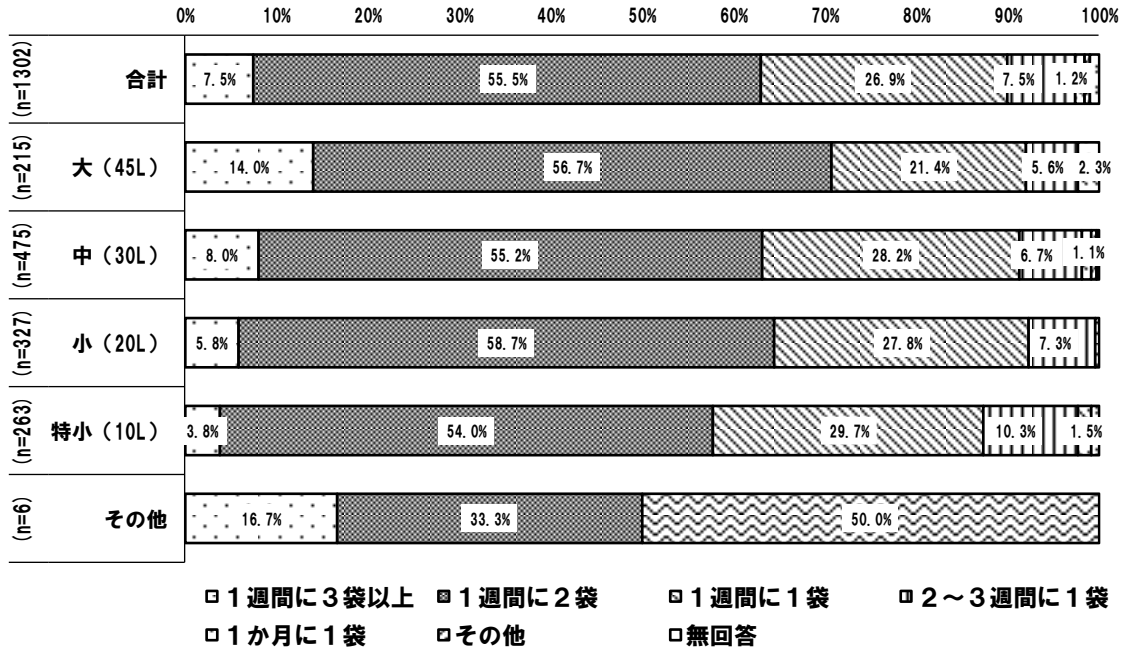
図表 59 家庭ごみの排出量（同居人数）



	合計	1週間に3袋以上	1週間に2袋	1週間に1袋	2~3週間に1袋	1か月に1袋	その他	無回答
合計	1,302	98	723	350	97	15	7	12
	100.0%	7.5%	55.5%	26.9%	7.5%	1.2%	0.5%	0.9%
1人	293	8	84	123	59	10	7	2
	100.0%	2.7%	28.7%	42.0%	20.1%	3.4%	2.4%	0.7%
2人	448	22	260	130	27	4	0	5
	100.0%	4.9%	58.0%	29.0%	6.0%	0.9%	0.0%	1.1%
3人	269	29	187	45	5	0	0	3
	100.0%	10.8%	69.5%	16.7%	1.9%	0.0%	0.0%	1.1%
4人	162	21	116	22	1	0	0	2
	100.0%	13.0%	71.6%	13.6%	0.6%	0.0%	0.0%	1.2%
5人以上	100	16	66	16	2	0	0	0
	100.0%	16.0%	66.0%	16.0%	2.0%	0.0%	0.0%	0.0%

家庭ごみ袋のサイズ別に見ると、「1週間に3袋以上」は「大(45L)」では14.0%と最も高く、サイズが小さくなるにつれてその割合は低い傾向にある。一方で、「2～3週間に1袋」は「特小(10L)」では10.3%と最も高く、サイズが大きいほどその割合は低い傾向にある。

図表 60 家庭ごみの排出量 (袋の大きさ)



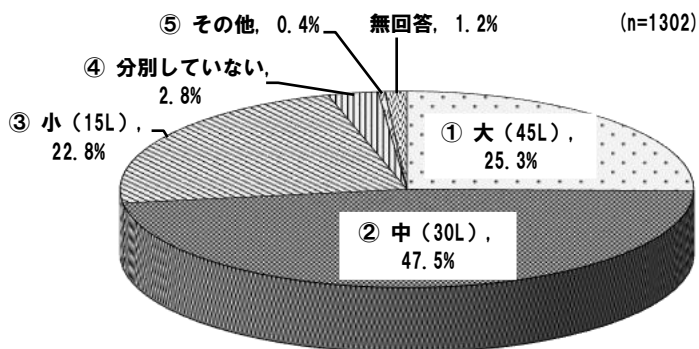
	合計	1週間に3袋以上	1週間に2袋	1週間に1袋	2～3週間に1袋	1か月に1袋	その他	無回答
合計	1,302	98	723	350	97	15	7	12
	100.0%	7.5%	55.5%	26.9%	7.5%	1.2%	0.5%	0.9%
大 (45L)	215	30	122	46	12	5	0	0
	100.0%	14.0%	56.7%	21.4%	5.6%	2.3%	0.0%	0.0%
中 (30L)	475	38	262	134	32	5	3	1
	100.0%	8.0%	55.2%	28.2%	6.7%	1.1%	0.6%	0.2%
小 (20L)	327	19	192	91	24	0	1	0
	100.0%	5.8%	58.7%	27.8%	7.3%	0.0%	0.3%	0.0%
特小 (10L)	263	10	142	78	27	4	0	2
	100.0%	3.8%	54.0%	29.7%	10.3%	1.5%	0.0%	0.8%
その他	6	1	2	0	0	0	3	0
	100.0%	16.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%

2.2.3 プラスチック製容器包装（赤の指定袋）を出すときの袋の大きさ

「②中（30L）」の割合が最も高く47.5%となっている。次いで、「①大（45L）（25.3%）」、「③小（15L）（22.8%）」となっている。

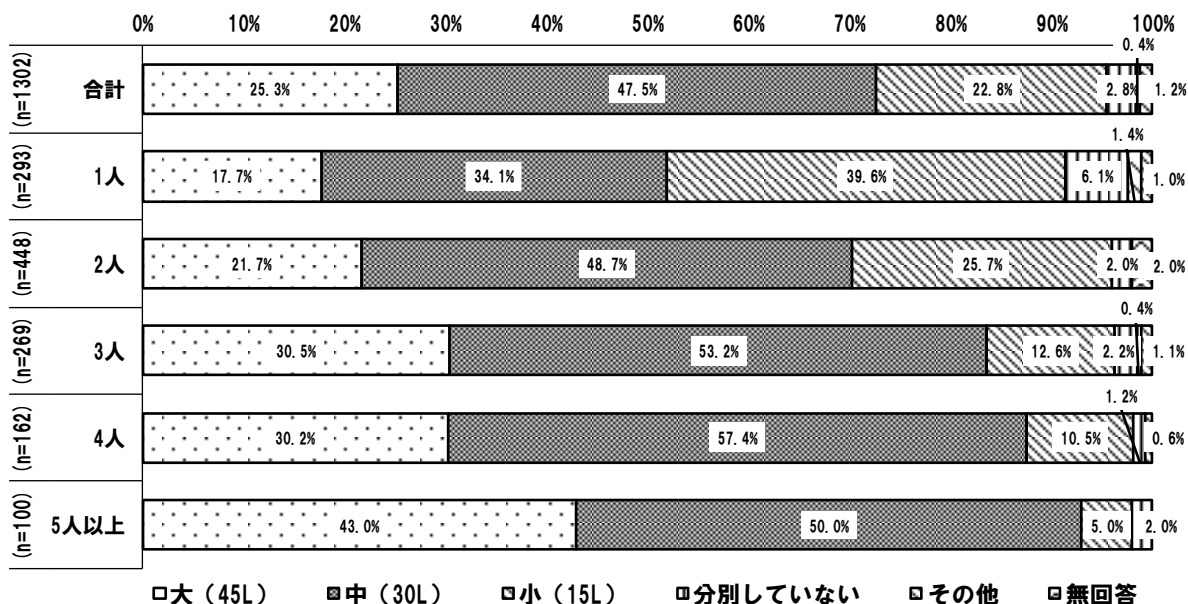
「④分別していない」は2.8%（37件）であった。

図表 61 プラスチック製容器包装を出すときの袋の大きさ



同居人数別に見ると、「大（45L）」の割合は「1人」では17.7%と最も少なく、同居人数が多いほどその割合が高い傾向にある。「小（15L）」の使用は、「1人」では39.6%と最も多く、同居人数が多いほどその割合が低い傾向にある。

図表 62 プラスチック製容器包装を出すときの袋の大きさ（同居人数）

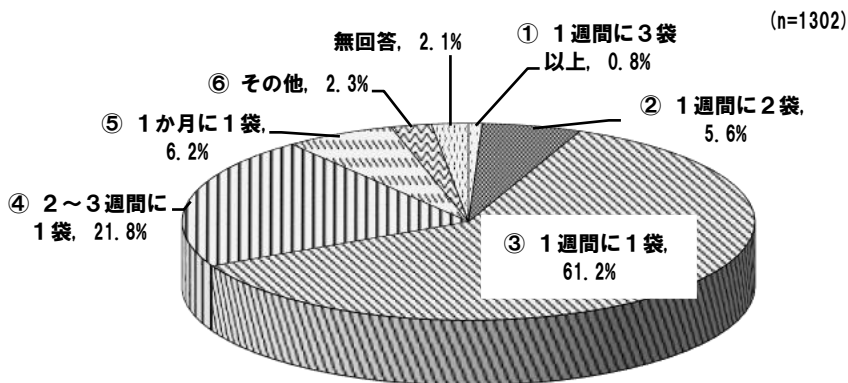


	合計	大 (45L)	中 (30L)	小 (15L)	分別していない	その他	無回答
合計	1,302	329	618	297	37	5	16
	100.0%	25.3%	47.5%	22.8%	2.8%	0.4%	1.2%
1人	293	52	100	116	18	4	3
	100.0%	17.7%	34.1%	39.6%	6.1%	1.4%	1.0%
2人	448	97	218	115	9	0	9
	100.0%	21.7%	48.7%	25.7%	2.0%	0.0%	2.0%
3人	269	82	143	34	6	1	3
	100.0%	30.5%	53.2%	12.6%	2.2%	0.4%	1.1%
4人	162	49	93	17	2	0	1
	100.0%	30.2%	57.4%	10.5%	1.2%	0.0%	0.6%
5人以上	100	43	50	5	2	0	0
	100.0%	43.0%	50.0%	5.0%	2.0%	0.0%	0.0%

2.2.4 プラスチック製容器包装の排出量

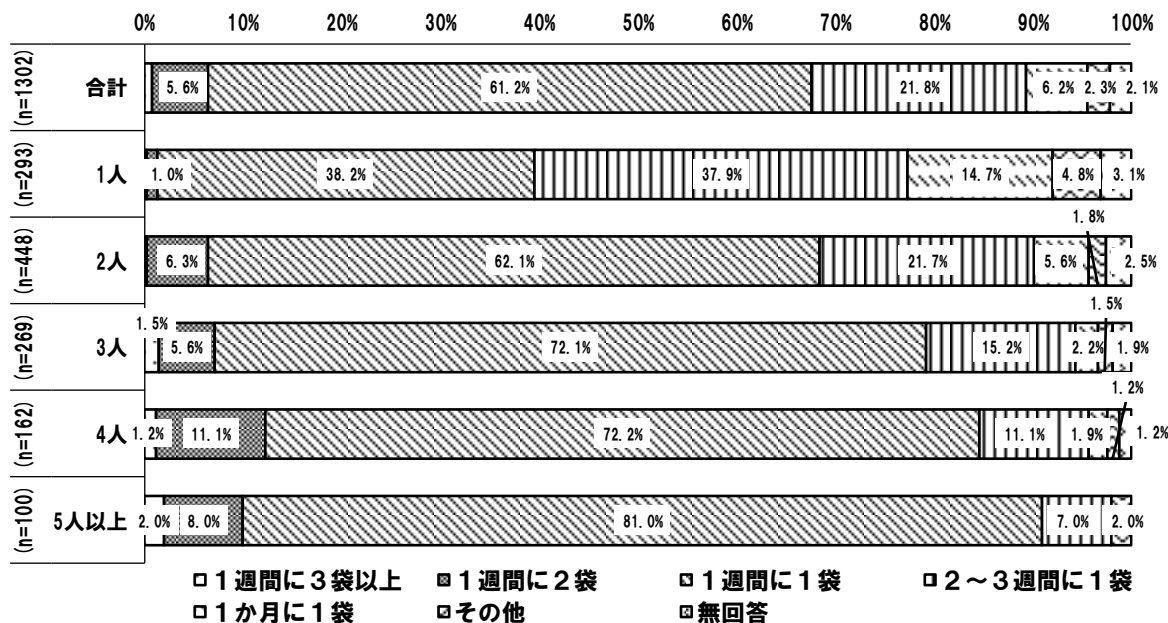
「③1週間に1袋」の割合が最も高く61.2%となっている。次いで、「④2～3週間に1袋(21.8%)」、「⑤1か月に1袋(6.2%)」となっている。

図表 63 プラスチック製容器包装の排出量



同居人数別に見ると、「2～3週間に1袋」は「1人」では37.9%と最も高く、同居人数が多いほどその割合は低い傾向にある。一方で、「1週間に1袋」は「1人」では38.2%となっており、同居人数が多いほどその割合は高くなり、2人以上では過半数を占めている。

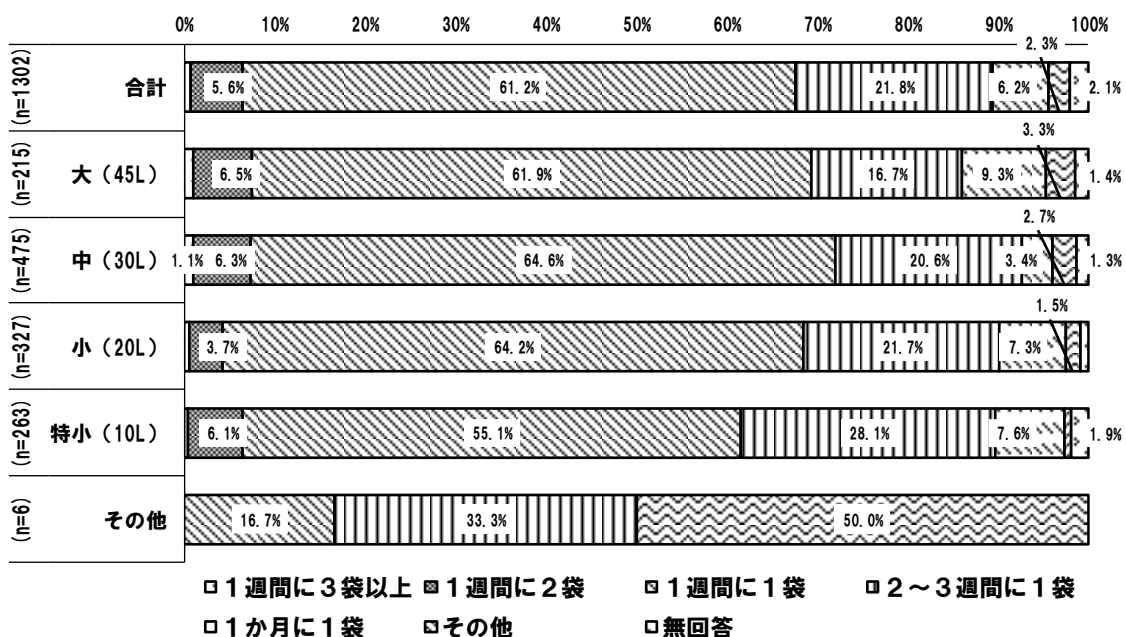
図表 64 プラスチック製容器包装の排出量 (同居人数)



	合計	1週間に3袋以上	1週間に2袋	1週間に1袋	2～3週間に1袋	1か月に1袋	その他	無回答
合計	1,302	10	73	797	284	81	30	27
	100.0%	0.8%	5.6%	61.2%	21.8%	6.2%	2.3%	2.1%
1人	293	1	3	112	111	43	14	9
	100.0%	0.3%	1.0%	38.2%	37.9%	14.7%	4.8%	3.1%
2人	448	1	28	278	97	25	8	11
	100.0%	0.2%	6.3%	62.1%	21.7%	5.6%	1.8%	2.5%
3人	269	4	15	194	41	6	4	5
	100.0%	1.5%	5.6%	72.1%	15.2%	2.2%	1.5%	1.9%
4人	162	2	18	117	18	3	2	2
	100.0%	1.2%	11.1%	72.2%	11.1%	1.9%	1.2%	1.2%
5人以上	100	2	8	81	7	0	2	0
	100.0%	2.0%	8.0%	81.0%	7.0%	0.0%	2.0%	0.0%

プラスチック製容器包装袋のサイズ別に見ると、「2～3週間に1袋」は「特小（10L）」では28.1%と最も高く、サイズが大きいほどその割合は低い傾向にある。

図表 65 プラスチック製容器包装の排出量（袋の大きさ）



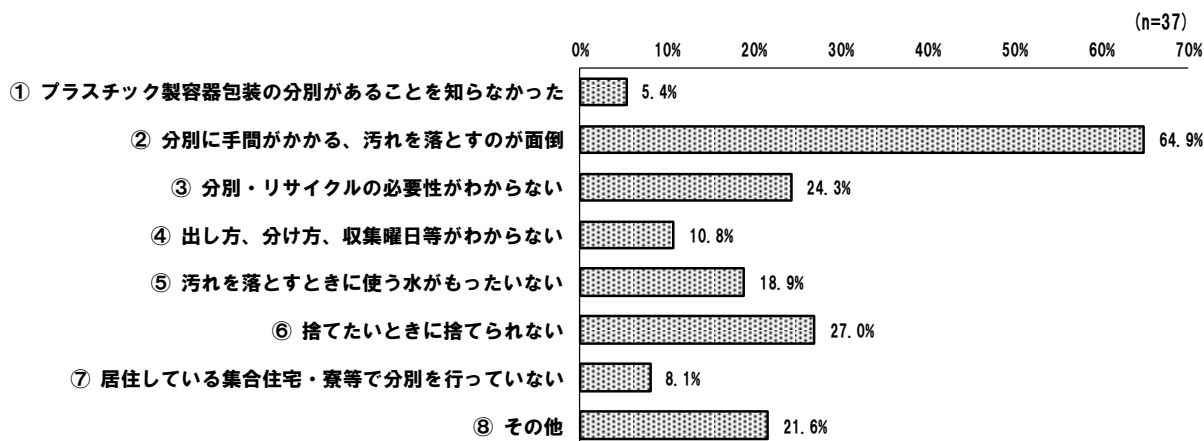
	合計	1週間に3袋以上	1週間に2袋	1週間に1袋	2～3週間に1袋	1か月に1袋	その他	無回答
合計	1,302	10	73	797	284	81	30	27
	100.0%	0.8%	5.6%	61.2%	21.8%	6.2%	2.3%	2.1%
大 (45L)	215	2	14	133	36	20	7	3
	100.0%	0.9%	6.5%	61.9%	16.7%	9.3%	3.3%	1.4%
中 (30L)	475	5	30	307	98	16	13	6
	100.0%	1.1%	6.3%	64.6%	20.6%	3.4%	2.7%	1.3%
小 (20L)	327	2	12	210	71	24	5	3
	100.0%	0.6%	3.7%	64.2%	21.7%	7.3%	1.5%	0.9%
特小 (10L)	263	1	16	145	74	20	2	5
	100.0%	0.4%	6.1%	55.1%	28.1%	7.6%	0.8%	1.9%
その他	6	0	0	1	2	0	3	0
	100.0%	0.0%	0.0%	16.7%	33.3%	0.0%	50.0%	0.0%

2.2.5 プラスチック製容器包装を分別していない理由

プラスチック容器包装を「分別していない」と回答した37件を対象にその理由を把握した。

「②分別に手間がかかる、汚れを落とすのが面倒」の割合が最も高く64.9%となっている。次いで、「⑥捨てたいときに捨てられない(27.0%)」、「③分別・リサイクルの必要性がわからない(24.3%)」となっている。

図表 66 プラスチック製容器包装を分別していない理由 ※該当するものすべてを回答

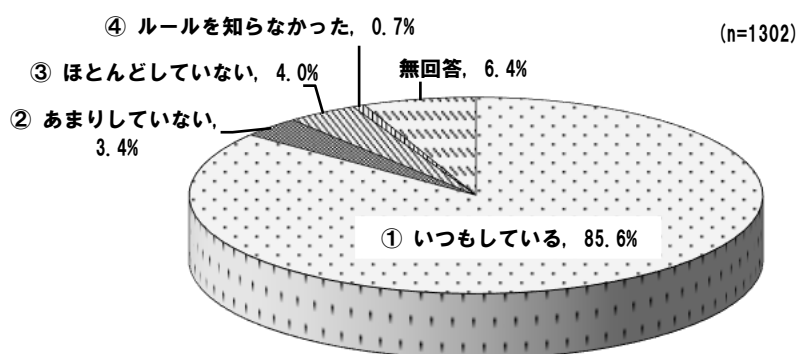


2.2.6 缶・びん・ペットボトルなどを出すときのルール

1) びん・ペットボトルのフタを外す排出行動の実施状況

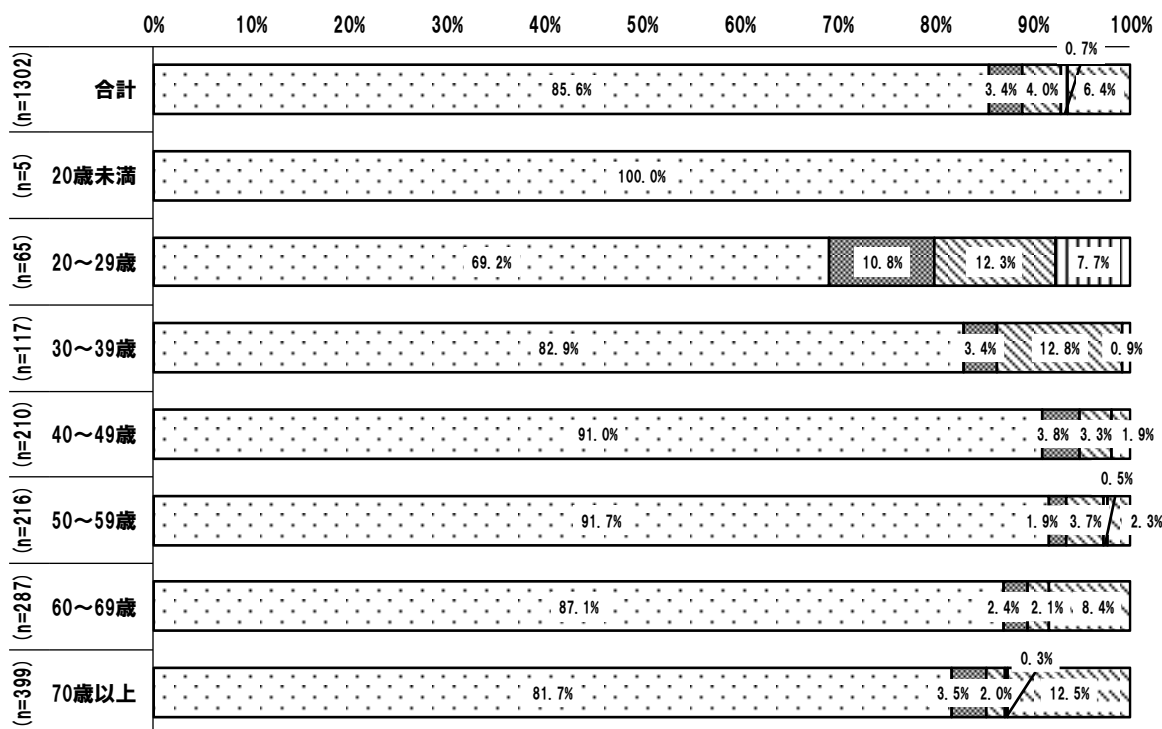
「①いつもしている」の割合が最も高く85.6%となっている。次いで、「③ほとんどしていない(4.0%)」となっている。

図表 67 びん・ペットボトルのフタを外す排出行動の実施状況



年齢別に見ると、「20～29歳」の「いつもしている」の割合が69.2%と最も低く、30歳以上になると「いつもしている」の割合が高い傾向にある。

図表 68 びん・ペットボトルのフタを外す排出行動の実施状況（年齢）

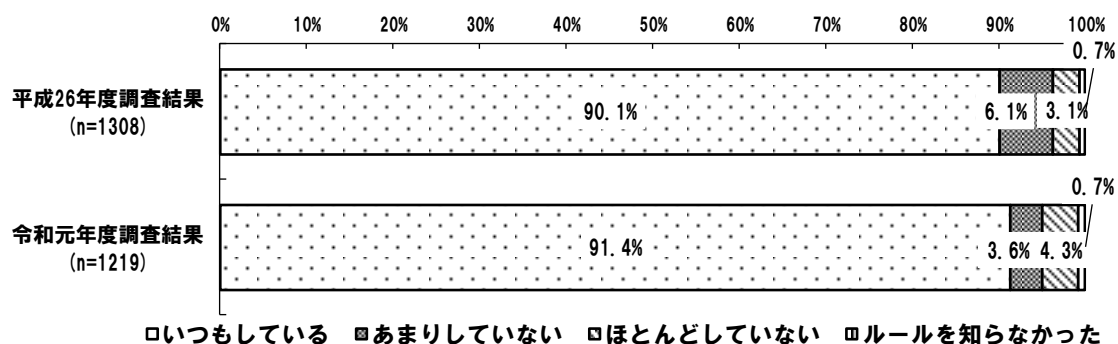


□いつもしている □あまりしていない □ほとんどしていない □ルールを知らなかった □無回答

	合計	いつもしている	あまりしていない	ほとんどしていない	ルールを知らなかった	無回答
合計	1,302	1114	44	52	9	83
	100.0%	85.6%	3.4%	4.0%	0.7%	6.4%
20歳未満	5	5	0	0	0	0
	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
20～29歳	65	45	7	8	5	0
	100.0%	69.2%	10.8%	12.3%	7.7%	0.0%
30～39歳	117	97	4	15	1	0
	100.0%	82.9%	3.4%	12.8%	0.9%	0.0%
40～49歳	210	191	8	7	0	4
	100.0%	91.0%	3.8%	3.3%	0.0%	1.9%
50～59歳	216	198	4	8	1	5
	100.0%	91.7%	1.9%	3.7%	0.5%	2.3%
60～69歳	287	250	7	6	0	24
	100.0%	87.1%	2.4%	2.1%	0.0%	8.4%
70歳以上	399	326	14	8	1	50
	100.0%	81.7%	3.5%	2.0%	0.3%	12.5%

平成26年度調査及び令和元年度調査結果ともに「いつもしている」が90%を超えており、缶・びんのふたを外すことは高い認知度を維持し続けている。

図表 69 平成26年度調査結果との比較

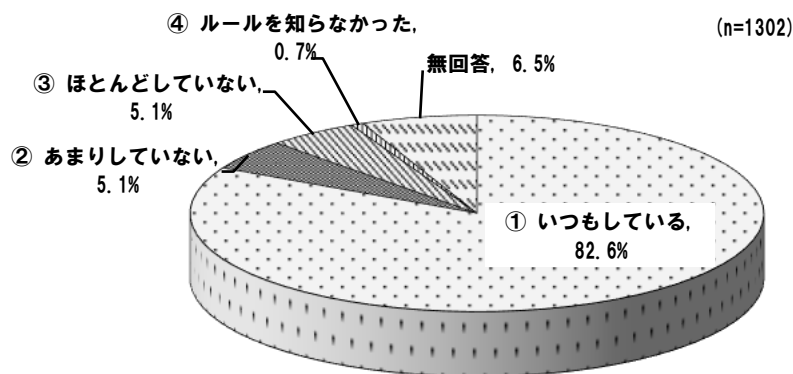


※無回答を除いて集計

2) ペットボトルのラベルを外す排出行動の実施状況

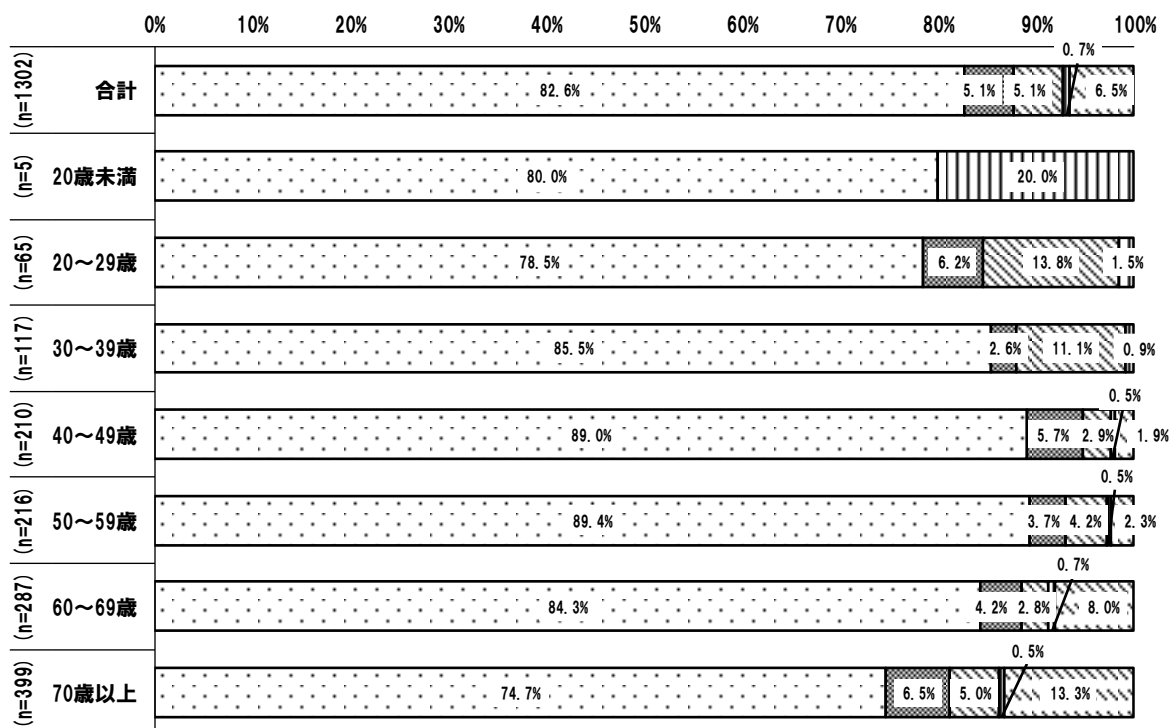
「①いつもしている」の割合が最も高く 82.6%となっている。次いで、「②あまりしていない (5.1%)」、「③ほとんどしていない (5.1%)」となっている。

図表 70 ペットボトルのラベルを外す排出行動の実施状況



年齢別に見ると、「いつもしている」の割合は、50歳代までは年齢が高いほど増加する傾向にあるが、60歳代以降からは減少傾向に転じている。

図表 71 ペットボトルのラベルを外す排出行動の実施状況（年齢）

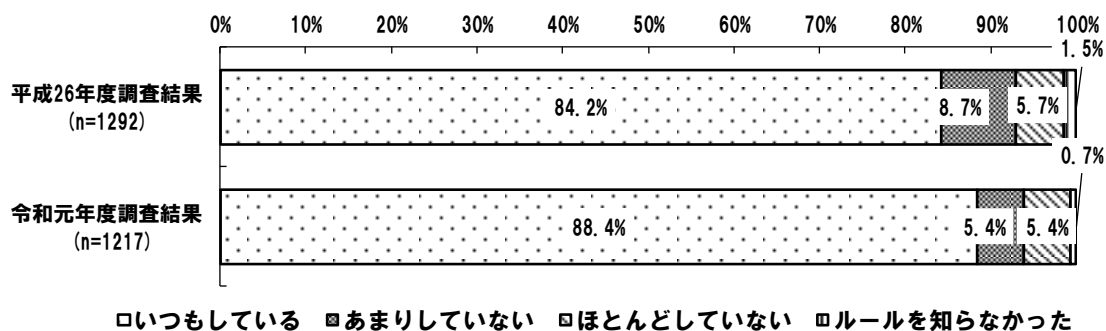


□いつもしている □あまりしていない □ほとんどしていない □ルールを知らなかった □無回答

Q1.3 年齢		合計	いつもしている	あまりしていない	ほとんどしていない	ルールを知らなかった	無回答
Q1.3 年齢	合計	1302	1076	66	66	9	85
		100.0%	82.6%	5.1%	5.1%	0.7%	6.5%
	20歳未満	5	4	0	0	1	0
		100.0%	80.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%
	20～29歳	65	51	4	9	1	0
		100.0%	78.5%	6.2%	13.8%	1.5%	0.0%
	30～39歳	117	100	3	13	1	0
		100.0%	85.5%	2.6%	11.1%	0.9%	0.0%
	40～49歳	210	187	12	6	1	4
	100.0%	89.0%	5.7%	2.9%	0.5%	1.9%	
50～59歳	216	193	8	9	1	5	
	100.0%	89.4%	3.7%	4.2%	0.5%	2.3%	
60～69歳	287	242	12	8	2	23	
	100.0%	84.3%	4.2%	2.8%	0.7%	8.0%	
70歳以上	399	298	26	20	2	53	
	100.0%	74.7%	6.5%	5.0%	0.5%	13.3%	

平成 26 年度調査及び令和元年度の調査結果ともに「いつもしている」が 80%を超えており、ペットボトルのラベルを外すことは高い認知度を維持し続けている。

図表 72 平成 26 年度調査結果との比較

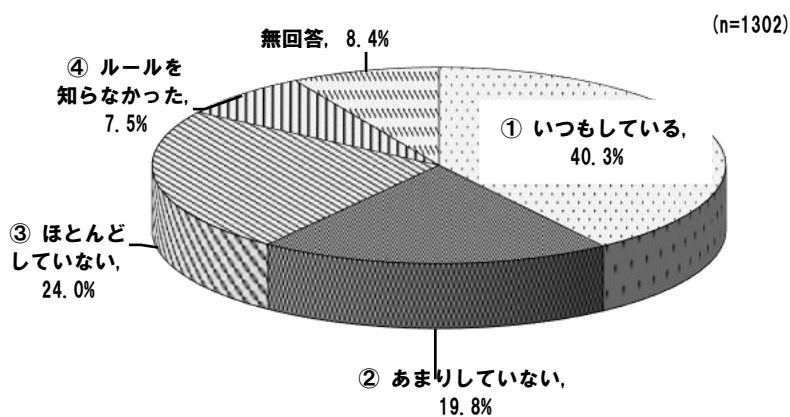


※無回答を除いて集計

3) ペットボトルをつぶす排出行動の実施状況

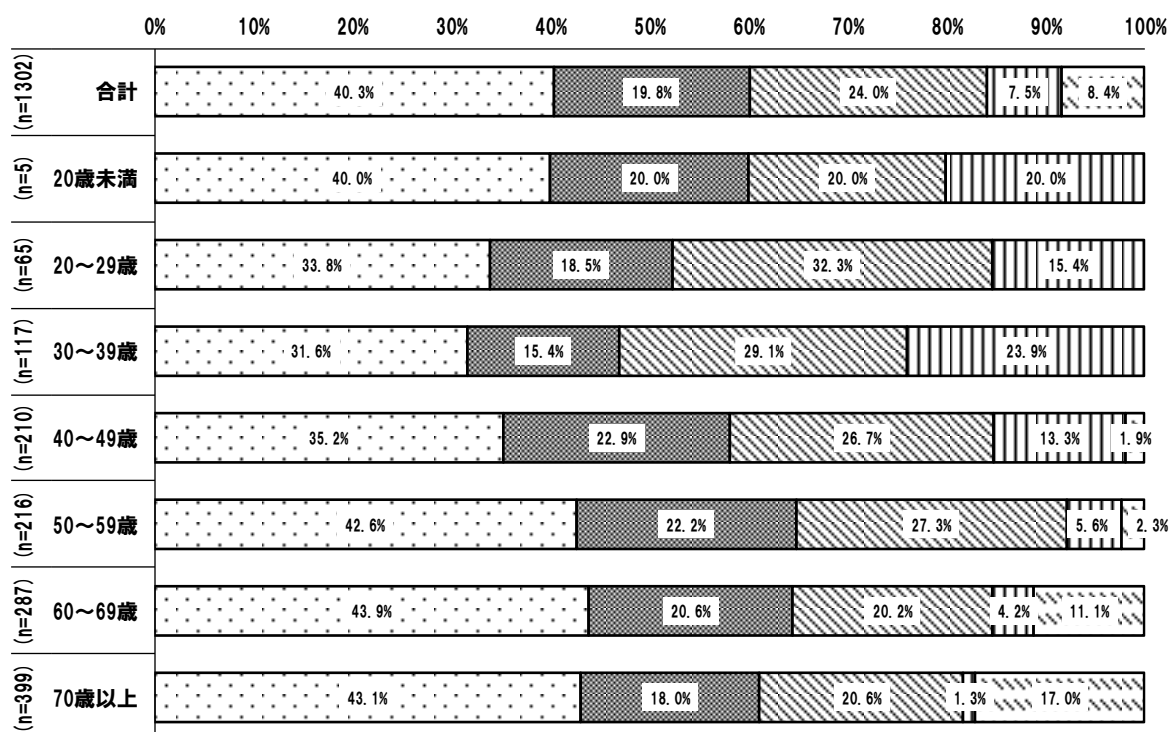
「①いつもしている」の割合が最も高く 40.3%となっている。次いで、「③ほとんどしていない (24.0%)」、「②あまりしていない (19.8%)」となっている。

図表 73 ペットボトルをつぶす排出行動の実施状況



年齢別に見ると、年齢が高いほど「いつもしている」の割合が高い傾向にある。また、30歳代以降については、年齢が高いほど「ルールを知らなかった」の割合が低い傾向にある。

図表 74 ペットボトルをつぶす排出行動の実施状況（年齢）

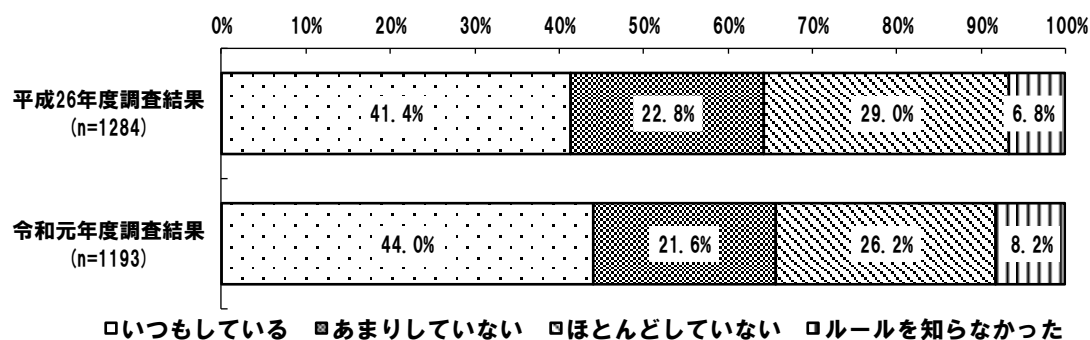


□いつもしている □あまりしていない □ほとんどしていない □ルールを知らなかった □無回答

	合計	いつもしている	あまりしていない	ほとんどしていない	ルールを知らなかった	無回答
合計	1,302	525	258	312	98	109
	100.0%	40.3%	19.8%	24.0%	7.5%	8.4%
20歳未満	5	2	1	1	1	0
	100.0%	40.0%	20.0%	20.0%	20.0%	0.0%
20～29歳	65	22	12	21	10	0
	100.0%	33.8%	18.5%	32.3%	15.4%	0.0%
30～39歳	117	37	18	34	28	0
	100.0%	31.6%	15.4%	29.1%	23.9%	0.0%
40～49歳	210	74	48	56	28	4
	100.0%	35.2%	22.9%	26.7%	13.3%	1.9%
50～59歳	216	92	48	59	12	5
	100.0%	42.6%	22.2%	27.3%	5.6%	2.3%
60～69歳	287	126	59	58	12	32
	100.0%	43.9%	20.6%	20.2%	4.2%	11.1%
70歳以上	399	172	72	82	5	68
	100.0%	43.1%	18.0%	20.6%	1.3%	17.0%

平成26年度調査の「いつもしている」の割合は41.4%、令和元年度調査の「いつもしている」の割合は44.0%であり、ペットボトルをつぶす市民の割合は増加しているが、びん・ペットボトルのフタを外すことやペットボトルのラベルを外すことの認知度に比べて、ペットボトルをつぶすことの認知度は低い。

図表 75 平成26年度調査結果との比較

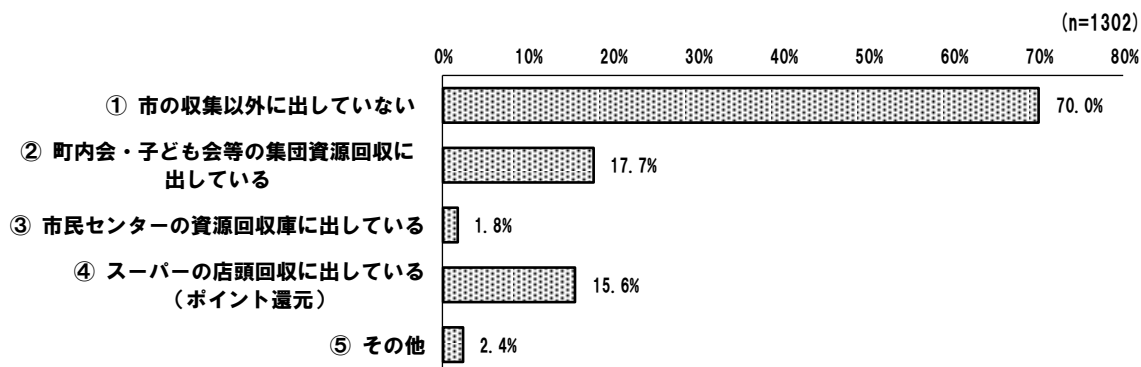


※無回答を除いて集計

2.2.7 缶・びん・ペットボトルなどの市の収集以外の排出ルート

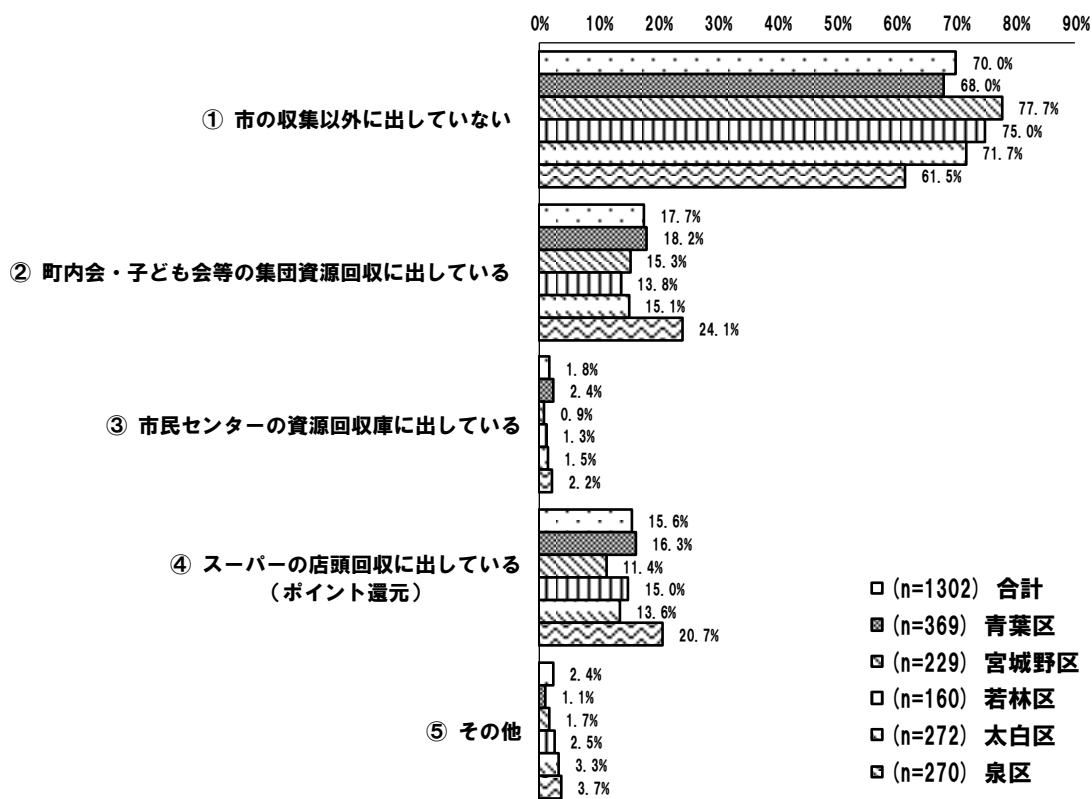
「①市の収集以外に出していない」の割合が最も高く70.0%となっている。次いで、「②町内会・子ども会等の集団資源回収に出している（17.7%）」、「④スーパーの店頭回収に出している（ポイント還元）（15.6%）」となっている。

図表 76 缶・びん・ペットボトルなどの市の収集以外の排出ルート ※該当するものすべてを回答



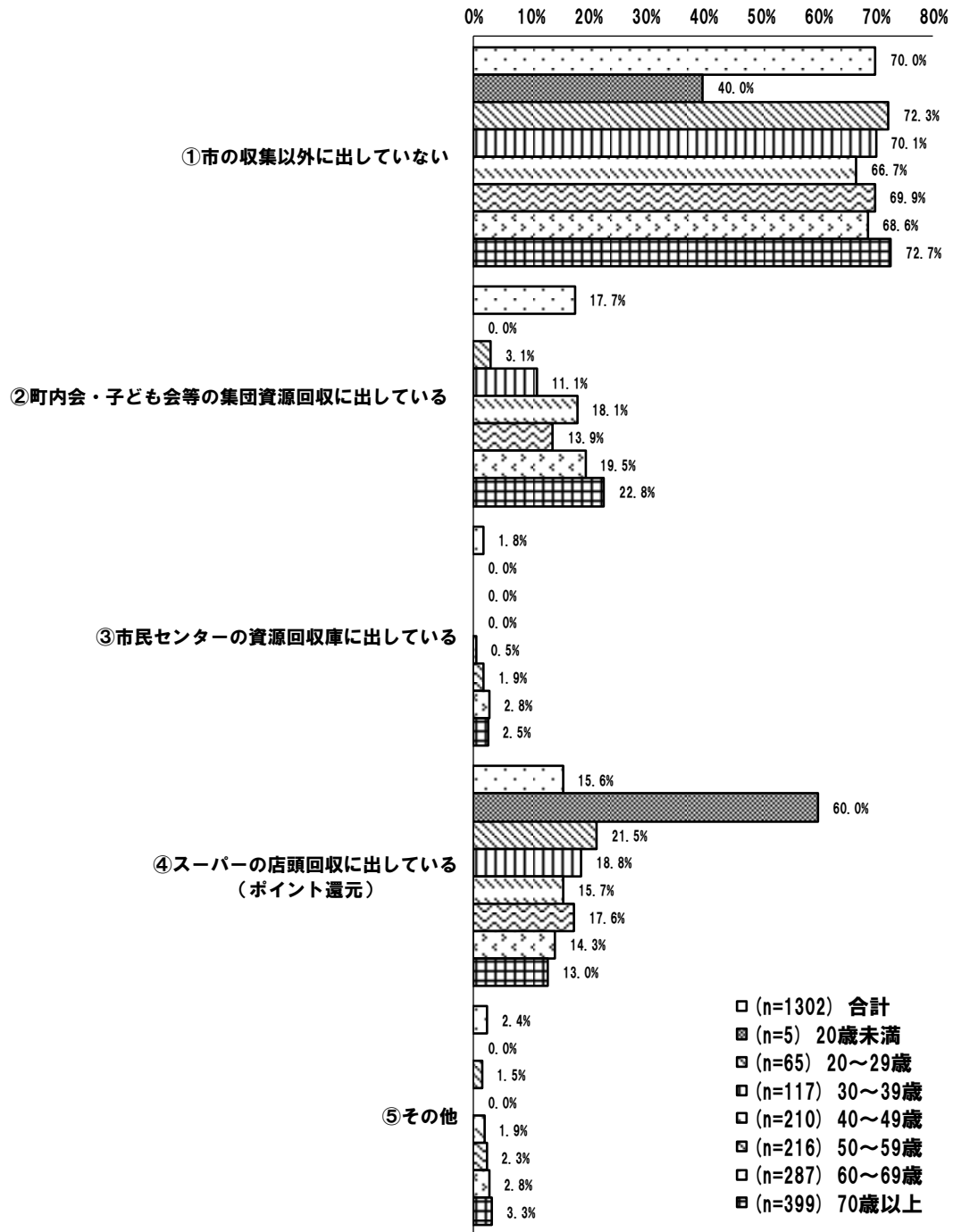
居住区別に見ると、「宮城野区」における「①市の収集以外に出していない (77.7%)」、「泉区」における「②町内会・子ども会等の集団資源回収に出している (24.1%)」、「泉区」における「④スーパーの店頭回収に出している (ポイント還元) (20.7%)」等で、全体の傾向よりも割合が高くなっている。

図表 77 缶・びん・ペットボトルなどの市の収集以外の排出ルート (居住区)



年齢別に見ると、「④スーパーの店頭回収に出している（ポイント還元）」の割合は、年齢が高いほど低い傾向にある。「②町内会・子ども会等の集団資源回収に出している」の割合は、年齢が高いほど高い傾向にある。

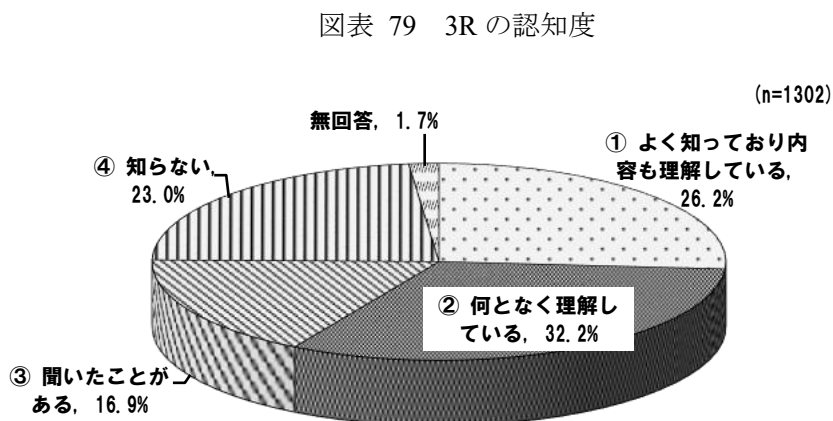
図表 78 缶・びん・ペットボトルなどの市の収集以外の排出ルート（年齢）



2.3 ごみの減量・3Rの取り組み等について

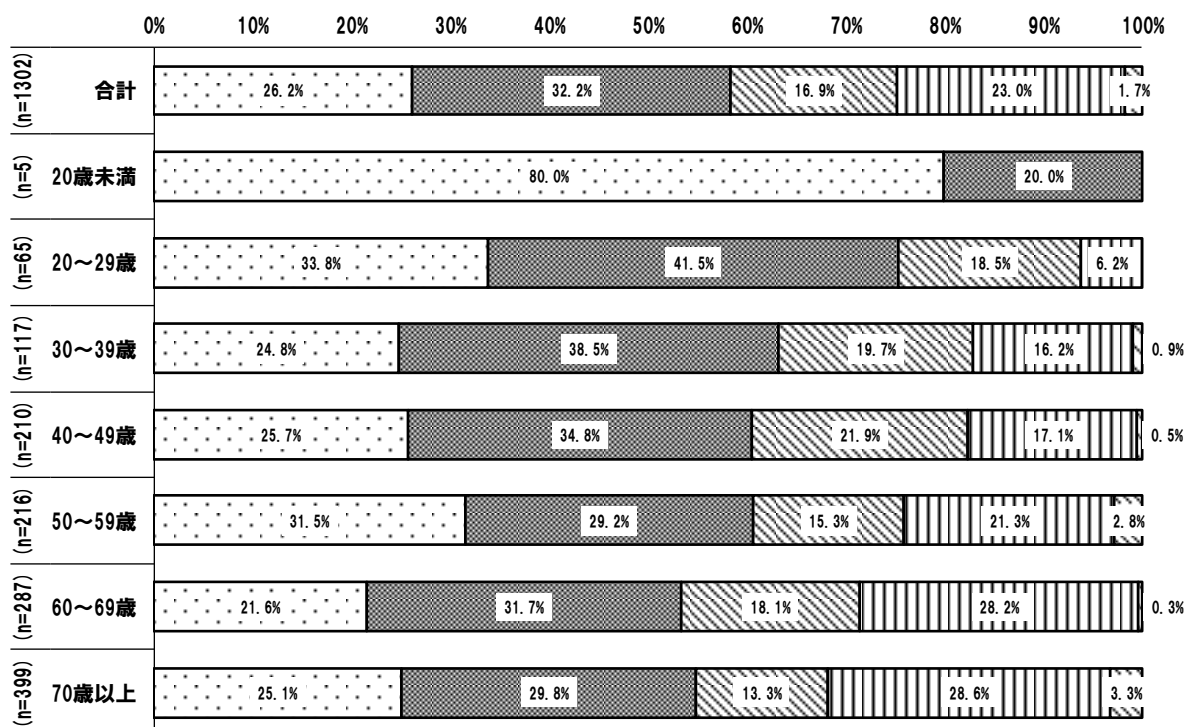
2.3.1 3Rの認知度

「②何となく理解している」の割合が最も高く32.2%となっている。次いで、「①よく知っており内容も理解している（26.2%）」、「④知らない（23.0%）」となっている。



年齢別に見ると、「よく知っており内容も理解している」と「何となく理解している」の割合の合計は年齢が高いほど低い傾向にある。一方で、「知らない」の割合は、年齢が高いほど高い傾向にある。

図表 80 3Rの認知度（年齢）

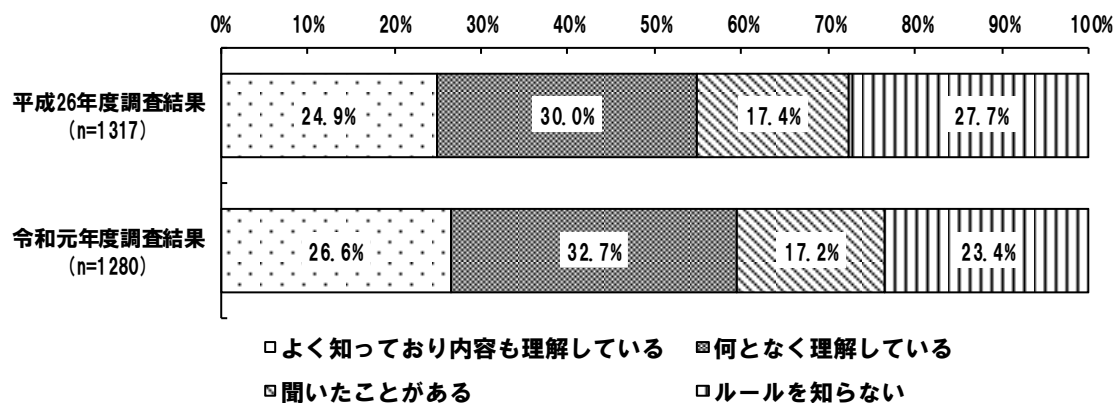


□よく知っており内容も理解している □何となく理解している □聞いたことがある □知らない □無回答

	合計	よく知っており内容も理解している	何となく理解している	聞いたことがある	知らない	無回答
合計	1,302	341	419	220	300	22
	100.0%	26.2%	32.2%	16.9%	23.0%	1.7%
20歳未満	5	4	1	0	0	0
	100.0%	80.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%
20～29歳	65	22	27	12	4	0
	100.0%	33.8%	41.5%	18.5%	6.2%	0.0%
30～39歳	117	29	45	23	19	1
	100.0%	24.8%	38.5%	19.7%	16.2%	0.9%
40～49歳	210	54	73	46	36	1
	100.0%	25.7%	34.8%	21.9%	17.1%	0.5%
50～59歳	216	68	63	33	46	6
	100.0%	31.5%	29.2%	15.3%	21.3%	2.8%
60～69歳	287	62	91	52	81	1
	100.0%	21.6%	31.7%	18.1%	28.2%	0.3%
70歳以上	399	100	119	53	114	13
	100.0%	25.1%	29.8%	13.3%	28.6%	3.3%

平成26年度調査では、「よく知っており内容も理解している」の割合が24.9%、「何となく理解している」の割合が30.0%であったが、令和元年度調査では両項目とも平成26年度調査を上回っており、かつ、「ルールを知らない」の割合が3.3ポイント低くなっていることから、3Rの認知度が上がったことが伺える。

図表 81 平成26年度調査結果との比較

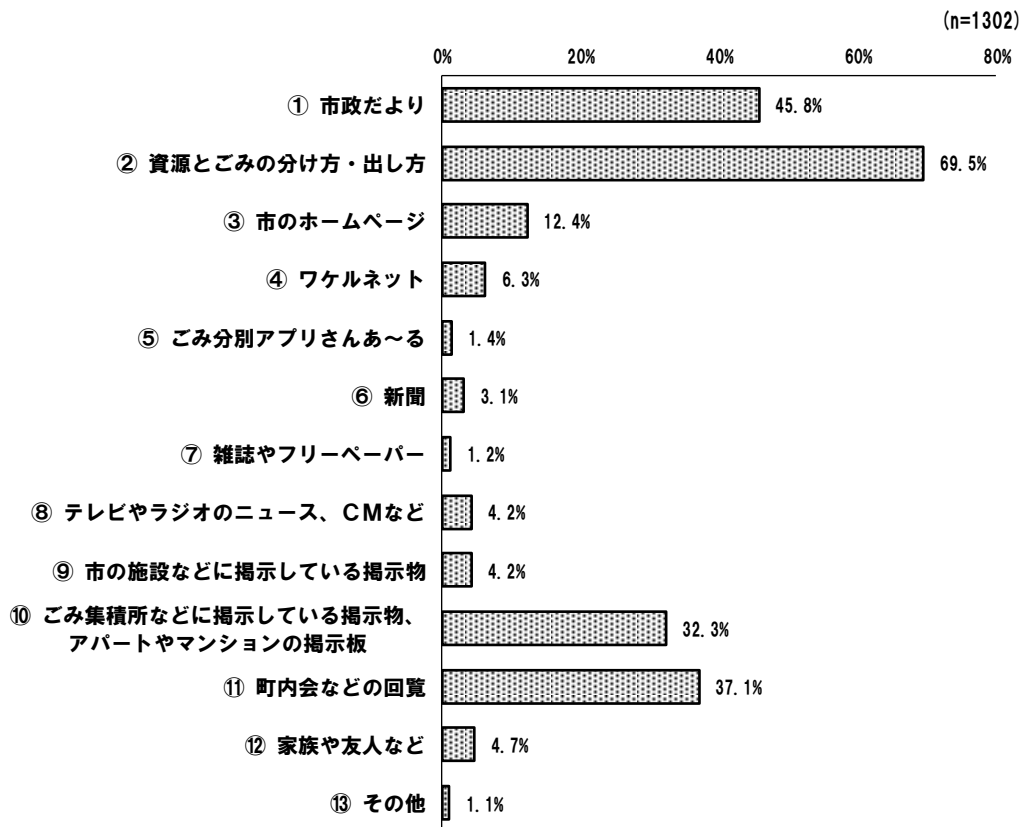


※無回答を除いて集計

2.3.2 ごみに関する情報を知る方法

「②資源とごみの分け方・出し方」の割合が最も高く 69.5%となっている。次いで、「①市政だより（45.8%）」、「⑪町内会などの回覧（37.1%）」となっている。

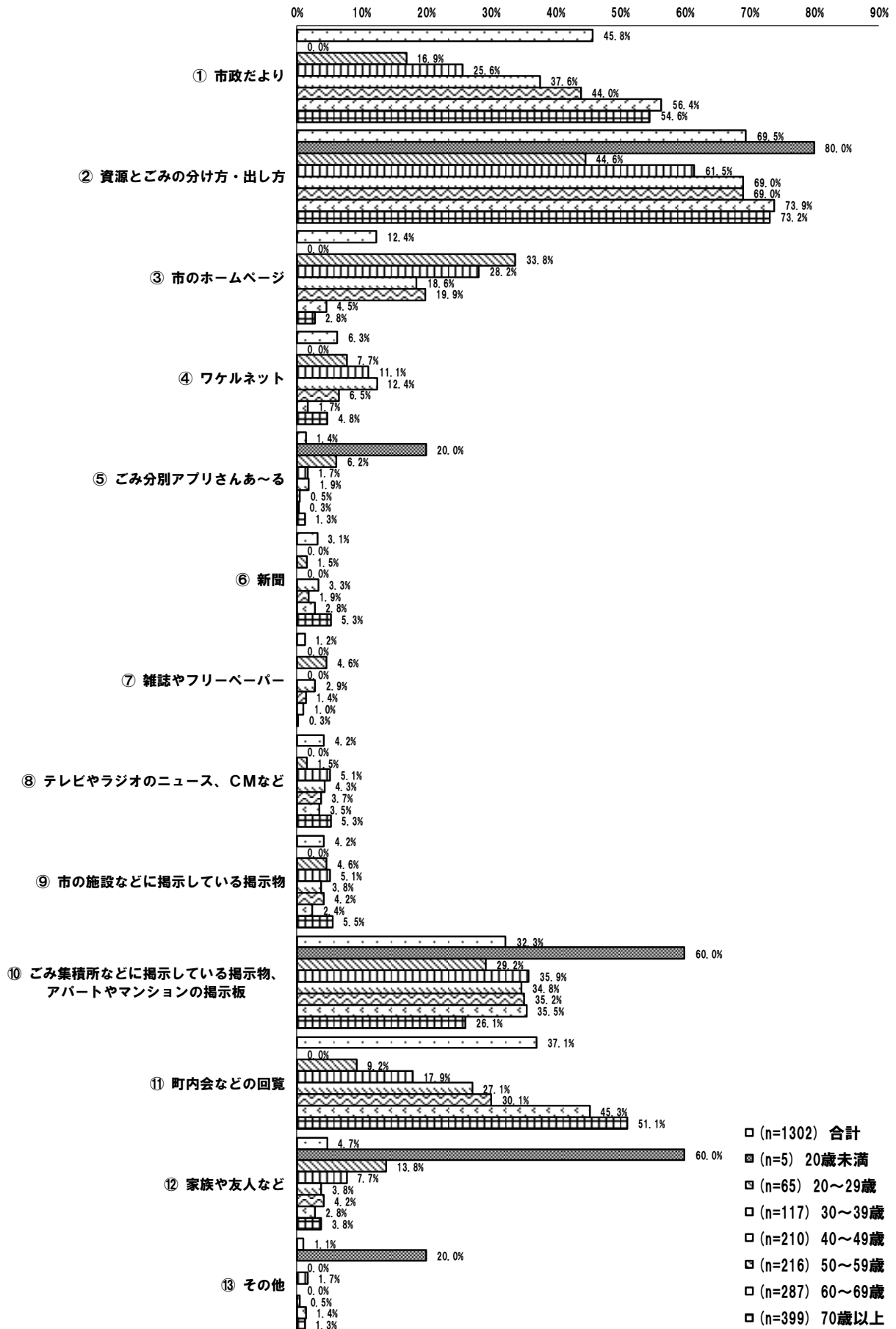
図表 82 ごみに関する情報を知る方法 ※該当するもの3つまで回答



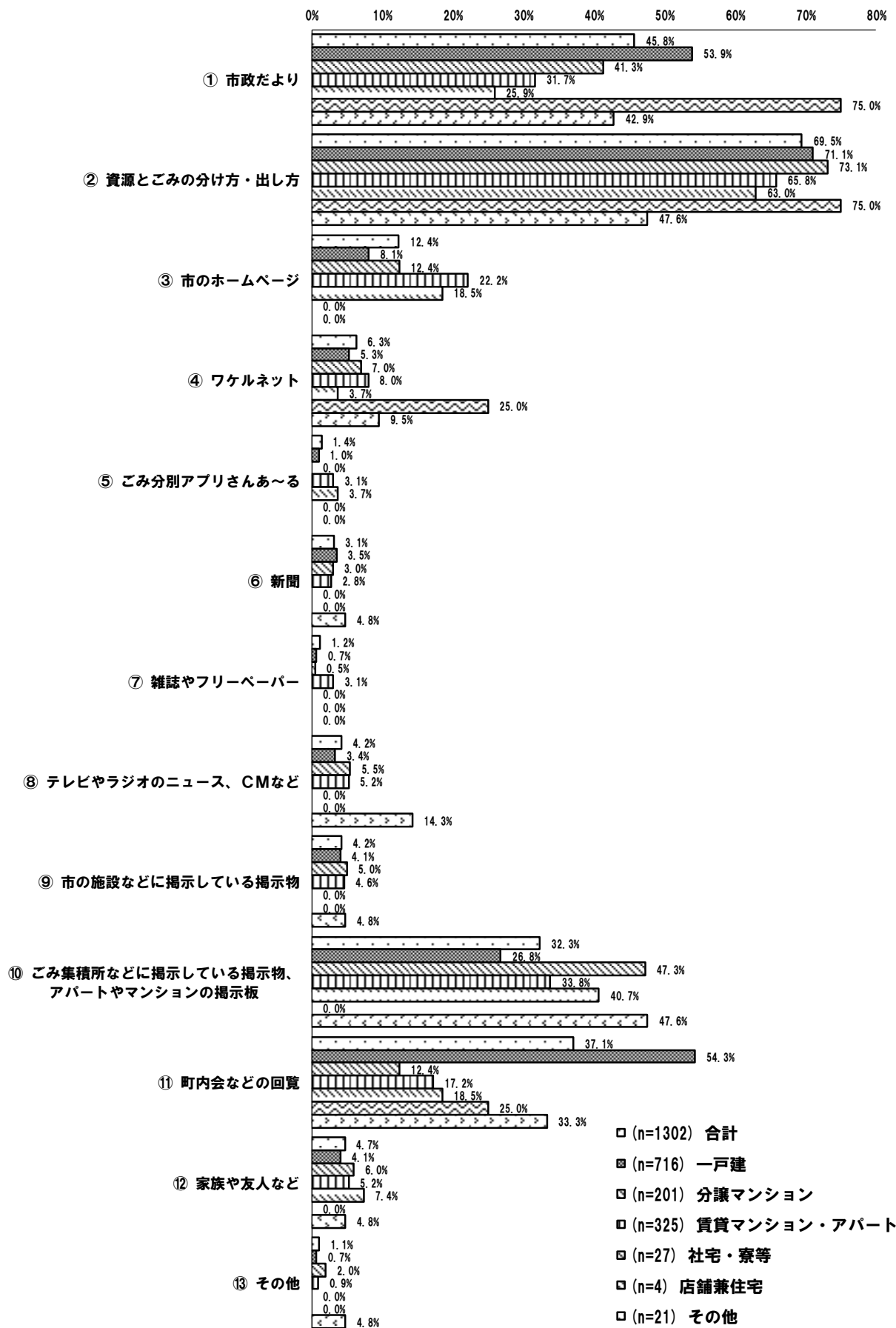
年齢別に見ると、「①市政だより」、「⑪町内会などの回覧」の割合は、年齢が高いほど高い傾向にある。「③市のホームページ」、「⑫家族や友人など」の割合は、年齢が高いほど低い傾向にある。

居住形態別に見ると、いずれも「②資源とごみの分け方・出し方」の割合が最も高い。

図表 83 ごみに関する情報を知る方法（年齢）



図表 84 ごみに関する情報を知る方法（居住形態）

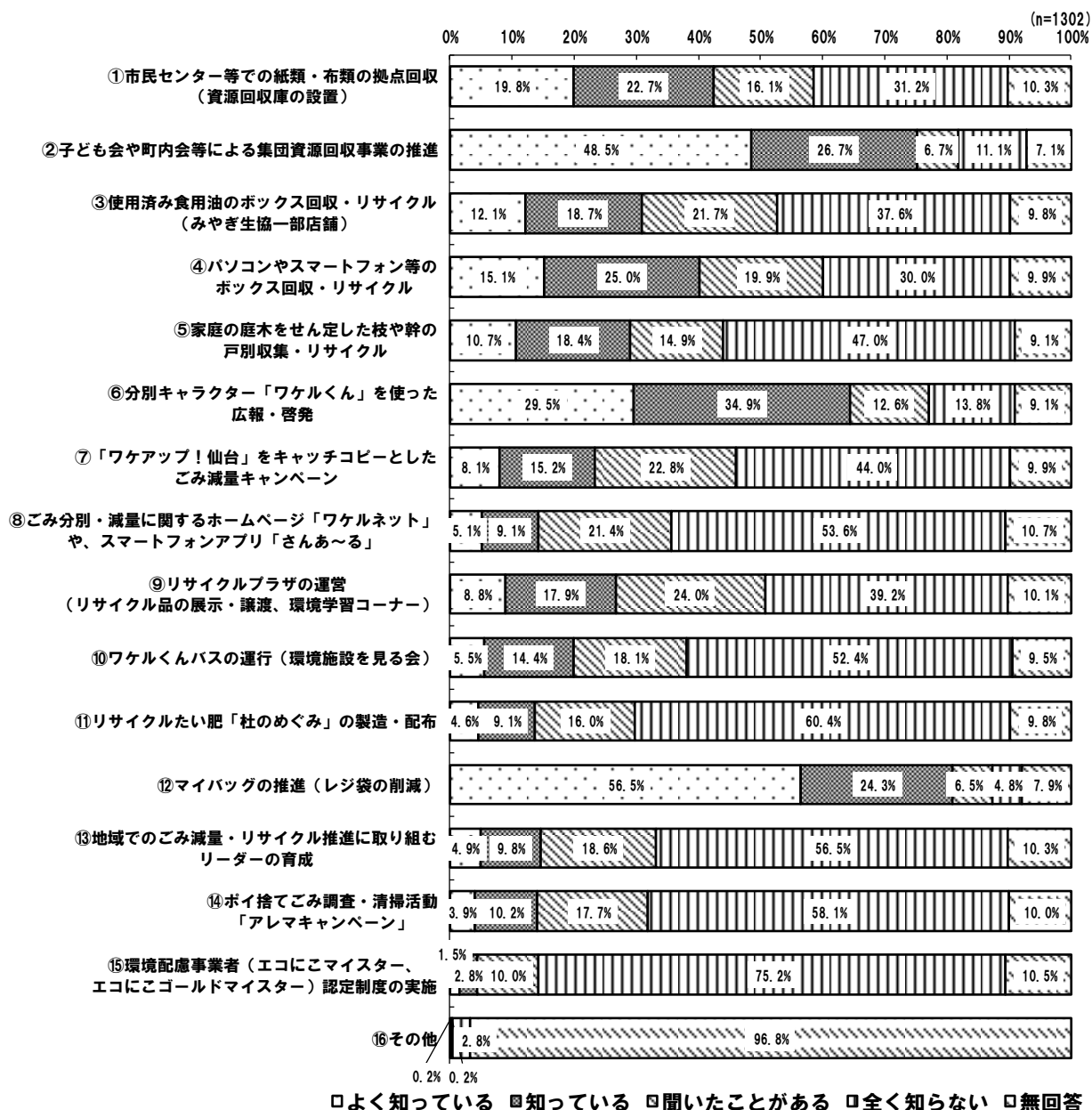


2.3.3 市のごみ減量・3R 推進に関する取り組みの認知度

「よく知っている」の割合が高い取り組みは、「⑫マイバッグの推進（レジ袋の削減）（56.5%）」、「②子ども会や町内会等による集団資源回収事業の推進（48.5%）」、「⑥分別キャラクター「ワケルくん」を使った広報・啓発（29.5%）」となっている。

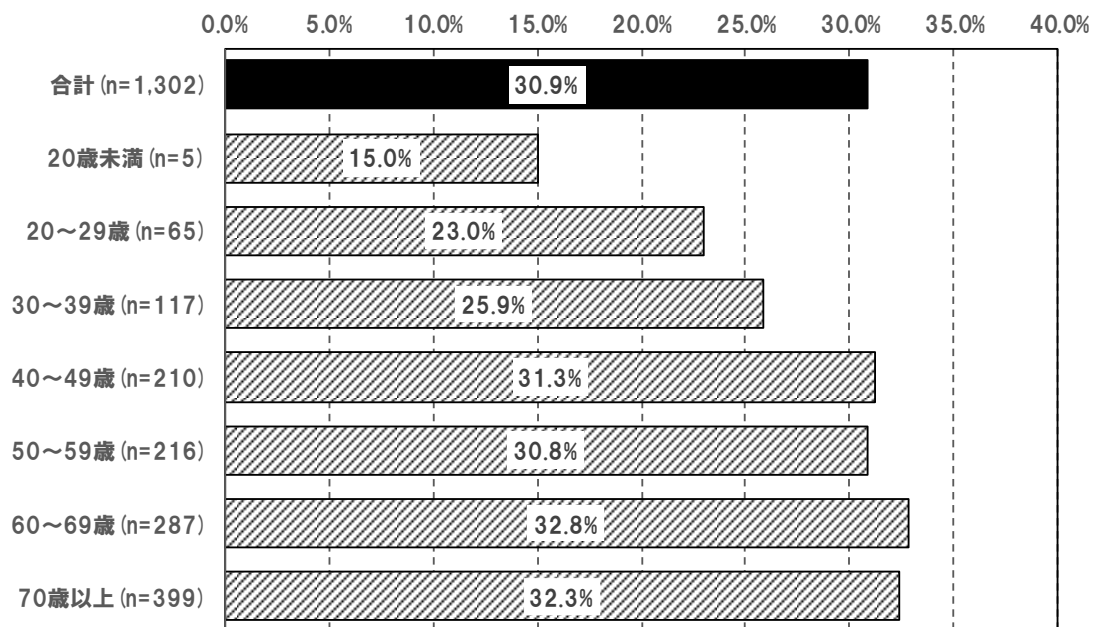
「全く知らない」の割合が高い取り組みは、「⑮環境配慮事業者（エコにこマイスター、エコにこゴールドマイスター）認定制度の実施（75.2%）」、「⑪リサイクルたい肥「杜のめぐみ」の製造・配布（60.4%）」、「⑭ポイ捨てごみ調査・清掃活動「アレマキャンペーン」（58.1%）」となっている。

図表 85 市のごみ減量・3R 推進に関する取り組みの認知度



年齢別に見ると、ごみ減量・3R 推進に係る施策の認知度については、全般的に年代が高くなるにつれ認知度も高くなる傾向にある。

図表 86 市のごみ減量・3R 推進に関する取り組みの認知度（年齢別）



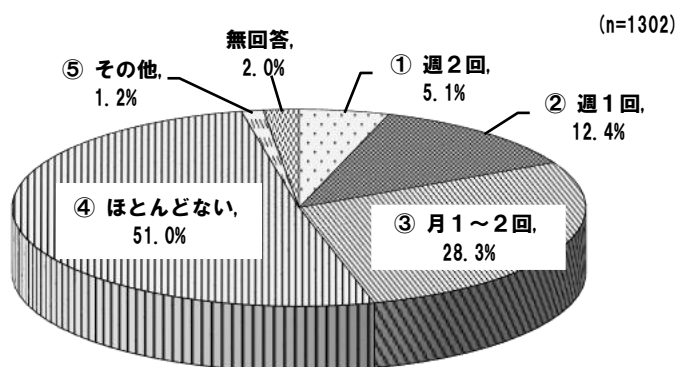
注) 本市が行ってきたごみ減量・3R 推進に係る施策 (16 項目) に対する認知度 (「よく知っている」、「知っている」との回答の合計) の平均を世代別に集計

2.4 食品ロス・生ごみについて

2.4.1 食品ロスの排出頻度

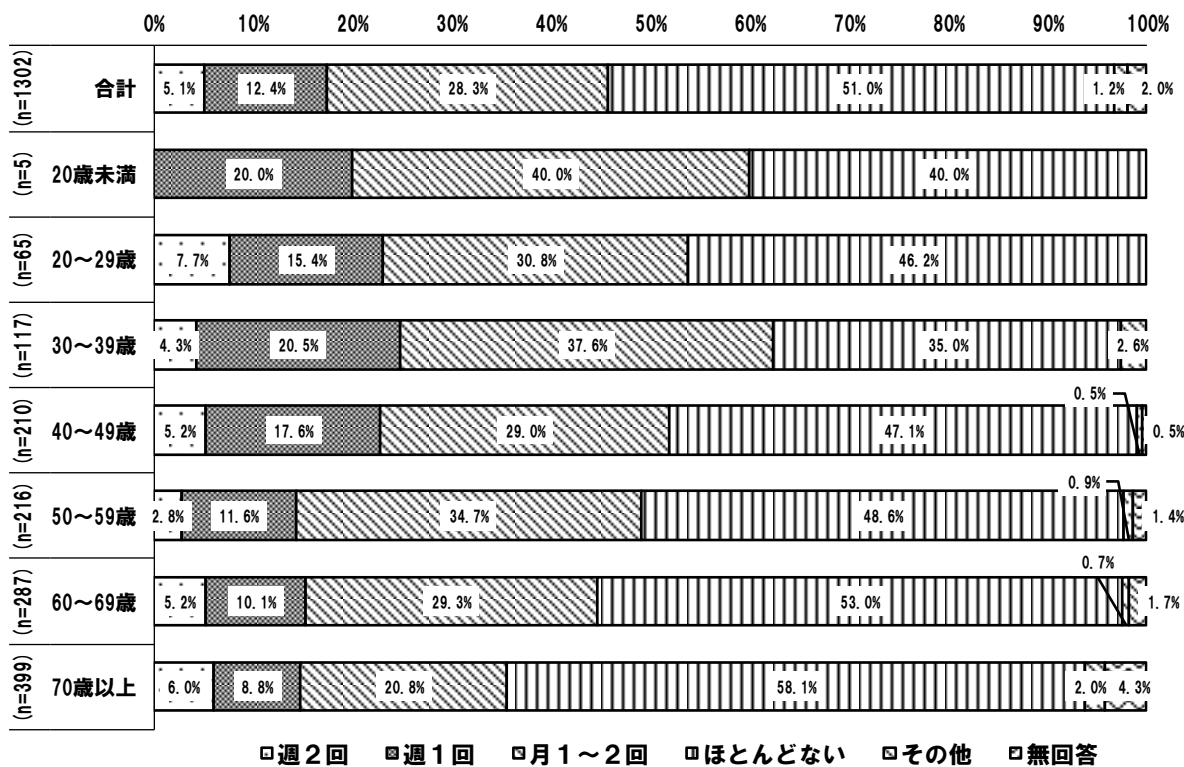
「④ほとんどない」の割合が最も高く 51.0%となっている。次いで、「③月 1～2 回 (28.3%)」、「②週 1 回 (12.4%)」となっている。

図表 87 食品ロスの排出頻度



年齢別に見ると、「ほとんどない」の割合は 30 歳代以降、年齢が高いほど高い傾向にあり、「70 歳以上」の割合は 58.1%と最も高い。

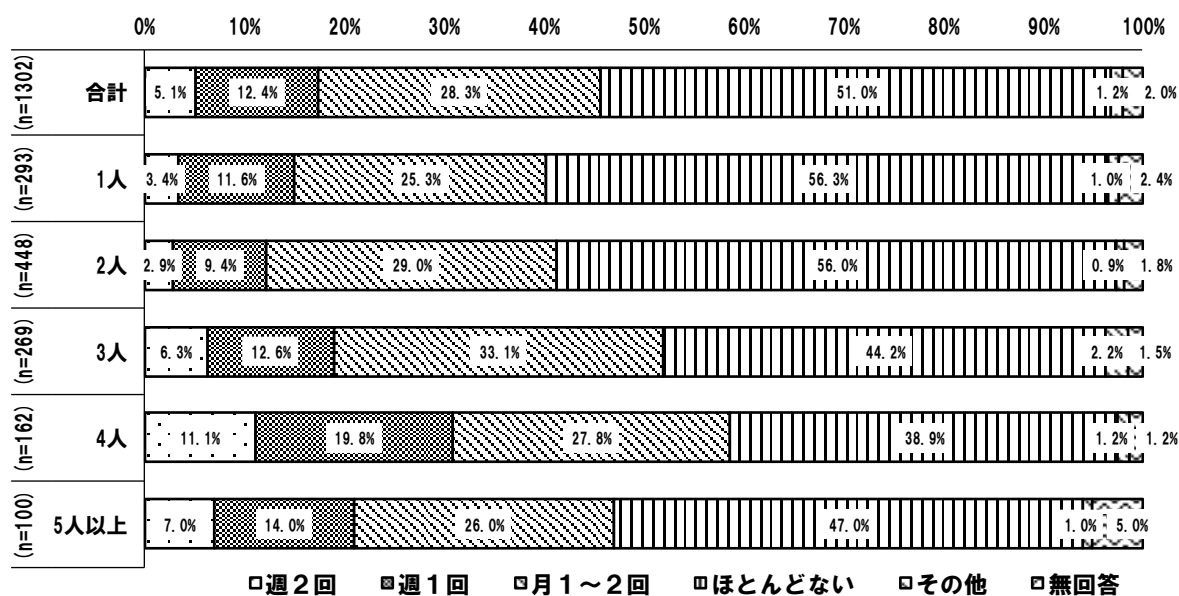
図表 88 食品ロスの排出頻度 (年齢)



	合計	週2回	週1回	月1～2回	ほとんどない	その他	無回答
合計	1,302	66	161	369	664	16	26
	100.0%	5.1%	12.4%	28.3%	51.0%	1.2%	2.0%
20歳未満	5	0	1	2	2	0	0
	100.0%	0.0%	20.0%	40.0%	40.0%	0.0%	0.0%
20～29歳	65	5	10	20	30	0	0
	100.0%	7.7%	15.4%	30.8%	46.2%	0.0%	0.0%
30～39歳	117	5	24	44	41	3	0
	100.0%	4.3%	20.5%	37.6%	35.0%	2.6%	0.0%
40～49歳	210	11	37	61	99	1	1
	100.0%	5.2%	17.6%	29.0%	47.1%	0.5%	0.5%
50～59歳	216	6	25	75	105	2	3
	100.0%	2.8%	11.6%	34.7%	48.6%	0.9%	1.4%
60～69歳	287	15	29	84	152	2	5
	100.0%	5.2%	10.1%	29.3%	53.0%	0.7%	1.7%
70歳以上	399	24	35	83	232	8	17
	100.0%	6.0%	8.8%	20.8%	58.1%	2.0%	4.3%

同居人数別に見ると、「ほとんどない」の割合は、同居人数が多くなるにつれて低くなる傾向にあるが、「5人以上」になると高くなっている。

図表 89 食品ロスの排出頻度（同居人数）

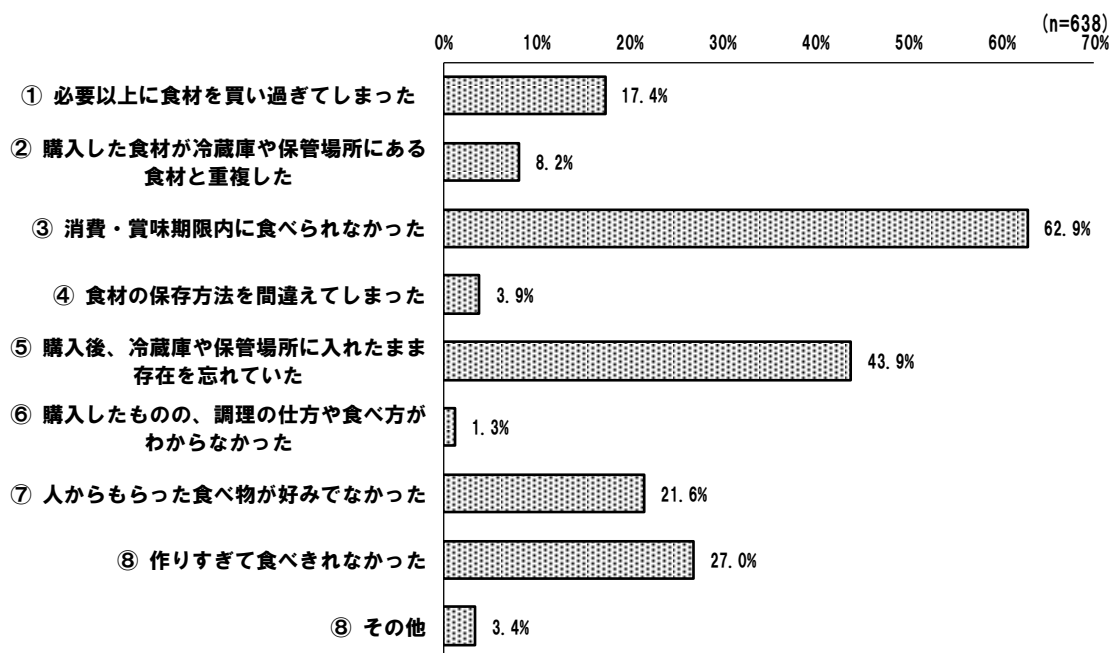


	合計	週2回	週1回	月1～2回	ほとんどない	その他	無回答
合計	1,302	66	161	369	664	16	26
	100.0%	5.1%	12.4%	28.3%	51.0%	1.2%	2.0%
1人	293	10	34	74	165	3	7
	100.0%	3.4%	11.6%	25.3%	56.3%	1.0%	2.4%
2人	448	13	42	130	251	4	8
	100.0%	2.9%	9.4%	29.0%	56.0%	0.9%	1.8%
3人	269	17	34	89	119	6	4
	100.0%	6.3%	12.6%	33.1%	44.2%	2.2%	1.5%
4人	162	18	32	45	63	2	2
	100.0%	11.1%	19.8%	27.8%	38.9%	1.2%	1.2%
5人以上	100	7	14	26	47	1	5
	100.0%	7.0%	14.0%	26.0%	47.0%	1.0%	5.0%

2.4.2 食品ロスの排出要因

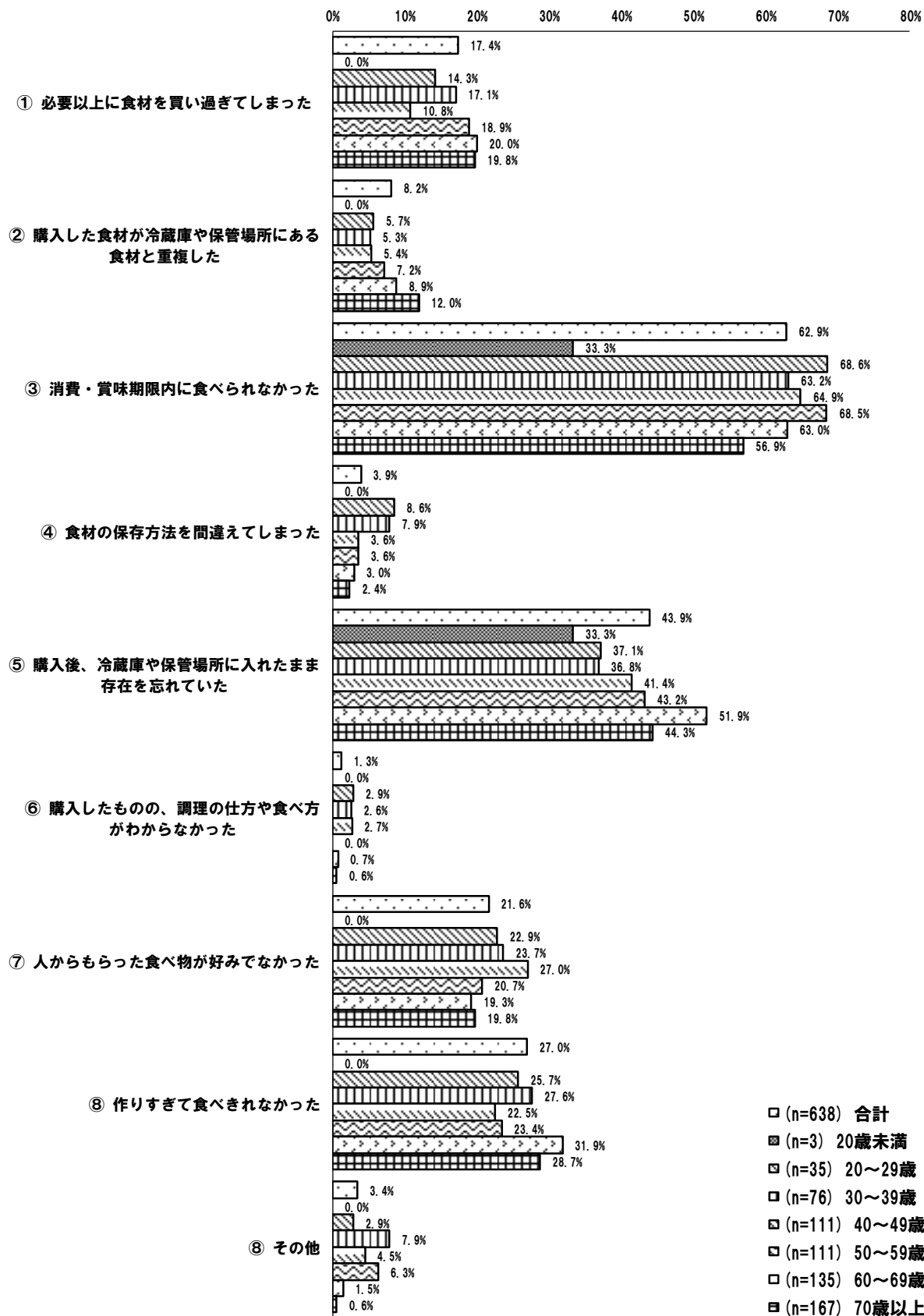
「③消費・賞味期限内に食べられなかった」の割合が最も高く 62.9%となっている。次いで、「⑤購入後、冷蔵庫や保管場所に入れたまま存在を忘れていた (43.9%)」、「⑧作りすぎて食べきれなかった (27.0%)」となっている。

図表 90 食品ロスの排出要因 ※該当するものすべてを回答



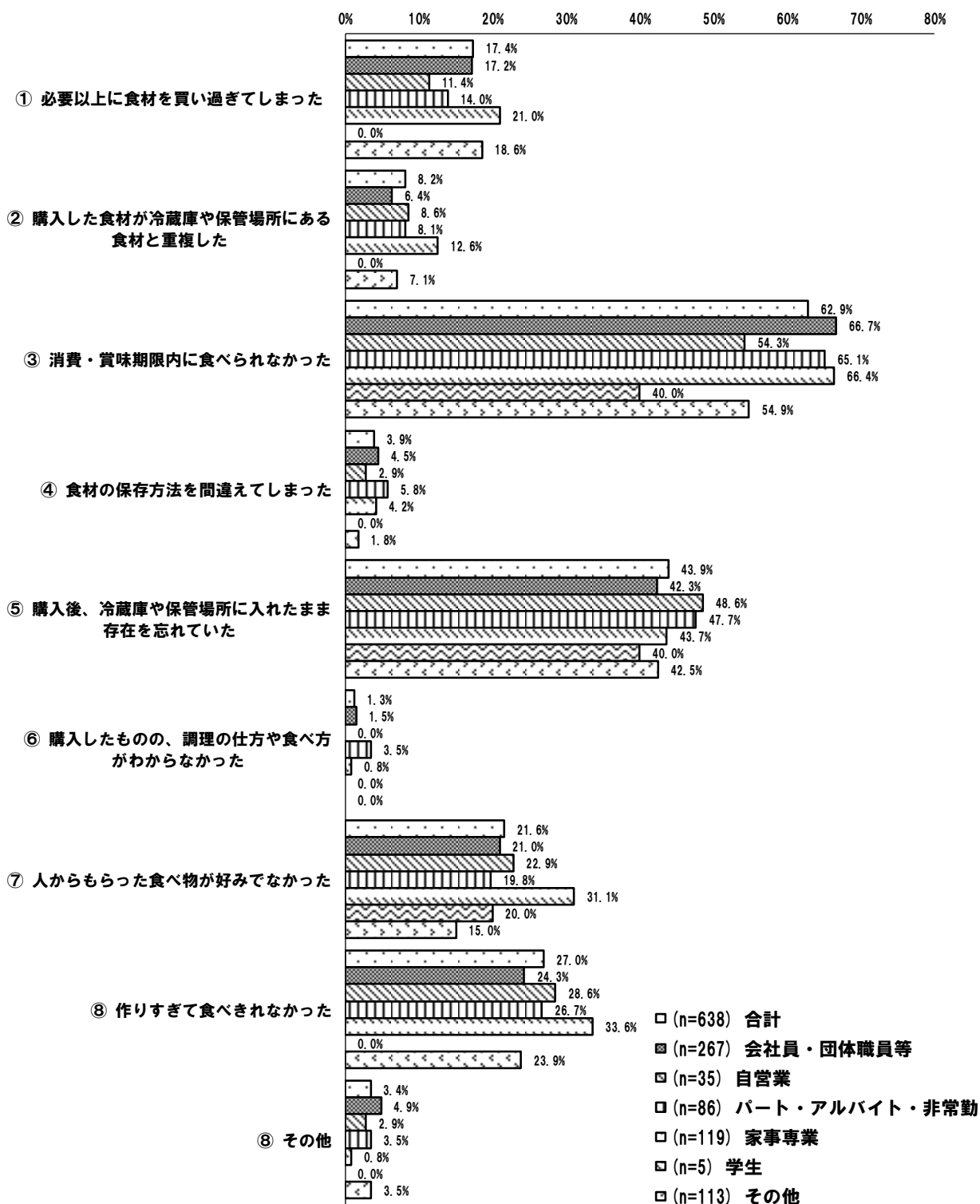
年齢別に見ると、「⑤購入後、冷蔵庫や保管場所に入れたまま存在を忘れていた」、「②購入した食材が冷蔵庫や保管場所にある食材と重複した」の割合は、年齢が高いほど高い傾向にある。一方で、「④食材の保存方法を間違えてしまった」の割合は、年齢が高いほど低い傾向にある。

図表 91 食品ロスの排出要因（年齢）



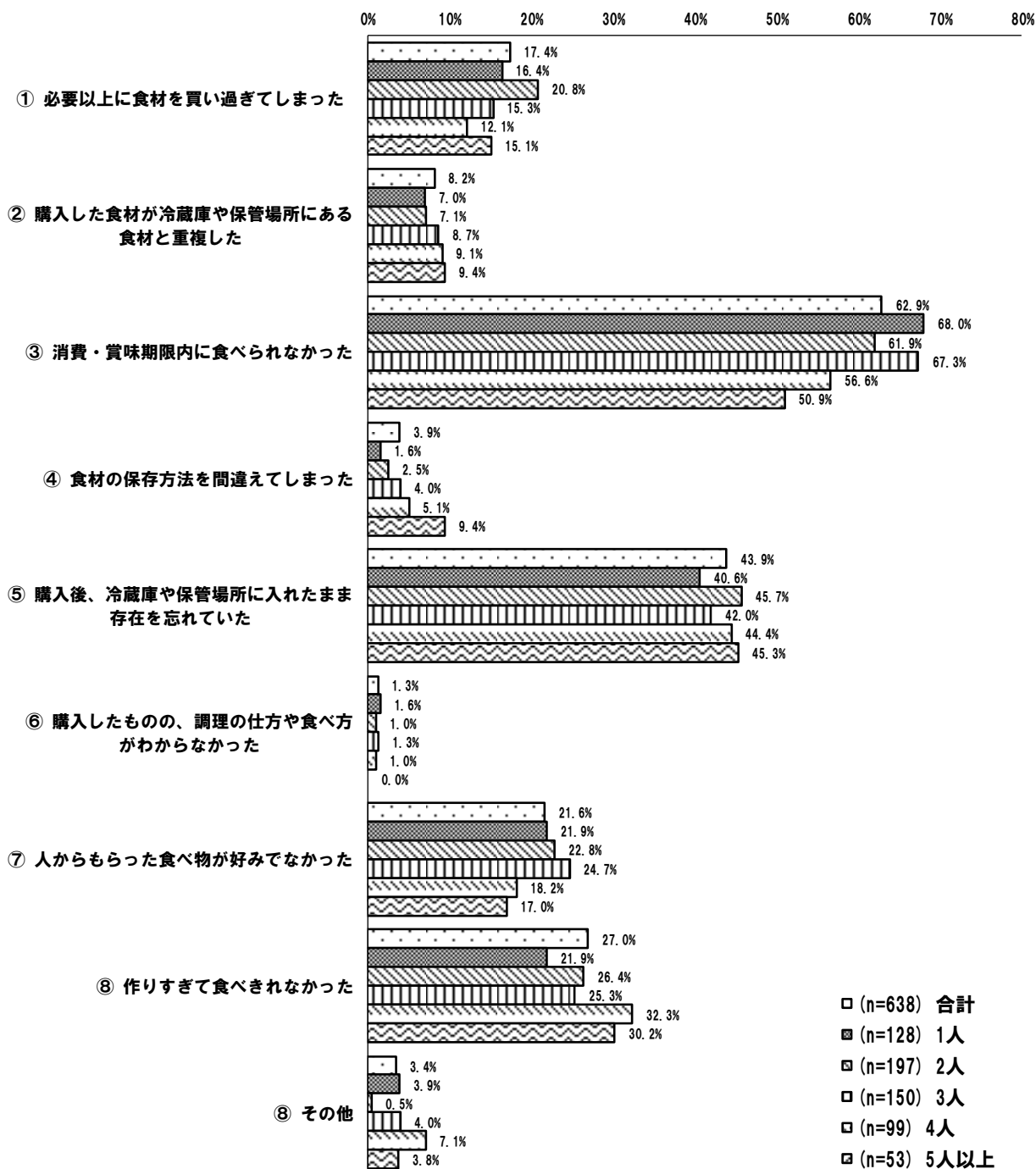
職業別に見ると、「家事専業」における「⑦人からもらった食べ物が好みでなかった (31.1%)」、「⑧作りすぎて食べきれなかった (33.6%)」、「自営業」における「⑤購入後、冷蔵庫や保管場所に入れたまま存在を忘れていた (48.6%)」等で、全体の傾向よりも割合が高くなっている。

図表 92 食品ロスの排出要因 (職業)



同居人数別に見ると、「⑧作りすぎて食べきれなかった」、「④食材の保存方法を間違えてしまった」、「②購入した食材が冷蔵庫や保管場所にある食材と重複した」の割合は、同居人数が多いほど高い傾向にある。

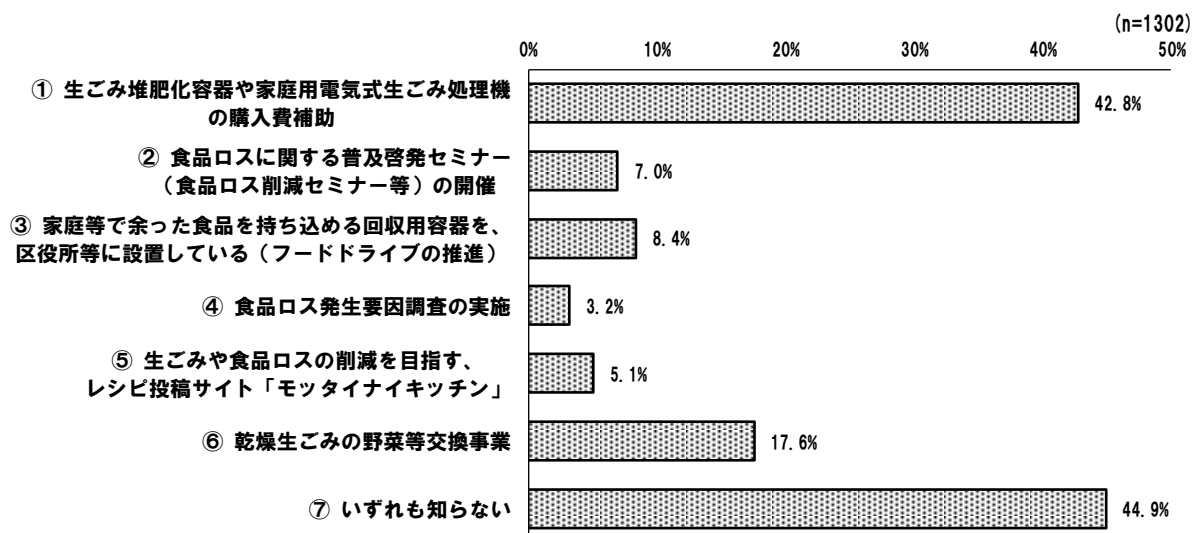
図表 93 食品ロスの排出要因（同居人数）



2.4.3 食品ロス・生ごみ削減のための市の取組の認知度

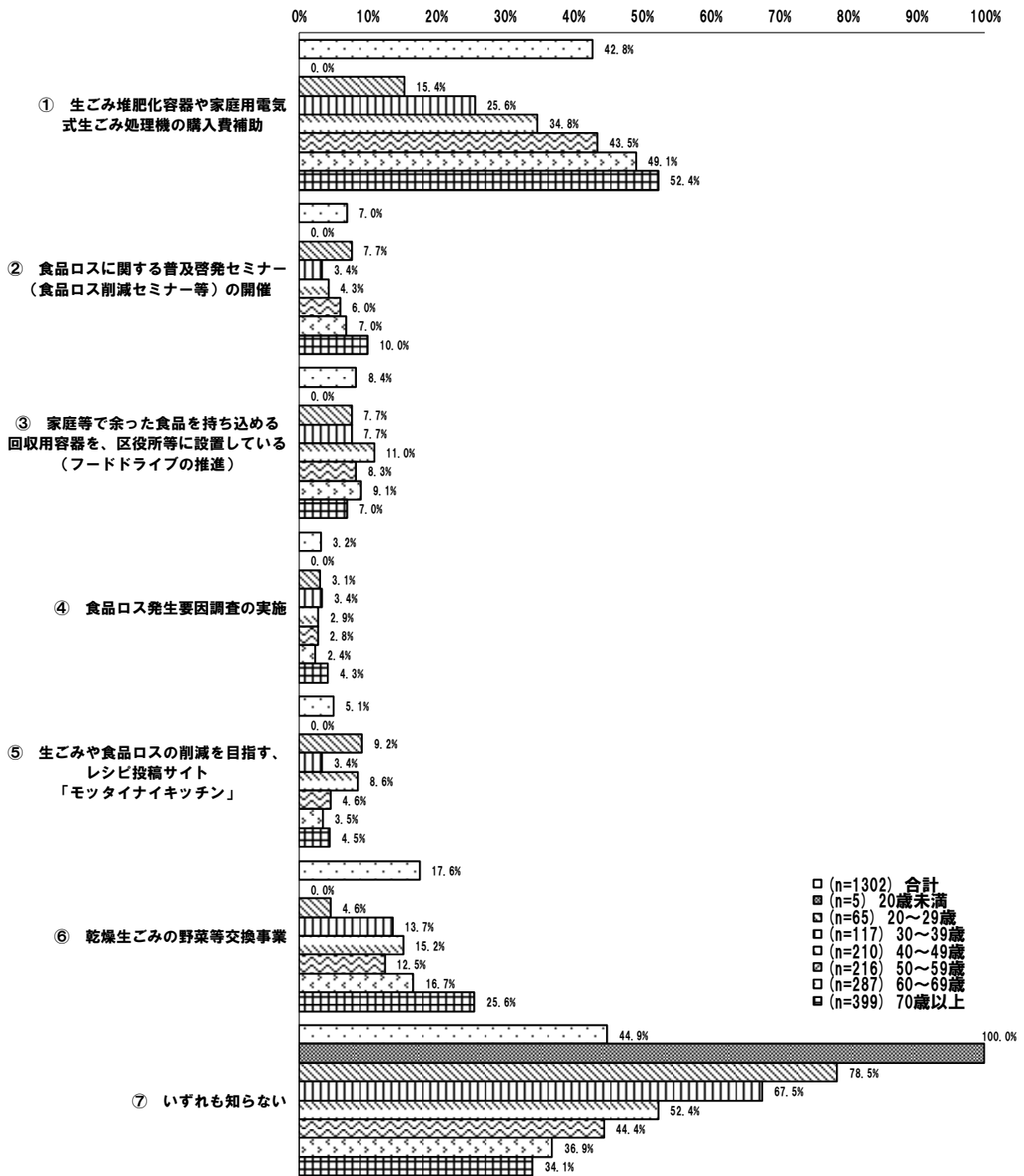
「⑦いずれも知らない」の割合が最も高く 44.9%となっている。次いで、「①生ごみ堆肥化容器や家庭用電気式生ごみ処理機の購入費補助 (42.8%)」、「⑥乾燥生ごみの野菜等交換事業 (17.6%)」となっている。

図表 94 食品ロス・生ごみ削減のための市の取組の認知度 ※該当するものすべてを回答



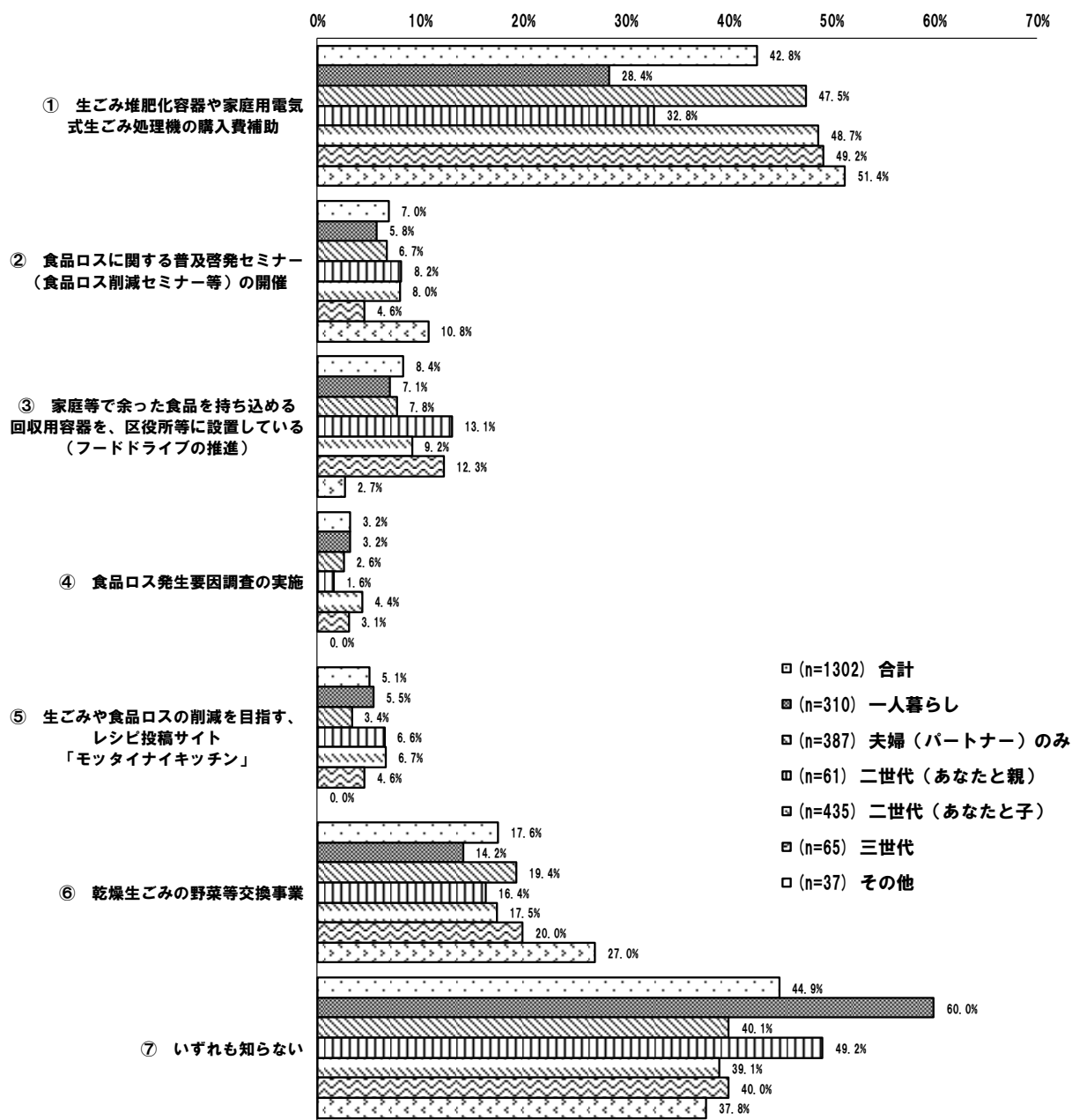
年齢別に見ると、「⑦いずれも知らない」の割合は、年齢が高いほど低い傾向にある。「①生ごみ堆肥化容器や家庭用電気式生ごみ処理機の購入費補助」の割合は、年齢が高いほど高い傾向にある。

図表 95 食品ロス・生ごみ削減のための市の取組の認知度（年齢）



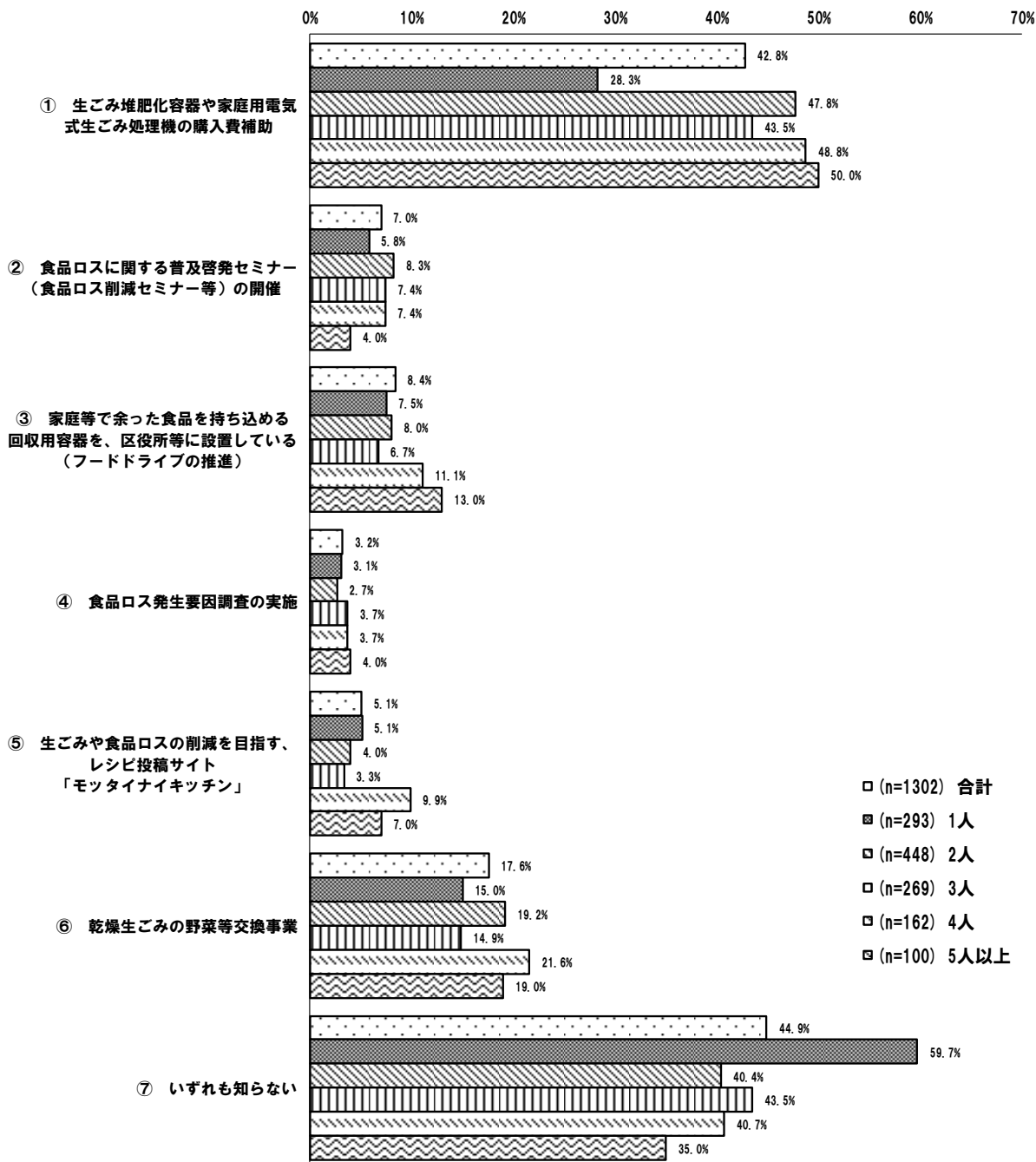
世帯構成別に見ると、「一人暮らし」における「⑦いずれも知らない（60.0%）」等で、全体の傾向よりも割合が高くなっている。

図表 96 食品ロス・生ごみ削減のための市の取組の認知度（世帯構成別）



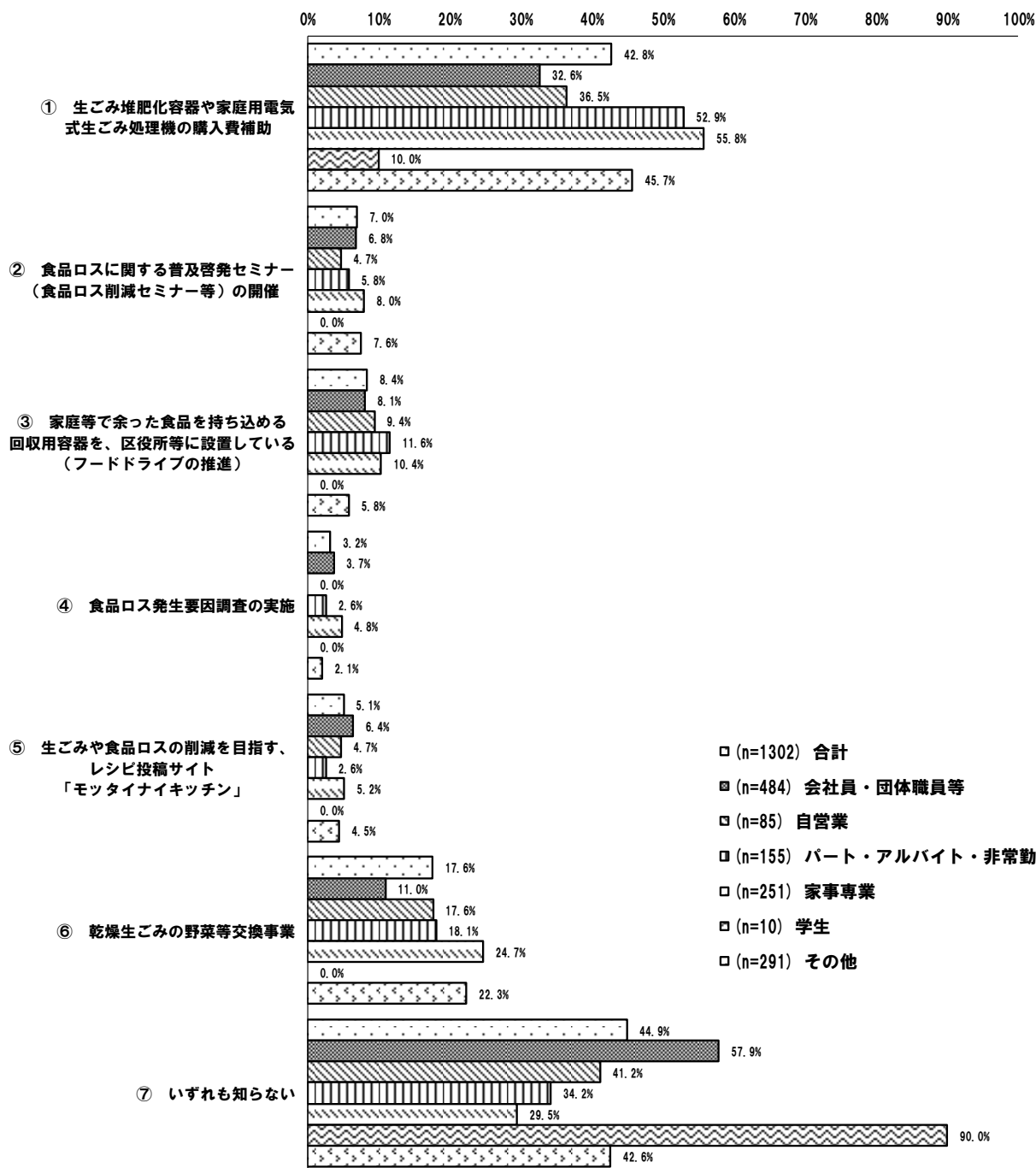
同居人数別に見ると、「⑦いずれも知らない」の割合は、同居人数が多いほど低い傾向にある。「①生ごみ堆肥化容器や家庭用電気式生ごみ処理機の購入費補助」の割合は、「1人（28.6%）」で最も低く、2人以上になると、平均（42.8%）よりも高くなっている。

図表 97 食品ロス・生ごみ削減のための市の取組の認知度（同居人数）



職業別に見ると、「①生ごみ堆肥化容器や家庭用電気式生ごみ処理機の購入費補助」における「家事専業」(55.8%)、「⑦いずれも知らない」における「学生(90.0%)」及び「会社員・団体職員等(57.9%)」、等で、全体の傾向よりも割合が高くなっている。

図表 98 食品ロス・生ごみ削減のための市の取組の認知度(職業)

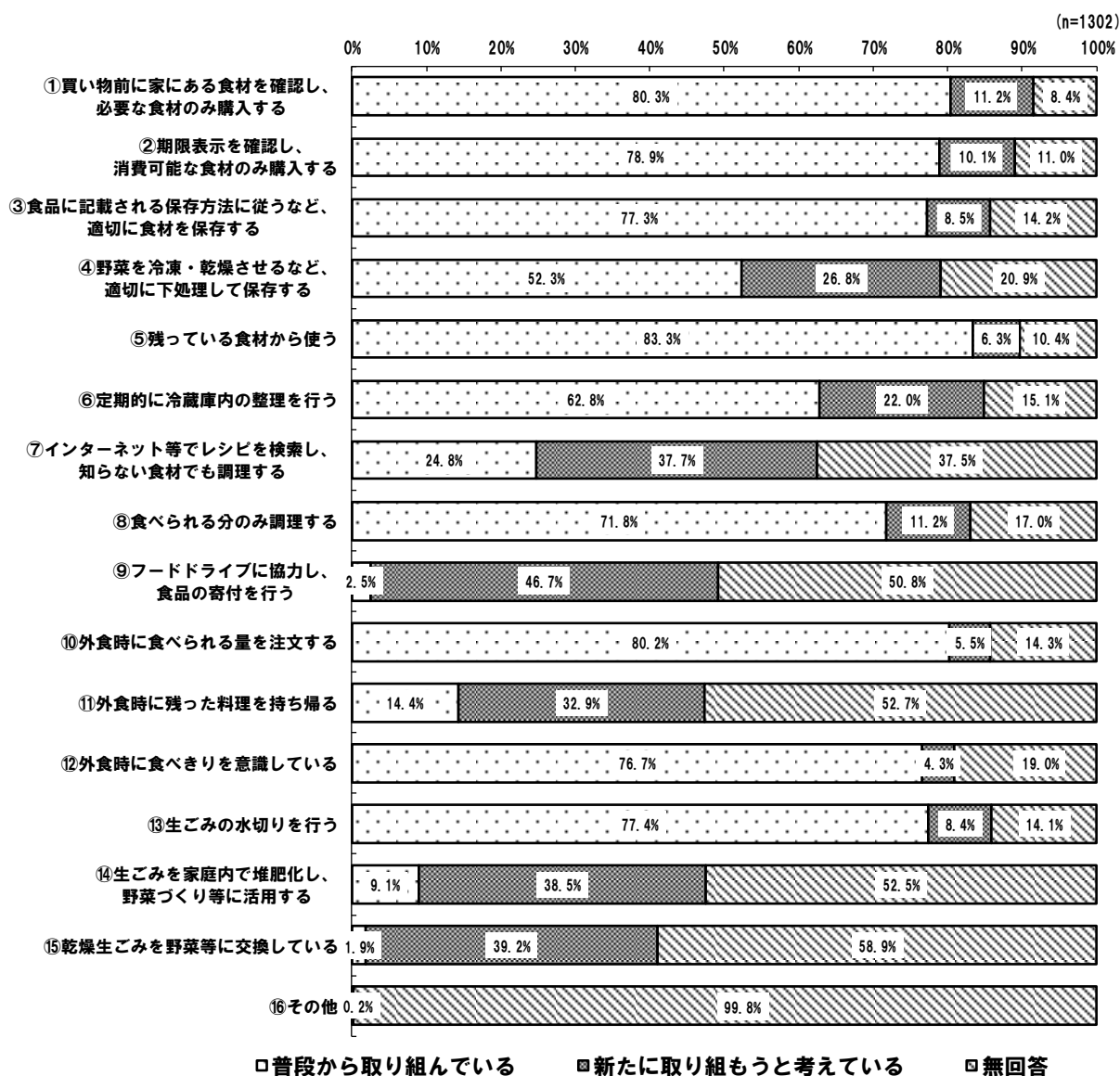


2.4.4 食品ロス・生ごみ削減のための現在の取組状況及び新たに取り組もうと考えていること

「普段から取り組んでいる」の割合が高い取り組みは、「⑤残っている食材から使う（83.3%）」、「①買い物前に家にある食材を確認し、必要な食材のみ購入する（80.3%）」、「⑩外食時に食べられる量を注文する（80.2%）」となっている。

「新たに取り組もうと考えている」の割合が高い取り組みは、「⑨フードドライブに協力し、食品の寄付を行う（46.7%）」、「⑮乾燥生ごみを野菜等に交換している（39.2%）」、「⑭生ごみを家庭内で堆肥化し、野菜づくり等に活用する（38.5%）」となっている。

図表 99 食品ロス・生ごみ削減のための現在の取組状況及び新たに取り組もうと考えていること

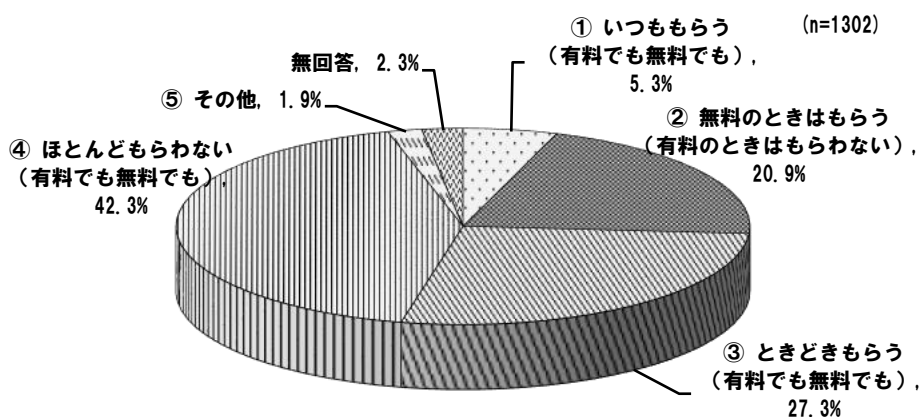


2.5 プラスチックについて

2.5.1 レジ袋の受取状況

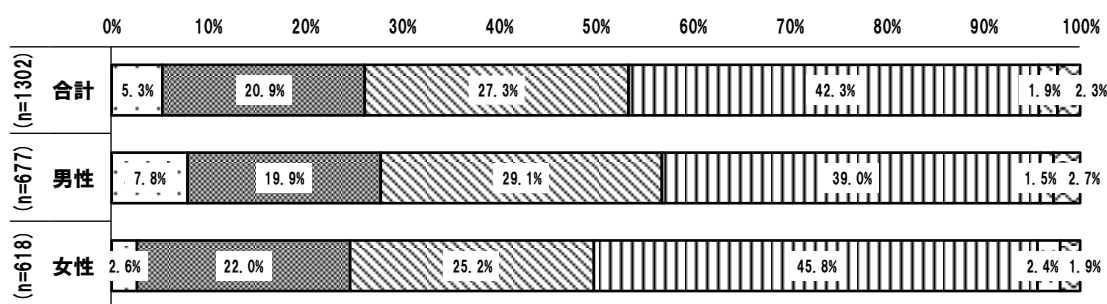
「④ほとんどもらわない(有料でも無料でも)」の割合が最も高く 42.3%となっている。次いで、「③ときどきもらう(有料でも無料でも) (27.3%)」、「②無料のときはもらう(有料のときはもらわない) (20.9%)」となっている。

図表 100 レジ袋の受取状況



性別で見ると、「女性」における「④ほとんどもらわない(有料でも無料でも) (45.8%)」、「男性」における「①いつももらう(有料でも無料でも) (7.8%)」、「③ときどきもらう(有料でも無料でも) (29.1%)」等で、全体の傾向よりも割合が高くなっている。

図表 101 レジ袋の受取状況 (性別)

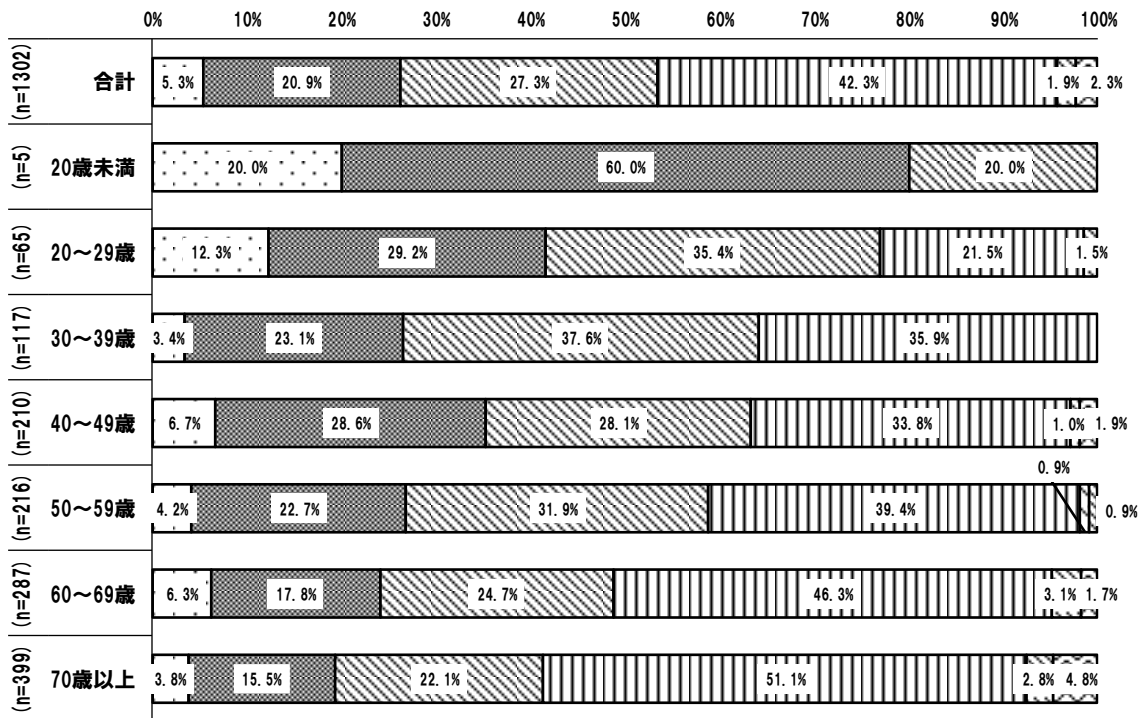


- いつももらう (有料でも無料でも)
- 無料のときはもらう (有料のときはもらわない)
- ときどきもらう (有料でも無料でも)
- ほとんどもらわない (有料でも無料でも)
- その他
- 無回答

	合計	いつももらう (有料でも無料でも)	無料のときは もらう (有料 のときはもら わない)	ときどきもら う (有料でも 無料でも)	ほとんど もらわない (有料でも無 料でも)	その他	無回答
合計	1,302	69	272	355	551	25	30
	100.0%	5.3%	20.9%	27.3%	42.3%	1.9%	2.3%
男性	677	53	135	197	264	10	18
	100.0%	7.8%	19.9%	29.1%	39.0%	1.5%	2.7%
女性	618	16	136	156	283	15	12
	100.0%	2.6%	22.0%	25.2%	45.8%	2.4%	1.9%

年齢別に見ると、「ほとんどもらわない」の割合は、年齢が高いほど高い傾向にある。

図表 102 レジ袋の受取状況（年齢）

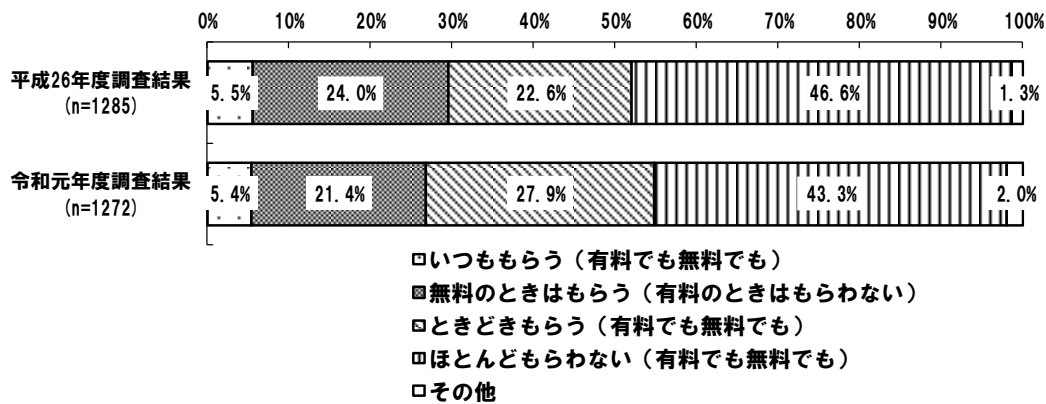


- 口いつももらう（有料でも無料でも）
- 口無料のときはもらう（有料のときはもらわない）
- 口ときどきもらう（有料でも無料でも）
- 口ほとんどもらわない（有料でも無料でも）
- 口その他
- 口無回答

	合計	いつももらう (有料でも無料でも)	無料のときは もらう (有料 のときはもら わない)	ときどきもら う (有料でも 無料でも)	ほとんど もらわない (有料でも無 料でも)	その他	無回答
合計	1,302	69	272	355	551	25	30
	100.0%	5.3%	20.9%	27.3%	42.3%	1.9%	2.3%
20歳未満	5	1	3	1	0	0	0
	100.0%	20.0%	60.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%
20～29歳	65	8	19	23	14	1	0
	100.0%	12.3%	29.2%	35.4%	21.5%	1.5%	0.0%
30～39歳	117	4	27	44	42	0	0
	100.0%	3.4%	23.1%	37.6%	35.9%	0.0%	0.0%
40～49歳	210	14	60	59	71	2	4
	100.0%	6.7%	28.6%	28.1%	33.8%	1.0%	1.9%
50～59歳	216	9	49	69	85	2	2
	100.0%	4.2%	22.7%	31.9%	39.4%	0.9%	0.9%
60～69歳	287	18	51	71	133	9	5
	100.0%	6.3%	17.8%	24.7%	46.3%	3.1%	1.7%
70歳以上	399	15	62	88	204	11	19
	100.0%	3.8%	15.5%	22.1%	51.1%	2.8%	4.8%

令和元年度調査では、「ほとんどもらわない（有料でも無料でも）」が43.3%と平成26年度調査結果と比べて3.3ポイント低くなっており、レジ袋の辞退する人の割合が減少したことが伺える。

図表 103 平成26年度調査結果との比較

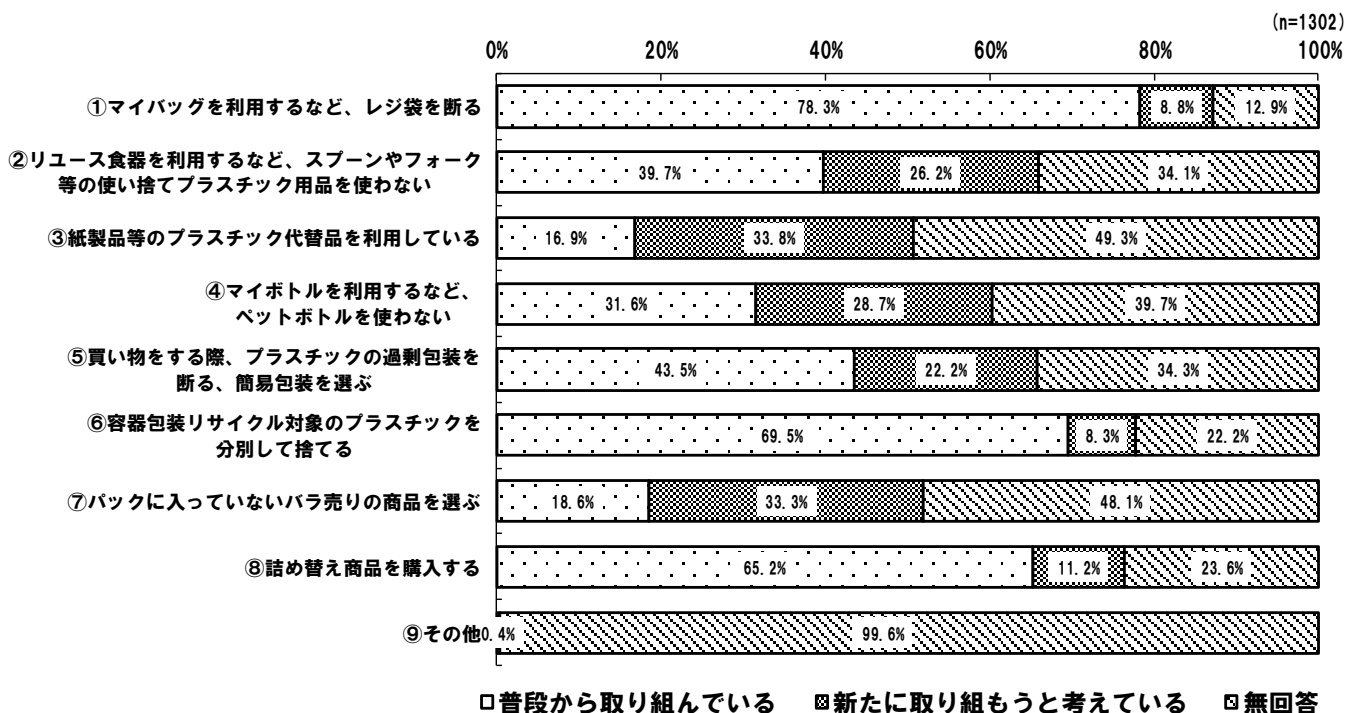


2.5.2 プラスチックごみ削減やリサイクルのための現在の取組状況及び新たに取り組もうと考えていること

「普段から取り組んでいる」の割合が高い取り組みは、「①マイバッグを利用するなど、レジ袋を断る（78.3%）」、「⑥容器包装リサイクル対象のプラスチックを分別して捨てる（69.5%）」、「⑧詰め替え商品を購入する（65.2%）」となっている。

「新たに取り組もうと考えている」の割合が高い取り組みは、「③紙製品等のプラスチック代替品を利用している（33.8%）」、「⑦バックに入っていないバラ売りの商品を選ぶ（33.3%）」、「④マイボトルを利用するなど、ペットボトルを使わない（28.7%）」となっている。

図表 104 プラスチックごみ削減やリサイクルのための現在の取組状況及び新たに取り組もうと考えていること ※該当するものすべてを回答

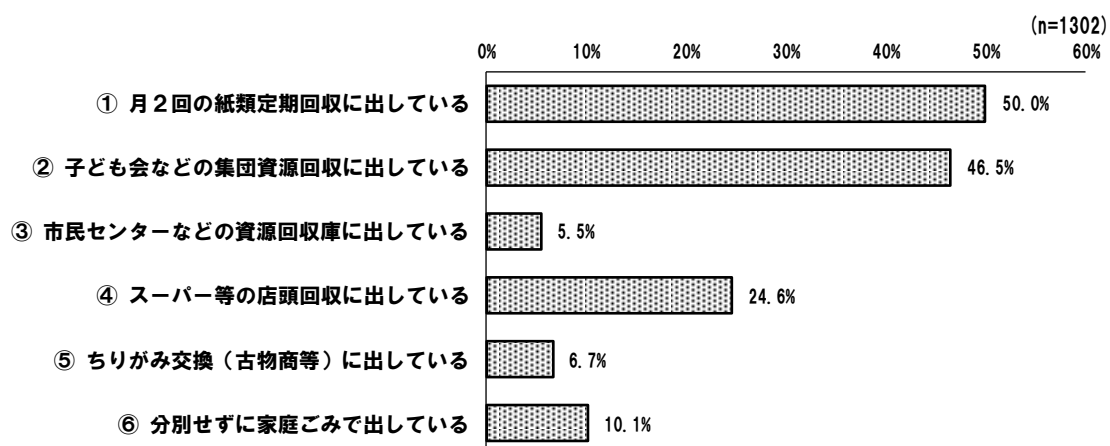


2.6 紙類について

2.6.1 紙類の出し方

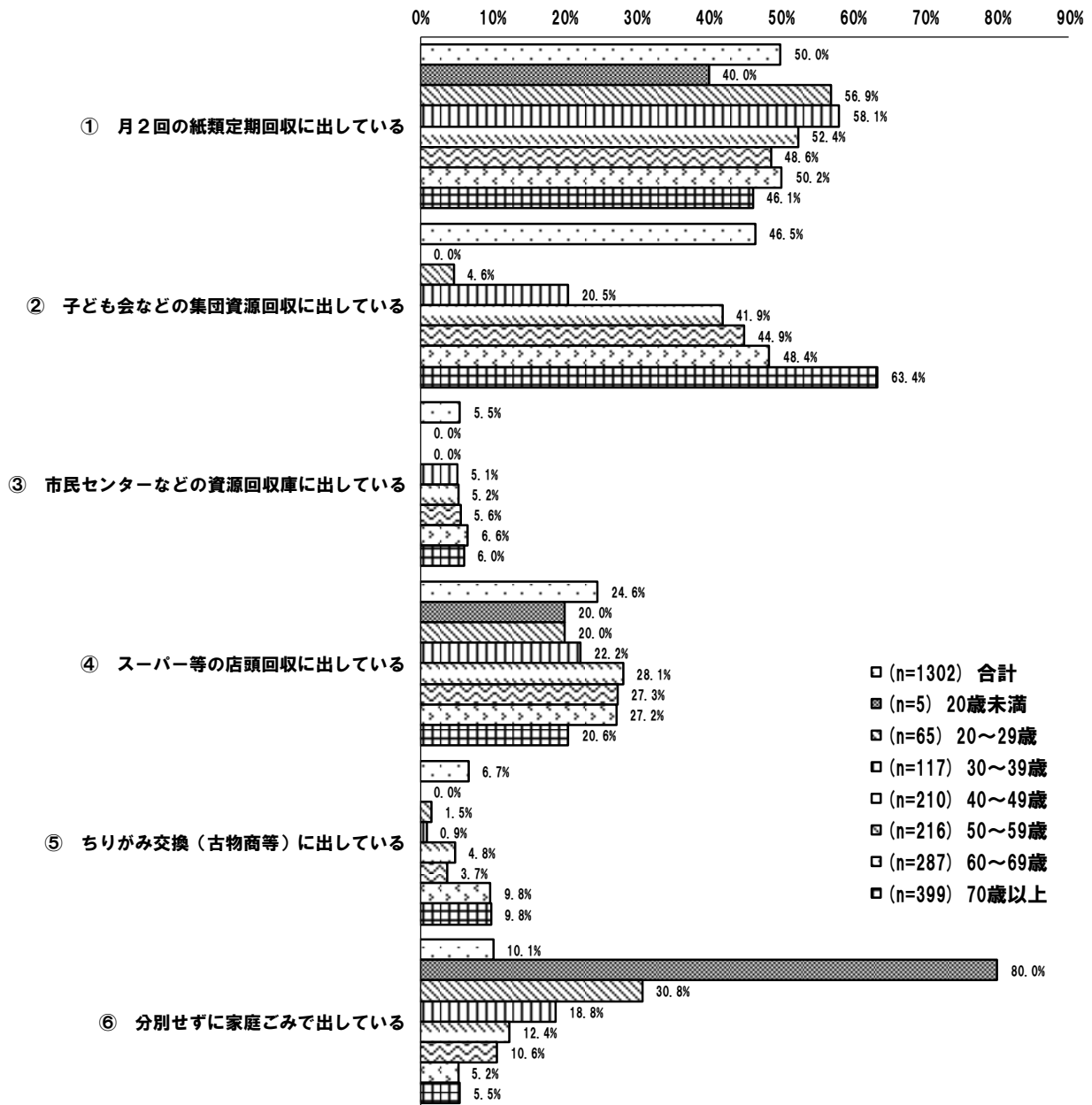
「①月2回の紙類定期回収に出している」の割合が最も高く50.0%となっている。次いで、「②子ども会などの集団資源回収に出している（46.5%）」、「④スーパー等の店頭回収に出している（24.6%）」となっている。

図表 105 紙類の出し方 ※該当するものすべてを回答



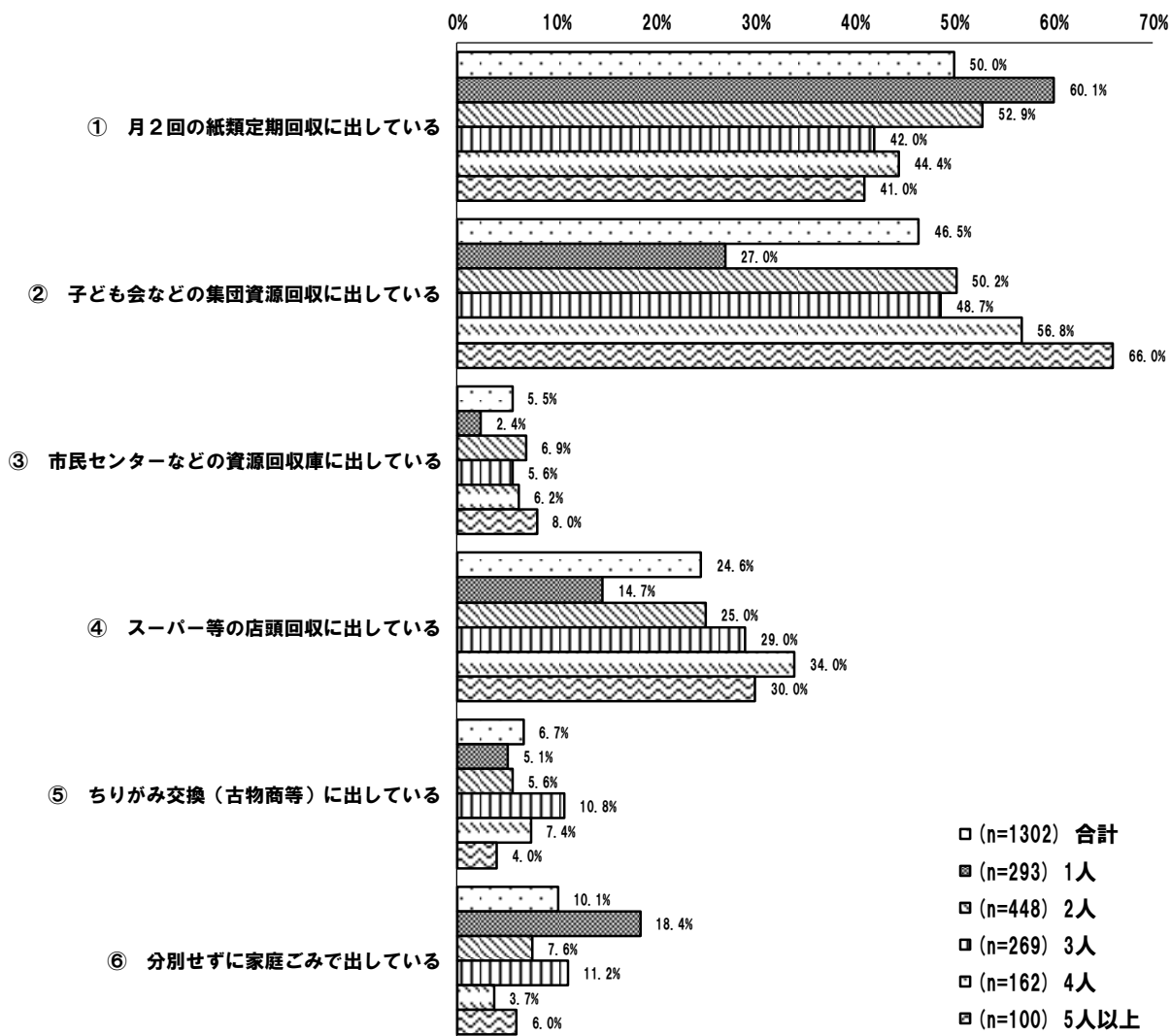
年齢別に見ると、「①月2回の紙類定期回収に出している」、「⑥分別せずに家庭ごみで出している」の割合は年齢が高いほど低い傾向にある。一方で、「②子ども会などの集団資源回収に出している」の割合は年齢が高いほど高い傾向にある。

図表 106 紙類の出し方（年齢）



同居人数別に見ると、「①月2回の紙類定期回収に出している」の割合は、同居人数が多いほど低い傾向にある。「②子ども会などの集団資源回収に出している」、「④スーパー等の店頭回収に出している」の割合は、同居人数が多いほど高い傾向にある。

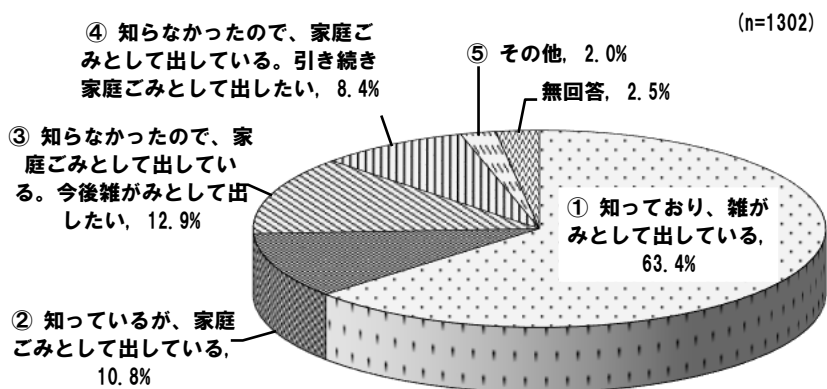
図表 107 紙類の出し方（同居人数）



2.6.2 雑がみ回収の認知度と排出行動

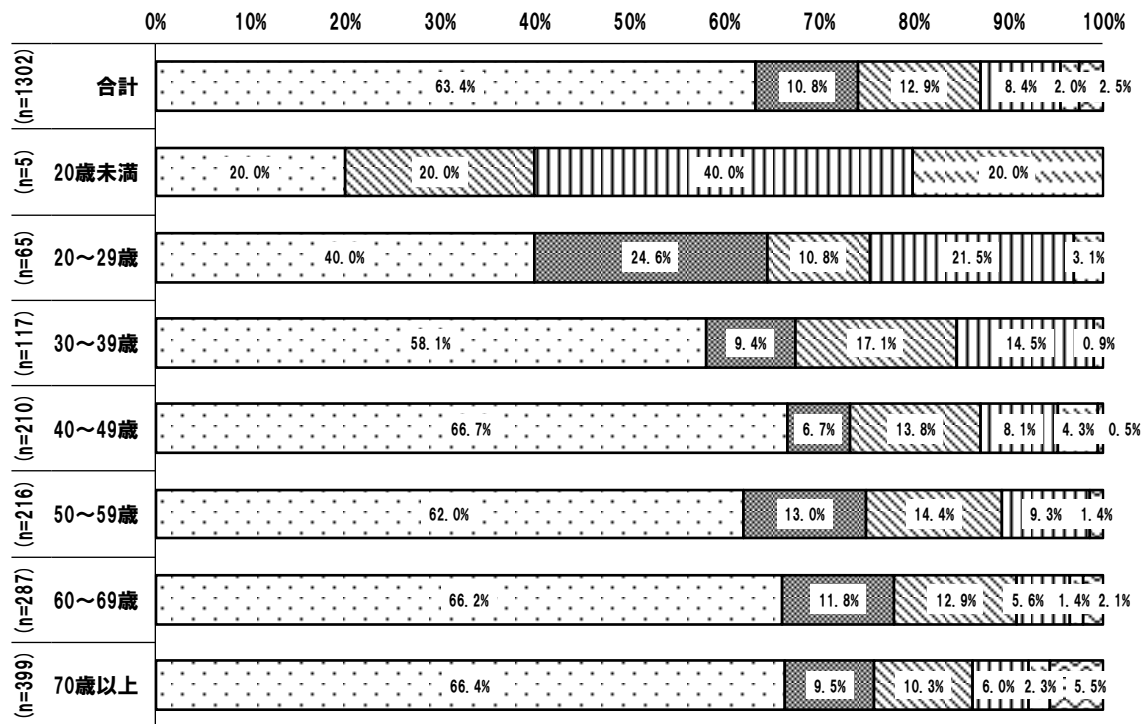
「①知っており、雑がみとして出している」の割合が最も高く 63.4%となっている。次いで、「③知らなかったので、家庭ごみとして出している。今後雑がみとして出したい (12.9%)」、「②知っているが、家庭ごみとして出している (10.8%)」となっている。

図表 108 雑がみ回収の認知度と排出行動



年齢別に見ると、「知っており、雑がみとして出している」の割合は、年齢が高いほど高い傾向にある。「知らなかったので、家庭ごみとして出している。引き続き家庭ごみとして出したい」の割合は、年齢が高いほど低い傾向にある。

図表 109 雑がみ回収の認知度と排出行動（年齢）

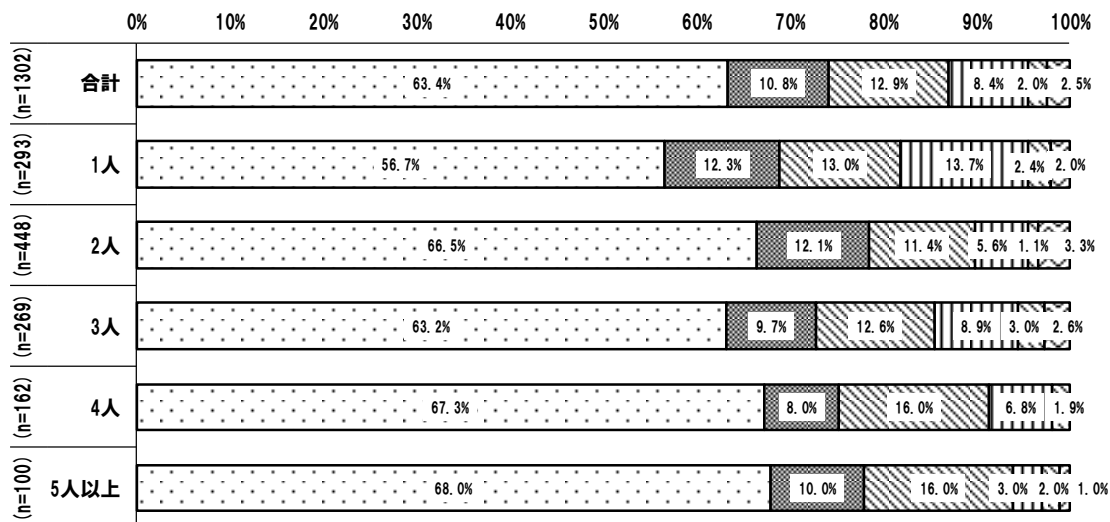


- 知っており、雑がみとして出している
- ▨知っているが、家庭ごみとして出している
- ▤知らなかったので、家庭ごみとして出している。今後雑がみとして出したい
- ▥知らなかったので、家庭ごみとして出している。引き続き家庭ごみとして出したい
- ▧その他
- 無回答

	合計	知っており、雑がみとして出している	知っているが、家庭ごみとして出している	知らなかったので、家庭ごみとして出している。今後雑がみとして出したい	知らなかったので、家庭ごみとして出している。引き続き家庭ごみとして出したい	その他	無回答
合計	1,302	825	141	168	110	26	32
	100.0%	63.4%	10.8%	12.9%	8.4%	2.0%	2.5%
20歳未満	5	1	0	1	2	1	0
	100.0%	20.0%	0.0%	20.0%	40.0%	20.0%	0.0%
20～29歳	65	26	16	7	14	2	0
	100.0%	40.0%	24.6%	10.8%	21.5%	3.1%	0.0%
30～39歳	117	68	11	20	17	1	0
	100.0%	58.1%	9.4%	17.1%	14.5%	0.9%	0.0%
40～49歳	210	140	14	29	17	9	1
	100.0%	66.7%	6.7%	13.8%	8.1%	4.3%	0.5%
50～59歳	216	134	28	31	20	0	3
	100.0%	62.0%	13.0%	14.4%	9.3%	0.0%	1.4%
60～69歳	287	190	34	37	16	4	6
	100.0%	66.2%	11.8%	12.9%	5.6%	1.4%	2.1%
70歳以上	399	265	38	41	24	9	22
	100.0%	66.4%	9.5%	10.3%	6.0%	2.3%	5.5%

同居人数別に見ると、「1人」における「知らなかったなので、家庭ごみとして出している。引き続き家庭ごみとして出したい（13.7%）」、「5人以上」における「知っており、雑がみとして出している（68.0%）」等で、全体の傾向よりも割合が高くなっている。

図表 110 雑がみ回収の認知度と排出行動（同居人数）



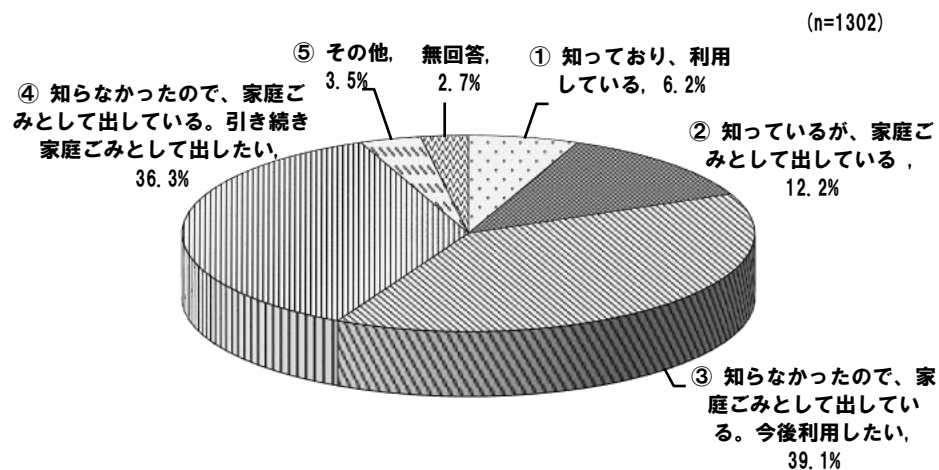
- 知っており、雑がみとして出している
- 知っているが、家庭ごみとして出している
- 知らなかったなので、家庭ごみとして出している。今後雑がみとして出したい。
- 知らなかったなので、家庭ごみとして出している。引き続き家庭ごみとして出したい。
- その他
- 無回答

	合計	知っており、雑がみとして出している	知っているが、家庭ごみとして出している	知らなかったなので、家庭ごみとして出している。今後雑がみとして出したい	知らなかったなので、家庭ごみとして出している。引き続き家庭ごみとして出したい	その他	無回答
合計	1,302	825	141	168	110	26	32
	100.0%	63.4%	10.8%	12.9%	8.4%	2.0%	2.5%
1人	293	166	36	38	40	7	6
	100.0%	56.7%	12.3%	13.0%	13.7%	2.4%	2.0%
2人	448	298	54	51	25	5	15
	100.0%	66.5%	12.1%	11.4%	5.6%	1.1%	3.3%
3人	269	170	26	34	24	8	7
	100.0%	63.2%	9.7%	12.6%	8.9%	3.0%	2.6%
4人	162	109	13	26	11	3	0
	100.0%	67.3%	8.0%	16.0%	6.8%	1.9%	0.0%
5人以上	100	68	10	16	3	2	1
	100.0%	68.0%	10.0%	16.0%	3.0%	2.0%	1.0%

2.6.3 コーティングされた紙容器の資源回収庫による回収の認知度

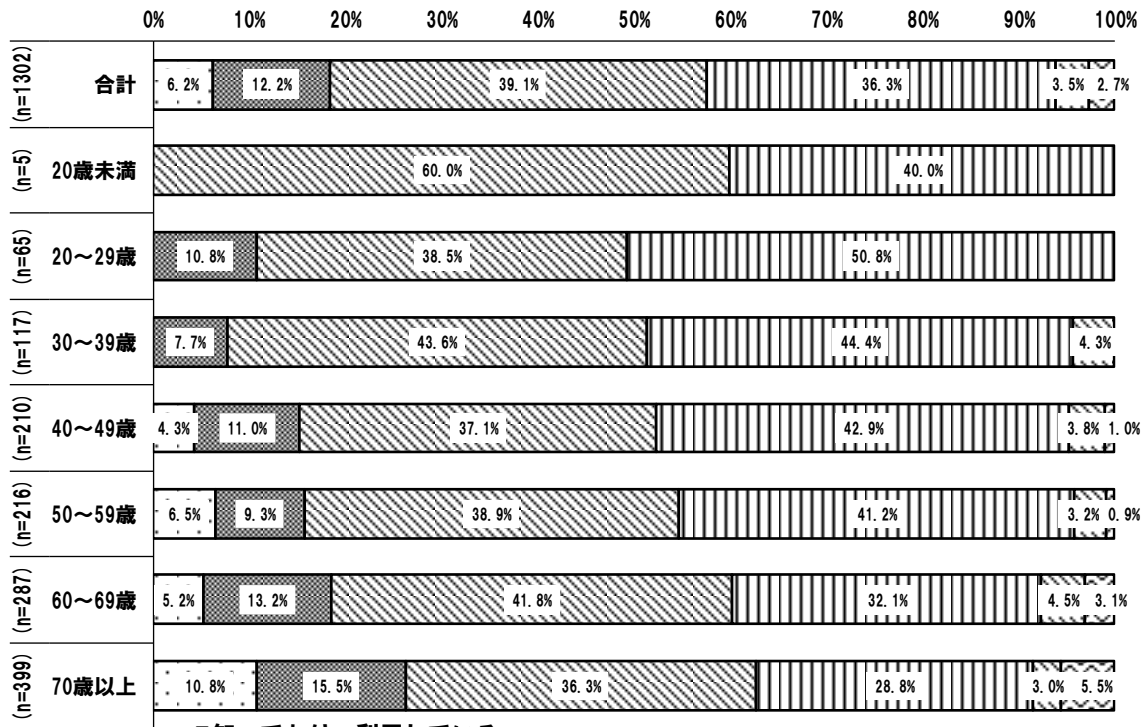
「③知らなかったのに、家庭ごみとして出している。今後利用したい」の割合が最も高く 39.1% となっている。次いで、「④知らなかったのに、家庭ごみとして出している。引き続き家庭ごみとして出したい (36.3%)」、「②知っているが、家庭ごみとして出している (12.2%)」となっている。

図表 111 コーティングされた紙容器の資源回収庫による回収の認知度



年齢別に見ると、「知っており、利用している」の割合は、年齢が高いほど高い傾向にある。「知らなかったの、家庭ごみとして出している。引き続き家庭ごみとして出したい」の割合は、年齢が高いほど低い傾向にある。

図表 112 コーティングされた紙容器の資源回収庫による回収の認知度（年齢）



- 知っており、利用している
- ▨知っているが、家庭ごみとして出している
- ▨知らなかったの、家庭ごみとして出している。今後利用したい。
- ▨知らなかったの、家庭ごみとして出している。引き続き家庭ごみとして出したい。
- ▨その他
- 無回答

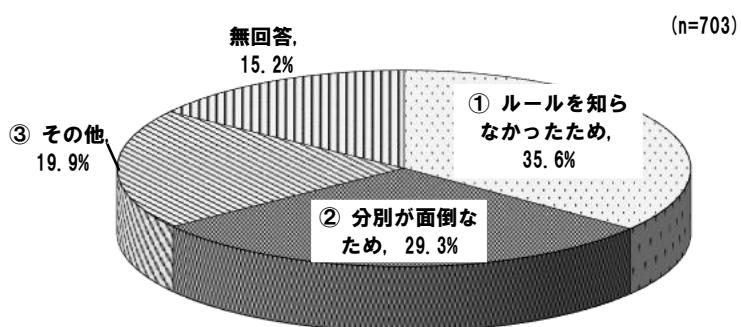
	合計	知っており、利用している	知っているが、家庭ごみとして出している	知らなかったの、家庭ごみとして出している。引き続き家庭ごみとして出したい	知らなかったの、家庭ごみとして出している。引き続き家庭ごみとして出したい	その他	無回答
合計	1302	81	159	509	473	45	35
	100.0%	6.2%	12.2%	39.1%	36.3%	3.5%	2.7%
20歳未満	5	0	0	3	2	0	0
	100.0%	0.0%	0.0%	60.0%	40.0%	0.0%	0.0%
20～29歳	65	0	7	25	33	0	0
	100.0%	0.0%	10.8%	38.5%	50.8%	0.0%	0.0%
30～39歳	117	0	9	51	52	5	0
	100.0%	0.0%	7.7%	43.6%	44.4%	4.3%	0.0%
40～49歳	210	9	23	78	90	8	2
	100.0%	4.3%	11.0%	37.1%	42.9%	3.8%	1.0%
50～59歳	216	14	20	84	89	7	2
	100.0%	6.5%	9.3%	38.9%	41.2%	3.2%	0.9%
60～69歳	287	15	38	120	92	13	9
	100.0%	5.2%	13.2%	41.8%	32.1%	4.5%	3.1%
70歳以上	399	43	62	145	115	12	22
	100.0%	10.8%	15.5%	36.3%	28.8%	3.0%	5.5%

2.6.4 雑がみを家庭ごみとして出す理由

「雑がみ回収の認知度」、「コーティングされた紙容器の資源回収庫による回収の認知度」のいずれかの設問において、「②知っているが、家庭ごみとして出している」または「④知らなかったため、家庭ごみとして出している。引き続き家庭ごみとして出したい」と回答があった 703 件を対象にその理由を把握した。

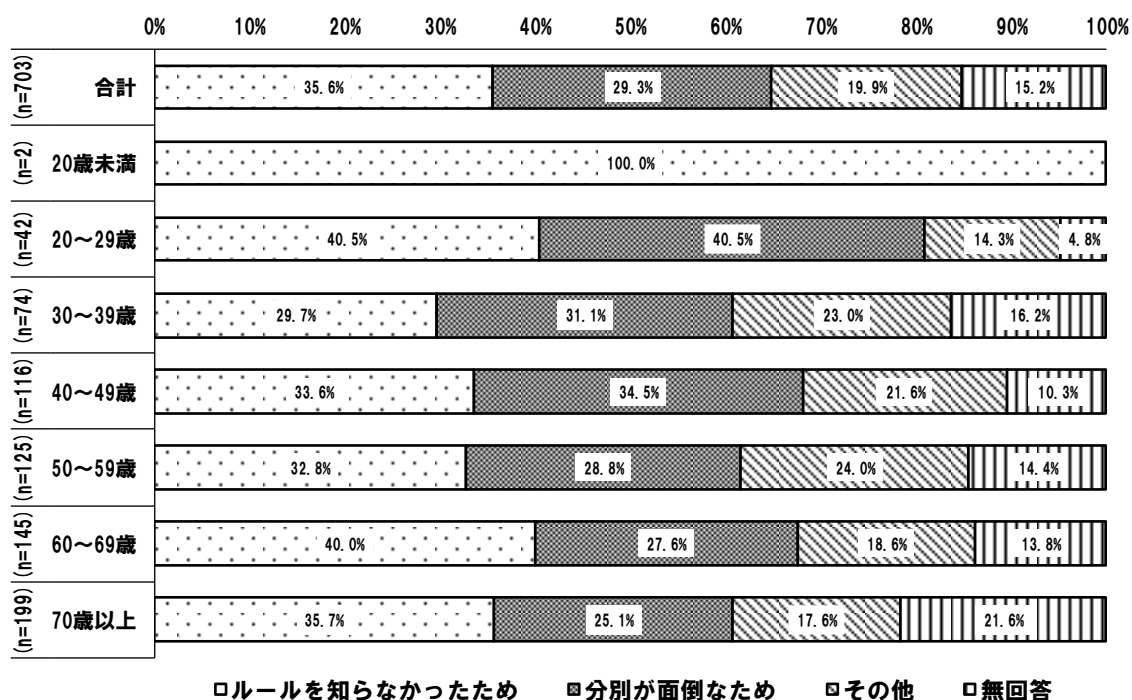
「①ルールを知らなかったため」の割合が最も高く 35.6%となっている。次いで、「②分別が面倒なため (29.3%)」、「③その他 (19.9%)」となっている。

図表 113 雑がみを家庭ごみとして出す理由



年齢別に見ると、「20～29歳」における「分別が面倒なため（40.5%）」、「40～49歳」における「分別が面倒なため（34.5%）」等で、全体の傾向よりも割合が高くなっている。

図表 114 雑がみを家庭ごみとして出す理由（年齢）



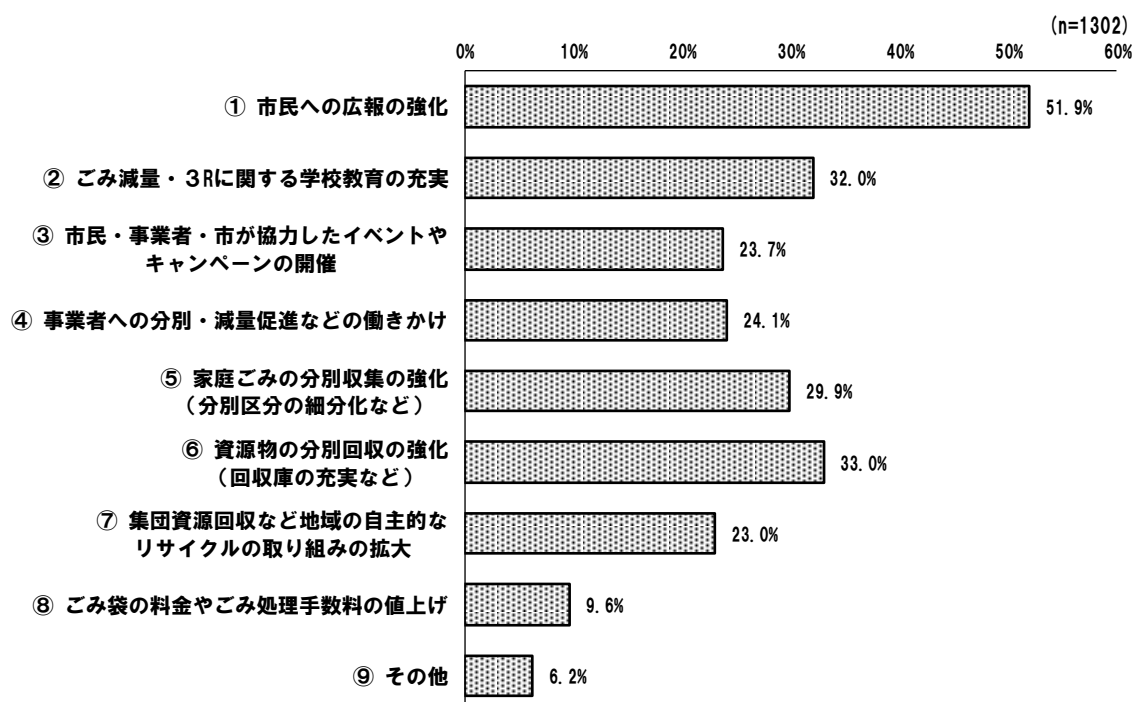
	合計	ルールを知らなかったため	分別が面倒なため	その他	無回答
合計	703	250	206	140	107
	100.0%	35.6%	29.3%	19.9%	15.2%
20歳未満	2	2	0	0	0
	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
20～29歳	42	17	17	6	2
	100.0%	40.5%	40.5%	14.3%	4.8%
30～39歳	74	22	23	17	12
	100.0%	29.7%	31.1%	23.0%	16.2%
40～49歳	116	39	40	25	12
	100.0%	33.6%	34.5%	21.6%	10.3%
50～59歳	125	41	36	30	18
	100.0%	32.8%	28.8%	24.0%	14.4%
60～69歳	145	58	40	27	20
	100.0%	40.0%	27.6%	18.6%	13.8%
70歳以上	199	71	50	35	43
	100.0%	35.7%	25.1%	17.6%	21.6%

2.7 更なるごみ減量・3Rの推進について

1) 全般

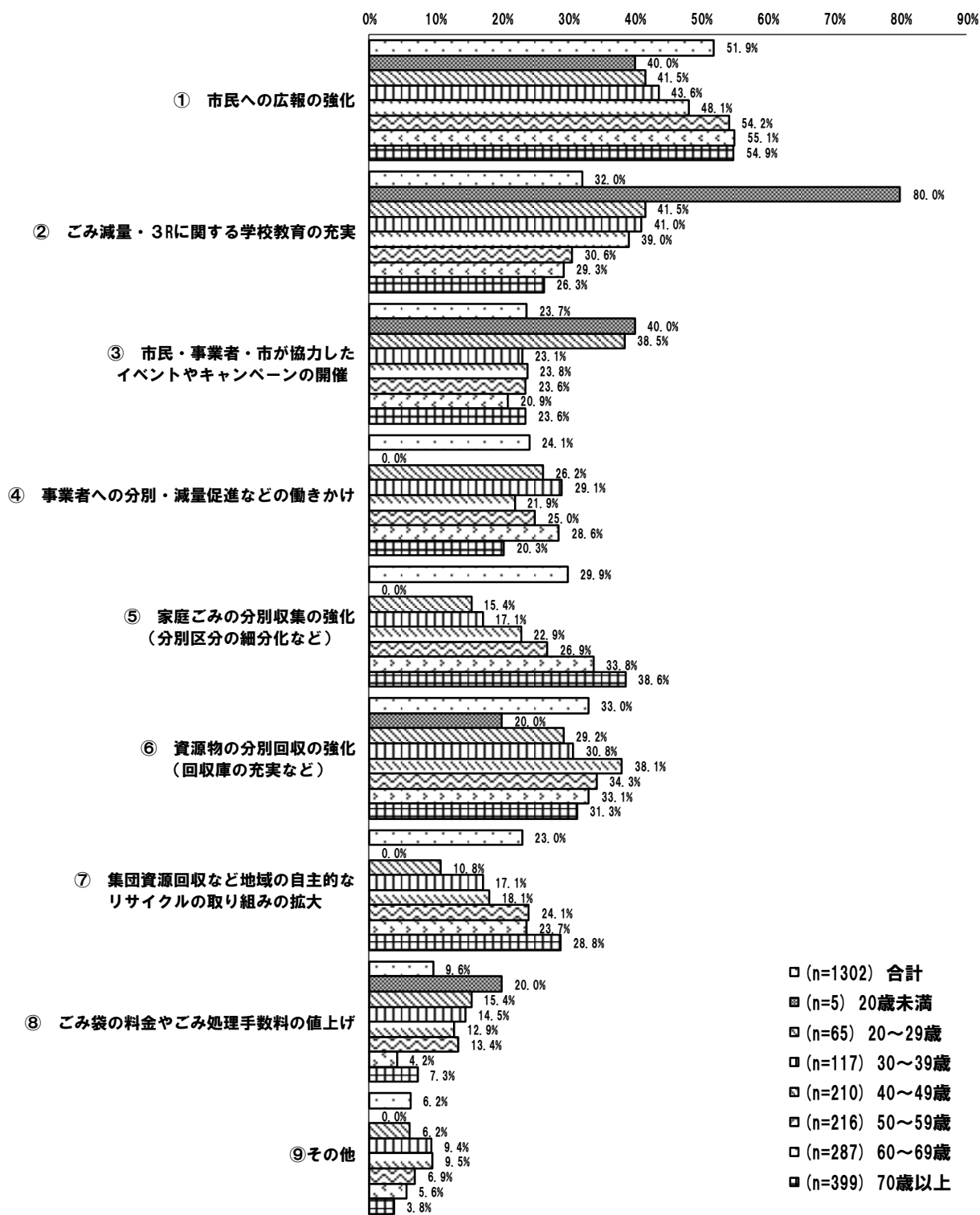
「①市民への広報の強化」の割合が最も高く51.9%となっている。次いで、「⑥資源物の分別回収の強化（回収庫の充実など）（33.0%）」、「②ごみ減量・3Rに関する学校教育の充実（32.0%）」となっている。

図表 115 市が講じるべき施策（全般） ※該当するもの3つまで回答



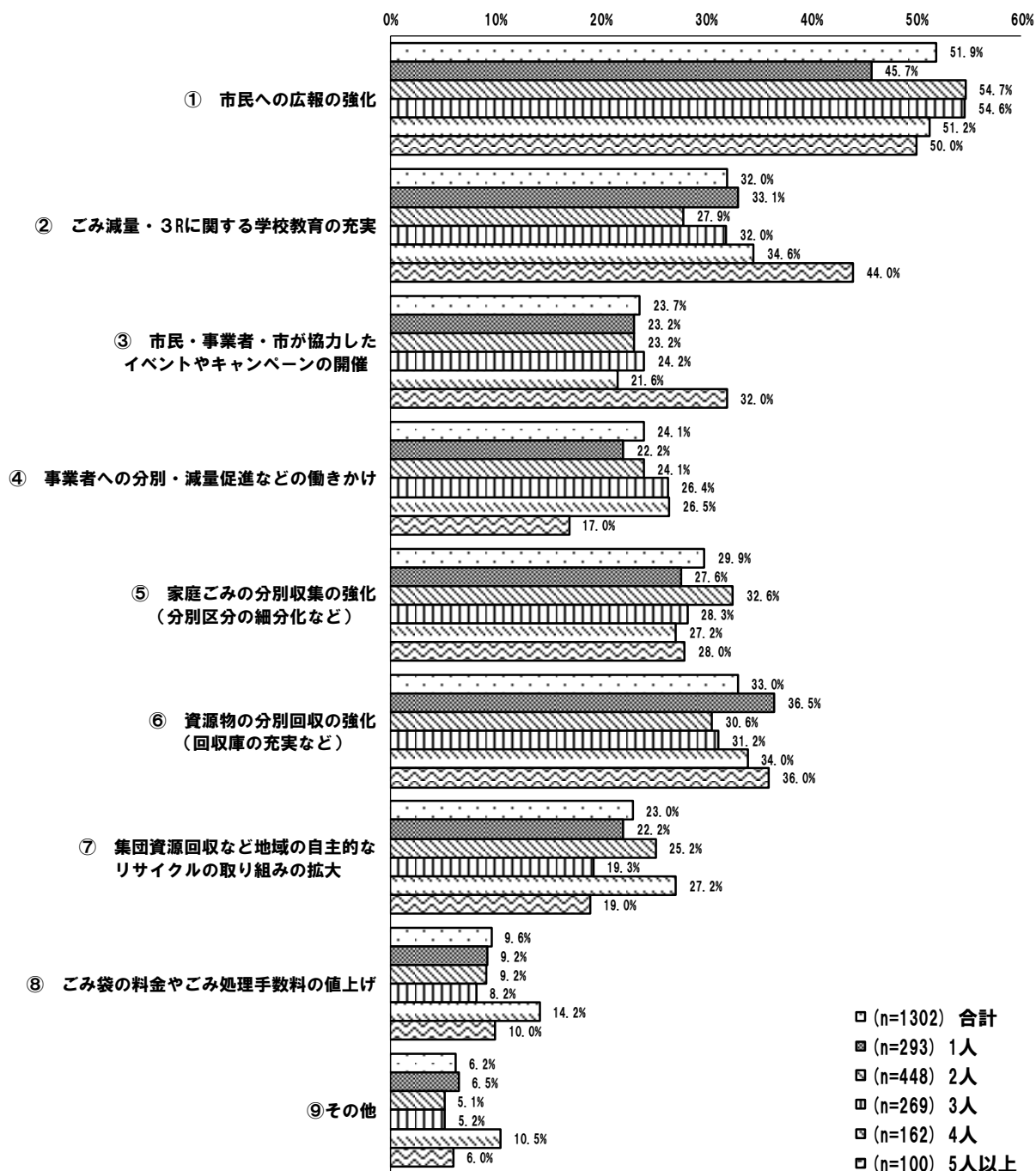
年齢別に見ると、「①市民への広報の強化」、「⑤家庭ごみの分別収集の強化（分別区分の細分化など）」、「⑦集団資源回収など地域の自主的なリサイクルの取り組みの拡大」の割合は、年齢が高いほど高い傾向にある。

図表 116 市が講じるべき施策（全般）（年齢）



同居人数別に見ると、「5人以上」における「②ごみ減量・3Rに関する学校教育の充実(44.0%)」、「5人以上」における「③市民・事業者・市が協力したイベントやキャンペーンの開催(32.0%)」、「4人」における「⑧ごみ袋の料金やごみ処理手数料の値上げ(14.2%)」等で、全体の傾向よりも割合が高くなっている。

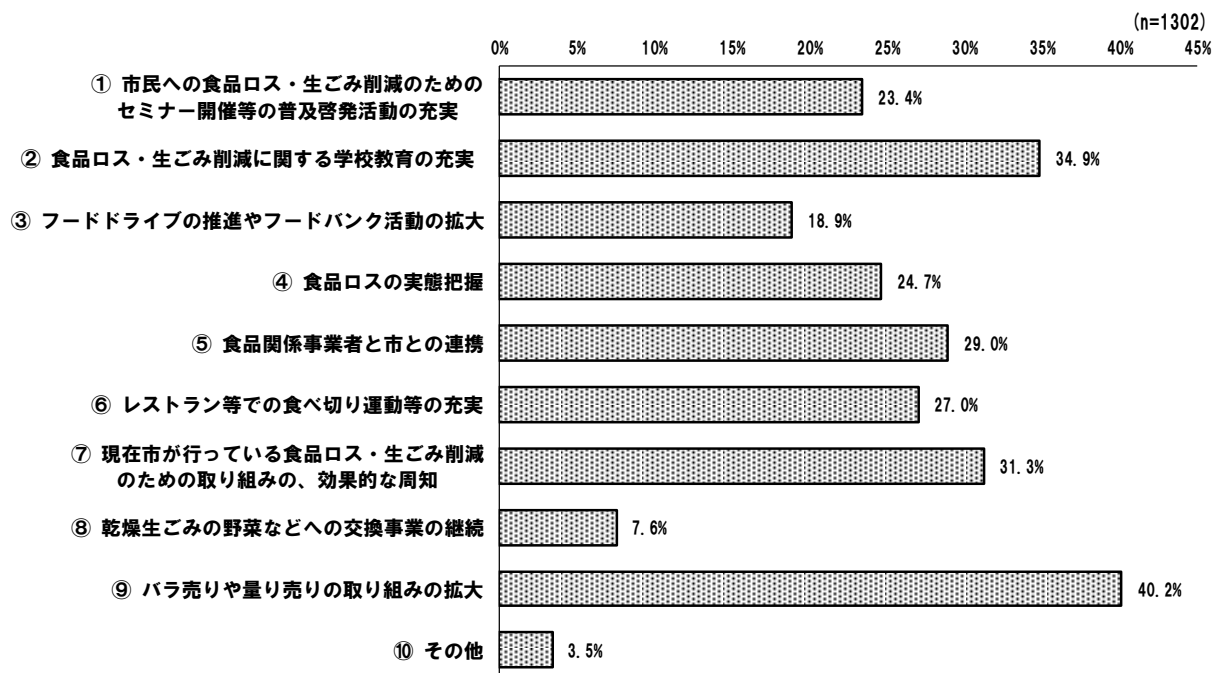
図表 117 市が講じるべき施策（全般）（同居人数）



2) 食品ロス・生ごみの削減

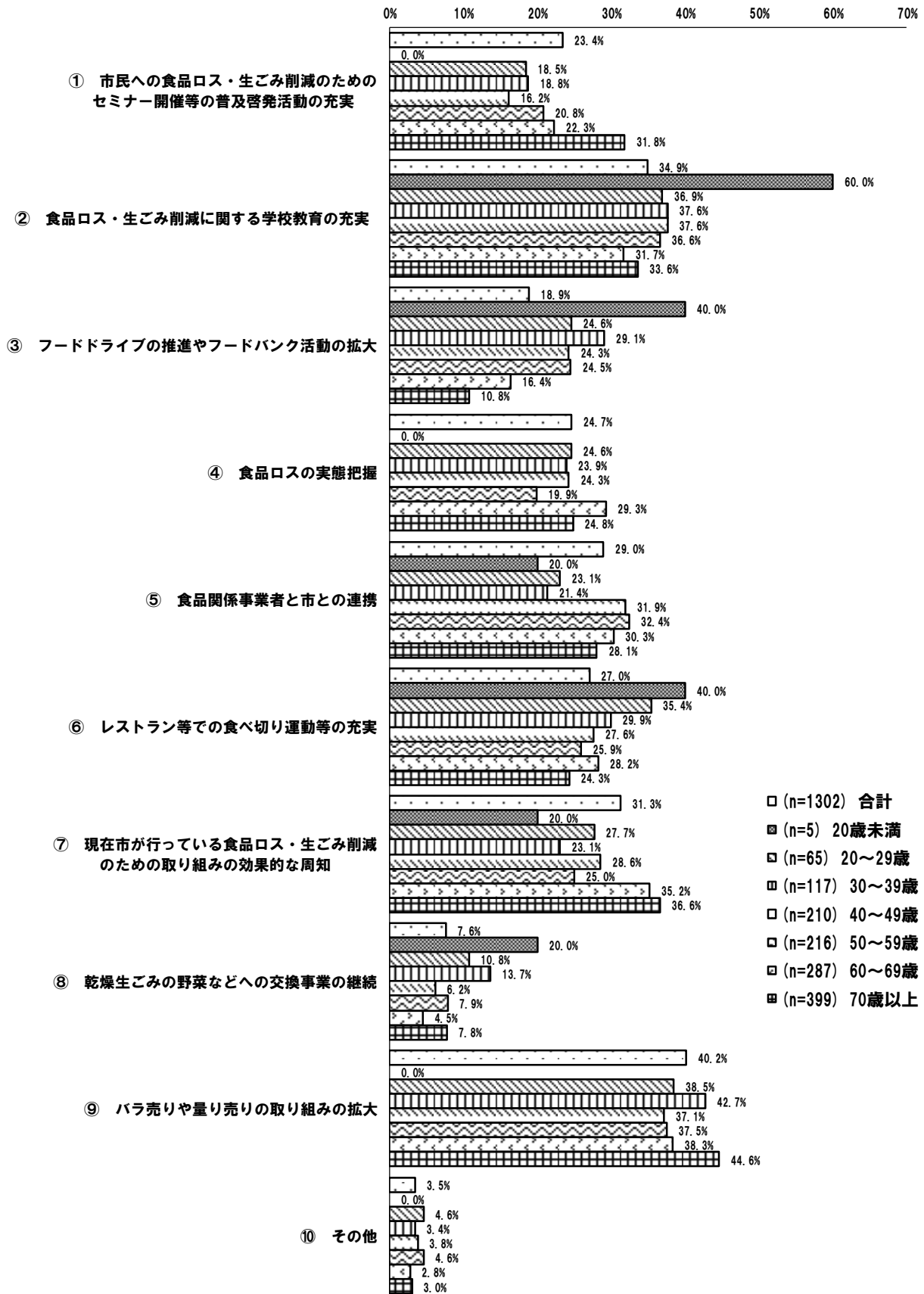
「⑨バラ売りや量り売りの取り組みの拡大」の割合が最も高く 40.2%となっている。次いで、「②食品ロス・生ごみ削減に関する学校教育の充実（34.9%）」、「⑦現在市が行っている食品ロス・生ごみ削減のための取り組みの、効果的な周知（31.3%）」となっている。

図表 118 市が講じるべき施策（食品ロス・生ごみの削減） ※該当するもの3つまで回答



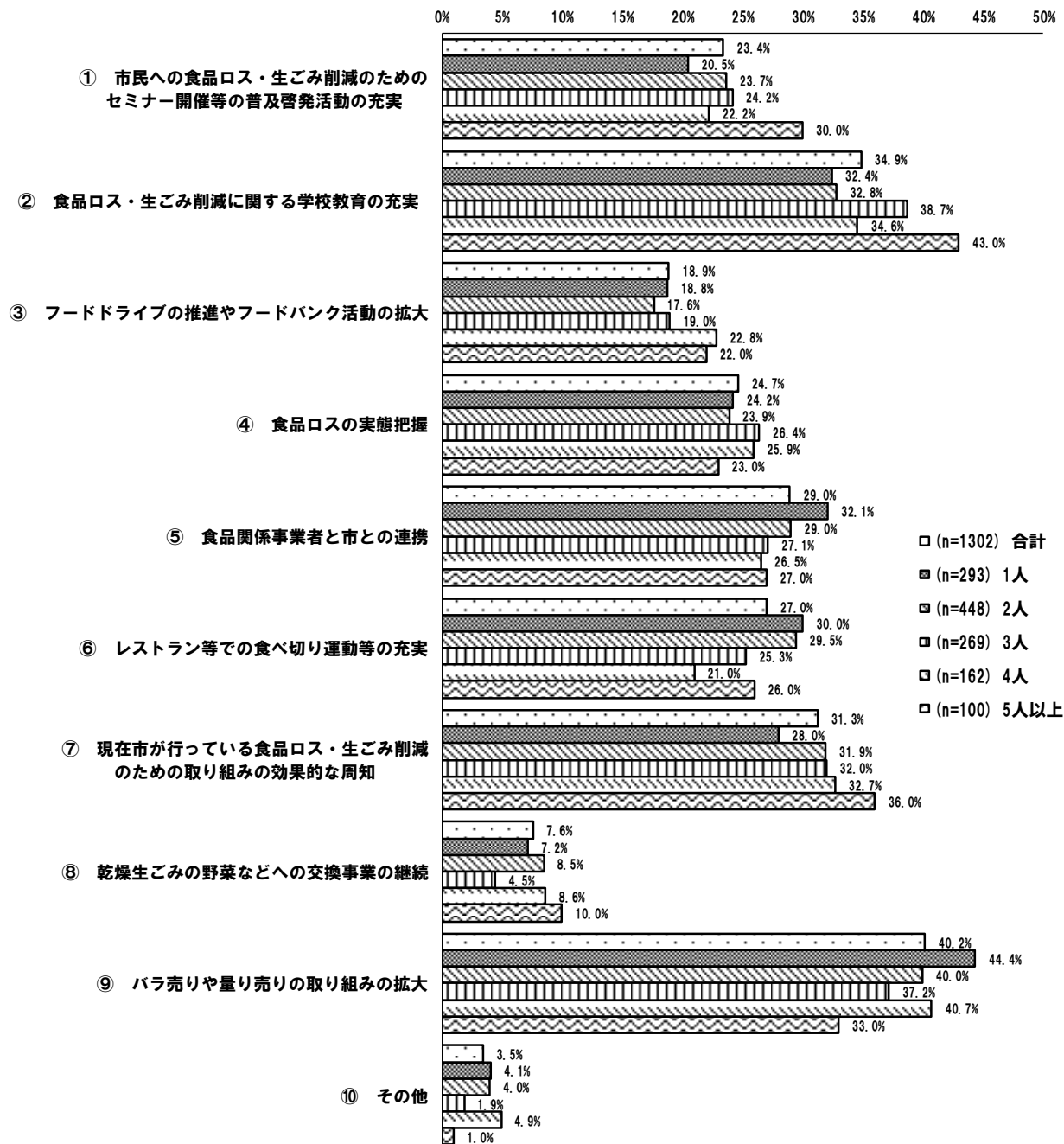
年齢別に見ると、「⑥レストラン等での食べ切り運動等の充実」の割合は、年齢が高いほど低い傾向にある。

図表 119 市が講じるべき施策（食品ロス・生ごみの削減）（年齢）



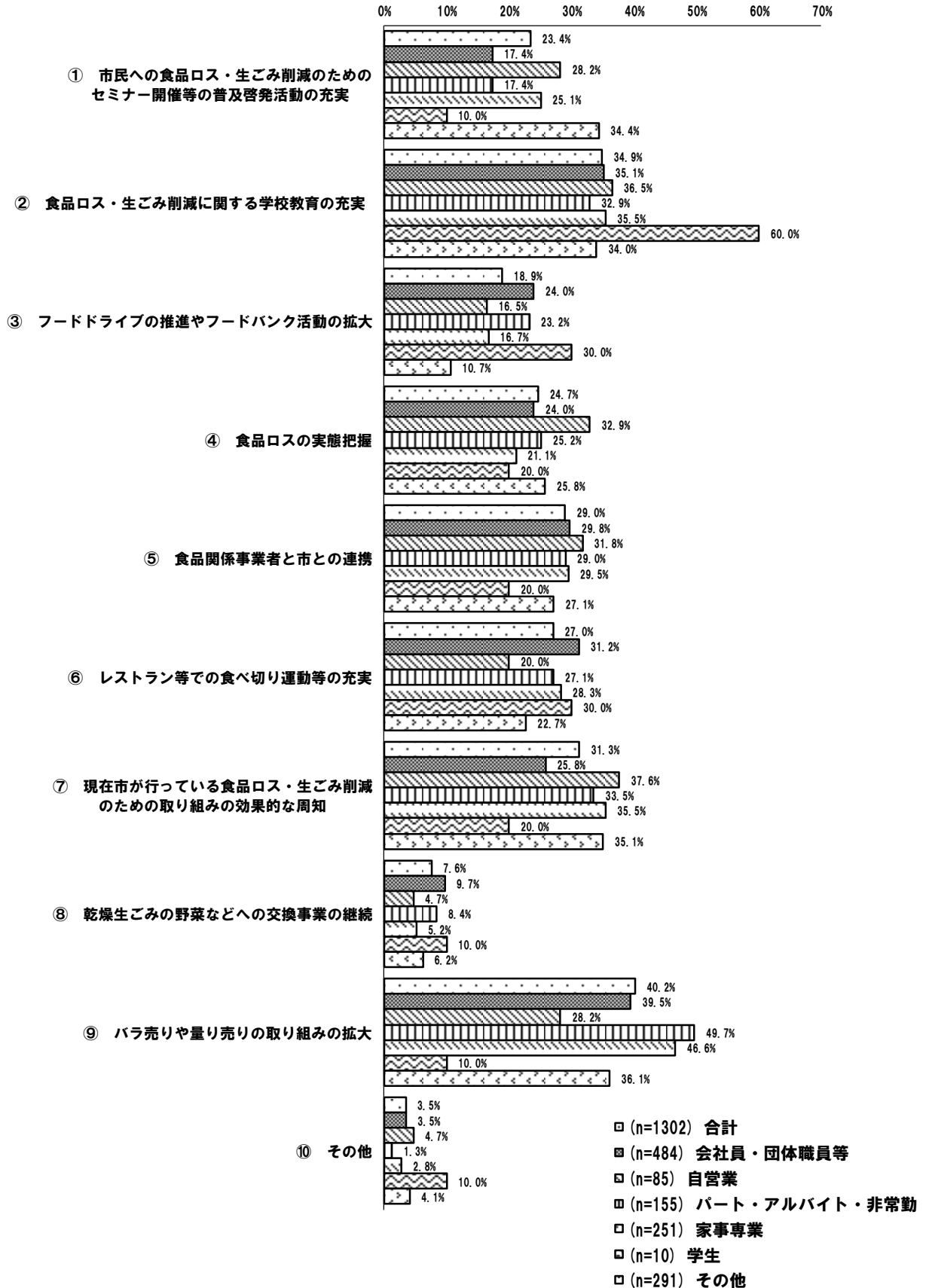
同居人数別に見ると、「⑤食品関係事業者と市との連携」の割合は、同居人数が多いほど低い傾向にある。「⑦現在市が行っている食品ロス・生ごみ削減のための取り組みの効果的な周知」の割合は、同居人数が多いほど高い傾向にある。

図表 120 市が講じるべき施策（食品ロス・生ごみの削減）（同居人数）



職業別に見ると、「学生」における「②食品ロス・生ごみ削減に関する学校教育の充実（60.0%）」、「学生」における「③フードドライブの推進やフードバンク活動の拡大（30.0%）」等で、全体の傾向よりも割合が高くなっている。

図表 121 市が講じるべき施策（食品ロス・生ごみの削減）（職業）

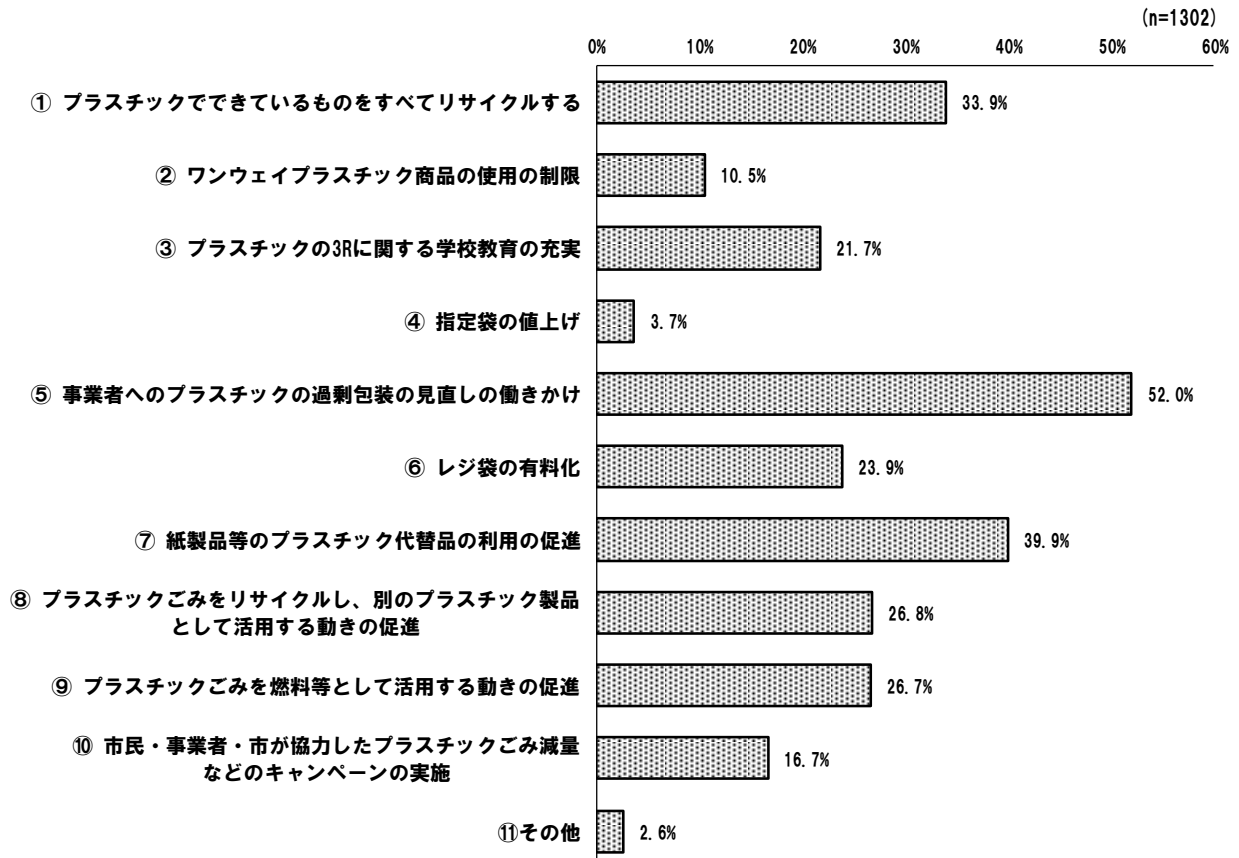


3) プラスチックごみの削減・リサイクルの促進

「⑤事業者へのプラスチックの過剰包装の見直しの働きかけ」の割合が最も高く 52.0%となっている。次いで、「⑦紙製品等のプラスチック代替品の利用の促進 (39.9%)」、「①プラスチックでできているものをすべてリサイクルする (33.9%)」となっている。

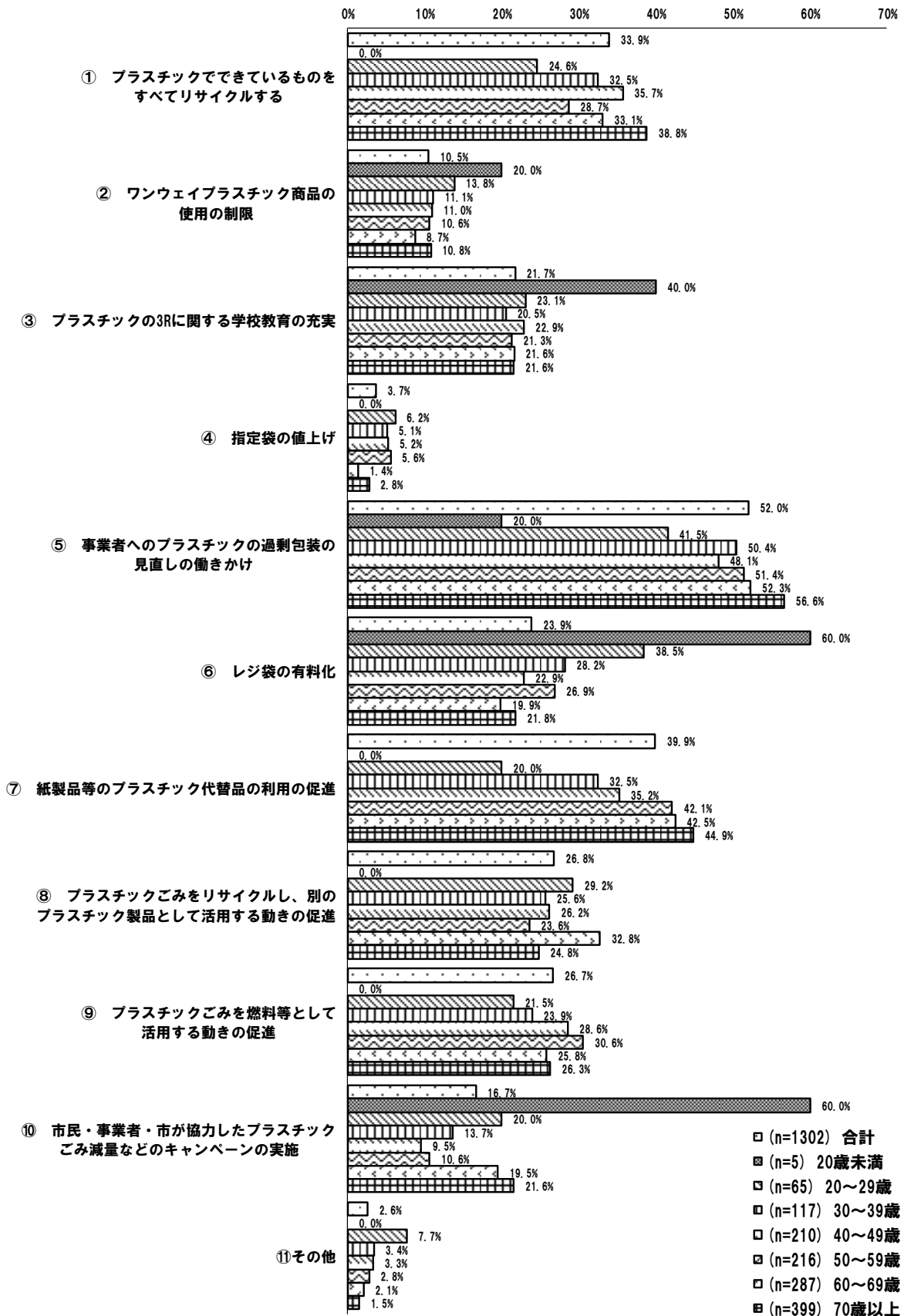
図表 122 市が講じるべき施策（プラスチックごみの削減・リサイクルの推進）

※該当するもの3つまで回答



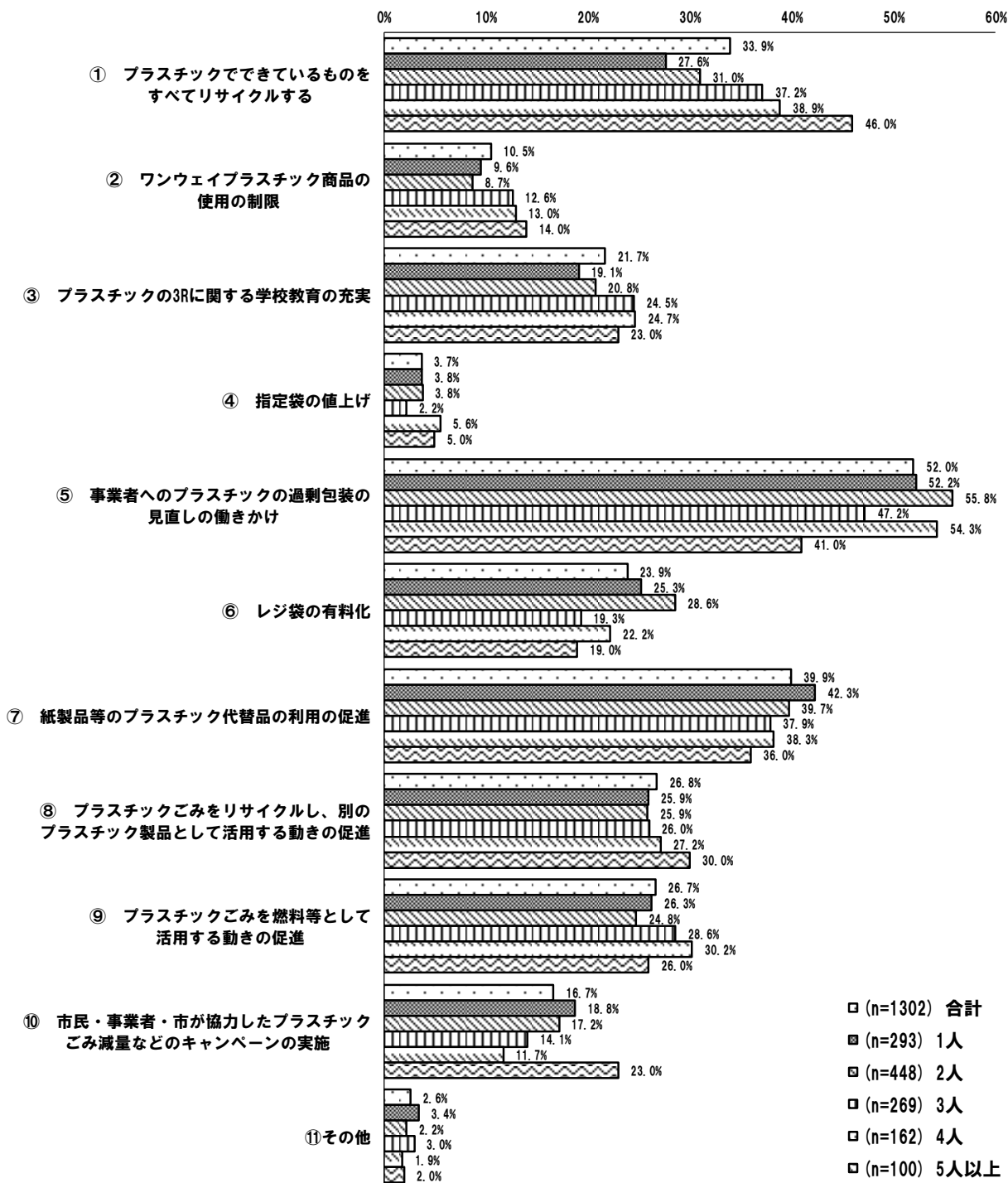
年齢別に見ると、「⑤事業者へのプラスチックの過剰包装の見直しの働きかけ」、「⑦紙製品等のプラスチック代替品の利用の促進」の割合は、年齢が高いほど高い傾向にある。

図表 123 市が講じるべき施策（プラスチックごみの削減・リサイクルの推進）（年齢）



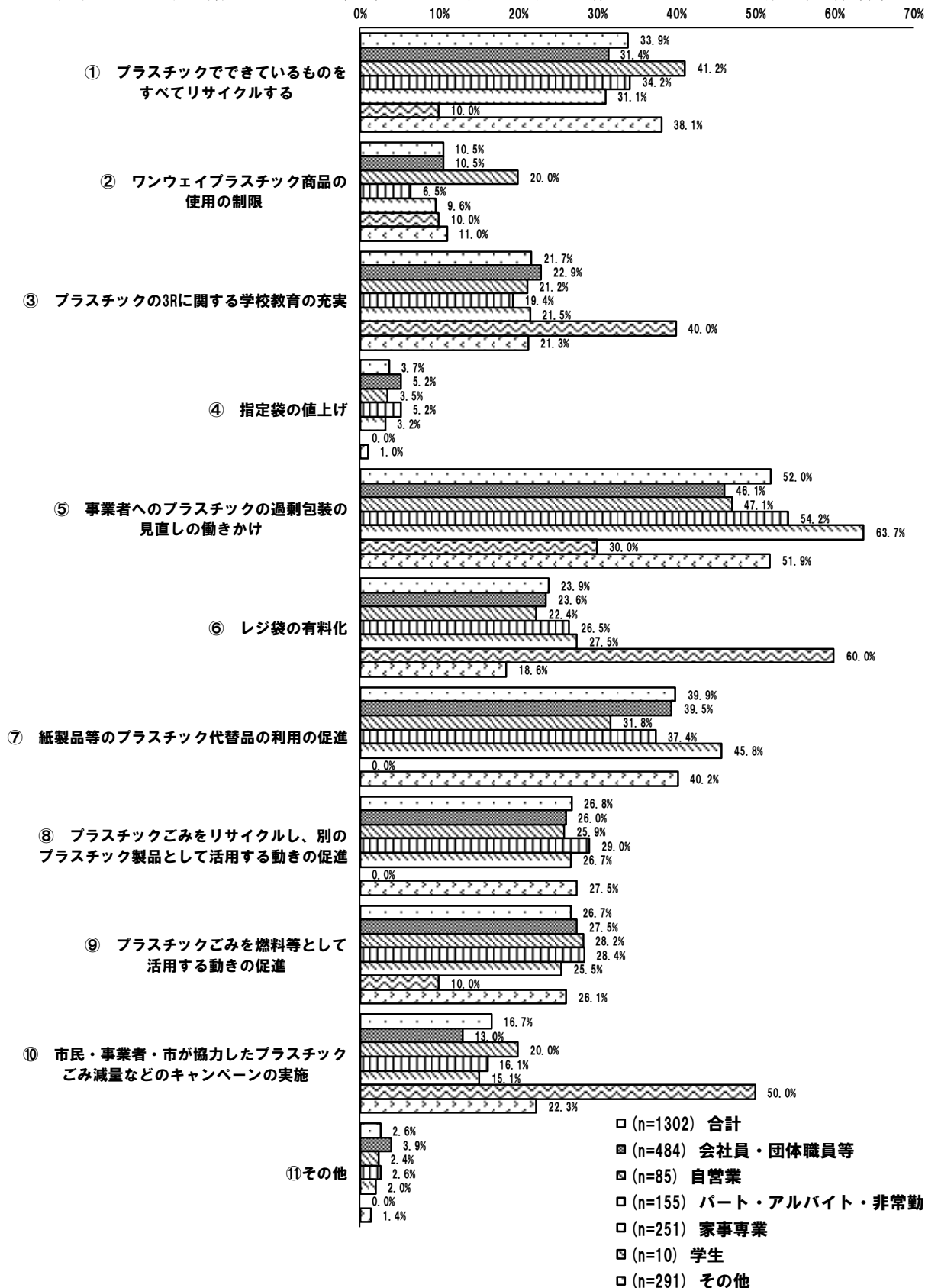
同居人数別に見ると、「⑦紙製品等のプラスチック代替品の利用の促進」の割合は、同居人数が多いほど低い傾向にある。「①プラスチックでできているものをすべてリサイクルする」の割合は、同居人数が多いほど高い傾向にある。

図表 124 市が講じるべき施策（プラスチックごみの削減・リサイクルの推進）（同居人数）



職業別に見ると、「学生」における「⑥レジ袋の有料化（60.0%）」、「⑩市民・事業者・市が協力したプラスチックごみ減量などのキャンペーンの実施（50.0%）」、「③プラスチックの3Rに関する学校教育の充実（40.0%）」等で、全体の傾向よりも割合が高くなっている。

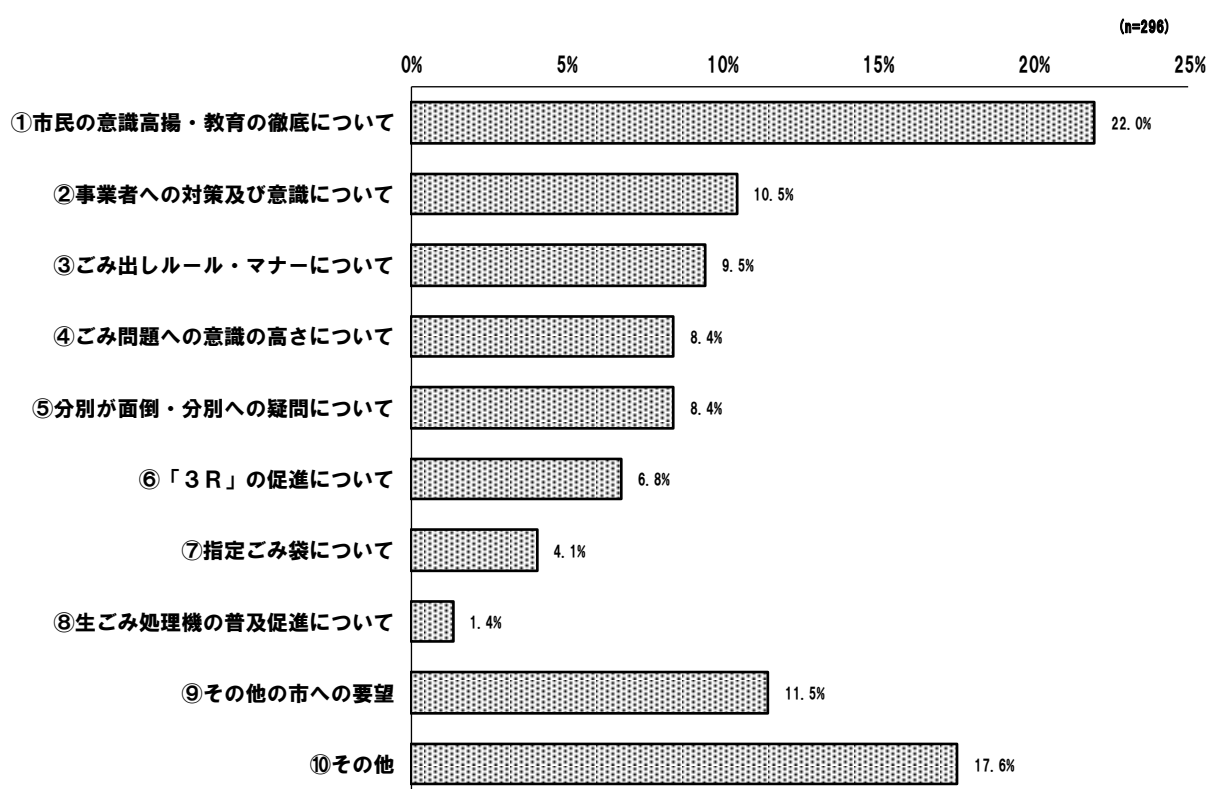
図表 125 市が講じるべき施策（プラスチックごみの削減・リサイクルの推進）（職業）



2.8 自由回答

仙台市のこれまでのごみ処理施策や今後の方向性などについて自由記載で意見を求め、以下の10分類の回答集計を行った。「①市民の意識高揚・教育の徹底について」の割合が最も高く22.0%となっている。次いで、「⑩その他(17.6%)」、「⑨その他の市への要望(11.5%)」「②事業者への対策及び意識について(10.5%)」となっている。

図表 126 自由回答の内容及び件数



(全 296 件のうち) 主な回答

【市民の意識高揚・教育の徹底】 65 件

- 回覧をもっと多く利用し、各家庭、個人の意識を高めて欲しい。町内ごとに清掃公社などの見学があれば気軽に参加したい。(泉区 60~69 歳女性)
- 細やかな各種施策の推進に当たりましては本当にご苦労様でございます。私たち市民もしっかりと意識を持っていかねばと改めて感じました。子供達に教えて行くことが、長い目で見るということで大事であると思います。子育て中の親も子供から注意をされたり、教えられたりすると意識改善が進むと思います。(青葉区 60~69 歳男性)
- 仙台市が、ゴミ・プラスチック・食品ロス等に対して、今までどのような施策を行い、どのような成果をあげているのかが、まったくわからないので、市民への広報の強化や、NPOや市民団体と連携し、行政のみの問題としてではなく、市民一人ひとりが自分の問題として考えられるよう学校への出前授業、町内会への出前講座などを、お願いしたい。(小学校の子供達にゴミ削減のお話をしていただくと、家に帰ってご両親にも話し、ゴミ減量につながるよいサイクルが

できるのではないか) (泉区 60~69 歳男性)

- 市民の理解と協力が得られなければ、効果は出ないと思う。1人1人が考えて行動しなければいけないことを、大人にも教育しなければいけない。安易に有料化や値上げを実施しても、専用袋を利用せず、ゴミを投棄する人もでてくるだろうし、ルールを守らせる労力も必要になってしまう。現状と将来生じる問題についての情報を知ってもらふ必要があるように感じます。(青葉区 40~49 歳男性)
- ごみ処理に関しては全く、市の取り組みなどをしていいるとは知らなかった。市のまつりや区のまつりなどでプラスチックがどんな風にリサイクルされているのか、体験型の催しをしたら、子供も大人もより関心を集められると思う。また、生ゴミ(家庭で出たもの)をたい肥にする容器などを使ってたい肥を作ったとして、それを買いとってもらえるようにしたら、フードロスはなくなるのでは? (若林区 40~49 歳女性)
- 取組みの具体的な結果・効果(単に処理量ではなく、どのようなメリット等があったのか等)を知らせることにより、市民の廃棄物処理に対するモチベーションが高まるのではないか。(青葉区 60~69 歳男性)
- 市だけで向き合うことでなく、市民・国民として意識高く向き合うべきと思います。ごみ処理施策に成功している国・地域の取組を真似て、仙台独自の取組が生み出されることを期待します。(泉区 30~39 歳男性)
- 家庭のごみに関しては、分別が色々あるのでめんどうだという話をよく聞きます。めんどうにしないための方法を具体的に市のおたより等にひんぱんに書くべきだと思います。また1人、1人が将来の人達の為にといい気持ちで取り組む事の大切さを書くべきだと思います。(若林区 60~69 歳女性)

【事業者への対策及び意識について】 31 件

- 店でのレジ袋の配布が安易すぎるし、多すぎる。希望のあったものだけを配れば良いと思う。または、有料化することが必要と思う。(太白区 70 歳以上男性)
- 家庭ではできる範囲で気をつけてゴミ出しや物の選別をしていますが、いざ買い物に行くと過剰包装やプラスチック、複雑な容器が多いと感じます。外国のように量り売りで個包装をやめるなど、できたらいいなと思います。日本は本当に包装が多いです。(太白区 40~49 歳女性)
- 特にありませんが、食品ロスについては、個々に減らせると思います。しかし、商品を購入した際のパッケージのプラスチックごみについては、私達市民にはどうすることもできません。お店、各企業が包装やパッケージを変えてくれなくては減らそうにも減らしようがないです。値上げや有料化で解決させようとするには反対です。(太白区 30~39 歳女性)
- プラスチックごみの量が知らず知らずのうちに多くなっています(週1回の回収ですが2袋は出すことになっています)。プラスチックがいろいろな製品に多量に使われているためと思います。紙製品への代替などへの転換を事業者とともに進めてほしいと思います。(泉区 50~59 歳男性)
- ごみのごみになる前の「商品」の段階で、ごみになった時の扱いやすさに着目し、ごみのない商品、ごみの少ない商品、簡単にリサイクル出来る商品を増やす施策が必要だと感じます。(青葉区 30~39 歳女性)

【ごみ出しルール・マナーについて】 28 件

- 周りのゴミ出しマナーが悪く(指定日、分別、しぼり方等)特にプラスチックごみは、出してい

るのが自分だけではないかというくらい。今のところマナーを守ってきっちりと出しているが、自分だけ守っているのが馬鹿らしくなってきた。意識改革や啓発活動などのきれい事ばかり考えていないで、罰則取り締まりなどを強化していかないと改善しないと思う。(青葉区 30～39 歳男性)

- 燃えるごみですが、収集日以外に集積所に出す方がいます。近くのカラスが、袋を破り大変不衛生になっています。ごみの出すルールについてこういった方々に対する市の条例を検討してはいいかかと思えます(若林区 50～59 歳男性)
- アパート人種のマナーがなってない。不動産屋に責任をとってもらったどうか。(太白区 60～69 歳女性)
- アパート住人・町内会への未会入者は、自由に任意の場所へゴミを出しているが、分別が徹底されてないのが現状です。外国人向け冊子やパンフの充実をお願いします。(青葉区 60～69 歳男性)
- ゴミ出しのルールを守らない住民がいる。ゴミ出しの細分化袋に名前を書く等を。(太白区 50～59 歳男性)

【ごみ問題への意識の高さについて】 25 件

- 仙台市が進めている家庭ゴミの堆肥化授業に 3 回程出席し、受講しました。非常に役に立ち、家庭菜園の肥料に役立っています。(宮城野区 70 歳以上男性)
- 全てのゴミ回収をしていただき感謝しています。町内会と連携を密にし、広報していただければそれに従い実行出来ると思います。(泉区 70 歳以上男性)
- 指定袋に決定してから、ゴミの分別がしやすくなったと思います。市民が、もう少し理解をして協力できるようになれば…と。これからは、もっと意識をして分別したいと考えています。(若林区 60～69 歳男性)
- ワケルくんの取りくみはとても良いと思います。あのシュールな表情とユニークなデザインでごみの分別・削減をよびかけてもらえると楽しんで実践できます。(若林区 30～39 歳女性)
- 町内会の回覧により、平成 4. 10. 24、コダマの生ゴミ処理器、コンポストを購入しました。仙台市からいくらか補助がありました。今も使用しています。仙台市はずいぶん前からゴミについて力をいれていたのだなあと感心しました。施設を見学する会で「プラゴミ処理」工場に行きました。コンベアに袋入のコンニャク、くつの片方などのって流れてくるのにはびっくりしました。市政だよりなどでもっと具体的に説明するのによいと思います。(宮城野区 70 歳以上女性)

【分別が面倒・分別への疑問について】 25 件

- 仕方がないが分別は面倒 資源回収日もっと増やしてほしい(ためておきたくない)(青葉区 50～59 歳女性)
- プラスチックも焼却しているときいているが、分別回収している意味が本当にあるのか、疑問に思っている。外国人も多くなっており、ゴミについても理解できるよう教育、指導を積極的にすべきではないか？(太白区 60～69 歳女性)
- 他県から来たが、ゴミ袋代が高いわりに分別化があいまい。これだと指定ゴミ袋を使用する意味がわからない。色んな県にいったが、札幌市はわかりやすかった。(指定ゴミ袋だと使えば分別自由とか) 代金払うわりに市民に還元されていないように思う。(泉区 40～49 歳男性)
- プラゴミをどの様に利用しているのか知りたい。分別しても再利用していないという話も聞い

ています。形だけ分別させられるのは、ただ面倒なだけです。(若林区 50～59 歳女性)

- 毎日ごくろう様です。プラスチックごみが、どの様に生れ変わるのか、どの様に使われるのか、良く見えない様に感じられます。また、プラスチックでも、出せないプラスチックがあると思っ
ていない方も、少し見られる様なので、なぜ全部をプラスチックとして出せないのか疑問に思
う事もあります。スーパー等で、ポイントが付くから出すという方も増えていると思うので何か
特徴があっても…(宮城野区 60～69 歳女性)

【「3R」の推進】 20 件

- リサイクルによる目に見える成果を示すことが大事ではないか。例えば、税金が〇〇円節約さ
れて、その分が環元されたとか。有効に使えたとか。単に美説やモラルだけでなく益があっても
いいのでは。カンのリサイクルなどは正に益があるからで、小銭でも集めるのは楽しいもので
す。ゴミの有料化も一つですが、メーカーにも義務づけてもいいと思います。(泉区 40～49 歳
男性)
- 「3R」を国家的事業として優先的に取り組む。(青葉区 60～69 歳男性)
- 3R活動というものを知らなかったのもっとPRして欲しい。(泉区 60～69 歳女性)
- ペットボトル飲料はデポジット制度が普及すると良い。(青葉区 50～59 歳男性)
- スーパーとかでリサイクル出きる物は全て回収してほしい。(青葉区 40～49 歳女性)

【指定ごみ袋について】 12 件

- 指定ごみ袋を値下げしてほしいです。出産後に市からごみ袋を頂けて大変助かりました。子供
がいるとおむつを捨てるのにごみ袋をかなり使います。おむつはスーパーのごみ袋でも可にし
てもらえたら良いのに…と思います。(太白区 30～39 歳女性)
- プラと家庭ごみの袋の金額がほとんど変わらず分別かめんどうな事もあり、家庭ごみの袋で全
部出してしまうます。もう少し金額を変えたりプラでだすとお得感があるといいかと思
います。(太白区 50～59 歳女性)
- アルミゴミ等を回収売った代金でごみ袋代を賄えないのか！上記の収支を市政だより等で何
故発表しないのか。(宮城野区 70 歳以上男性)
- 指定袋の値上げをしてもゴミは減りません。かえってルールを守らない人が増えるだけで
す。ワケル君がんばれ！(宮城野区 50～59 歳男性)

【生ごみ処理機の普及促進】 4 件

- 生ごみ処理機を使用しているが、もっと普及させる事によって生ごみの量が減る。そのために
①市でのPR。②補助金の大幅な増。③使用する事でのメリット等を広報、実施すべきではない
か。アンケート調査をした事で満足してはいけない。(泉区 70 歳以上男性)
- 家庭ゴミに関しては厳しいルールの見直しが必要。生ごみを減らすためには一家に一台生ご
み処理の設置費用を市で負担するなど、本格的な取組みを希望。リサイクルなどの活動強化には、
個人的に得になる施策が協力体制をおおぐことにつながると思う。(青葉区 40～49 歳女性)

【その他の市への要望】 34 件

- 資源回収庫の設置場所を増やしてほしい(宮城野区 60～69 歳女性)
- ごみの各家庭ごとの個別回集を検討して欲しい(青葉区 40～49 歳女性)
- 家庭ゴミに関しては厳しいルールの見直しが必要。生ごみを減らすためには一家に一台生ご
み処理の設置費用を市で負担するなど、本格的な取組みを希望。リサイクルなど活動強化には、個
人的に得になる施策が協力体制をおおぐことにつながると思う。(青葉区 40～49 歳女性)

【その他】 52 件

- ごみの減量、リサイクルしたあとの事、何のために、何になるのか、がよくわからない 「3R」が身近なところで感じられない。リサイクルしても生活の何に還元されているのかわからない（泉区 40～49 歳女性）
- ゴミの不法投棄が到る所で見受けられます。法的に厳しい罰則が望まれます。（青葉区 70 歳以上男性）
- リサイクルポイントのような制度を導入すればリサイクル率が向上するのではないかと思います。（泉区 20～29 歳男性）
- 今後、日本人以外に、外国人が多く生活する時代が到来しますので、説明書及び外国人向き講習会が必要と思われますので、ご検討下さい。（青葉区 60～69 歳男性）
- 情報が少なく分かりにくい。（泉区 40～49 歳男性）

3. 【参考】調査票と結果概要

仙台市「ごみに関する市民意識調査」 調査票

1. あなた自身のことについて

(1) 以下の各項目について、該当するもの1つに○を付けてください。

◆ 居住区

1. 青葉区	2. 宮城野区	3. 若林区
4. 太白区	5. 泉区	

	合計	①青葉区	②宮城野区	③若林区	④太白区	⑤泉区	無回答
合計	1302	369	229	160	272	270	2
	100.0%	28.3%	17.6%	12.3%	20.9%	20.7%	0.2%

◆ 性別

1. 男性	2. 女性
-------	-------

	合計	①男性	②女性	無回答
合計	1302	677	618	7
	100.0%	52.0%	47.5%	0.5%

◆ 年齢

1. 20歳未満	2. 20～29歳	3. 30～39歳	4. 40～49歳
5. 50～59歳	6. 60～69歳	7. 70歳以上	

	合計	①20歳未満	②20～29歳	③30～39歳	④40～49歳	⑤50～59歳	⑥60～69歳	⑦70歳以上	無回答
合計	1302	5	65	117	210	216	287	399	3
	100.0%	0.4%	5.0%	9.0%	16.1%	16.6%	22.0%	30.6%	0.2%

◆ 世帯構成

1. 一人暮らし	2. 夫婦(パートナー)のみ	3. 二世帯(あなたと親)	4. 二世帯(あなたと子)
5. 三世帯	6. その他()		

	合計	①一人暮らし	②夫婦(パートナー)のみ	③二世帯(あなたと親)	④二世帯(あなたと子)	⑤三世帯	⑥その他	無回答
合計	1302	310	387	61	435	65	37	7
	100.0%	23.8%	29.7%	4.7%	33.4%	5.0%	2.8%	0.5%

◆ 家族等同居人数(あなたを含んだ人数をお答えください)

1. 1人 2. 2人 3. 3人 4. 4人
5. 5人以上

※「家族等同居人数」については、友人等同居人も含みます。

	合計	①1人	②2人	③3人	④4人	⑤5人以上	無回答
合計	1302	293	448	269	162	100	30
	100.0%	22.5%	34.4%	20.7%	12.4%	7.7%	2.3%

◆ 職業

1. 会社員・団体職員等 2. 自営業 3. パート・アルバイト・非常勤
4. 家事専業 5. 学生 6. その他()

	合計	①会社員・ 団体職員等	②自営業	③パート・ アルバイト ・非常勤	④家事専業	⑤学生	⑥その他	無回答
合計	1302	484	85	155	251	10	291	26
	100.0%	37.2%	6.5%	11.9%	19.3%	0.8%	22.4%	2.0%

◆ 居住形態

1. 一戸建 2. 分譲マンション 3. 賃貸マンション・アパート 4. 社宅・寮等
5. 店舗兼住宅 6. その他()

	合計	①一戸建	②分譲 マンション	③賃貸 マンション ・アパート	④ 社宅・寮等	⑤ 店舗兼住宅	⑥その他	無回答
合計	1302	716	201	325	27	4	21	8
	100.0%	55.0%	15.4%	25.0%	2.1%	0.3%	1.6%	0.6%

◆ 仙台市内での通算居住年数

1. 1年未満 2. 1年以上3年未満 3. 3年以上5年未満
4. 5年以上10年未満 5. 10年以上30年未満 6. 30年以上50年未満
7. 50年以上

	合計	①1年未満	②1年以上 3年未満	③3年以上 5年未満	④5年以上 10年未満	⑤10年以上 30年未満	⑥30年以上 50年未満	⑦50年以上	無回答
合計	1302	29	63	47	104	344	427	283	5
	100.0%	2.2%	4.8%	3.6%	8.0%	26.4%	32.8%	21.7%	0.4%

2. ごみと資源物の出し方などについて

- (2) 家庭ごみ(緑の指定袋)を出すとき、どの大きさの袋を使いますか。
一番多く使用する袋を選び、該当するもの1つに○を付けてください。

1. 大(45ℓ) 2. 中(30ℓ) 3. 小(20ℓ)
4. 特小(10ℓ) 5. その他()

	合計	①大 (45L)	②中 (30L)	③小 (20L)	④特小 (10L)	⑤その他	無回答
合計	1302	215	475	327	263	6	16
	100.0%	16.5%	36.5%	25.1%	20.2%	0.5%	1.2%

- (3) 家庭ごみは、どのくらいの量を出しますか。該当するもの1つに○を付けてください。

1. 1週間に3袋以上 2. 1週間に2袋 3. 1週間に1袋
4. 2～3週間に1袋 5. 1か月に1袋
6. その他()

	合計	① 1週間に 3袋以上	② 1週間に 2袋	③ 1週間に 1袋	④ 2～3週 間に1袋	⑤ 1か月に 1袋	⑥その他	無回答
合計	1302	98	723	350	97	15	7	12
	100.0%	7.5%	55.5%	26.9%	7.5%	1.2%	0.5%	0.9%

- (4) プラスチック製容器包装(赤の指定袋)を出すとき、どの大きさの袋を使いますか。
一番多く使用する袋を選び、該当するもの1つに○を付けてください。

1. 大(45ℓ) 2. 中(30ℓ) 3. 小(15ℓ)
4. 分別していない 5. その他()

	合計	①大 (45L)	②中 (30L)	③小 (15L)	④分別して いない	⑤その他	無回答
合計	1302	329	618	297	37	5	16
	100.0%	25.3%	47.5%	22.8%	2.8%	0.4%	1.2%

- (5) プラスチック製容器包装は、どのくらいの量を出しますか。該当するもの1つに○を付けてください。

1. 1週間に3袋以上 2. 1週間に2袋 3. 1週間に1袋
4. 2～3週間に1袋 5. 1か月に1袋
6. その他()

	合計	① 1週間に 3袋以上	② 1週間に 2袋	③ 1週間に 1袋	④ 2～3週 間に1袋	⑤ 1か月に 1袋	⑥その他	無回答
合計	1302	10	73	797	284	81	30	27
	100.0%	0.8%	5.6%	61.2%	21.8%	6.2%	2.3%	2.1%

(6) (設問(4)で「分別していない」と答えた方に伺います。) 分別していない理由は何ですか。該当するものすべてに○を付けてください。

1. プラスチック製容器包装の分別があることを知らなかった
2. 分別に手間がかかる、汚れを落とすのが面倒
3. 分別・リサイクルの必要性がわからない
4. 出し方、分け方、収集曜日等がわからない
5. 汚れを落とすときに使う水がもったいない
6. 捨てたいときに捨てられない
7. 居住している集合住宅・寮等で分別を行っていない
8. その他(※以下に詳細をご記入ください)
()

	合計	①プラスチック製容器包装の分別があることを知らなかった	②分別に手間がかかる、汚れを落とすのが面倒	③分別・リサイクルの必要性がわからない	④出し方、分け方、収集曜日等がわからない	⑤汚れを落とすときに使う水がもったいない	⑥捨てたいときに捨てられない	⑦居住している集合住宅・寮等で分別を行っていない	⑧その他	無回答
合計	37	2	24	9	4	7	10	3	8	1
	100.0%	5.4%	64.9%	24.3%	10.8%	18.9%	27.0%	8.1%	21.6%	2.7%

(7) 缶・びん・ペットボトルなどを出すときのルールについてお聞きします。普段の行動について、該当するものそれぞれ1つに○を付けてください。

	ア. いつも している	イ. あまり していない	ウ. ほとんど していない	エ. ルールを 知らなかった
1. びんやペットボトルを出すときに「フタ」を外している				
2. ペットボトルを出すときに「ラベル」を外している				
3. ペットボトルを出すときにつぶして出している				

	合計	①いつもしている	②あまりしていない	③ほとんどしていない	④ルールを知らなかった	無回答
1. びんやペットボトルを出すときに「フタ」を外している	合計	1302	1114	44	52	9
		100.0%	85.6%	3.4%	4.0%	0.7%
2. ペットボトルを出すときに「ラベル」を外している	合計	1302	1076	66	66	9
		100.0%	82.6%	5.1%	5.1%	0.7%
3. ペットボトルを出すときにつぶして出している	合計	1302	525	258	312	98
		100.0%	40.3%	19.8%	24.0%	7.5%

(8) 缶・びん・ペットボトルなどを市の収集(ごみ集積所に決まった日に出す方法)以外に出していますか。該当するものすべてに○を付けてください。

1. 市の収集以外に出していない
2. 町内会・子ども会等の集団資源回収に出している
3. 市民センターの資源回収庫に出している
4. スーパーの店頭回収に出している(ポイント還元)
5. その他(※以下に詳細をご記入ください)
()

	合計	①市の収集以外に出していない	②町内会・子ども会等の集団資源回収に出している	③市民センターの資源回収庫に出している	④スーパーの店頭回収に出している(ポイント還元)	⑤その他	無回答
合計	1302	912	230	23	203	31	0
	100.0%	70.0%	17.7%	1.8%	15.6%	2.4%	0.0%

3. ごみの減量・3Rの取り組み等について

(9) 「3R」という言葉を知っていますか。該当するもの1つに○を付けてください。

1. よく知っており内容も理解している
2. 何となく理解している
3. 聞いたことがある
4. 知らない

「3R」とは、ごみ減量・リサイクルのポイントとなる、3つの言葉のことです。

- ① Reduce 【リデュース】：できるだけごみを出さない
 - 簡易包装に努める、ムダなものは買わない など -
- ② Reuse 【リユース】：繰り返し使う
 - 詰め替え製品を選び容器は繰り返し使う、マイカップやマイ箸を使う など -
- ③ Recycle 【リサイクル】：資源に再生する
 - 資源物をきちんと分別する など -

これら3つの言葉の頭文字をとって、「3R」と言います。

また、3Rには優先順位があります。

リサイクルよりも、リデュース・リユースを優先し、

より環境への負荷を減らしていくことが、資源循環型社会の構築には大切です。

	合計	①よく知っており内容も理解している	②何となく理解している	③聞いたことがある	④知らない	無回答
合計	1302	341	419	220	300	22
	100.0%	26.2%	32.2%	16.9%	23.0%	1.7%

(10) あなたがごみに関する情報(ごみ収集日、ごみの分別方法、市のごみに関する話題等)を知る方法は何ですか。主に該当するもの3つまでに○を付けてください。

1. 市政だより(毎月発行)
 2. 資源とごみの分け方・出し方(毎年3月頃に各戸に配布)
 3. 市のホームページ(<http://www.city.sendai.jp>)
 4. ワケルネット(<http://www.gomi100.com>)
 5. ごみ分別アプリさんあ〜る
 6. 新聞
 7. 雑誌やフリーペーパー
 8. テレビやラジオのニュース、CMなど
 9. 市の施設などに掲示している掲示物
 10. ごみ集積所などに掲示している掲示物、アパートやマンションの掲示板
 11. 町内会などの回覧
 12. 家族や友人など
 13. その他 (※以下に詳細をご記入ください)
- ()

	合計	①市政だより	②資源とごみの分け方・出し方	③市のホームページ	④ワケルネット	⑤ごみ分別アプリさんあ〜る	⑥新聞	⑦雑誌やフリーペーパー
合計	1302	596	905	161	82	18	41	16
	100.0%	45.8%	69.5%	12.4%	6.3%	1.4%	3.1%	1.2%

⑧テレビやラジオのニュース、CMなど	⑨市の施設などに掲示している掲示物	⑩ごみ集積所などに掲示している掲示物、アパートやマンションの掲示板	⑪町内会などの回覧	⑫家族や友人など	⑬その他	無回答
55	55	421	483	61	14	0
4.2%	4.2%	32.3%	37.1%	4.7%	1.1%	0.0%

(11) 本市がこれまでに行ってきたごみ減量・3R推進に係る取り組みについて、どの程度ご存知ですか。

該当するものそれぞれ1つに○を付けてください。

	ア. よく知っ ている	イ. 知って いる	ウ. 聞いた ことがあ る	エ. まったく 知らない
1. 市民センター等での紙類・布類の拠点回収(資源回収庫の設置)				
2. 子ども会や町内会等による集団資源回収事業の推進				
3. 使用済み食用油のボックス回収・リサイクル ※みやぎ生協一部店舗				
4. パソコンやスマートフォン等のボックス回収・リサイクル (小型家電リサイクル) ※区役所、イオンなど				
5. 家庭の庭木をせん定した枝や幹の戸別収集・リサイクル				
6. 分別キャラクター「ワケルくん」を使った広報・啓発				
7. 「ワケアップ! 仙台」をキャッチコピーとしたごみ減量キャンペーン				
8. ごみ分別・減量に関するホームページ「ワケルネット」や、スマートフォンアプリ「さんあ〜る」				
9. リサイクルプラザの運営(リサイクル品の展示・譲渡、環境学習コーナー)				
10. ワケルくんバスの運行(環境施設を見る会)				
11. リサイクルたい肥「杜のめぐみ」の製造・配布				
12. マイバッグの推進(レジ袋の削減)				
13. 地域でのごみ減量・リサイクル推進に取り組むリーダーの育成 (クリーン仙台推進員など)				
14. ポイ捨てごみ調査・清掃活動「アレマキャンペーン」の実施				
15. 環境配慮事業者(エコにこマイスター、エコにこゴールドマイスター) 認定制度の実施				
16. その他(※以下に詳細をご記入ください。) ()				

		合計	①よく知っている	②知っている	③聞いたことがある	④全く知らない	無回答
①市民センター等での紙類・布類の拠点回収（資源回収庫の設置）	合計	1302	258	295	209	406	134
		100.0%	19.8%	22.7%	16.1%	31.2%	10.3%
②子ども会や町内会等による集団資源回収事業の推進	合計	1302	631	347	87	144	93
		100.0%	48.5%	26.7%	6.7%	11.1%	7.1%
③使用済み食用油のボックス回収・リサイクル	合計	1302	158	244	283	490	127
		100.0%	12.1%	18.7%	21.7%	37.6%	9.8%
④パソコンやスマートフォン等のボックス回収・リサイクル	合計	1302	197	326	259	391	129
		100.0%	15.1%	25.0%	19.9%	30.0%	9.9%
⑤家庭の庭木をせん定した枝や幹の戸別収集・リサイクル	合計	1302	139	239	194	612	118
		100.0%	10.7%	18.4%	14.9%	47.0%	9.1%
⑥分別キャラクター「ワケルくん」を使った広報・啓発	合計	1302	384	455	164	180	119
		100.0%	29.5%	34.9%	12.6%	13.8%	9.1%
⑦「ワケアップ！仙台」をキャッチコピーとしたごみ減量キャンペーン	合計	1302	105	198	297	573	129
		100.0%	8.1%	15.2%	22.8%	44.0%	9.9%
⑧ごみ分別・減量に関するホームページ「ワケルネット」や、スマートフォンアプリ「さんあ〜る」	合計	1302	67	119	279	698	139
		100.0%	5.1%	9.1%	21.4%	53.6%	10.7%
⑨リサイクルプラザの運営（リサイクル品の展示・譲渡、環境学習コーナー）	合計	1302	115	233	312	510	132
		100.0%	8.8%	17.9%	24.0%	39.2%	10.1%
⑩ワケルくんバスの運行（環境施設を見る会）	合計	1302	72	188	236	682	124
		100.0%	5.5%	14.4%	18.1%	52.4%	9.5%
⑪リサイクルたい肥「杜のめぐみ」の製造・配布	合計	1302	60	119	208	787	128
		100.0%	4.6%	9.1%	16.0%	60.4%	9.8%
⑫マイバッグの推進（レジ袋の削減）	合計	1302	736	317	84	62	103
		100.0%	56.5%	24.3%	6.5%	4.8%	7.9%
⑬地域でのごみ減量・リサイクル推進に取り組むリーダーの育成	合計	1302	64	127	242	735	134
		100.0%	4.9%	9.8%	18.6%	56.5%	10.3%
⑭ポイ捨てごみ調査・清掃活動「アレマキャンペーン」	合計	1302	51	133	231	757	130
		100.0%	3.9%	10.2%	17.7%	58.1%	10.0%
⑮環境配慮事業者（エコにこマイスター、エコにこゴールドマイスター）認定制度の実施	合計	1302	19	37	130	979	137
		100.0%	1.5%	2.8%	10.0%	75.2%	10.5%
⑯その他	合計	1302	3	0	2	37	1260
		100.0%	0.2%	0.0%	0.2%	2.8%	96.8%

4. 食品ロス・生ごみについて

日本では、年間 2,759 万トンの食品廃棄物等(生ごみ)が出されており、このうち、本来食べられるのに廃棄される食品(食品ロス※)は 643 万トン、1人あたりに換算すると年間 50kg を廃棄している計算となり、この約半分は家庭から排出されていると推計されています(平成 28 年度環境省・農林水産省推計値)。

※食品ロスとは、本来食べられるにも関わらず捨てられたものであり、手つかず食品(例えば、未開封のまま捨てられた食品や調理されずに捨てられた野菜など)、食べ残しなどが挙げられます。(なお、生ごみのうち、魚の骨、野菜の皮など、本来食べないもの(調理くず)は食品ロスではありません。)

(12) 食品ロスの排出頻度について、該当するもの1つに○を付けてください。

1. 週2回	
2. 週1回	
3. 月1～2回	
4. ほとんどない	
5. その他(※以下に詳細をご記入ください)	
()

	合計	①週2回	②週1回	③ 月1～2回	④ほとんど ない	⑤その他	無回答
合計	1302	66	161	369	664	16	26
	100.0%	5.1%	12.4%	28.3%	51.0%	1.2%	2.0%

(13) (設問(12)で「4」以外を選択した方に伺います。)

次の項目のうち、自宅で手をつけずに捨てたり、食べ残しとして捨てることになった理由に該当するものがあれば、すべてに○を付けてください。

1. 必要以上に食材を買い過ぎてしまった	
2. 購入した食材が冷蔵庫や保管場所にある食材と重複した	
3. 消費・賞味期限内に食べられなかった	
4. 食材の保存方法を間違えてしまった	
5. 購入後、冷蔵庫や保管場所に入れたまま存在を忘れていた	
6. 購入したものの、調理の仕方や食べ方がわからなかった	
7. 人からもらった食べ物が好みでなかった	
8. 作りすぎて食べきれなかった	
9. その他(※以下に詳細をご記入ください)	
()

合計	①必要以上に食材を買い過ぎてしまった	②購入した食材が冷蔵庫や保管場所にある食材と重複した	③消費・賞味期限内に食べられなかった	④食材の保存方法を間違えてしまった	⑤購入後、冷蔵庫や保管場所に入れたまま存在を忘れていた	⑥購入したものの、調理の仕方や食べ方がわからなかった	⑦人からもらった食べ物が好みでなかった	⑧作りすぎて食べきれなかった	⑧その他	無回答	
合計	638	111	52	401	25	280	8	138	172	22	131
	100.0%	17.4%	8.2%	62.9%	3.9%	43.9%	1.3%	21.6%	27.0%	3.4%	20.5%

(14) 市による食品ロス・生ごみの削減のための以下の取り組みのうち、知っているものすべてに○を付けてください。

1. 生ごみ堆肥化容器や家庭用電気式生ごみ処理機の購入費補助
2. 食品ロスに関する普及啓発セミナー(食品ロス削減セミナー等)の開催
3. 家庭等で余った食品を持ち込める回収用容器を、区役所等に設置している(フードドライブの推進)
4. 食品ロス発生要因調査の実施
5. 生ごみや食品ロスの削減を目指す、レシピ投稿サイト「モッタイナイキッチン」
6. 乾燥生ごみの野菜等交換事業
7. いずれも知らない

	合計	①生ごみ堆肥化容器や家庭用電気式生ごみ処理機の購入費補助	②食品ロスに関する普及啓発セミナー(食品ロス削減セミナー等)の開催	③家庭等で余った食品を持ち込める回収用容器を、区役所等に設置している(フードドライブの推進)	④食品ロス発生要因調査の実施	⑤生ごみや食品ロスの削減を目指す、レシピ投稿サイト「モッタイナイキッチン」	⑥乾燥生ごみの野菜等交換事業	⑦いずれも知らない
合計	1302	557	91	109	42	66	229	585
	100.0%	42.8%	7.0%	8.4%	3.2%	5.1%	17.6%	44.9%

(15) 次の項目のうち、食品ロス・生ごみの削減に向けて「普段から行っている」又は「新たに取り組もうと考えている」ことに該当するものがあれば、すべてに○を付けてください。

取り組み	① 普段から行っている	② 新たに取り組もうと考えている
1. 買い物前に家にある食材を確認し、必要な食材のみ購入する		
2. 期限表示を確認し、消費可能な食材のみ購入する		
3. 食品に記載される保存方法に従うなど、適切に食材を保存する		
4. 野菜を冷凍・乾燥させるなど、適切に下処理して保存する		
5. 残っている食材から使う		
6. 定期的に冷蔵庫内の整理を行う		
7. インターネット等でレシピを検索し、知らない食材でも調理する		
8. 食べられる分のみ調理する		
9. フードドライブ※に協力し、食品の寄付を行う		
10. 外出時に食べられる量を注文する		
11. 外出時に残った料理を持ち帰る		
12. 外出時に食べきりを意識している		
13. 生ごみの水切りを行う		
14. 生ごみを家庭内で堆肥化し、野菜づくり等に活用する		
15. 乾燥生ごみを野菜等に交換している		
16. その他(※以下に詳細をご記入ください) ()		

※フードドライブとは、家庭で余っている食べ物を学校や施設などに持ち寄り、それらを地域の福祉団体やフードバンクなどに寄贈する活動です。

	合計	普段から取り組んでいる	新たに取り組もうと考えている	無回答
①買い物前に家にある食材を確認し、必要な食材のみ購入する	合計 1302	1046	146	110
	100.0%	80.3%	11.2%	8.4%
②期限表示を確認し、消費可能な食材のみ購入する	合計 1302	1027	132	143
	100.0%	78.9%	10.1%	11.0%
③食品に記載される保存方法に従うなど、適切に食材を保存する	合計 1302	1006	111	185
	100.0%	77.3%	8.5%	14.2%
④野菜を冷凍・乾燥させるなど、適切に下処理して保存する	合計 1302	681	349	272
	100.0%	52.3%	26.8%	20.9%
⑤残っている食材から使う	合計 1302	1085	82	135
	100.0%	83.3%	6.3%	10.4%
⑥定期的に冷蔵庫内の整理を行う	合計 1302	818	287	197
	100.0%	62.8%	22.0%	15.1%
⑦インターネット等でレシピを検索し、知らない食材でも調理する	合計 1302	323	491	488
	100.0%	24.8%	37.7%	37.5%
⑧食べられる分のみ調理する	合計 1302	935	146	221
	100.0%	71.8%	11.2%	17.0%
⑨フードドライブに協力し、食品の寄付を行う	合計 1302	32	608	662
	100.0%	2.5%	46.7%	50.8%
⑩外出時に食べられる量を注文する	合計 1302	1044	72	186
	100.0%	80.2%	5.5%	14.3%
⑪外出時に残った料理を持ち帰る	合計 1302	187	429	686
	100.0%	14.4%	32.9%	52.7%
⑫外出時に食べきりを意識している	合計 1302	998	56	248
	100.0%	76.7%	4.3%	19.0%
⑬生ごみの水切りを行う	合計 1302	1008	110	184
	100.0%	77.4%	8.4%	14.1%
⑭生ごみを家庭内で堆肥化し、野菜づくり等に活用する	合計 1302	118	501	683
	100.0%	9.1%	38.5%	52.5%
⑮乾燥生ごみを野菜等に交換している	合計 1302	25	510	767
	100.0%	1.9%	39.2%	58.9%
⑯その他	合計 1302	0	2	1,300
	100.0%	0.0%	0.2%	99.8%

5. プラスチックについて

プラスチックは、食品・日用品の容器包装をはじめ、さまざまな場面で使われており、私たちの豊かな生活を支えています。一方、そのプラスチックごみが、ポイ捨てなどにより、回収されずに河川などを通じて海に流れ込む「海洋プラスチックごみ」が問題となり、地球規模での環境汚染が懸念されています。

(16) スーパーなどで買い物をするとき、レジ袋をもらいますか。該当するもの1つに○を付けてください。

1. いつももらう(有料でも無料でも)
2. 無料のときはもらう(有料のときはもらわない)
3. ときどきもらう(有料でも無料でも)
4. ほとんどもらわない(有料でも無料でも)
5. その他 (※以下に詳細をご記入ください)
()

	合計	①いつも もらう (有料でも 無料でも)	②無料の ときは もらう (有料の ときは もらわ ない)	③ときど きもら (有料で も無 料でも)	④ほとん どもら わない (有料で も無 料でも)	⑤その他	無回答
合計	1302	69	272	355	551	25	30
	100.0%	5.3%	20.9%	27.3%	42.3%	1.9%	2.3%

(17) 次の項目のうち、プラスチックごみの削減やリサイクルなどに向けて「普段から行っている」又は「新たに取り組もうと考えている」に該当するものがあれば、すべてに○を付けてください。

取り組み	① 普段から 行っている	② 新たに 取り組もうと 考えている
1. マイバッグを利用するなど、レジ袋を断る		
2. リユース食器を利用するなど、スプーンやフォーク等の使い捨てプラスチック用品を使わない		
3. 紙製品等のプラスチック代替品を利用している		
4. マイボトルを利用するなど、ペットボトルを使わない		
5. 買い物をする際、プラスチックの過剰包装を断る、簡易包装を選ぶ		
6. 容器包装リサイクル対象のプラスチックを分別して捨てる		
7. パックに入っていないバラ売りの商品を選ぶ		
8. 詰め替え商品を購入する		
9. その他 (※以下に詳細をご記入ください)		
()		

		合計	普段から 取り組んで いる	新たに取 組もうと考 えている	無回答
①マイバッグを利用するなど、レジ袋を断る	合計	1302	1020	114	168
		100.0%	78.3%	8.8%	12.9%
②リユース食器を利用するなど、スプーンやフォーク等の使い捨てプラスチック用品を使わない	合計	1302	517	341	444
		100.0%	39.7%	26.2%	34.1%
③紙製品等のプラスチック代替品を利用している	合計	1302	220	440	642
		100.0%	16.9%	33.8%	49.3%
④マイボトルを利用するなど、ペットボトルを使わない	合計	1302	411	374	517
		100.0%	31.6%	28.7%	39.7%
⑤買い物をする際、プラスチックの過剰包装を断る、簡易包装を選ぶ	合計	1302	567	289	446
		100.0%	43.5%	22.2%	34.3%
⑥容器包装リサイクル対象のプラスチックを分別して捨てる	合計	1302	905	108	289
		100.0%	69.5%	8.3%	22.2%
⑦パックに入っていないバラ売りの商品を選ぶ	合計	1302	242	434	626
		100.0%	18.6%	33.3%	48.1%
⑧詰め替え商品を購入する	合計	1302	849	146	307
		100.0%	65.2%	11.2%	23.6%
⑨その他	合計	1302	5	0	1,297
		100.0%	0.4%	0.0%	99.6%

6. 紙類について

市では、紙類のリサイクルや家庭ごみに含まれる紙ごみの量を減らすため、市民センターなどの資源回収庫や民間の紙類回収ステーションを設置したり、市民の皆様へ新聞紙・折込チラシ、段ボール、紙パック、雑誌、雑がみ※に分けて出していただき、月に2回紙類を回収しています。

※雑がみとは、お菓子・食品・ティッシュ等の紙箱、封筒、トイレトペーパーやラップの芯、ダイレクトメールのチラシ類、コピー用紙・プリンター用紙、包装紙、メモ帳、カレンダー、紙製卵パック、画用紙・習字の紙等を指します。

(18) 紙類をどのように出していますか。該当するものすべてに○を付けてください。

1. 月2回の紙類定期回収に出している
2. 子ども会などの集団資源回収に出している
3. 市民センターなどの資源回収庫に出している
4. スーパー等の店頭回収に出している
5. ちりがみ交換(古物商等)に出している
6. 分別せずに家庭ごみで出している

合計	①月2回の 紙類定期回 収に出して いる	②子ども会 などの集団 資源回収に 出している	③市民セン ターなどの 資源回収庫 に出して いる	④スーパー 等の店頭回 収に出して いる	⑤ちりがみ 交換(古物 商等)に出 している	⑥ 分別せずに 家庭ごみで 出している	無回答
1302	651	605	72	320	87	132	0
100.0%	50.0%	46.5%	5.5%	24.6%	6.7%	10.1%	0.0%

(19) 市では、「雑がみ」を紙類として回収しています。どのような紙が「雑がみ」に該当するか知っていますか。また、雑がみを紙類として出していますか。該当するもの1つに○を付けてください。

1. 知っており、雑がみとして出している
 2. 知っているが、家庭ごみとして出している
 3. 知らなかったのに、家庭ごみとして出している。今後雑がみとして出したい。
 4. 知らなかったのに、家庭ごみとして出している。引き続き家庭ごみとして出したい。
 5. その他(※以下に詳細をご記入ください)
- ()

	合計	①知っており、雑がみとして出している	②知っているが、家庭ごみとして出している	③知らなかったのに、家庭ごみとして出している。今後雑がみとして出したい	④知らなかったのに、家庭ごみとして出している。引き続き家庭ごみとして出したい	⑤その他	無回答
合計	1302	825	141	168	110	26	32
	100.0%	63.4%	10.8%	12.9%	8.4%	2.0%	2.5%

(20) ヨーグルト容器などのコーティングがされた紙容器を、市民センターなどにある資源回収庫で回収していることを知っていますか。該当するもの1つに○を付けてください。

1. 知っており、利用している
 2. 知っているが、家庭ごみとして出している
 3. 知らなかったのに、家庭ごみとして出している。今後利用したい。
 4. 知らなかったのに、家庭ごみとして出している。引き続き家庭ごみとして出したい。
 5. その他(※以下に詳細をご記入ください)
- ()

	合計	①知っており、利用している	②知っているが、家庭ごみとして出している	③知らなかったのに、家庭ごみとして出している。今後利用したい。	④知らなかったのに、家庭ごみとして出している。引き続き家庭ごみとして出したい。	⑤その他	無回答
合計	1302	81	159	509	473	45	35
	100.0%	6.2%	12.2%	39.1%	36.3%	3.5%	2.7%

(21) (設問(19)(20)のどちらかでも、「2」または「4」を選択した方に伺います。)

なぜ紙類ではなく家庭ごみとして雑がみを出していますか。該当するもの1つに○を付けてください。

1. ルールを知らなかったため
2. 分別が面倒なため
3. その他 (※以下に詳細をご記入ください)
()

	合計	①ルールを知らなかったため	②分別が面倒なため	③その他	無回答
合計	703	250	206	140	107
	100.0%	35.6%	29.3%	19.9%	15.2%

7. 更なるごみ減量・3Rの推進について

(22) 今後市が更なるごみ減量・3Rを推進するにあたり、市はどのような施策を講じるべきだと思いますか。

<全般> 主な施策3つまでに○を付けてください。

1. 市民への広報の強化
2. ごみ減量・3Rに関する学校教育の充実
3. 市民・事業者・市が協力したイベントやキャンペーンの開催
4. 事業者への分別・減量促進などの働きかけ
5. 家庭ごみの分別収集の強化(分別区分の細分化など)
6. 資源物の分別回収の強化(回収庫の充実など)
7. 集団資源回収など地域の自主的なリサイクルの取り組みの拡大
8. ごみ袋の料金やごみ処理手数料の値上げ
9. その他 (※以下に詳細をご記入ください)
()

	合計	①市民への広報の強化	②ごみ減量・3Rに関する学校教育の充実	③市民・事業者・市が協力したイベントやキャンペーンの開催	④事業者への分別・減量促進などの働きかけ	⑤家庭ごみの分別収集の強化(分別区分の細分化など)	⑥資源物の分別回収の強化(回収庫の充実など)	⑦集団資源回収など地域の自主的なリサイクルの取り組みの拡大	⑧ごみ袋の料金やごみ処理手数料の値上げ	⑨その他
合計	1302	676	417	309	314	389	430	300	125	81
	100.0%	51.9%	32.0%	23.7%	24.1%	29.9%	33.0%	23.0%	9.6%	6.2%

<食品ロス・生ごみの削減> 主な施策3つまでに○を付けてください。

1. 市民への食品ロス・生ごみ削減のためのセミナー開催等の普及啓発活動の充実
 2. 食品ロス・生ごみ削減に関する学校教育の充実
 3. フードドライブの推進やフードバンク活動の拡大
 4. 食品ロスの実態把握
 5. 食品関係事業者と市との連携
 6. レストラン等での食べ切り運動等の充実
 7. 現在市が行っている食品ロス・生ごみ削減のための取り組みの、効果的な周知
 8. 乾燥生ごみの野菜などへの交換事業の継続
 9. バラ売りや量り売りの取り組みの拡大
 10. その他 (※以下に詳細をご記入ください)
- ()

合計	①市民への食品ロス・生ごみ削減のためのセミナー開催等の普及啓発活動の充実	②食品ロス・生ごみ削減に関する学校教育の充実	③フードドライブの推進やフードバンク活動の拡大	④食品ロスの実態把握	⑤食品関係事業者と市との連携	⑥レストラン等での食べ切り運動等の充実	⑦現在市が行っている食品ロス・生ごみ削減のための取り組みの、効果的な周知	⑧乾燥生ごみの野菜などへの交換事業の継続	⑨バラ売りや量り売りの取り組みの拡大	⑩その他	
合計	1302	305	454	246	321	377	352	407	99	523	45
	100.0%	23.4%	34.9%	18.9%	24.7%	29.0%	27.0%	31.3%	7.6%	40.2%	3.5%

<プラスチックごみの削減・リサイクルの促進> 主な施策3つまでに○を付けてください。

1. プラスチックでできているものをすべてリサイクルする
 2. ワンウェイプラスチック商品の使用の制限
 3. プラスチックの3Rに関する学校教育の充実
 4. 指定袋の値上げ
 5. 事業者へのプラスチックの過剰包装の見直しの働きかけ
 6. レジ袋の有料化
 7. 紙製品等のプラスチック代替品の利用の促進
 8. プラスチックごみをリサイクルし、別のプラスチック製品として活用する動きの促進
 9. プラスチックごみを燃料等として活用する動きの促進
 10. 市民・事業者・市が協力したプラスチックごみ減量などのキャンペーンの実施
 11. その他 (※以下に詳細をご記入ください)
- ()

合計	①プラスチックでできているものをすべてリサイクルする	②ワンウェイプラスチック商品の使用の制限	③プラスチックの3Rに関する学校教育の充実	④指定袋の値上げ	⑤事業者へのプラスチックの過剰包装の見直しの働きかけ	⑥レジ袋の有料化	⑦紙製品等のプラスチック代替品の利用の促進	⑧プラスチックごみをリサイクルし、別のプラスチック製品として活用する動きの促進	⑨プラスチックごみを燃料等として活用する動きの促進	⑩市民・事業者・市が協力したプラスチックごみ減量などのキャンペーンの実施	⑪その他	
合計	1302	442	137	283	48	677	311	520	349	347	217	34
	100.0%	33.9%	10.5%	21.7%	3.7%	52.0%	23.9%	39.9%	26.8%	26.7%	16.7%	2.6%

8. その他

- (23) 本市がこれまで取り組んできたごみ処理施策や、今後のごみ処理施策の方向性などについて、ご意見などございましたら、ご自由にご記入ください。

アンケートは以上です。
ご協力、誠にありがとうございました。

ご記入が終わりましたら、この調査票を同封の封筒に入れ、
令和元年11月29日(金)までにご投函ください。
切手は不要です。

第3章 事業者アンケート

1. 実施概要

1.1 調査の概要

仙台市では、令和2年度に仙台市一般廃棄物処理基本計画の改定を行うこととしており、近年のごみの排出状況や事業者の率直な意見・要望等を同計画の改定へ反映させていくため、アンケートによる調査を実施した。

平成26年度に前回調査を実施しており、一部集計結果においては前回調査との比較を行った。

1) 調査の目的

仙台市では、一般廃棄物処理に係る基本的な方向性を定める「仙台市一般廃棄物処理基本計画」を平成28年度に改定した。本調査では、5年ごとに行われる改定・見直しに向けた情報の収集を目的とし、ごみの排出状況、ごみの減量・リサイクル・現状での課題及び事業者の意向等を把握し、今後の仙台市のごみ処理事業を適正に行うための基礎資料を得るとともに、実態を把握・整理し、計画の精度を高めることを目指した。

2) 調査項目

「回答企業の属性について」、「ごみの排出について（産業廃棄物を除く）」、「ごみ減量リサイクルの取り組み等について」、「食品廃棄物・食品ロスについて」、「プラスチックについて」、「紙類について」、「自由回答」の計7項目を調査した。

3) 調査対象および調査期間

調査対象、発送日、締切日、調査方法については以下の通り。

- ・ 調査対象：無作為に抽出された仙台市内の3,500事業所（うち、大規模・多量排出事業所300事業所を含む）
- ・ 発送日：令和元年11月1日（金）
- ・ 締切日：令和元年11月29日（金）
- ・ 調査方法：郵送による発送、回収

1.2 回答率

3,500件の送付に対し、総回答数は1,200件で、回答率は34.3%だった。

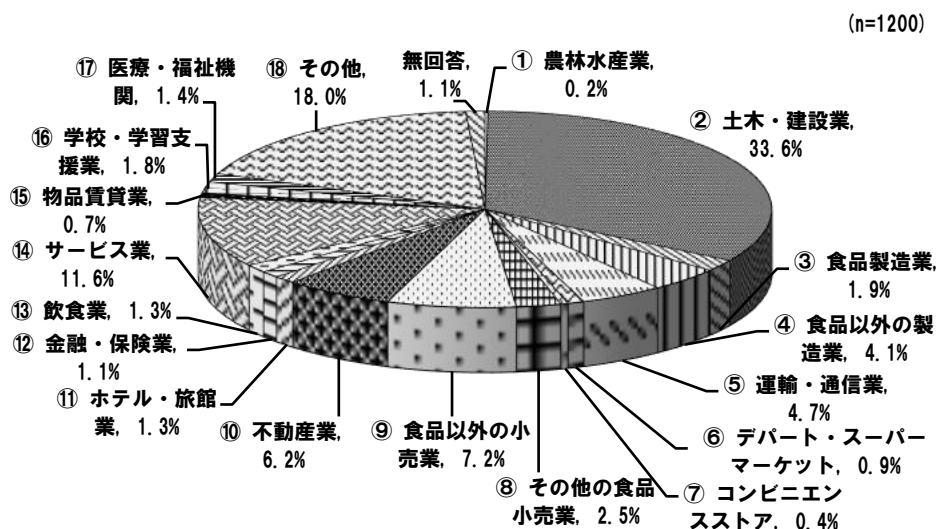
2. 調査結果

2.1 回答排出事業者の属性

2.1.1 業種

「②土木・建設業」の割合が最も高く 33.6%となっている。次いで、「⑱その他 (18.0%)」、「⑭サービス業 (11.6%)」となっている。

図表 127 業種



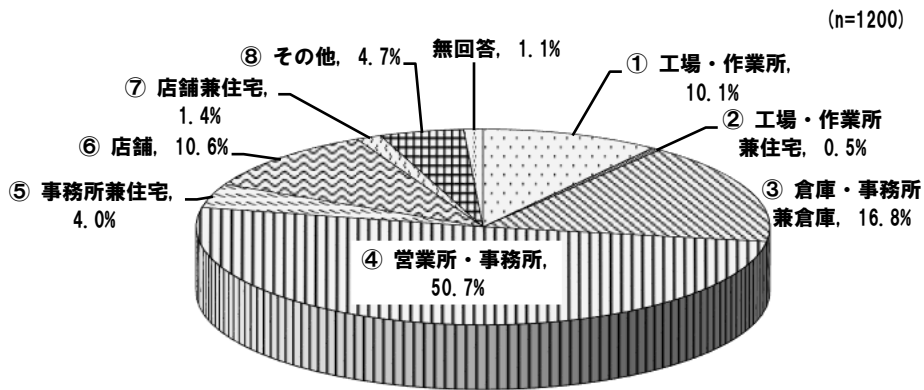
図表 128 業種 (⑱その他の内訳)

分類	件数	割合
卸売業	77	35.6%
小売業	27	12.5%
情報通信・ソフトウェア	19	8.8%
製造業	8	3.7%
不動産運用・管理	6	2.8%
廃棄物処理・リサイクル	6	2.8%
広告業	4	1.9%
印刷	4	1.9%
官公庁・行政機関	3	1.4%
建築・設計	3	1.4%
商社	2	0.9%
その他サービス業	28	13.0%
その他工事・検査等	15	6.9%
その他	3	1.4%
無回答	11	5.1%
計	216	100.0%

2.1.1 事業者の形態

「④営業所・事務所」の割合が最も高く 50.7%となっている。次いで、「③倉庫・事務所兼倉庫 (16.8%)」、「⑥店舗 (10.6%)」となっている。

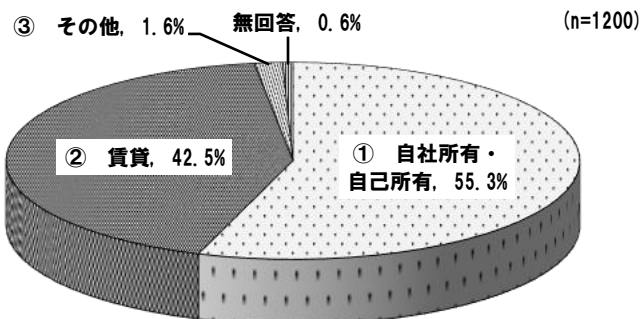
図表 129 事業者の形態



2.1.2 建物の所有状況

「①自社所有・自己所有」の割合が最も高く 55.3%となっている。次いで、「②賃貸 (42.5%)」、となっている。

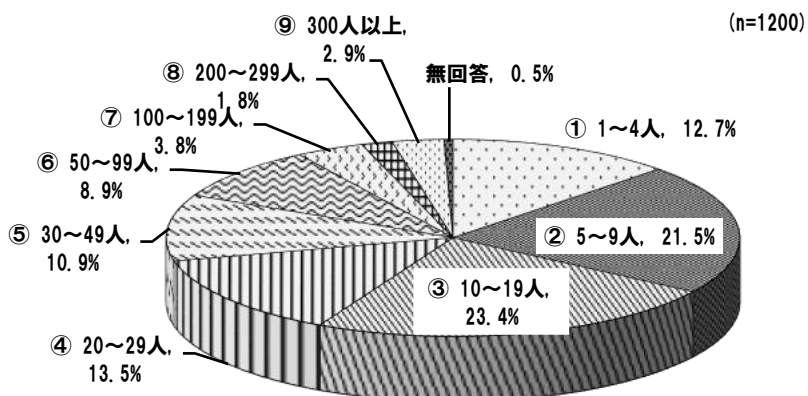
図表 130 建物の所有状況



2.1.3 従業員数

「③10～19人」の割合が最も高く23.4%となっている。次いで、「②5～9人(21.5%)」、「④20～29人(13.5%)」となっている。

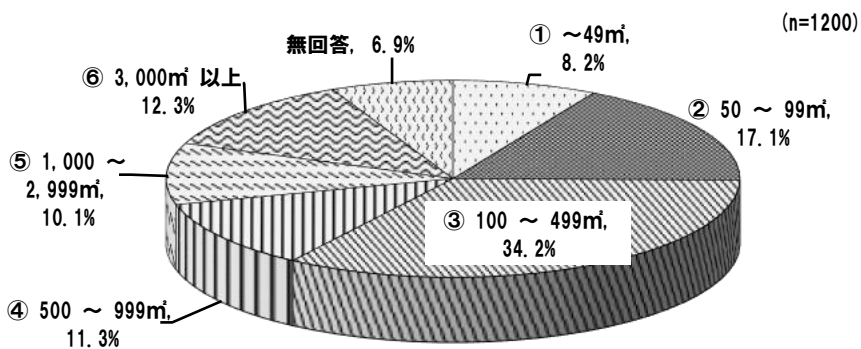
図表 131 従業員数



2.1.4 延べ床面積

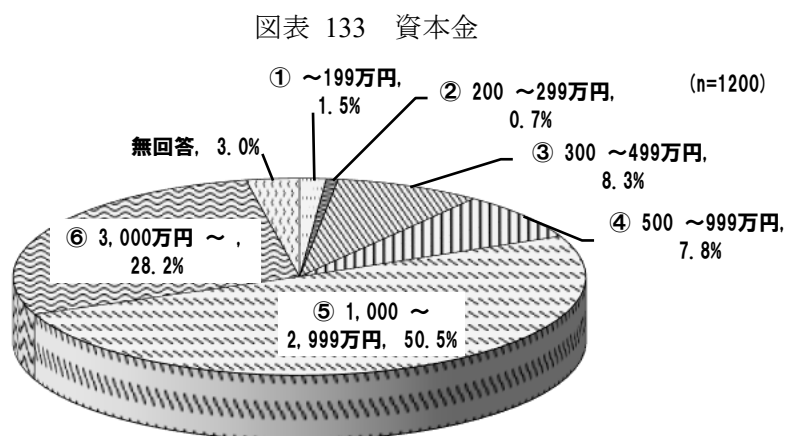
「③100～499㎡」の割合が最も高く34.2%となっている。次いで、「②50～99㎡(17.1%)」、「⑥3,000㎡以上(12.3%)」となっている。

図表 132 延べ床面積



2.1.5 資本金

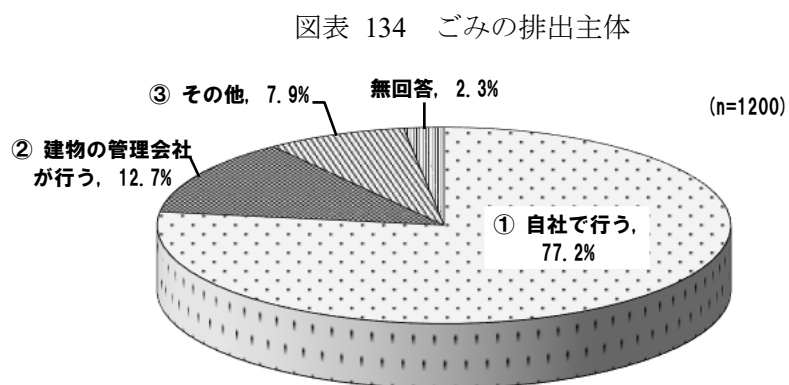
「⑤1,000～2,999万円」の割合が最も高く50.5%となっている。次いで、「⑥3,000万円～(28.2%)」、
「③300～499万円(8.3%)」となっている。



2.2 ごみの排出について（産業廃棄物を除く）

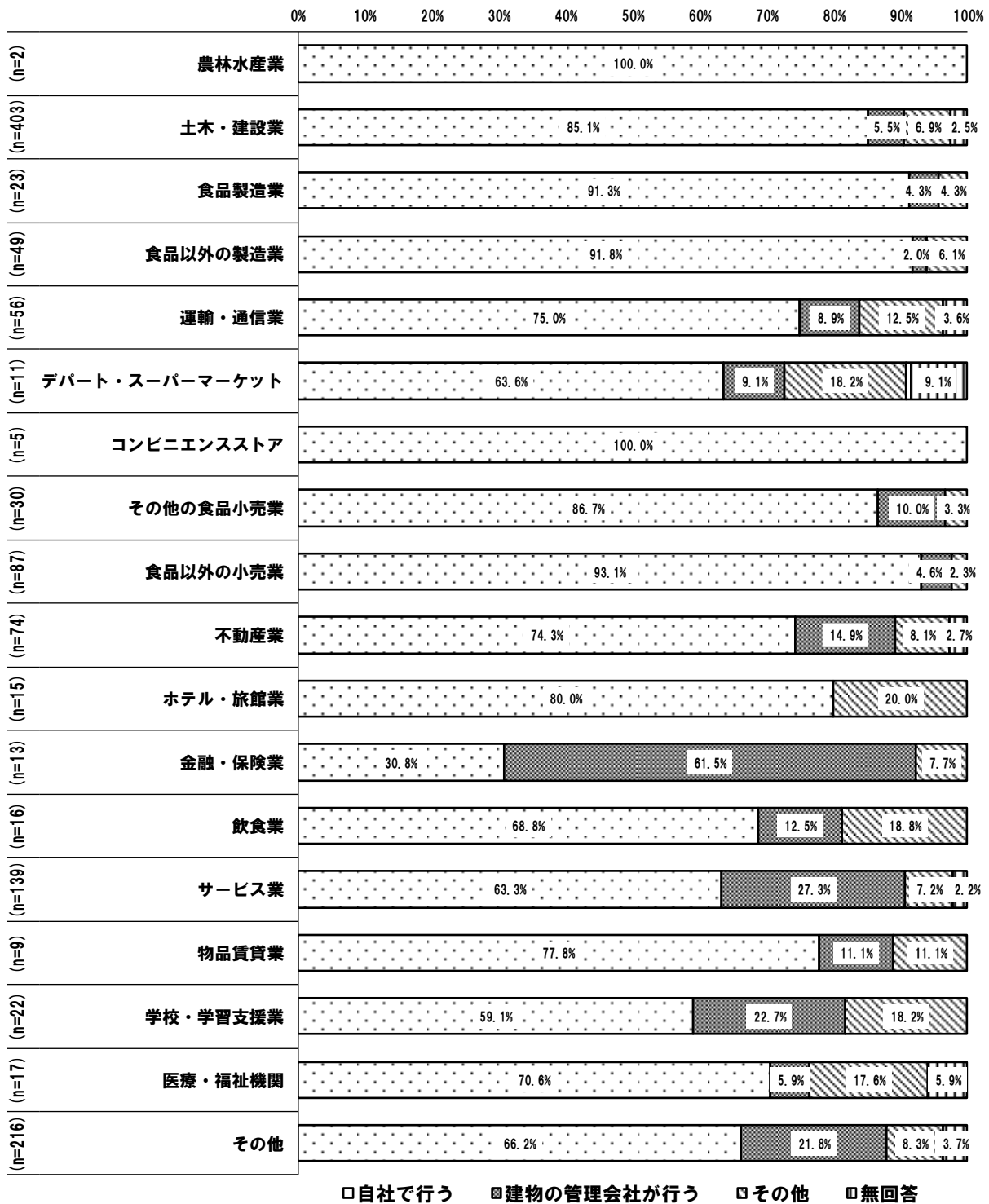
2.2.1 ごみの排出主体

「①自社で行う」の割合が最も高く 77.2%となっている。次いで、「②建物の管理会社が行う（12.7%）」となっている。



業種別に見ると、「自社で行う」の割合は、「農林水産業（100.0%）」、「コンビニエンスストア（100.0%）」、「食品以外の小売業（93.1%）」の順に高い。「建物の管理会社が行う」の割合は、「金融・保険業（61.5%）」、「サービス業（27.3%）」、「学校・学習支援業（22.7%）」の順に高い。

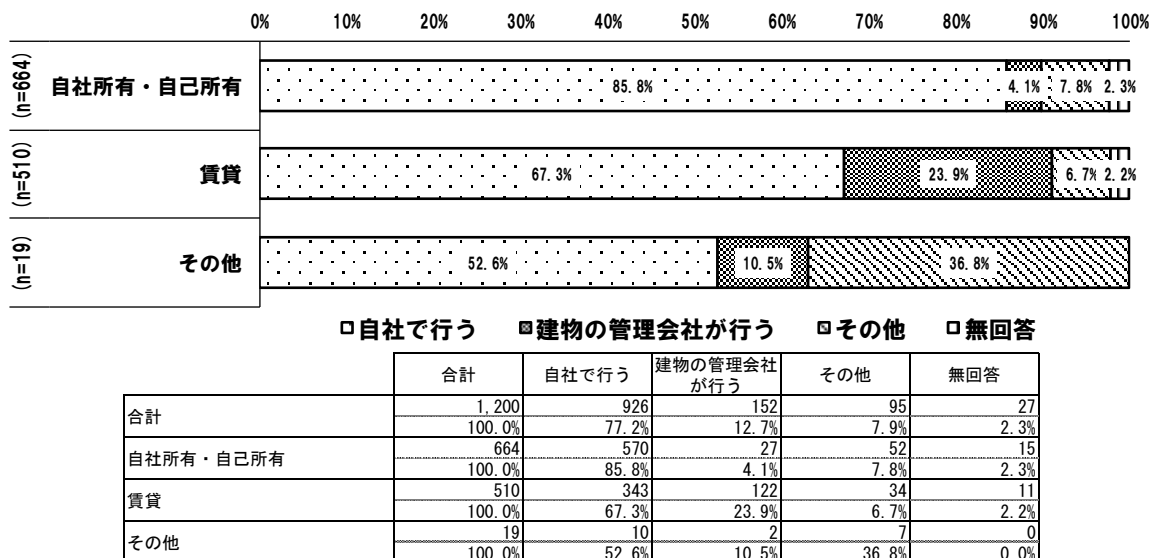
図表 135 ごみの排出主体（業種）



	合計	自社で行う	建物の管理会社が行う	その他	無回答
合計	1,200	926	152	95	27
	100.0%	77.2%	12.7%	7.9%	2.3%
農林水産業	2	2	0	0	0
	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
土木・建設業	403	343	22	28	10
	100.0%	85.1%	5.5%	6.9%	2.5%
食品製造業	23	21	1	1	0
	100.0%	91.3%	4.3%	4.3%	0.0%
食品以外の製造業	49	45	1	3	0
	100.0%	91.8%	2.0%	6.1%	0.0%
運輸・通信業	56	42	5	7	2
	100.0%	75.0%	8.9%	12.5%	3.6%
デパート・スーパーマーケット	11	7	1	2	1
	100.0%	63.6%	9.1%	18.2%	9.1%
コンビニエンスストア	5	5	0	0	0
	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他の食品小売業	30	26	3	1	0
	100.0%	86.7%	10.0%	3.3%	0.0%
食品以外の小売業	87	81	4	2	0
	100.0%	93.1%	4.6%	2.3%	0.0%
不動産業	74	55	11	6	2
	100.0%	74.3%	14.9%	8.1%	2.7%
ホテル・旅館業	15	12	0	3	0
	100.0%	80.0%	0.0%	20.0%	0.0%
金融・保険業	13	4	8	1	0
	100.0%	30.8%	61.5%	7.7%	0.0%
飲食業	16	11	2	3	0
	100.0%	68.8%	12.5%	18.8%	0.0%
サービス業	139	88	38	10	3
	100.0%	63.3%	27.3%	7.2%	2.2%
物品賃貸業	9	7	1	1	0
	100.0%	77.8%	11.1%	11.1%	0.0%
学校・学習支援業	22	13	5	4	0
	100.0%	59.1%	22.7%	18.2%	0.0%
医療・福祉機関	17	12	1	3	1
	100.0%	70.6%	5.9%	17.6%	5.9%
その他	216	143	47	18	8
	100.0%	66.2%	21.8%	8.3%	3.7%

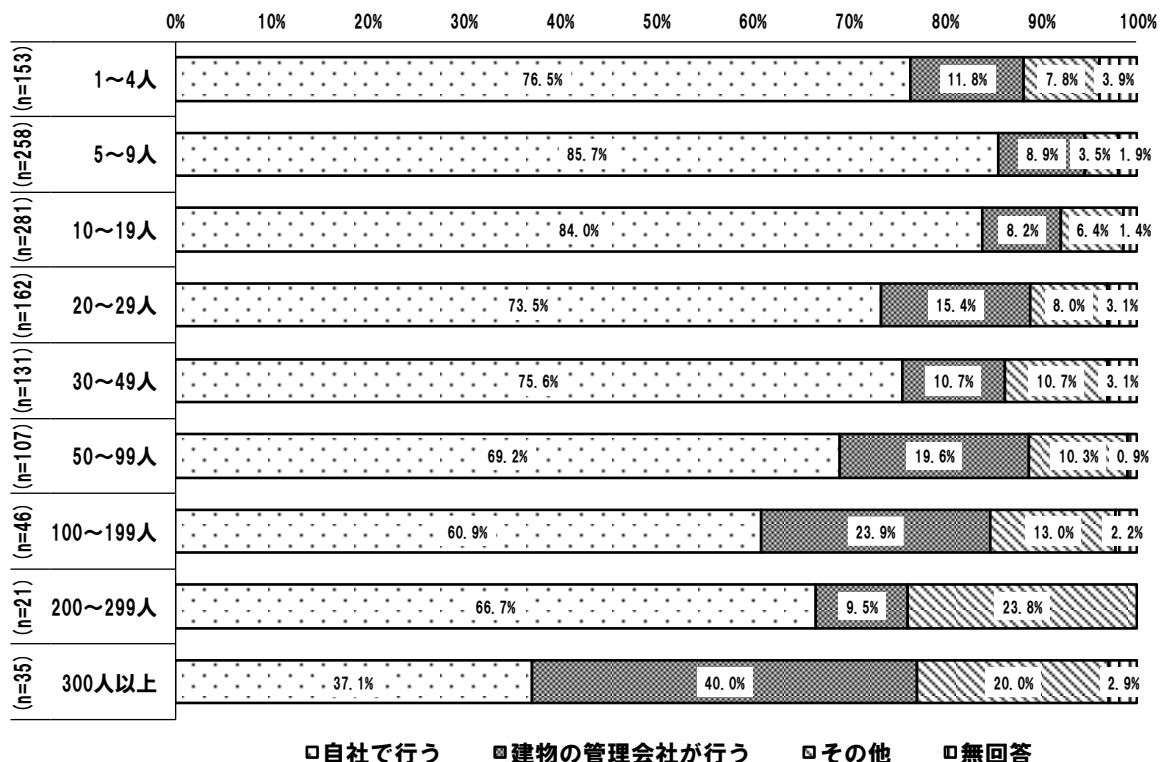
建物の所有状況別に見ると、「自社所有・自己所有」においては「自社で行う」が85.8%と最も多く、「賃貸」においては「自社で行う」が67.3%、「建物の管理会社が行う」が23.9%となっている。

図表 136 ごみの排出主体（建物の所有状況）



従業員数別に見ると、「自社で行う」の割合は、「5～9人（85.7%）」が最も高く、従業員が多いほど低い傾向にある。「建物の管理会社が行う」の割合は、「300人以上（40.0%）」が最も高く、従業員数が多いほど高い傾向にある。

図表 137 ごみの排出主体（従業員数）

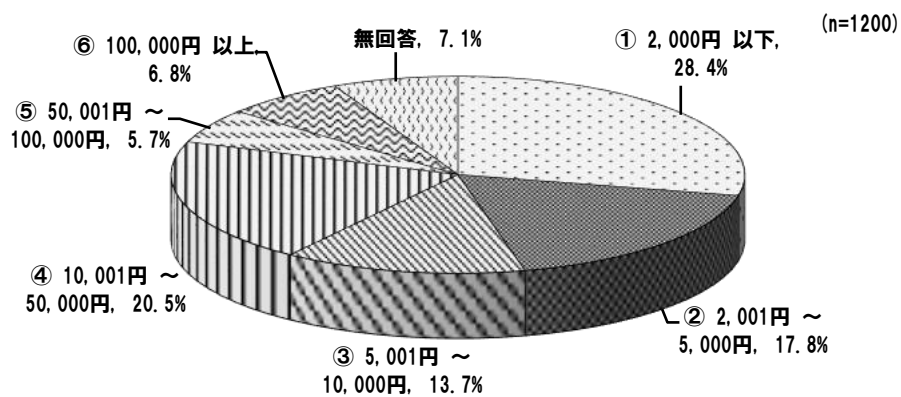


	合計	自社で行う	建物の管理会社が行う	その他	無回答
合計	1,200	926	152	95	27
	100.0%	77.2%	12.7%	7.9%	2.3%
1～4人	153	117	18	12	6
	100.0%	76.5%	11.8%	7.8%	3.9%
5～9人	258	221	23	9	5
	100.0%	85.7%	8.9%	3.5%	1.9%
10～19人	281	236	23	18	4
	100.0%	84.0%	8.2%	6.4%	1.4%
20～29人	162	119	25	13	5
	100.0%	73.5%	15.4%	8.0%	3.1%
30～49人	131	99	14	14	4
	100.0%	75.6%	10.7%	10.7%	3.1%
50～99人	107	74	21	11	1
	100.0%	69.2%	19.6%	10.3%	0.9%
100～199人	46	28	11	6	1
	100.0%	60.9%	23.9%	13.0%	2.2%
200～299人	21	14	2	5	0
	100.0%	66.7%	9.5%	23.8%	0.0%
300人以上	35	13	14	7	1
	100.0%	37.1%	40.0%	20.0%	2.9%

2.2.2 1ヶ月あたりのごみ・資源物処理費用

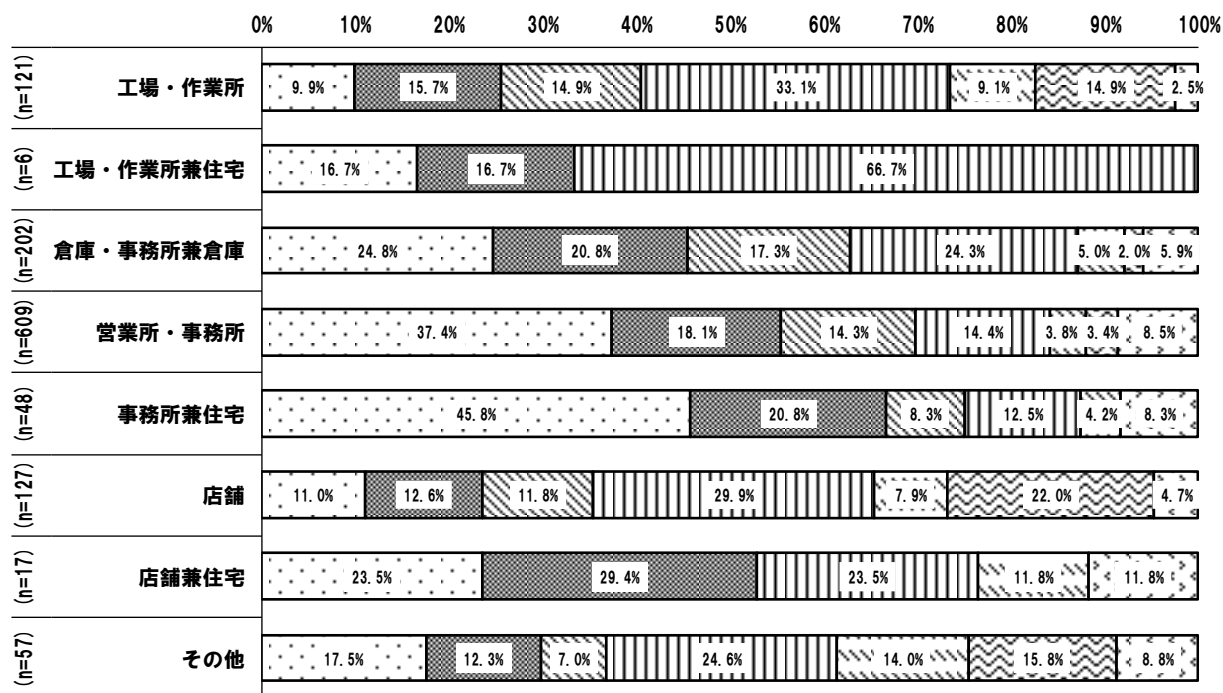
「①2,000円以下」の割合が最も高く 28.4%となっている。次いで、「④10,001円～50,000円 (20.5%)」、「②2,001円～5,000円 (17.8%)」となっている。

図表 138 1ヶ月あたりのごみ・資源物処理費用



事業所の形態別に見ると、「2,000円以下」の割合は、「事業所兼住宅（45.8%）」、「営業所・事務所（37.4%）」、「倉庫・事務所兼倉庫（24.8%）」の順に高い。

図表 139 1ヶ月あたりのごみ・資源物処理費用（事業所の形態）

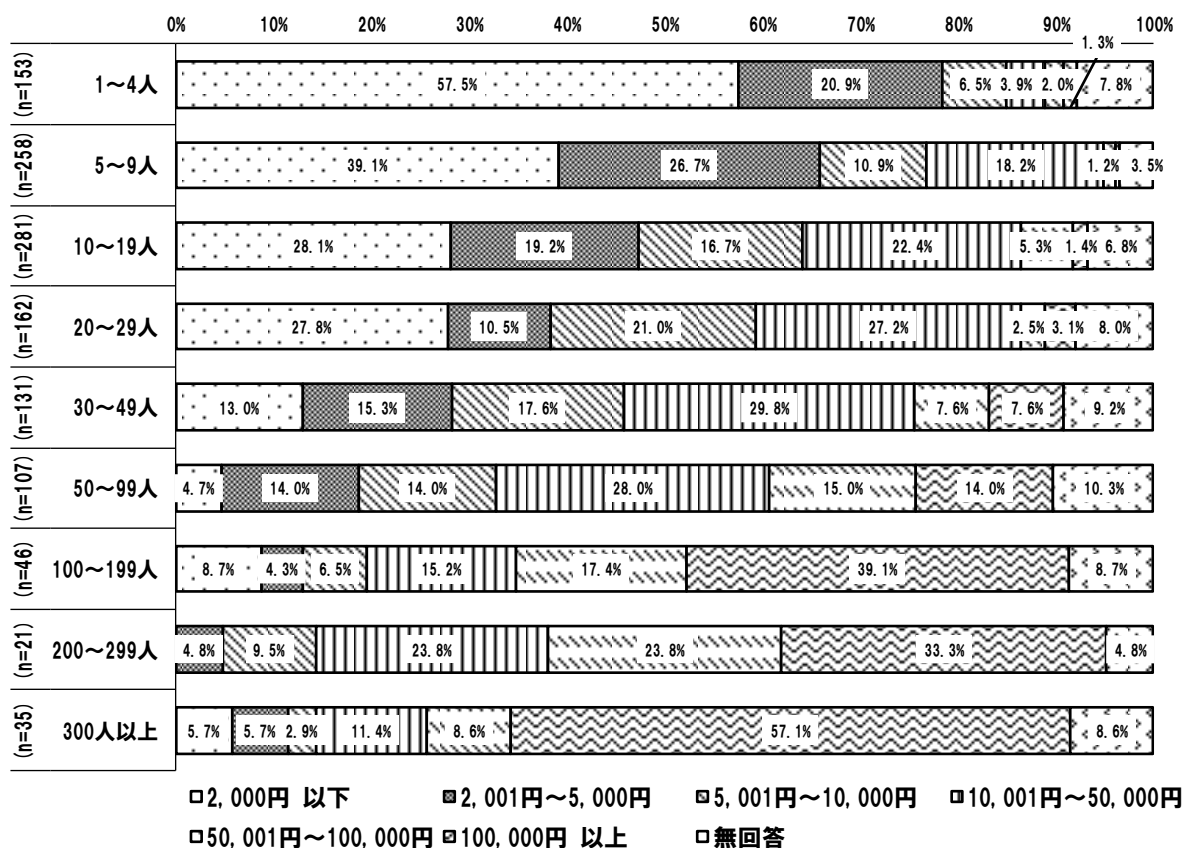


2,000円以下
 2,001円~5,000円
 5,001円~10,000円
 10,001円~50,000円
 50,001円~100,000円
 100,000円以上
 無回答

	合計	2,000円以下	2,001円~5,000円	5,001円~10,000円	10,001円~50,000円	50,001円~100,000円	100,000円以上	無回答
合計	1,200	341	214	164	246	68	82	85
	100.0%	28.4%	17.8%	13.7%	20.5%	5.7%	6.8%	7.1%
工場・作業所	121	12	19	18	40	11	18	3
	100.0%	9.9%	15.7%	14.9%	33.1%	9.1%	14.9%	2.5%
工場・作業所兼住宅	6	1	1	0	4	0	0	0
	100.0%	16.7%	16.7%	0.0%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%
倉庫・事務所兼倉庫	202	50	42	35	49	10	4	12
	100.0%	24.8%	20.8%	17.3%	24.3%	5.0%	2.0%	5.9%
営業所・事務所	609	228	110	87	88	23	21	52
	100.0%	37.4%	18.1%	14.3%	14.4%	3.8%	3.4%	8.5%
事務所兼住宅	48	22	10	4	6	2	0	4
	100.0%	45.8%	20.8%	8.3%	12.5%	4.2%	0.0%	8.3%
店舗	127	14	16	15	38	10	28	6
	100.0%	11.0%	12.6%	11.8%	29.9%	7.9%	22.0%	4.7%
店舗兼住宅	17	4	5	0	4	2	0	2
	100.0%	23.5%	29.4%	0.0%	23.5%	11.8%	0.0%	11.8%
その他	57	10	7	4	14	8	9	5
	100.0%	17.5%	12.3%	7.0%	24.6%	14.0%	15.8%	8.8%

従業員数別に見ると、「2,000円以下」の割合は、従業員数が多いほど低い傾向がある。

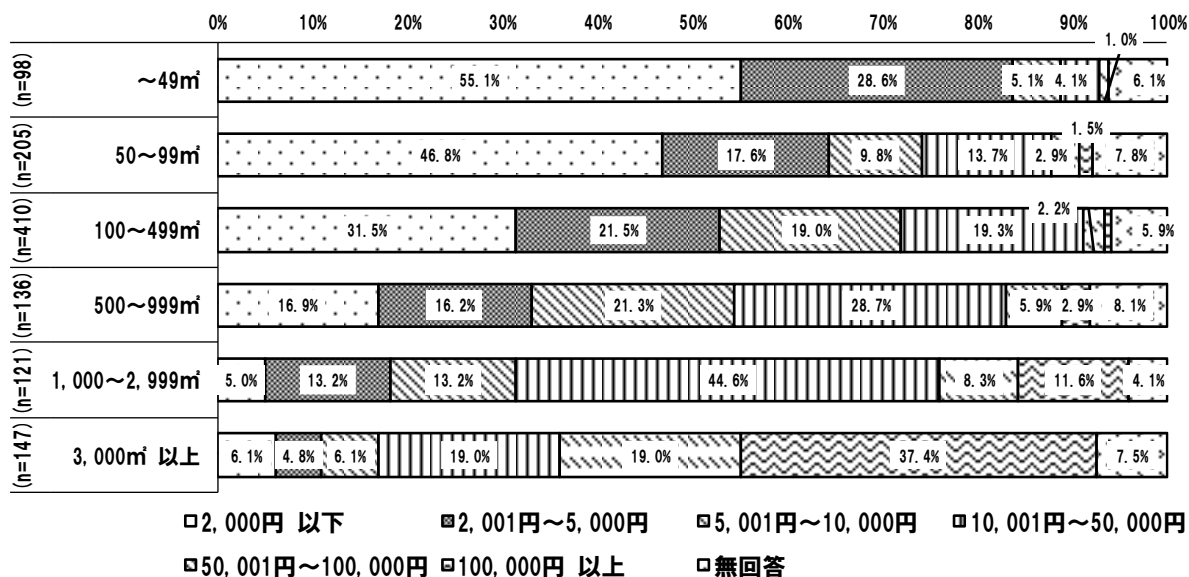
図表 140 1ヶ月あたりのごみ・資源物処理費用（従業員数）



	合計	2,000円以下	2,001円～5,000円	5,001円～10,000円	10,001円～50,000円	50,001円～100,000円	100,000円以上	無回答
合計	1,200	341	214	164	246	68	82	85
	100.0%	28.4%	17.8%	13.7%	20.5%	5.7%	6.8%	7.1%
1～4人	153	88	32	10	6	3	2	12
	100.0%	57.5%	20.9%	6.5%	3.9%	2.0%	1.3%	7.8%
5～9人	258	101	69	28	47	3	1	9
	100.0%	39.1%	26.7%	10.9%	18.2%	1.2%	0.4%	3.5%
10～19人	281	79	54	47	63	15	4	19
	100.0%	28.1%	19.2%	16.7%	22.4%	5.3%	1.4%	6.8%
20～29人	162	45	17	34	44	4	5	13
	100.0%	27.8%	10.5%	21.0%	27.2%	2.5%	3.1%	8.0%
30～49人	131	17	20	23	39	10	10	12
	100.0%	13.0%	15.3%	17.6%	29.8%	7.6%	7.6%	9.2%
50～99人	107	5	15	15	30	16	15	11
	100.0%	4.7%	14.0%	14.0%	28.0%	15.0%	14.0%	10.3%
100～199人	46	4	2	3	7	8	18	4
	100.0%	8.7%	4.3%	6.5%	15.2%	17.4%	39.1%	8.7%
200～299人	21	0	1	2	5	5	7	1
	100.0%	0.0%	4.8%	9.5%	23.8%	23.8%	33.3%	4.8%
300人以上	35	2	2	1	4	3	20	3
	100.0%	5.7%	5.7%	2.9%	11.4%	8.6%	57.1%	8.6%

延べ床面積別に見ると、「2,000 円以下」の割合は、延べ床面積が大きいほど低い傾向にある。

図表 141 1ヶ月あたりのごみ・資源物処理費用（延べ床面積）

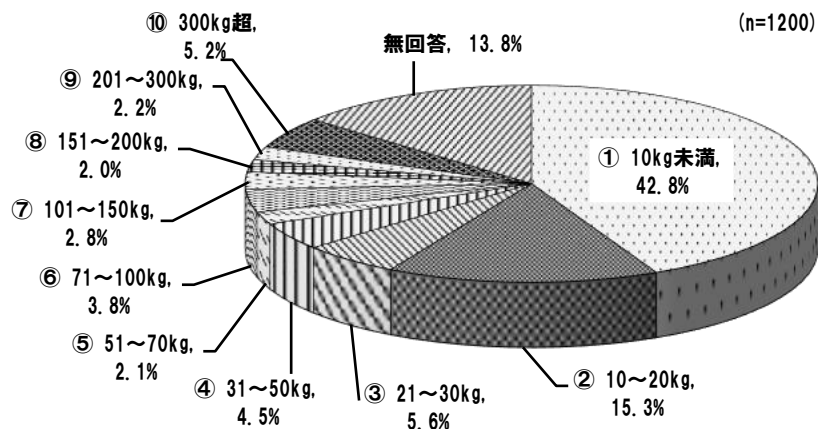


	合計	2,000円以下	2,001円~5,000円	5,001円~10,000円	10,001円~50,000円	50,001円~100,000円	100,000円以上	無回答
合計	1,200	341	214	164	246	68	82	85
	100.0%	28.4%	17.8%	13.7%	20.5%	5.7%	6.8%	7.1%
~49㎡	98	54	28	5	4	1	0	6
	100.0%	55.1%	28.6%	5.1%	4.1%	1.0%	0.0%	6.1%
50~99㎡	205	96	36	20	28	6	3	16
	100.0%	46.8%	17.6%	9.8%	13.7%	2.9%	1.5%	7.8%
100~499㎡	410	129	88	78	79	9	3	24
	100.0%	31.5%	21.5%	19.0%	19.3%	2.2%	0.7%	5.9%
500~999㎡	136	23	22	29	39	8	4	11
	100.0%	16.9%	16.2%	21.3%	28.7%	5.9%	2.9%	8.1%
1,000~2,999㎡	121	6	16	16	54	10	14	5
	100.0%	5.0%	13.2%	13.2%	44.6%	8.3%	11.6%	4.1%
3,000㎡以上	147	9	7	9	28	28	55	11
	100.0%	6.1%	4.8%	6.1%	19.0%	19.0%	37.4%	7.5%

2.2.3 1週間あたりの可燃ごみの排出量

「①10kg未満」の割合が最も高く42.8%となっている。次いで、「②10～20kg（15.3%）」となっている。

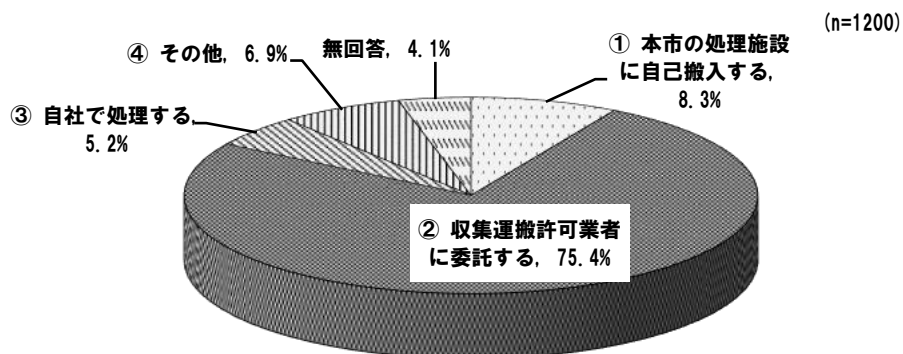
図表 142 1週間あたりの可燃ごみの排出量



2.2.4 可燃ごみの処理方法

「②収集運搬許可業者に委託する」の割合が最も高く75.4%となっている。次いで、「①本市の処理施設に自己搬入する（8.3%）」となっている。

図表 143 可燃ごみの処理方法

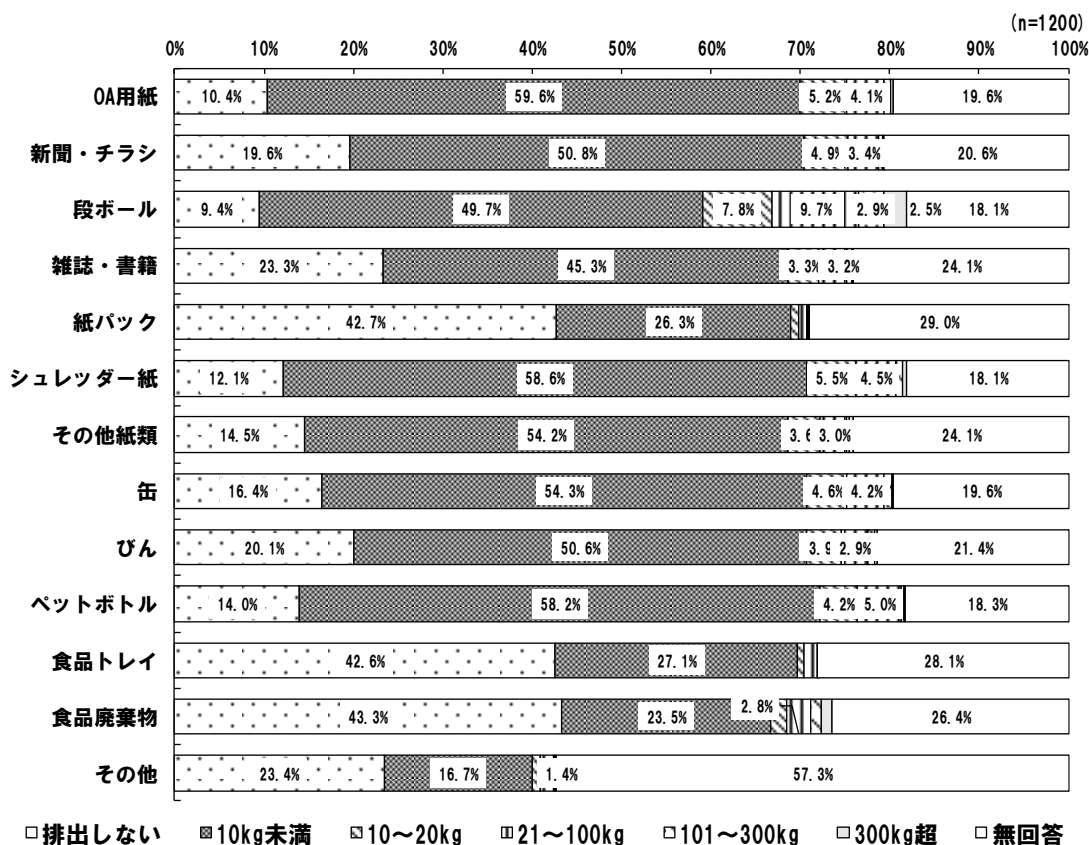


2.2.5 1週間あたりの資源物の排出実態及び処理方法

1) 排出実態

資源物の排出量は、「排出しない」あるいは「10kg未満」の占める割合が高く、両者の合計で概ね7割程度を占めている。「排出しない」の割合は、「食品廃棄物(43.3%)」、「紙パック(42.7%)」、「食品トレイ(42.6%)」の順に高い。

図表 144 1週間あたりの資源物の排出実態

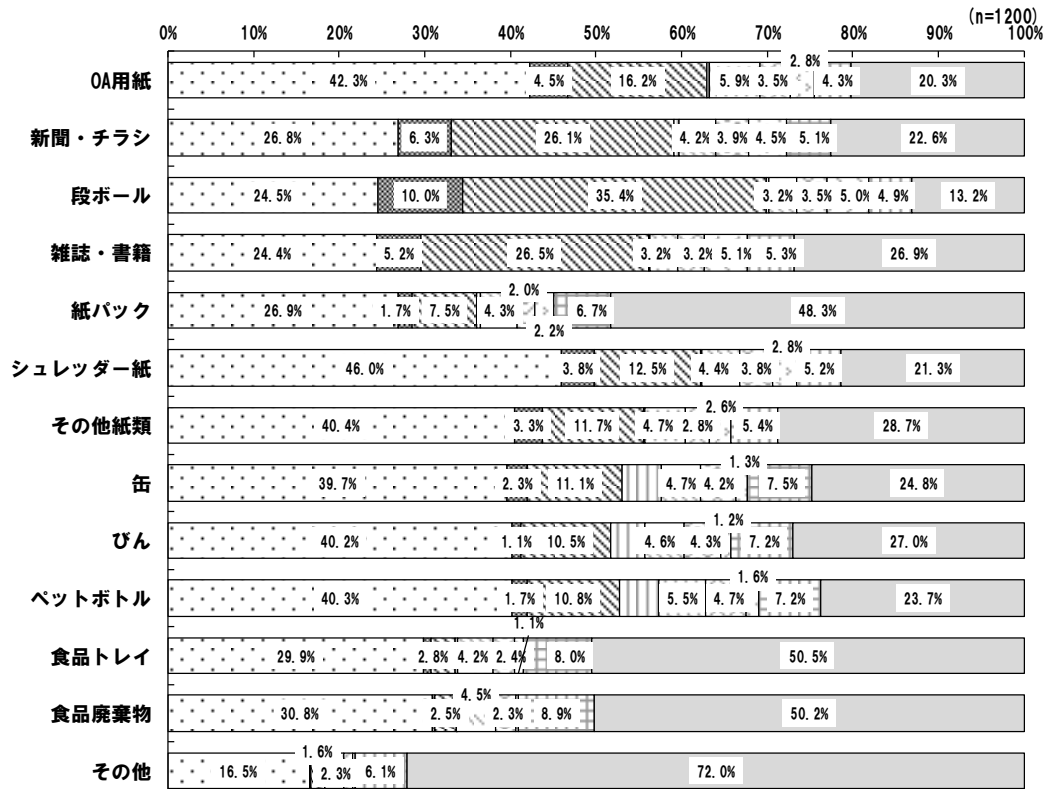


	合計	排出しない	10kg未満	10~20kg	21~100kg	101~300kg	300kg超	無回答
OA用紙	1,200	125	715	63	49	10	3	235
新聞・チラシ	1,200	235	610	59	41	6	2	247
段ボール	1,200	113	596	93	116	35	30	217
雑誌・書籍	1,200	280	544	40	38	8	1	289
紙パック	1,200	512	316	10	11	2	1	348
シュレッダー紙	1,200	145	703	66	54	10	5	217
その他紙類	1,200	174	650	43	36	2	6	289
缶	1,200	197	651	55	50	10	2	235
びん	1,200	241	607	47	35	10	3	257
ペットボトル	1,200	168	698	50	60	3	1	220
食品トレイ	1,200	511	325	9	17	1	0	337
食品廃棄物	1,200	519	282	20	33	14	15	317
その他	1,200	281	200	10	17	2	2	688

2) 処理方法

「業者に費用を払って処理を委託する」の割合は、「シュレッダー紙（46.0%）」、「OA用紙（42.3%）」、「その他紙類（40.4%）」の順に高い。「業者に無料で引き渡す」の割合は、「段ボール（35.4%）」、「雑誌・書籍（26.5%）」、「新聞・チラシ（26.1%）」の順に高い。

図表 145 1週間あたりの資源物の処理方法



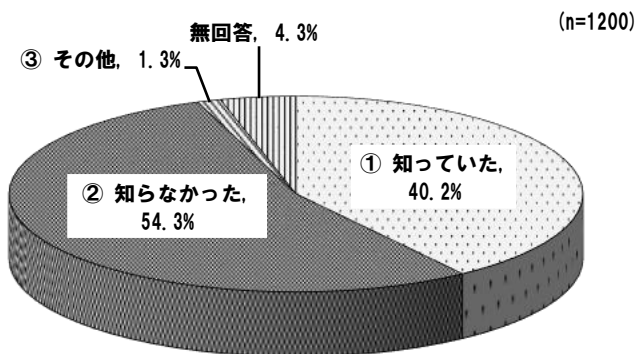
- 業者に費用を払って処理を委託する
- 業者に無料で引き渡す
- 自社で処理する
- 民間資源化施設に自己搬入する
- 無回答
- 業者に売却する
- 納入業者に引き渡す（返却）
- 本市資源化施設に自己搬入する
- その他

	合計	業者に費用を払って処理を委託する	業者に売却する	業者に無料で引き渡す	納入業者に引き渡す（返却）	自社で処理する	本市資源化施設に自己搬入する	民間資源化施設に自己搬入する	その他	無回答
OA用紙	1,200	507	54	194	4	71	42	34	51	243
	100.0%	42.3%	4.5%	16.2%	0.3%	5.9%	3.5%	2.8%	4.3%	20.3%
新聞・チラシ	1,200	322	75	313	7	50	47	54	61	271
	100.0%	26.8%	6.3%	26.1%	0.6%	4.2%	3.9%	4.5%	5.1%	22.6%
段ボール	1,200	294	120	425	3	39	42	60	59	158
	100.0%	24.5%	10.0%	35.4%	0.2%	3.2%	3.5%	5.0%	4.9%	13.2%
雑誌・書籍	1,200	293	62	318	2	39	38	61	64	323
	100.0%	24.4%	5.2%	26.5%	0.2%	3.2%	3.2%	5.1%	5.3%	26.9%
紙バック	1,200	323	20	90	5	52	24	26	80	580
	100.0%	26.9%	1.7%	7.5%	0.4%	4.3%	2.0%	2.2%	6.7%	48.3%
シュレッダー紙	1,200	552	45	150	2	53	45	34	63	256
	100.0%	46.0%	3.8%	12.5%	0.2%	4.4%	3.8%	2.8%	5.2%	21.3%
その他紙類	1,200	485	40	141	3	56	34	31	65	345
	100.0%	40.4%	3.3%	11.7%	0.2%	4.7%	2.8%	2.6%	5.4%	28.7%
缶	1,200	476	28	133	54	56	50	16	90	297
	100.0%	39.7%	2.3%	11.1%	4.5%	4.7%	4.2%	1.3%	7.5%	24.8%
びん	1,200	482	13	126	48	55	51	14	87	324
	100.0%	40.2%	1.1%	10.5%	4.0%	4.6%	4.3%	1.2%	7.2%	27.0%
ペットボトル	1,200	483	20	130	55	66	56	19	86	285
	100.0%	40.3%	1.7%	10.8%	4.6%	5.5%	4.7%	1.6%	7.2%	23.7%
食品トレイ	1,200	359	10	34	3	50	29	13	96	606
	100.0%	29.9%	0.8%	2.8%	0.2%	4.2%	2.4%	1.1%	8.0%	50.5%
食品廃棄物	1,200	370	4	30	1	54	28	4	107	602
	100.0%	30.8%	0.3%	2.5%	0.1%	4.5%	2.3%	0.3%	8.9%	50.2%
その他	1,200	198	2	19	1	27	12	4	73	864
	100.0%	16.5%	0.2%	1.6%	0.1%	2.3%	1.0%	0.3%	6.1%	72.0%

2.2.6 収集費用に施設搬入手数料が含まれていることの認知度

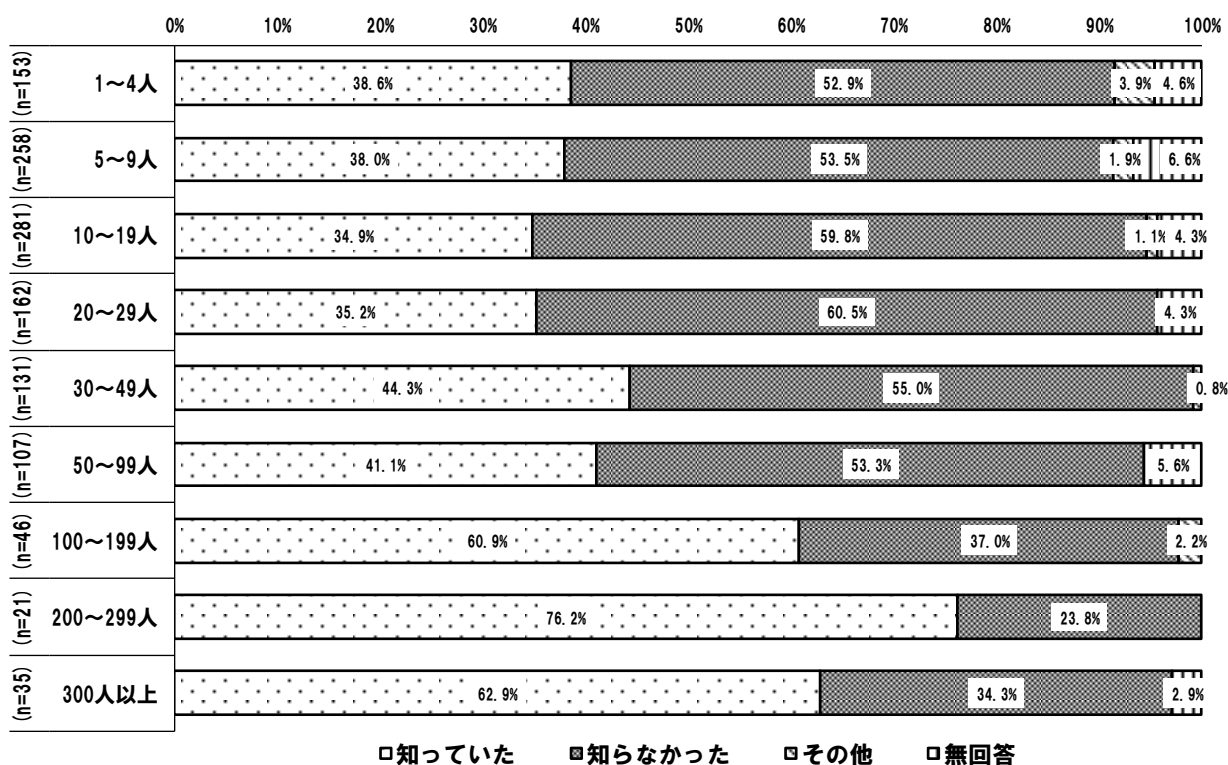
「②知らなかった」の割合が最も高く 54.3%となっている。次いで、「①知っていた (40.2%)」となっている。

図表 146 収集費用に施設搬入手数料が含まれていることの認知度



従業員数別に見ると、「知っていた」事業者は、「200～299人 (76.2%)」が最も高い。「知らなかった」事業者は、「20～29人 (60.5%)」が最も高い。

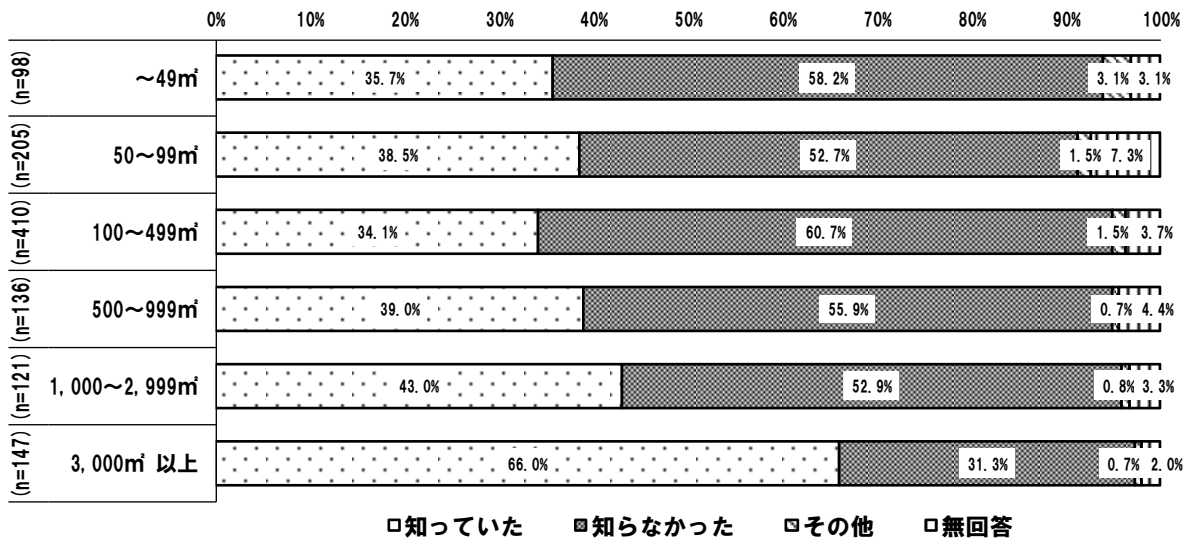
図表 147 収集費用に施設搬入手数料が含まれていることの認知度 (従業員数)



	合計	知っていた	知らなかった	その他	無回答
合計	1,200	482	651	16	51
	100.0%	40.2%	54.3%	1.3%	4.3%
1～4人	153	59	81	6	7
	100.0%	38.6%	52.9%	3.9%	4.6%
5～9人	258	98	138	5	17
	100.0%	38.0%	53.5%	1.9%	6.6%
10～19人	281	98	168	3	12
	100.0%	34.9%	59.8%	1.1%	4.3%
20～29人	162	57	98	0	7
	100.0%	35.2%	60.5%	0.0%	4.3%
30～49人	131	58	72	1	0
	100.0%	44.3%	55.0%	0.8%	0.0%
50～99人	107	44	57	0	6
	100.0%	41.1%	53.3%	0.0%	5.6%
100～199人	46	28	17	1	0
	100.0%	60.9%	37.0%	2.2%	0.0%
200～299人	21	16	5	0	0
	100.0%	76.2%	23.8%	0.0%	0.0%
300人以上	35	22	12	0	1
	100.0%	62.9%	34.3%	0.0%	2.9%

延べ床面積別に見ると、「知っていた」の割合は「3,000m²以上（66.0%）」が最も高く、「知らなかった」の割合は「100～499m²（60.7%）」が最も高い。

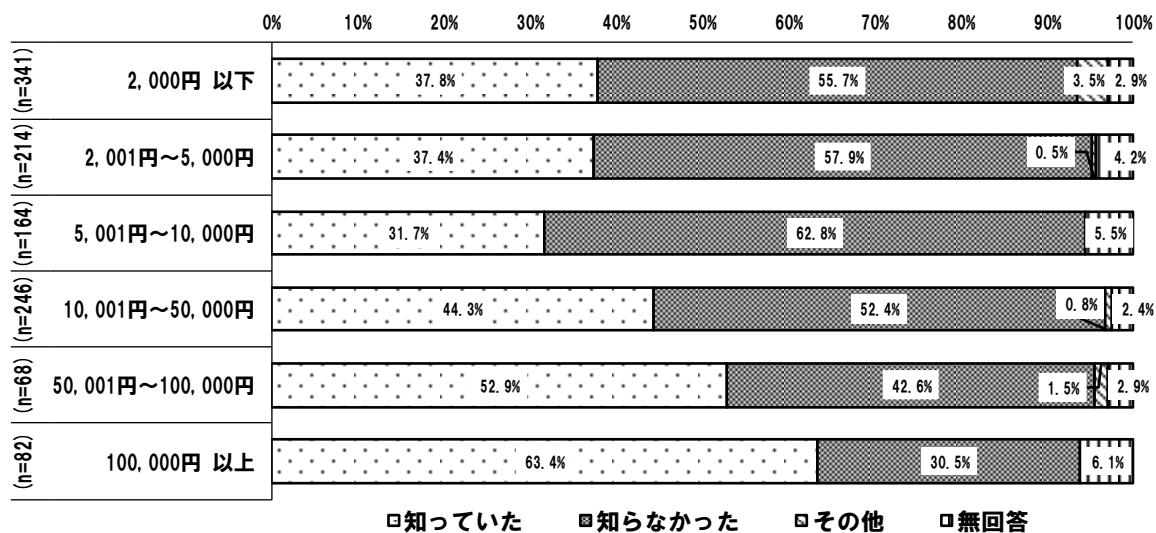
図表 148 収集費用に施設搬入手数料が含まれていることの認知度（延べ床面積）



	合計	知っていた	知らなかった	その他	無回答
合計	1,200	482	651	16	51
	100.0%	40.2%	54.3%	1.3%	4.3%
～49㎡	98	35	57	3	3
	100.0%	35.7%	58.2%	3.1%	3.1%
50～99㎡	205	79	108	3	15
	100.0%	38.5%	52.7%	1.5%	7.3%
100～499㎡	410	140	249	6	15
	100.0%	34.1%	60.7%	1.5%	3.7%
500～999㎡	136	53	76	1	6
	100.0%	39.0%	55.9%	0.7%	4.4%
1,000～2,999㎡	121	52	64	1	4
	100.0%	43.0%	52.9%	0.8%	3.3%
3,000㎡以上	147	97	46	1	3
	100.0%	66.0%	31.3%	0.7%	2.0%

1 ヶ月あたりのごみ・資源物処理費用別に見ると、「知っていた」の割合は「100,000 円以上 (63.4%)」が最も高く、「知らなかった」の割合は「5,001 円～10,000 円 (62.8%)」が最も高い。

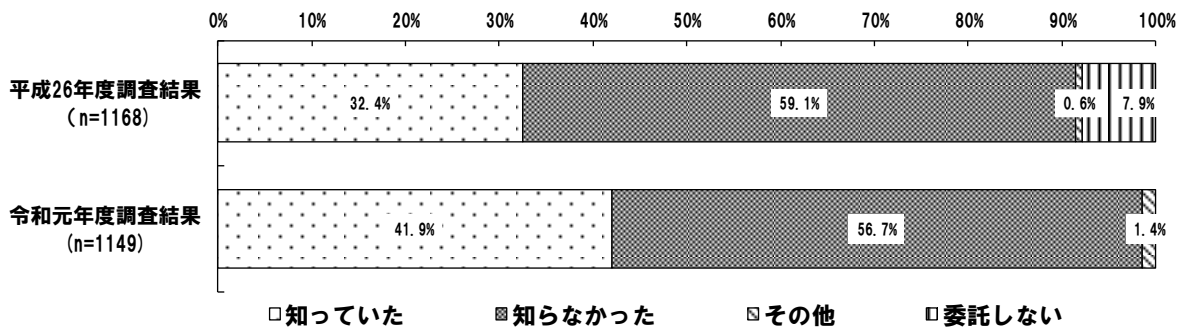
図表 149 収集費用に施設搬入手数料が含まれていることの認知度
(1 ヶ月あたりのごみ・資源物処理費用)



	合計	知っていた	知らなかった	その他	無回答
合計	1,200	482	651	16	51
	100.0%	40.2%	54.3%	1.3%	4.3%
2,000円以下	341	129	190	12	10
	100.0%	37.8%	55.7%	3.5%	2.9%
2,001円～5,000円	214	80	124	1	9
	100.0%	37.4%	57.9%	0.5%	4.2%
5,001円～10,000円	164	52	103	0	9
	100.0%	31.7%	62.8%	0.0%	5.5%
10,001円～50,000円	246	109	129	2	6
	100.0%	44.3%	52.4%	0.8%	2.4%
50,001円～100,000円	68	36	29	1	2
	100.0%	52.9%	42.6%	1.5%	2.9%
100,000円以上	82	52	25	0	5
	100.0%	63.4%	30.5%	0.0%	6.1%

平成 26 年度調査と単純な比較は困難であるが、令和元年度調査の「知らなかった」の割合は 56.7%、平成 26 年度調査の「知らなかった」の割合は 59.1%であり、顕著な変化は見られない。

図表 150 平成 26 年度調査結果との比較

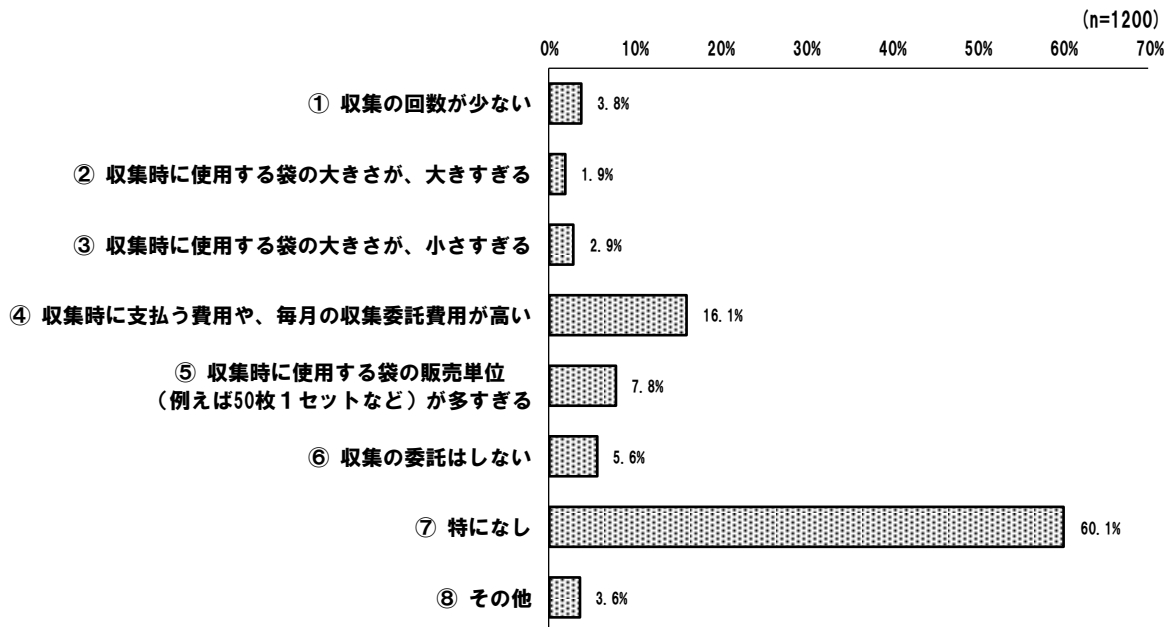


※無回答を除いて集計。平成 26 年度調査では、「委託しない」という選択肢あり

2.2.7 収集に関して普段感じていること

「⑦特になし」の割合が最も高く 60.1%となっている。次いで、「④収集時に支払う費用や、毎月の収集委託費用が高い (16.1%)」、「⑤収集時に使用する袋の販売単位 (例えば 50 枚 1 セットなど) が多すぎる (7.8%)」となっている。

図表 151 収集に関して普段感じていること ※該当するものすべてを回答

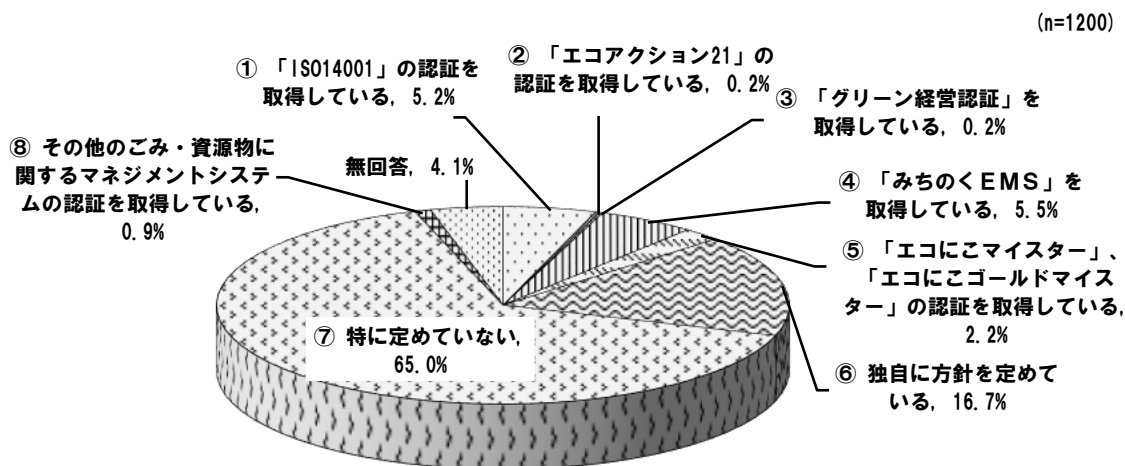


2.3 ごみ減量・リサイクルの取り組み等について

2.3.1 ごみ減量・リサイクルの方針の策定状況

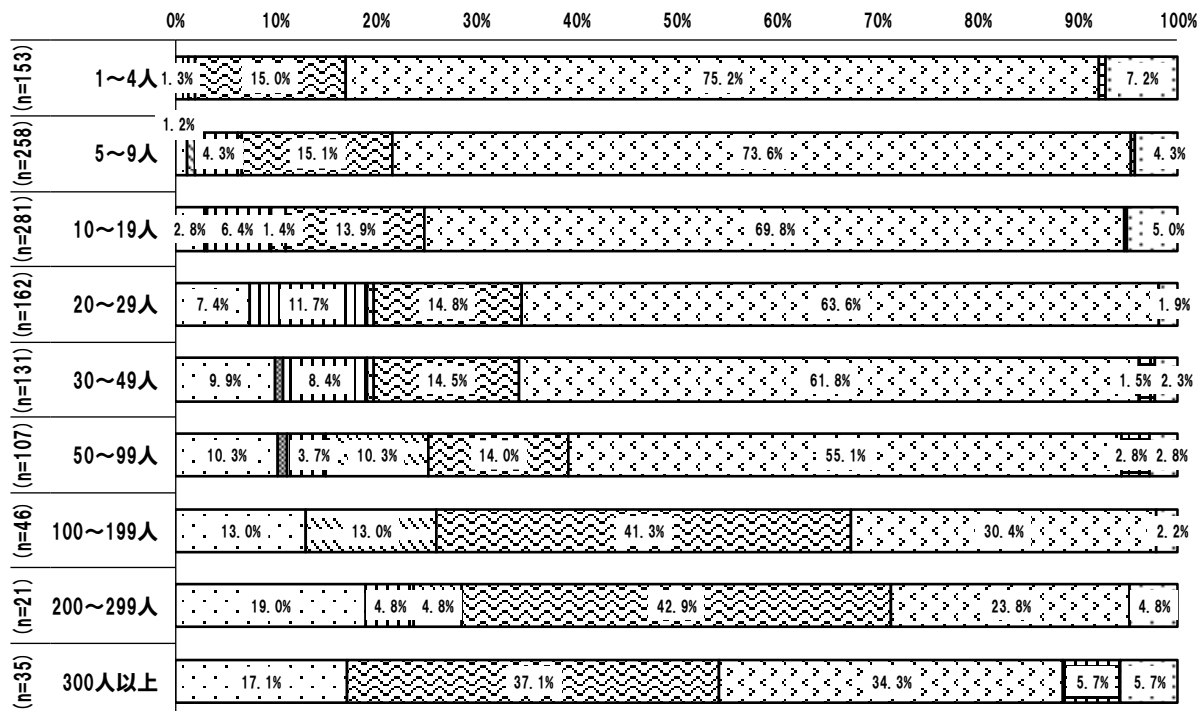
「⑦特に定めていない」の割合が最も高く 65.0%となっている。次いで、「⑥独自に方針を定めている (16.7%)」、「④「みちのくEMS」を取得している (5.5%)」となっている。

図表 152 ごみ減量・リサイクルの方針の策定状況



従業員数別に見ると、「特に定めていない」の割合は、従業員数が多いほど低い傾向にある。「ISO14001」の認証を取得しているや「独自に方針を定めている」など、何らかの方針を策定している割合は、従業員数が多いほど高い傾向にある。

図表 153 ごみ減量・リサイクルの方針の策定状況（従業員数）

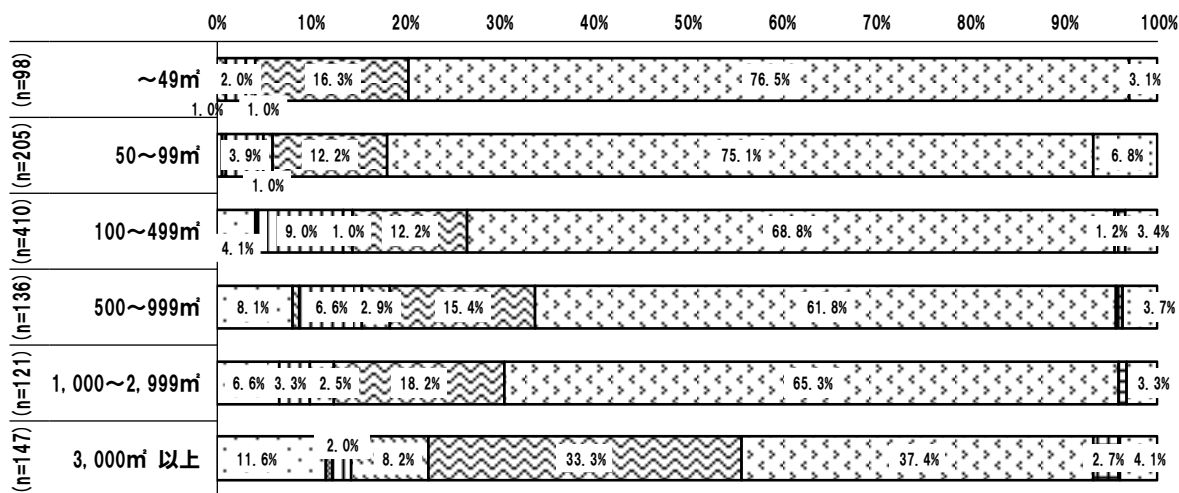


- 「ISO14001」の認証を取得している
- 「エコアクション21」の認証を取得している
- 「グリーン経営認証」を取得している
- 「みちのくEMS」を取得している
- 「エコにごマスター」、「エコにごゴールドマスター」の認証を取得している
- 独自に方針を定めている
- 特に定めていない
- その他のごみ・資源物に関するマネジメントシステムの認証を取得している
- 無回答

合計	「ISO14001」の認証を取得している	「エコアクション21」の認証を取得している	「グリーン経営認証」を取得している	「みちのくEMS」を取得している	「エコにごマスター」、「エコにごゴールドマスター」の認証を取得している	独自に方針を定めている	特に定めていない	その他のごみ・資源物に関するマネジメントシステムの認証を取得している	無回答
合計	1,200 100.0%	63 5.2%	3 0.2%	2 0.2%	66 5.5%	26 2.2%	200 16.7%	780 65.0%	49 4.1%
1～4人	153 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 1.3%	1 0.7%	23 15.0%	115 75.2%	11 7.2%
5～9人	258 100.0%	3 1.2%	0 0.0%	2 0.8%	11 4.3%	1 0.4%	39 15.1%	190 73.6%	11 4.3%
10～19人	281 100.0%	8 2.8%	1 0.4%	0 0.0%	18 6.4%	4 1.4%	39 13.9%	196 69.8%	14 5.0%
20～29人	162 100.0%	12 7.4%	0 0.0%	0 0.0%	19 11.7%	1 0.6%	24 14.8%	103 63.6%	3 1.9%
30～49人	131 100.0%	13 9.9%	1 0.8%	0 0.0%	11 8.4%	1 0.8%	19 14.5%	81 61.8%	3 2.3%
50～99人	107 100.0%	11 10.3%	1 0.9%	0 0.0%	4 3.7%	11 10.3%	15 14.0%	59 55.1%	3 2.8%
100～199人	46 100.0%	6 13.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	6 13.0%	19 41.3%	14 30.4%	1 2.2%
200～299人	21 100.0%	4 19.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 4.8%	1 4.8%	9 42.9%	5 23.8%	1 4.8%
300人以上	35 100.0%	6 17.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	13 37.1%	12 34.3%	2 5.7%

延べ床面積別に見ると、「特に定めていない」の割合は、延べ床面積が大きいほど低い傾向にある。「ISO14001」の認証を取得している」や「独自に方針を定めている」など、何らかの方針を策定している割合は、従業員数が多いほど高い傾向にある。

図表 154 ごみ減量・リサイクルの方針の策定状況（延べ床面積）

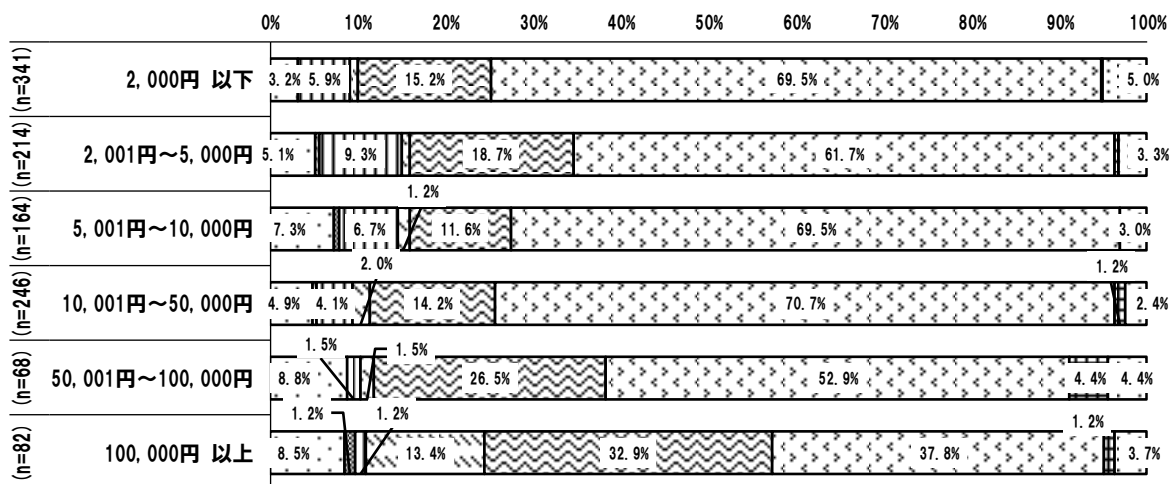


- 「ISO14001」の認証を取得している
- 「エコアクション21」の認証を取得している
- 「グリーン経営認証」を取得している
- 「みちのくEMS」を取得している
- 「エコにこマスター」、「エコにこゴールドマスター」の認証を取得している
- 独自に方針を定めている
- 特に定めていない
- 其他のごみ・資源物に関するマネジメントシステムの認証を取得している
- 無回答

	合計	「ISO14001」の認証を取得している	「エコアクション21」の認証を取得している	「グリーン経営認証」を取得している	「みちのくEMS」を取得している	「エコにこマスター」、「エコにこゴールドマスター」の認証を取得している	独自に方針を定めている	特に定めていない	其他のごみ・資源物に関するマネジメントシステムの認証を取得している	無回答
合計	1,200	63	3	2	66	26	200	780	11	49
	100.0%	5.2%	0.2%	0.2%	5.5%	2.2%	16.7%	65.0%	0.9%	4.1%
~49m ²	98	0	0	1	2	1	16	75	0	3
	100.0%	0.0%	0.0%	1.0%	2.0%	1.0%	16.3%	76.5%	0.0%	3.1%
50~99m ²	205	1	1	0	8	2	25	154	0	14
	100.0%	0.5%	0.5%	0.0%	3.9%	1.0%	12.2%	75.1%	0.0%	6.8%
100~499m ²	410	17	1	0	37	4	50	282	5	14
	100.0%	4.1%	0.2%	0.0%	9.0%	1.0%	12.2%	68.8%	1.2%	3.4%
500~999m ²	136	11	0	1	9	4	21	84	1	5
	100.0%	8.1%	0.0%	0.7%	6.6%	2.9%	15.4%	61.8%	0.7%	3.7%
1,000~2,999m ²	121	8	0	0	4	3	22	79	1	4
	100.0%	6.6%	0.0%	0.0%	3.3%	2.5%	18.2%	65.3%	0.8%	3.3%
3,000m ² 以上	147	17	1	0	3	12	49	55	4	6
	100.0%	11.6%	0.7%	0.0%	2.0%	8.2%	33.3%	37.4%	2.7%	4.1%

1ヶ月あたりのごみ・資源物処理費用別に見ると、「特に定めていない」の割合は、1ヶ月あたりのごみ・資源物処理費用が高いほど低い傾向にある。「ISO14001」の認証を取得している」や「独自に方針を定めている」など、何らかの方針を策定している割合は、従業員数が多いほど高い傾向にある。

図表 155 ごみ減量・リサイクルの方針の策定状況（1ヶ月あたりのごみ・資源物処理費用）



- 「ISO14001」の認証を取得している
- 「エコアクション21」の認証を取得している
- 「グリーン経営認証」を取得している
- 「みちのくEMS」を取得している
- 「エコにこマスター」、「エコにこゴールドマスター」の認証を取得している
- 独自に方針を定めている
- 特に定めていない
- 其他のごみ・資源物に関するマネジメントシステムの認証を取得している
- 無回答

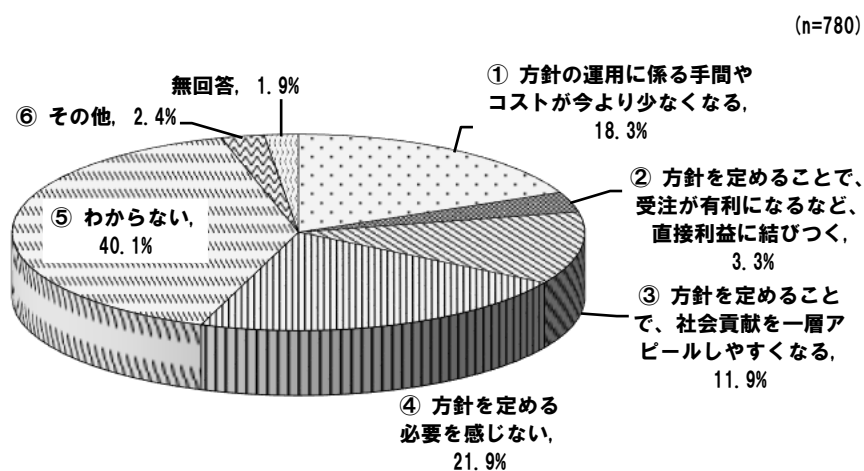
	合計	「ISO14001」の認証を取得している	「エコアクション21」の認証を取得している	「グリーン経営認証」を取得している	「みちのくEMS」を取得している	「エコにこマスター」、「エコにこゴールドマスター」の認証を取得している	独自に方針を定めている	特に定めていない	其他のごみ・資源物に関するマネジメントシステムの認証を取得している	無回答
合計	1,200	63	3	2	66	26	200	780	11	49
	100.0%	5.2%	0.2%	0.2%	5.5%	2.2%	16.7%	65.0%	0.9%	4.1%
2,000円以下	341	11	0	0	20	3	52	237	1	17
	100.0%	3.2%	0.0%	0.0%	5.9%	0.9%	15.2%	69.5%	0.3%	5.0%
2,001円～5,000円	214	11	0	1	20	2	40	132	1	7
	100.0%	5.1%	0.0%	0.5%	9.3%	0.9%	18.7%	61.7%	0.5%	3.3%
5,001円～10,000円	164	12	1	0	11	2	19	114	0	5
	100.0%	7.3%	0.6%	0.0%	6.7%	1.2%	11.6%	69.5%	0.0%	3.0%
10,001円～50,000円	246	12	0	1	10	5	35	174	3	6
	100.0%	4.9%	0.0%	0.4%	4.1%	2.0%	14.2%	70.7%	1.2%	2.4%
50,001円～100,000円	68	6	0	0	1	1	18	36	3	3
	100.0%	8.8%	0.0%	0.0%	1.5%	1.5%	26.5%	52.9%	4.4%	4.4%
100,000円以上	82	7	1	0	1	11	27	31	1	3
	100.0%	8.5%	1.2%	0.0%	1.2%	13.4%	32.9%	37.8%	1.2%	3.7%

2.3.2 ごみ減量・リサイクルの方針策定の条件

ごみ減量・リサイクルの方針の策定状況において「特に定めていない」と回答した 780 件に対して、方針策定の条件を把握した。

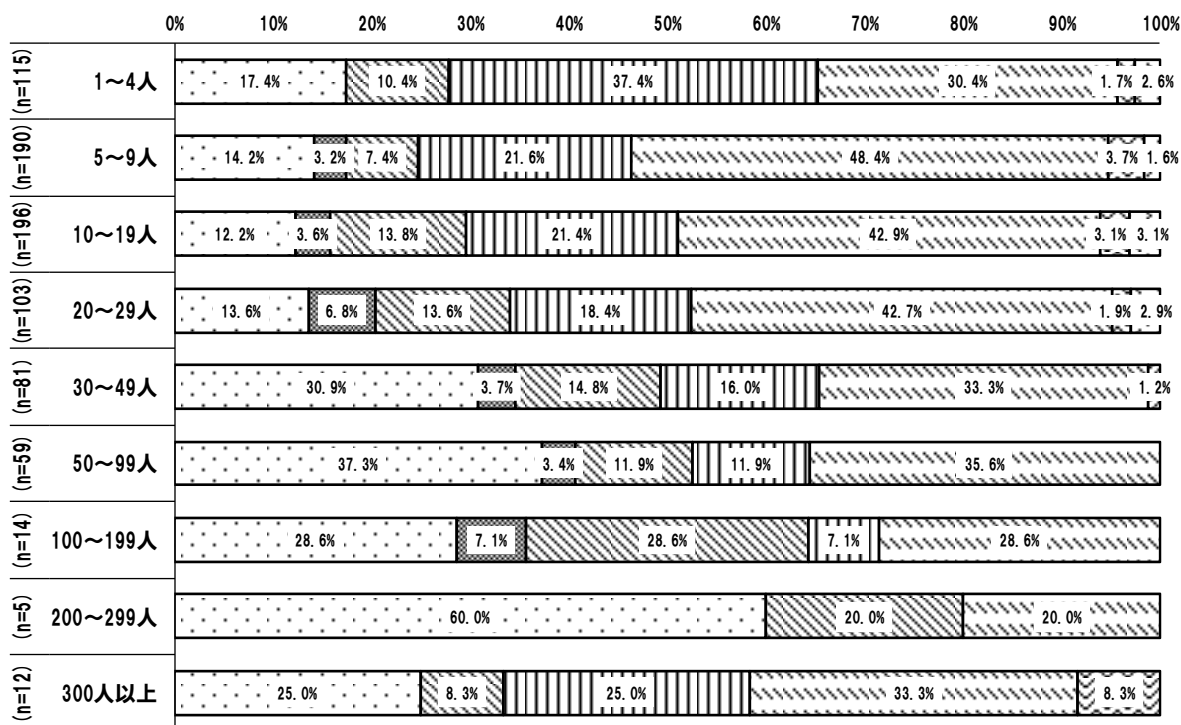
「⑤わからない」の割合が最も高く 40.1%となっている。次いで、「④方針を定める必要を感じない (21.9%)」、「①方針の運用に係る手間やコストが今より少なくなる (18.3%)」となっている。

図表 156 ごみ減量・リサイクルの方針策定の条件



従業員数別に見ると、「方針の運用に係る手間やコストが今より少なくなる」の割合は、従業員数が多いほど高い傾向にある。「方針を定める必要を感じない」、「わからない」の割合は、従業員数が多いほど低い傾向にある。

図表 157 ごみ減量・リサイクルの方針策定の条件（従業員数）

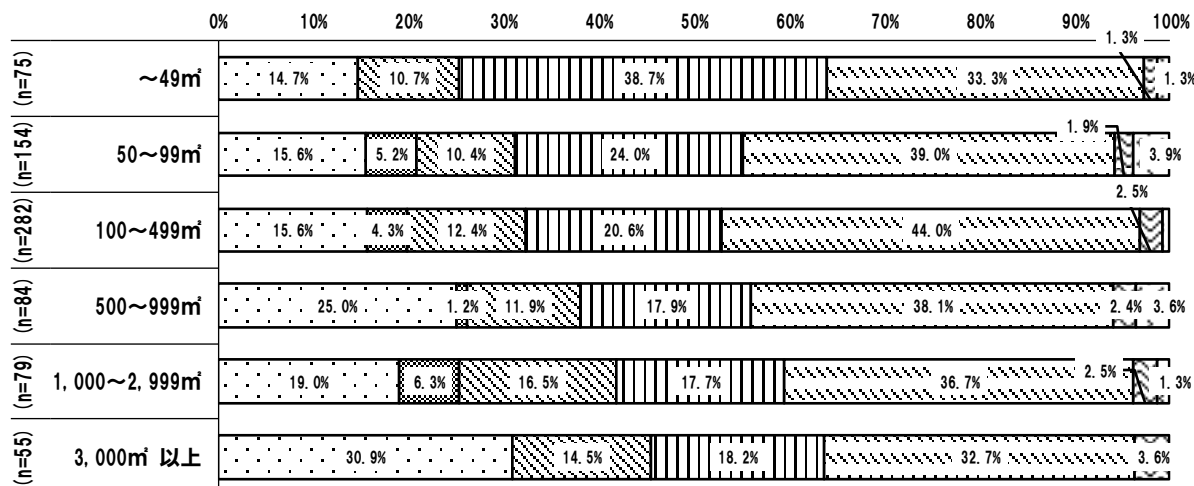


- 方針の運用に係る手間やコストが今より少なくなる
- 方針を定めることで、受注が有利になるなど、直接利益に結びつく
- 方針を定めることで、社会貢献を一層アピールしやすくなる
- 方針を定める必要を感じない
- わからない
- その他
- 無回答

	合計	方針の運用に係る手間やコストが今より少なくなる	方針を定めることで、受注が有利になるなど、直接利益に結びつく	方針を定めることで、社会貢献を一層アピールしやすくなる	方針を定める必要を感じない	わからない	その他	無回答
合計	780	143	26	93	171	313	19	15
	100.0%	18.3%	3.3%	11.9%	21.9%	40.1%	2.4%	1.9%
1～4人	115	20	0	12	43	35	2	3
	100.0%	17.4%	0.0%	10.4%	37.4%	30.4%	1.7%	2.6%
5～9人	190	27	6	14	41	92	7	3
	100.0%	14.2%	3.2%	7.4%	21.6%	48.4%	3.7%	1.6%
10～19人	196	24	7	27	42	84	6	6
	100.0%	12.2%	3.6%	13.8%	21.4%	42.9%	3.1%	3.1%
20～29人	103	14	7	14	19	44	2	3
	100.0%	13.6%	6.8%	13.6%	18.4%	42.7%	1.9%	2.9%
30～49人	81	25	3	12	13	27	1	0
	100.0%	30.9%	3.7%	14.8%	16.0%	33.3%	1.2%	0.0%
50～99人	59	22	2	7	7	21	0	0
	100.0%	37.3%	3.4%	11.9%	11.9%	35.6%	0.0%	0.0%
100～199人	14	4	1	4	1	4	0	0
	100.0%	28.6%	7.1%	28.6%	7.1%	28.6%	0.0%	0.0%
200～299人	5	3	0	1	0	1	0	0
	100.0%	60.0%	0.0%	20.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%
300人以上	12	3	0	1	3	4	1	0
	100.0%	25.0%	0.0%	8.3%	25.0%	33.3%	8.3%	0.0%

延べ床面積別に見ると、「方針の運用に係る手間やコストが今より少なくなる」の割合は、延べ床面積が大きいほど高い傾向にある。「方針を定める必要を感じない」の割合は、延べ床面積が大きいほど低い傾向にある。

図表 158 ごみ減量・リサイクルの方針策定の条件（延べ床面積）

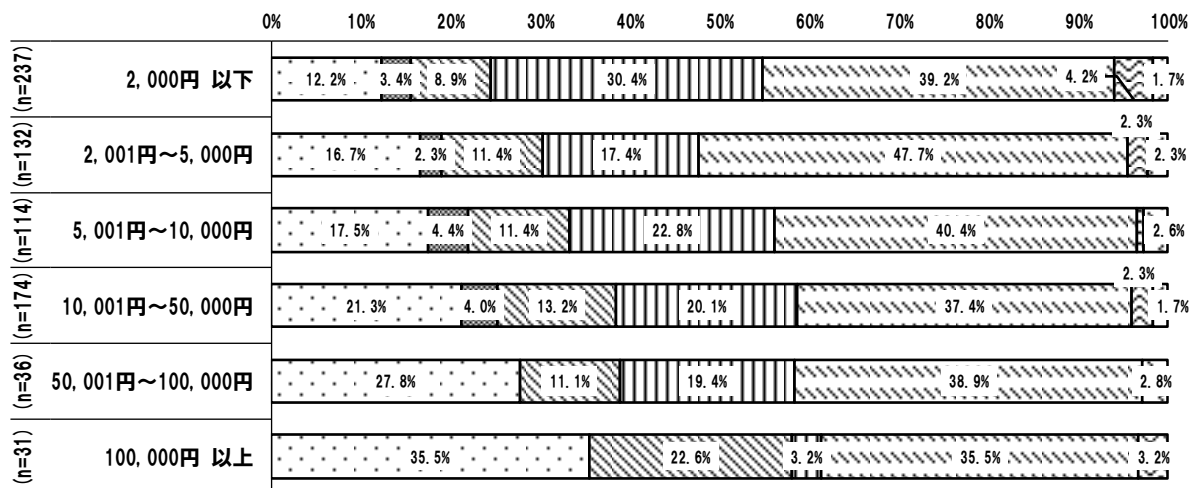


- 方針の運用に係る手間やコストが今より少なくなる
- 方針を定めることで、受注が有利になるなど、直接利益に結びつく
- 方針を定めることで、社会貢献を一層アピールしやすくなる
- 方針を定める必要を感じない
- わからない
- その他
- 無回答

	合計	方針の運用に係る手間やコストが今より少なくなる	方針を定めることで、受注が有利になるなど、直接利益に結びつく	方針を定めることで、社会貢献を一層アピールしやすくなる	方針を定める必要を感じない	わからない	その他	無回答
合計	780	143	26	93	171	313	19	15
	100.0%	18.3%	3.3%	11.9%	21.9%	40.1%	2.4%	1.9%
~49㎡	75	11	0	8	29	25	1	1
	100.0%	14.7%	0.0%	10.7%	38.7%	33.3%	1.3%	1.3%
50~99㎡	154	24	8	16	37	60	3	6
	100.0%	15.6%	5.2%	10.4%	24.0%	39.0%	1.9%	3.9%
100~499㎡	282	44	12	35	58	124	7	2
	100.0%	15.6%	4.3%	12.4%	20.6%	44.0%	2.5%	0.7%
500~999㎡	84	21	1	10	15	32	2	3
	100.0%	25.0%	1.2%	11.9%	17.9%	38.1%	2.4%	3.6%
1,000~2,999㎡	79	15	5	13	14	29	2	1
	100.0%	19.0%	6.3%	16.5%	17.7%	36.7%	2.5%	1.3%
3,000㎡以上	55	17	0	8	10	18	2	0
	100.0%	30.9%	0.0%	14.5%	18.2%	32.7%	3.6%	0.0%

1ヶ月あたりのごみ・資源物処理費用別に見ると、「方針の運用に係る手間やコストが今より少なくなる」の割合は、1ヶ月あたりのごみ・資源物処理費用が高いほど高い傾向にある。「方針を定める必要を感じない」の割合は、1ヶ月あたりのごみ・資源物処理費用が高いほど低い傾向にある。

図表 159 ごみ減量・リサイクルの方針策定の条件（1ヶ月あたりのごみ・資源物処理費用）



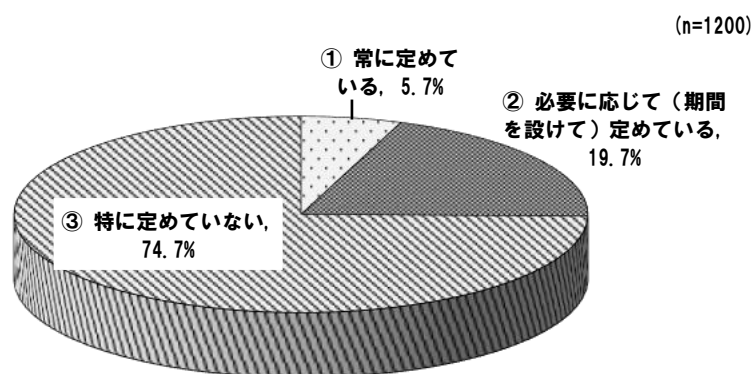
- 方針の運用に係る手間やコストが今より少なくなる
- 方針を定めることで、受注が有利になるなど、直接利益に結びつく
- 方針を定めることで、社会貢献を一層アピールしやすくなる
- 方針を定める必要を感じない
- わからない
- その他
- 無回答

	合計	方針の運用に係る手間やコストが今より少なくなる	方針を定めることで、受注が有利になるなど、直接利益に結びつく	方針を定めることで、社会貢献を一層アピールしやすくなる	方針を定める必要を感じない	わからない	その他	無回答
合計	780	143	26	93	171	313	19	15
	100.0%	18.3%	3.3%	11.9%	21.9%	40.1%	2.4%	1.9%
2,000円以下	237	29	8	21	72	93	10	4
	100.0%	12.2%	3.4%	8.9%	30.4%	39.2%	4.2%	1.7%
2,001円～5,000円	132	22	3	15	23	63	3	3
	100.0%	16.7%	2.3%	11.4%	17.4%	47.7%	2.3%	2.3%
5,001円～10,000円	114	20	5	13	26	46	1	3
	100.0%	17.5%	4.4%	11.4%	22.8%	40.4%	0.9%	2.6%
10,001円～50,000円	174	37	7	23	35	65	4	3
	100.0%	21.3%	4.0%	13.2%	20.1%	37.4%	2.3%	1.7%
50,001円～100,000円	36	10	0	4	7	14	0	1
	100.0%	27.8%	0.0%	11.1%	19.4%	38.9%	0.0%	2.8%
100,000円以上	31	11	0	7	1	11	1	0
	100.0%	35.5%	0.0%	22.6%	3.2%	35.5%	3.2%	0.0%

2.3.3 ごみ減量化の責任者の有無

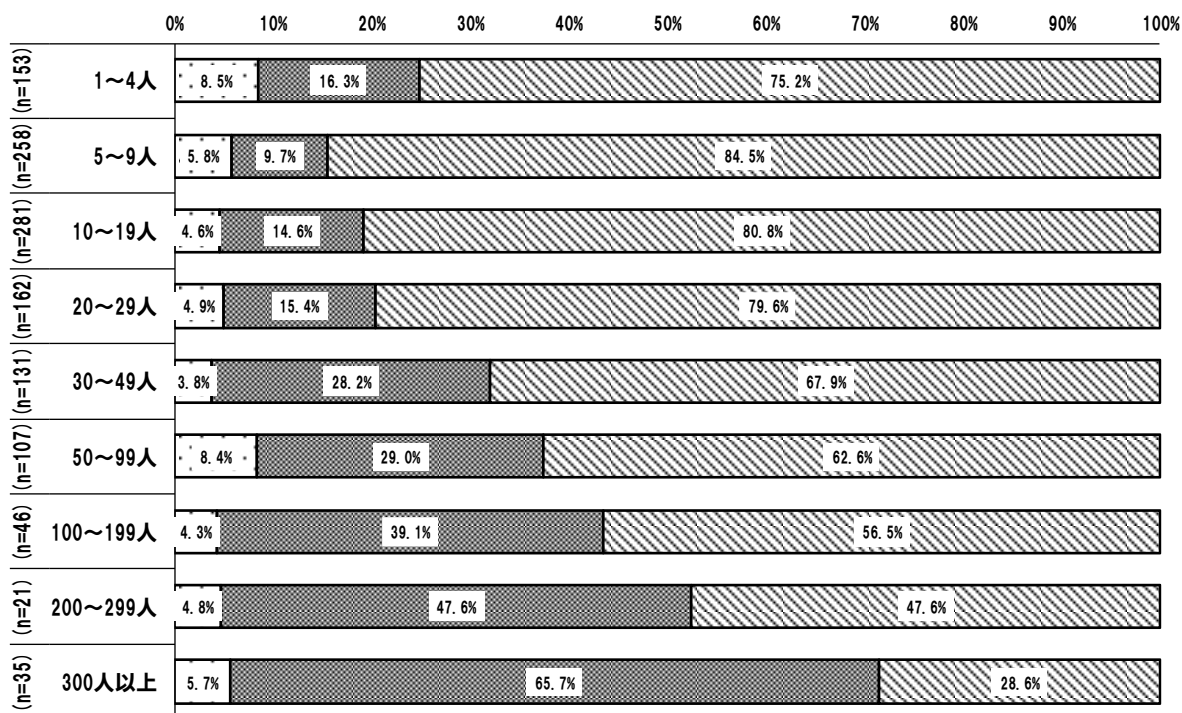
「③特に定めていない」の割合が最も高く 74.7%となっている。次いで、「②必要に応じて（期間を設けて）定めている（19.7%）」、「①常に定めている（5.7%）」となっている。

図表 160 ごみ減量化の責任者の有無



従業員数別に見ると、「必要に応じて（期間を設けて）定めている」の割合は、従業員数が多いほど高い傾向にある。「特に定めていない」の割合は、1ヶ月あたりのごみ・資源物処理費用が高いほど低い傾向にある。

図表 161 ごみ減量化の責任者の有無（従業員数）

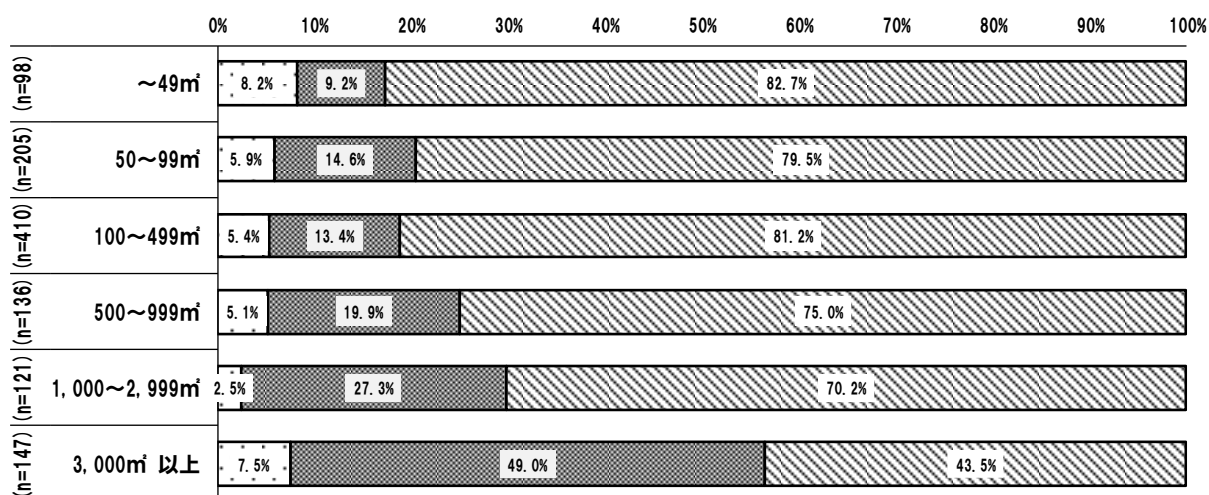


□常に定めている □必要に応じて（期間を設けて）定めている □特に定めていない □無回答

	合計	常に定めている	必要に応じて（期間を設けて）定めている	特に定めていない	無回答
合計	1,200	68	236	896	0
	100.0%	5.7%	19.7%	74.7%	0.0%
1～4人	153	13	25	115	0
	100.0%	8.5%	16.3%	75.2%	0.0%
5～9人	258	15	25	218	0
	100.0%	5.8%	9.7%	84.5%	0.0%
10～19人	281	13	41	227	0
	100.0%	4.6%	14.6%	80.8%	0.0%
20～29人	162	8	25	129	0
	100.0%	4.9%	15.4%	79.6%	0.0%
30～49人	131	5	37	89	0
	100.0%	3.8%	28.2%	67.9%	0.0%
50～99人	107	9	31	67	0
	100.0%	8.4%	29.0%	62.6%	0.0%
100～199人	46	2	18	26	0
	100.0%	4.3%	39.1%	56.5%	0.0%
200～299人	21	1	10	10	0
	100.0%	4.8%	47.6%	47.6%	0.0%
300人以上	35	2	23	10	0
	100.0%	5.7%	65.7%	28.6%	0.0%

延べ床面積別に見ると、「必要に応じて（期間を設けて）定めている」の割合は、延べ床面積が大きいほど高い傾向にある。「特に定めていない」の割合は、延べ床面積が大きいほど低い傾向にある。

図表 162 ごみ減量化の責任者の有無（延べ床面積）

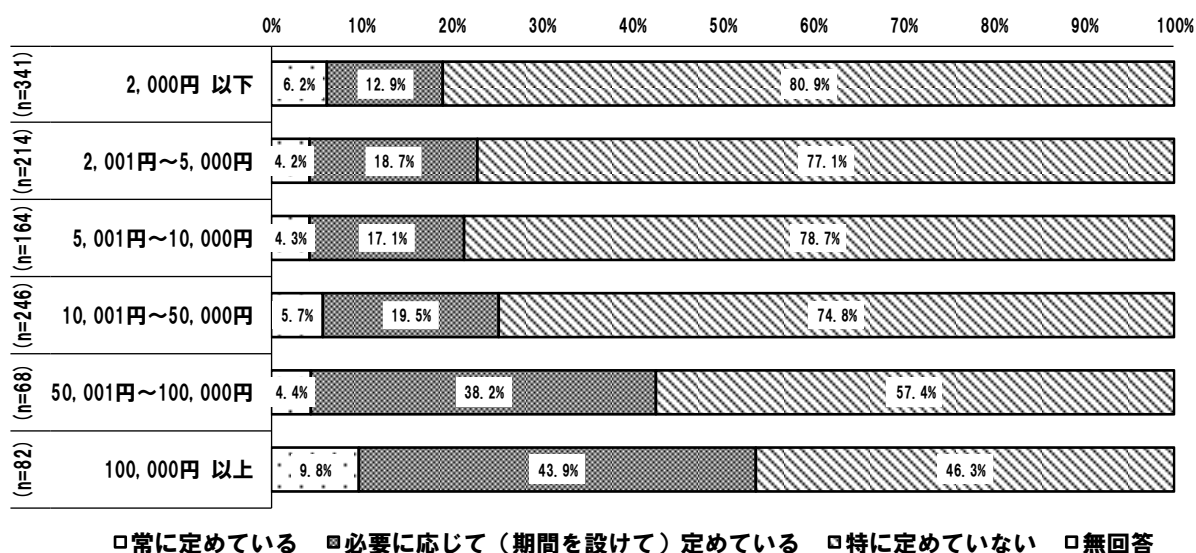


□常に定めている □必要に応じて（期間を設けて）定めている □特に定めていない □無回答

	合計	常に定めている	必要に応じて（期間を設けて）定めている	特に定めていない	無回答
合計	1,200	68	236	896	0
	100.0%	5.7%	19.7%	74.7%	0.0%
～49㎡	98	8	9	81	0
	100.0%	8.2%	9.2%	82.7%	0.0%
50～99㎡	205	12	30	163	0
	100.0%	5.9%	14.6%	79.5%	0.0%
100～499㎡	410	22	55	333	0
	100.0%	5.4%	13.4%	81.2%	0.0%
500～999㎡	136	7	27	102	0
	100.0%	5.1%	19.9%	75.0%	0.0%
1,000～2,999㎡	121	3	33	85	0
	100.0%	2.5%	27.3%	70.2%	0.0%
3,000㎡以上	147	11	72	64	0
	100.0%	7.5%	49.0%	43.5%	0.0%

1ヶ月あたりのごみ・資源物処理費用別に見ると、「必要に応じて（期間を設けて）定めている」の割合は、1ヶ月あたりのごみ・資源物処理費用別が高いほど高い傾向にある。「特に定めていない」の割合は、1ヶ月あたりのごみ・資源物処理費用別が高いほど低い傾向にある。

図表 163 ごみ減量化の責任者の有無（1ヶ月あたりのごみ・資源物処理費用）



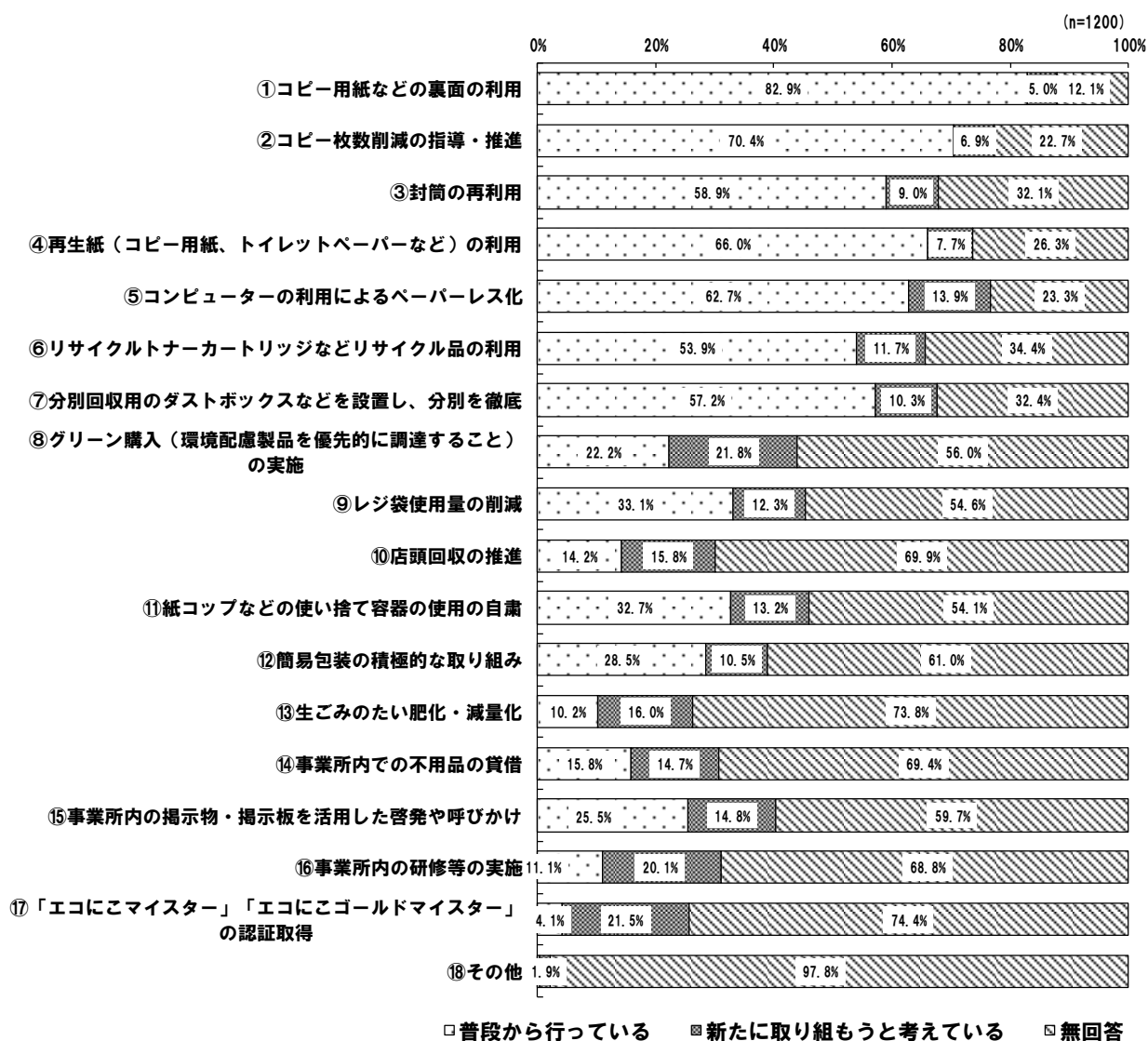
	合計	常に定めている	必要に応じて（期間を設けて）定めている	特に定めていない	無回答
合計	1,200	68	236	896	0
	100.0%	5.7%	19.7%	74.7%	0.0%
2,000円以下	341	21	44	276	0
	100.0%	6.2%	12.9%	80.9%	0.0%
2,001円～5,000円	214	9	40	165	0
	100.0%	4.2%	18.7%	77.1%	0.0%
5,001円～10,000円	164	7	28	129	0
	100.0%	4.3%	17.1%	78.7%	0.0%
10,001円～50,000円	246	14	48	184	0
	100.0%	5.7%	19.5%	74.8%	0.0%
50,001円～100,000円	68	3	26	39	0
	100.0%	4.4%	38.2%	57.4%	0.0%
100,000円以上	82	8	36	38	0
	100.0%	9.8%	43.9%	46.3%	0.0%

2.3.4 ごみ減量・リサイクルの取り組み状況

「普段から行っている」の割合が高い取り組みは、「①コピー用紙などの裏面の利用（82.9%）」、「②コピー枚数削減の指導・推進（70.4%）」、「④再生紙（コピー用紙、トイレットペーパーなど）の利用（66.0%）」となっている。

「新たに取り組もうと考えている」の割合が高い取り組みは、「⑧グリーン購入（環境配慮製品を優先的に調達すること）の実施（21.8%）」、「⑰「エコにこマイスター」「エコにこゴールドマイスター」の認証取得（21.5%）」、「⑯事業所内の研修等の実施（20.1%）」となっている。

図表 164 ごみ減少・リサイクルの取り組み状況 ※該当するものすべてを回答



図表 168 ごみ減少・リサイクルの取り組み状況（普段から行っている）

（1ヶ月あたりのごみ・資源物処理費用）

	①コピー用紙などの裏面の利用	②コピー枚数削減の指導・推進	③封筒の再利用	④再生紙（コピー用紙、トイレットペーパーなど）の利用	⑤コンピューターの利用によるペーパーレス化	⑥リサイクルカーナートリッジなどリサイクル品の利用	⑦分別回収用のダストボックスなどを設置し、分別を徹底	⑧グリーン購入（環境配慮製品を優先的に調達すること）の実施	⑨レジ袋使用量の削減	⑩店頭回収の推進	⑪紙コップなどの使い捨て容器の使用の自粛	⑫簡易包装の積極的な取り組み	⑬生ごみのたい肥化・減量化	⑭事業所内での不用品の賃借	⑮事業所内での不用品の活用	⑯事業所内の研修等の実施	⑰「エコにこマイスター」「エコにこゴールドマイスター」の認証取得	⑱その他	全体
2,000円以下	292	230	203	221	221	183	184	67	133	48	135	107	36	56	55	28	8	3	341
	85.6%	67.4%	59.5%	64.8%	64.8%	53.7%	54.0%	19.6%	39.0%	14.1%	39.6%	31.4%	10.6%	16.4%	16.1%	8.2%	2.3%	0.9%	100.0%
2,001円～5,000円	187	158	130	140	142	119	127	50	77	35	81	65	24	39	59	18	8	4	214
	87.4%	73.8%	60.7%	65.4%	66.4%	55.6%	59.3%	23.4%	36.0%	16.4%	37.9%	30.4%	11.2%	18.2%	27.6%	8.4%	3.7%	1.9%	100.0%
5,001円～10,000円	133	108	96	107	93	86	84	30	49	23	52	45	17	35	40	15	6	1	164
	81.1%	65.9%	58.5%	65.2%	56.7%	52.4%	51.2%	18.3%	29.9%	14.0%	31.7%	27.4%	10.4%	21.3%	24.4%	9.1%	3.7%	0.6%	100.0%
10,001円～50,000円	202	168	137	167	148	127	143	55	76	35	70	65	22	40	67	35	12	7	246
	82.1%	68.3%	55.7%	67.9%	60.2%	51.6%	58.1%	22.4%	30.9%	14.2%	28.5%	26.4%	8.9%	16.3%	27.2%	14.2%	4.9%	2.8%	100.0%
50,001円～100,000円	60	58	46	50	43	39	49	21	23	12	22	24	9	9	29	15	5	1	68
	88.2%	85.3%	67.6%	73.5%	63.2%	57.4%	72.1%	30.9%	33.8%	17.6%	32.4%	35.3%	13.2%	13.2%	42.6%	22.1%	7.4%	1.5%	100.0%
100,000円以上	88	70	61	61	58	54	57	31	27	19	21	24	16	49	26	17	3	3	82
	82.9%	85.4%	74.4%	74.4%	70.7%	65.9%	69.5%	37.6%	32.9%	23.2%	25.6%	34.1%	29.3%	19.5%	59.8%	31.7%	20.7%	3.7%	100.0%
合計	1002	847	714	799	757	653	692	273	410	182	408	354	136	204	320	143	61	21	1200
	83.5%	70.6%	59.5%	66.6%	63.1%	54.4%	57.7%	22.8%	34.2%	15.2%	34.0%	29.5%	11.3%	17.0%	26.7%	11.9%	5.1%	1.8%	100.0%

図表 169 ごみ減少・リサイクルの取り組み状況（新たに取り組もうと考えている）

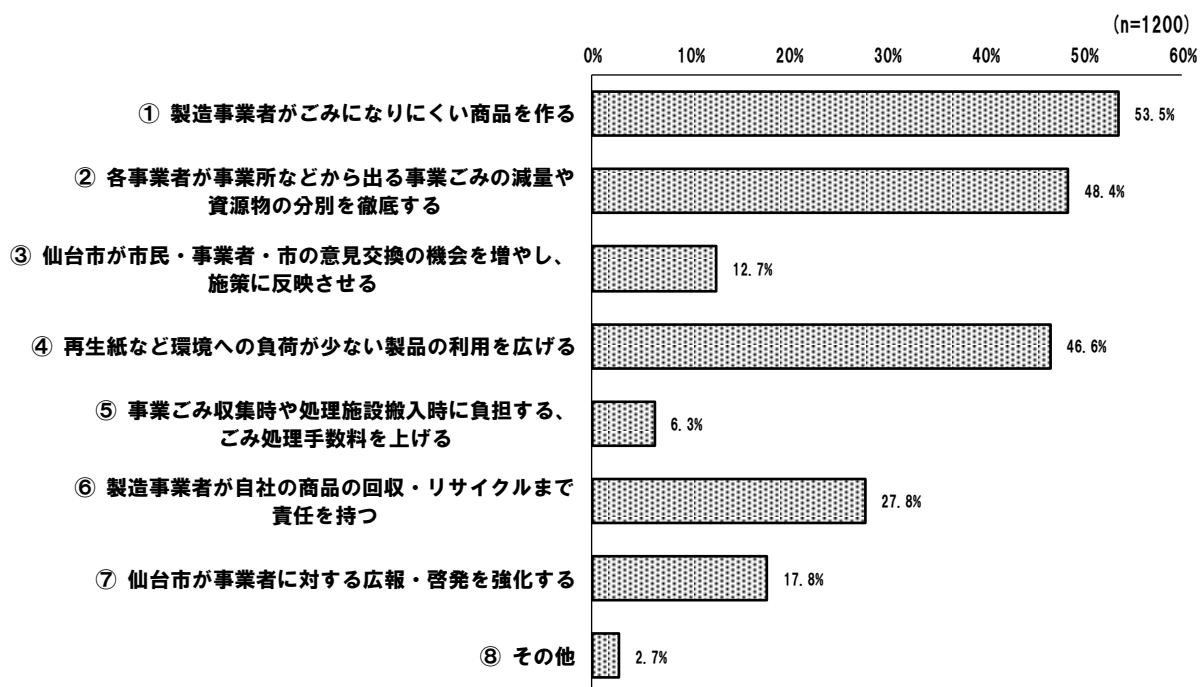
（1ヶ月あたりのごみ・資源物処理費用）

	①コピー用紙などの裏面の利用	②コピー枚数削減の指導・推進	③封筒の再利用	④再生紙（コピー用紙、トイレットペーパーなど）の利用	⑤コンピューターの利用によるペーパーレス化	⑥リサイクルカーナートリッジなどリサイクル品の利用	⑦分別回収用のダストボックスなどを設置し、分別を徹底	⑧グリーン購入（環境配慮製品を優先的に調達すること）の実施	⑨レジ袋使用量の削減	⑩店頭回収の推進	⑪紙コップなどの使い捨て容器の使用の自粛	⑫簡易包装の積極的な取り組み	⑬生ごみのたい肥化・減量化	⑭事業所内での不用品の賃借	⑮事業所内での不用品の活用	⑯事業所内の研修等の実施	⑰「エコにこマイスター」「エコにこゴールドマイスター」の認証取得	⑱その他	全体
2,000円以下	13	19	23	21	39	31	30	64	34	49	31	26	47	38	48	63	66	4	341
	3.8%	5.6%	6.7%	6.2%	11.4%	9.1%	8.8%	18.8%	10.0%	14.4%	9.1%	7.6%	13.8%	11.1%	14.1%	18.5%	19.4%	1.2%	100.0%
2,001円～5,000円	11	19	20	21	22	20	27	51	25	36	26	26	39	33	34	48	48	4	214
	5.1%	8.9%	9.3%	9.8%	10.3%	14.0%	12.6%	23.8%	11.7%	16.8%	12.1%	12.1%	18.2%	15.4%	15.9%	22.4%	22.4%	1.9%	100.0%
5,001円～10,000円	12	16	15	18	31	20	23	39	23	28	21	21	21	23	27	34	39	3	164
	7.3%	9.8%	9.1%	11.0%	18.9%	12.2%	14.0%	23.8%	14.0%	17.1%	12.8%	12.8%	15.9%	14.0%	16.5%	20.7%	23.8%	1.8%	100.0%
10,001円～50,000円	14	15	30	19	37	34	27	63	31	46	43	31	44	34	38	51	57	7	246
	5.7%	6.1%	12.2%	7.7%	15.0%	13.8%	11.0%	25.6%	12.6%	18.7%	17.5%	12.6%	17.9%	13.8%	15.4%	20.7%	23.2%	2.8%	100.0%
50,001円～100,000円	2	4	8	3	13	9	4	11	9	12	13	8	13	15	10	13	14	1	68
	2.9%	5.9%	11.8%	4.4%	19.1%	13.2%	5.9%	16.2%	13.2%	17.6%	19.1%	11.8%	19.1%	22.1%	14.7%	19.1%	20.6%	1.5%	100.0%
100,000円以上	4	2	5	5	12	7	11	20	17	12	15	10	11	22	10	16	19	4	82
	4.9%	2.4%	6.1%	6.1%	14.6%	8.5%	13.4%	24.4%	20.7%	14.6%	18.3%	12.2%	13.4%	26.8%	12.2%	19.5%	23.2%	4.9%	100.0%
合計	60	83	108	92	167	140	124	261	148	190	158	126	192	177	178	241	258	23	1200
	5.0%	6.9%	9.0%	7.7%	13.9%	11.7%	10.3%	21.8%	12.3%	15.8%	13.2%	10.5%	16.0%	14.7%	14.8%	20.1%	21.5%	1.9%	100.0%

2.3.5 ごみ減量・リサイクルに有効な方法

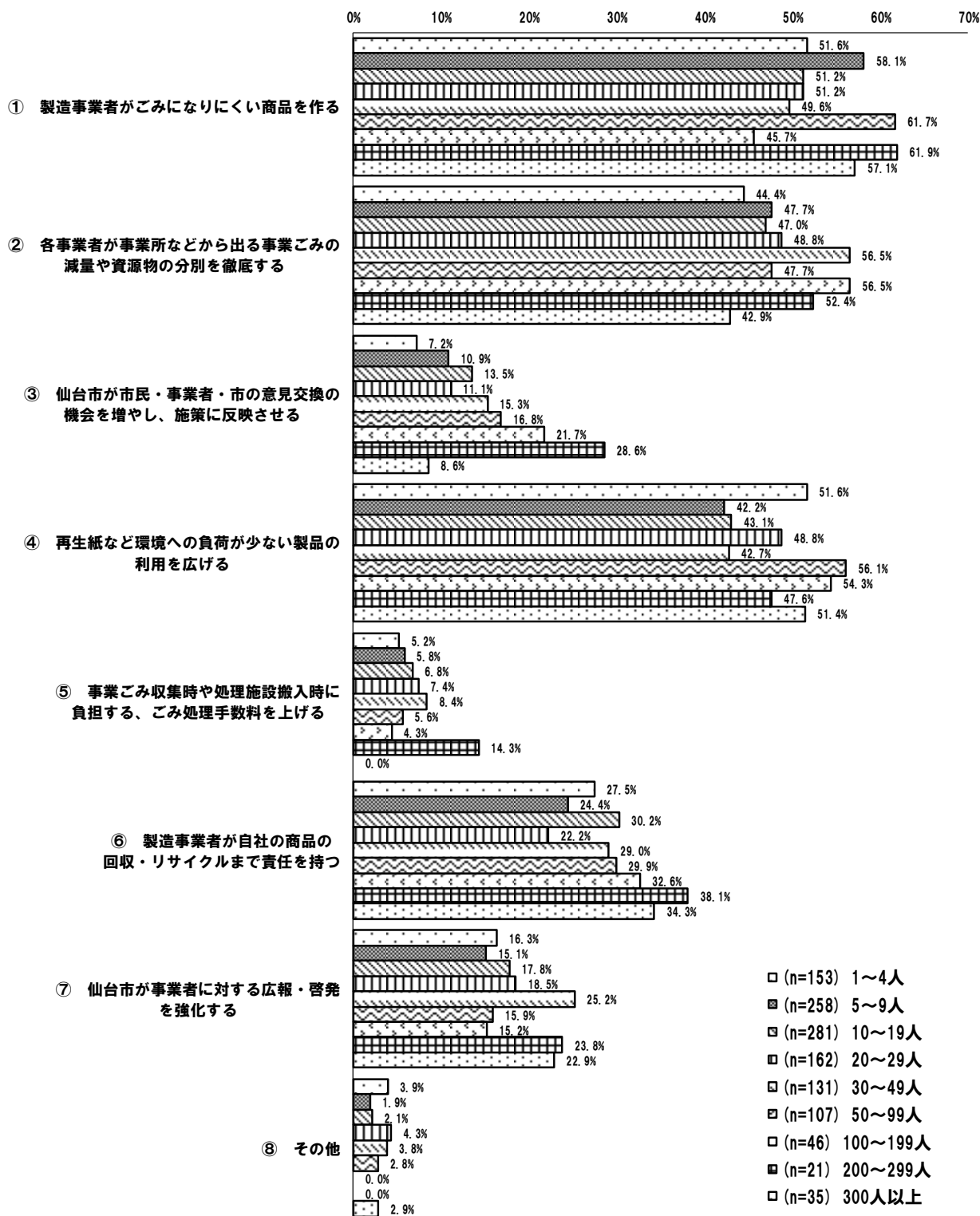
「①製造事業者がごみになりにくい商品を作る」の割合が最も高く 53.5%となっている。次いで、「②各事業者が事業所などから出る事業ごみの減量や資源物の分別を徹底する (48.4%)」、「④再生紙など環境への負荷が少ない製品の利用を広げる (46.6%)」となっている。

図表 170 ごみ減量・リサイクルに有効な方法 ※該当するもの3つまで回答



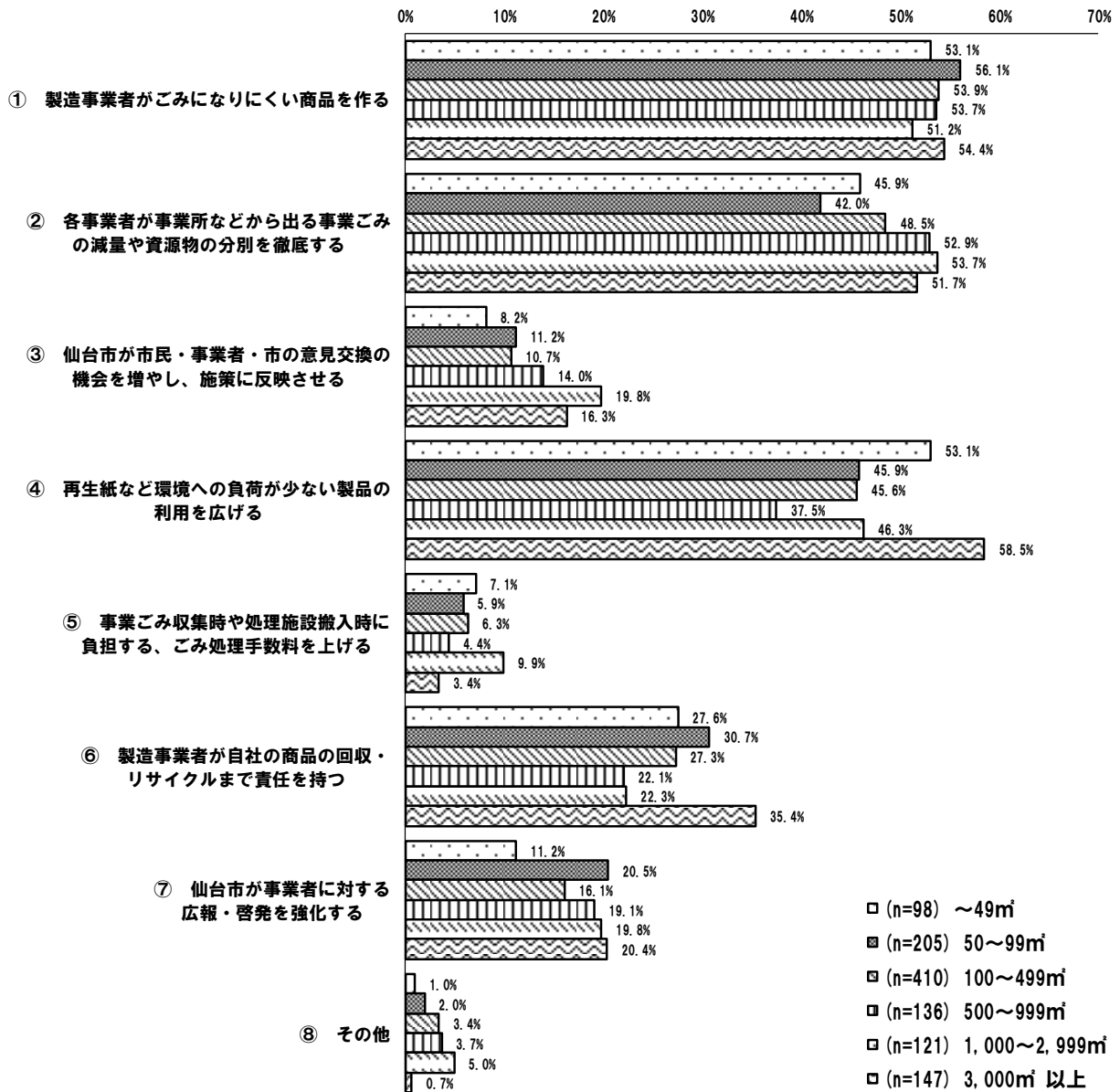
従業員数別に見ると、「200～299人」における「③仙台市が市民・事業者・市の意見交換の機会を増やし、施策に反映させる（28.6%）」、「200～299人」における「⑥製造事業者が自社の商品の回収・リサイクルまで責任を持つ（38.1%）」、「⑥50～99人」における「④再生紙など環境への負荷が少ない製品の利用を広げる（56.1%）」等で、全体の傾向よりも割合が高くなっている。

図表 171 ごみ減量・リサイクルに有効な方法（従業員数）



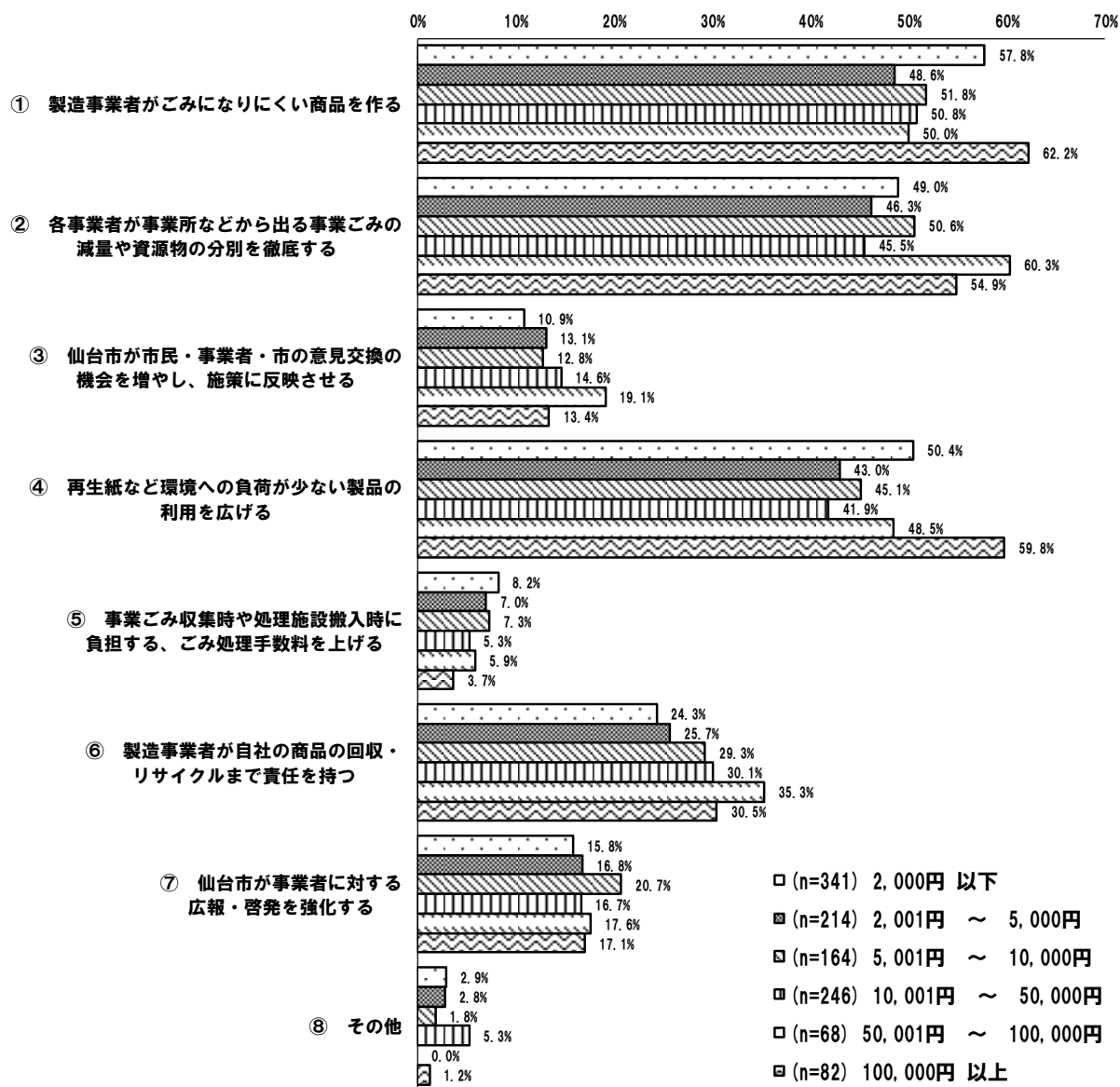
延べ床面積別に見ると、「3,000m²以上」における「④再生紙など環境への負荷が少ない製品の利用を広げる(58.5%)」、「⑥製造事業者が自社の商品の回収・リサイクルまで責任を持つ(35.4%)」、「1,000～2,999 m²」における「③仙台市が市民・事業者・市の意見交換の機会を増やし、施策に反映させる(19.8%)」等で、全体の傾向よりも割合が高くなっている。

図表 172 ごみ減量・リサイクルに有効な方法（延べ床面積）



1ヶ月あたりのごみ・資源物処理費用別に見ると、「100,000円以上」における「①製造事業者がごみになりにくい商品を作る（62.2%）」、「④再生紙など環境への負荷が少ない製品の利用を広げる（59.8%）」、「50,001円～100,000円」における「②各事業者が事業所などから出る事業ごみの減量や資源物の分別を徹底する（60.3%）」等で、全体の傾向よりも割合が高くなっている。

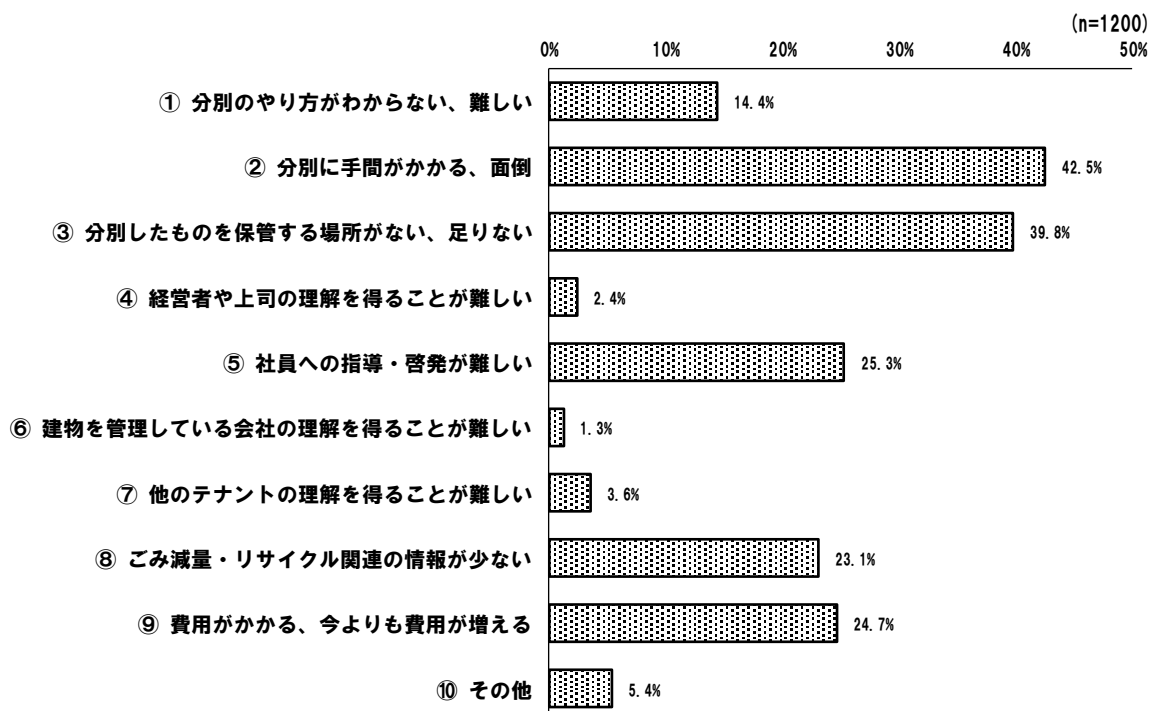
図表 173 ごみ減量・リサイクルに有効な方法（1ヶ月あたりのごみ・資源物処理費用）



2.3.6 ごみ減量・リサイクルの課題

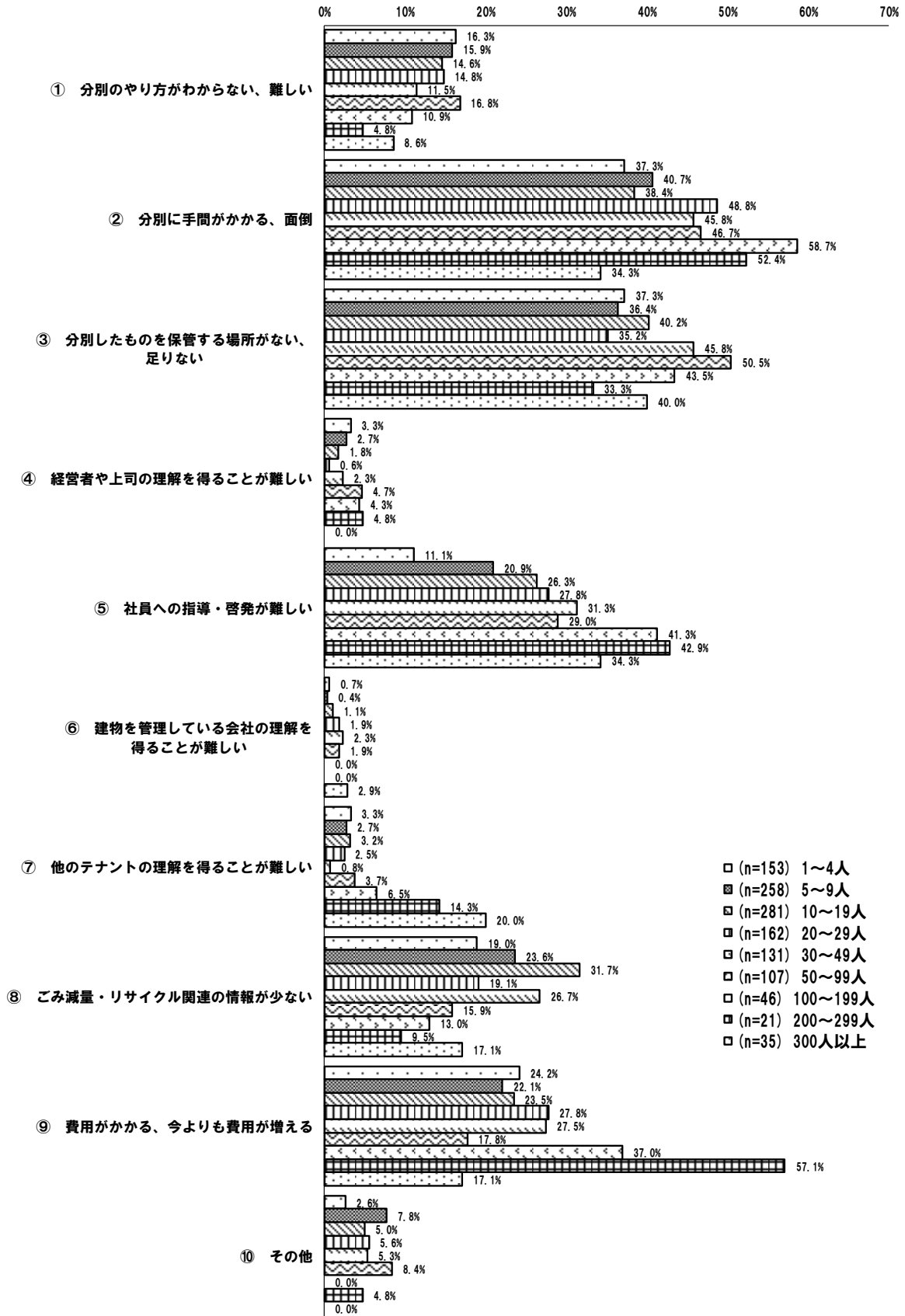
「②分別に手間がかかる、面倒」の割合が最も高く 42.5%となっている。次いで、「③分別したものを保管する場所がない、足りない (39.8%)」、「⑤社員への指導・啓発が難しい (25.3%)」となっている。

図表 174 ごみ減量・リサイクルの課題 ※該当するもの3つまで回答



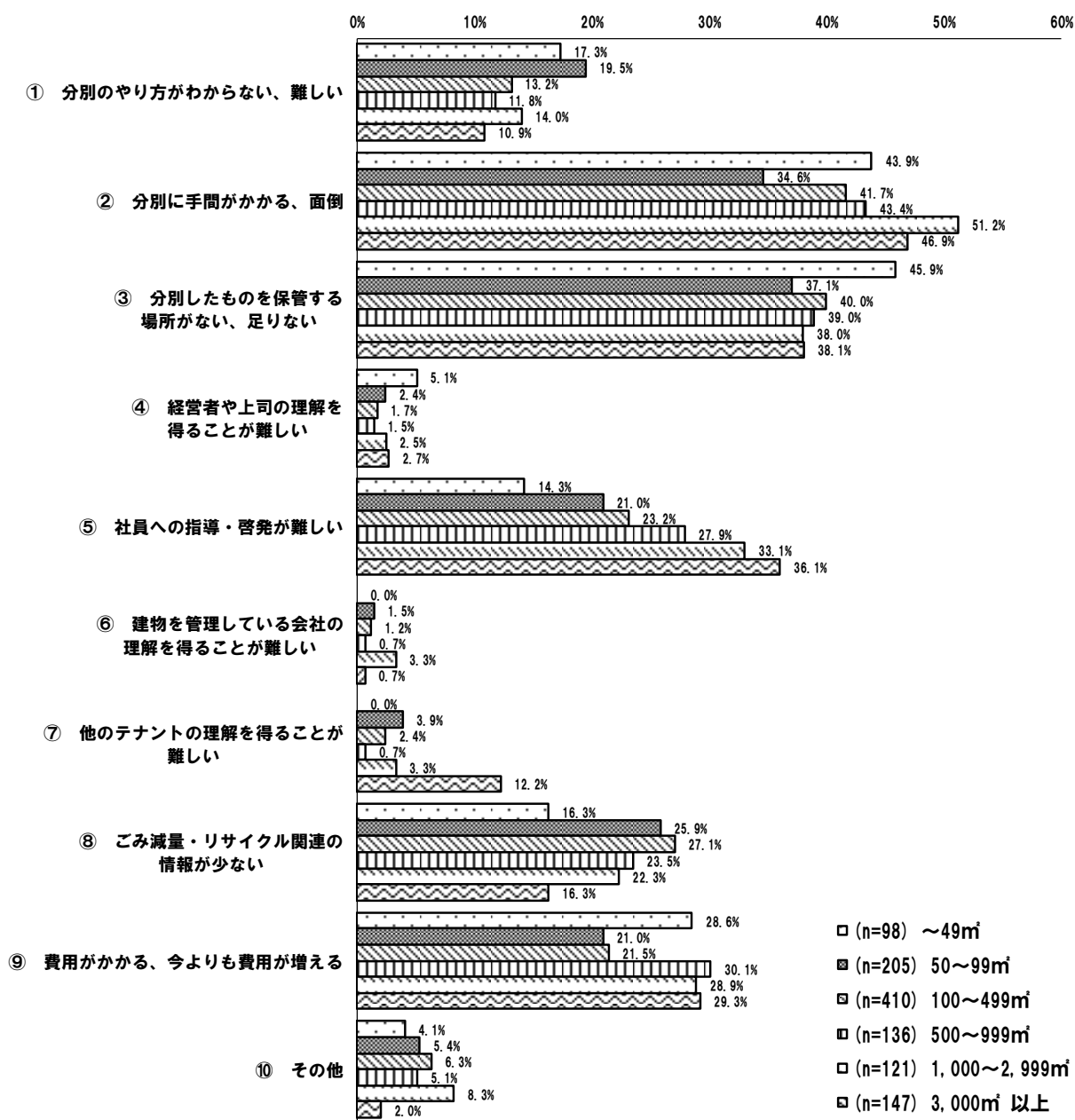
従業員数別に見ると、「200～299人」における「⑤社員への指導・啓発が難しい(42.9%)」、「⑨費用がかかる、今よりも費用が増える(57.1%)」、「300人以上」における「⑦他のテナントの理解を得ることが難しい(20.0%)」等で、全体の傾向よりも割合が高くなっている。

図表 175 ごみ減量・リサイクルの課題（従業員数）



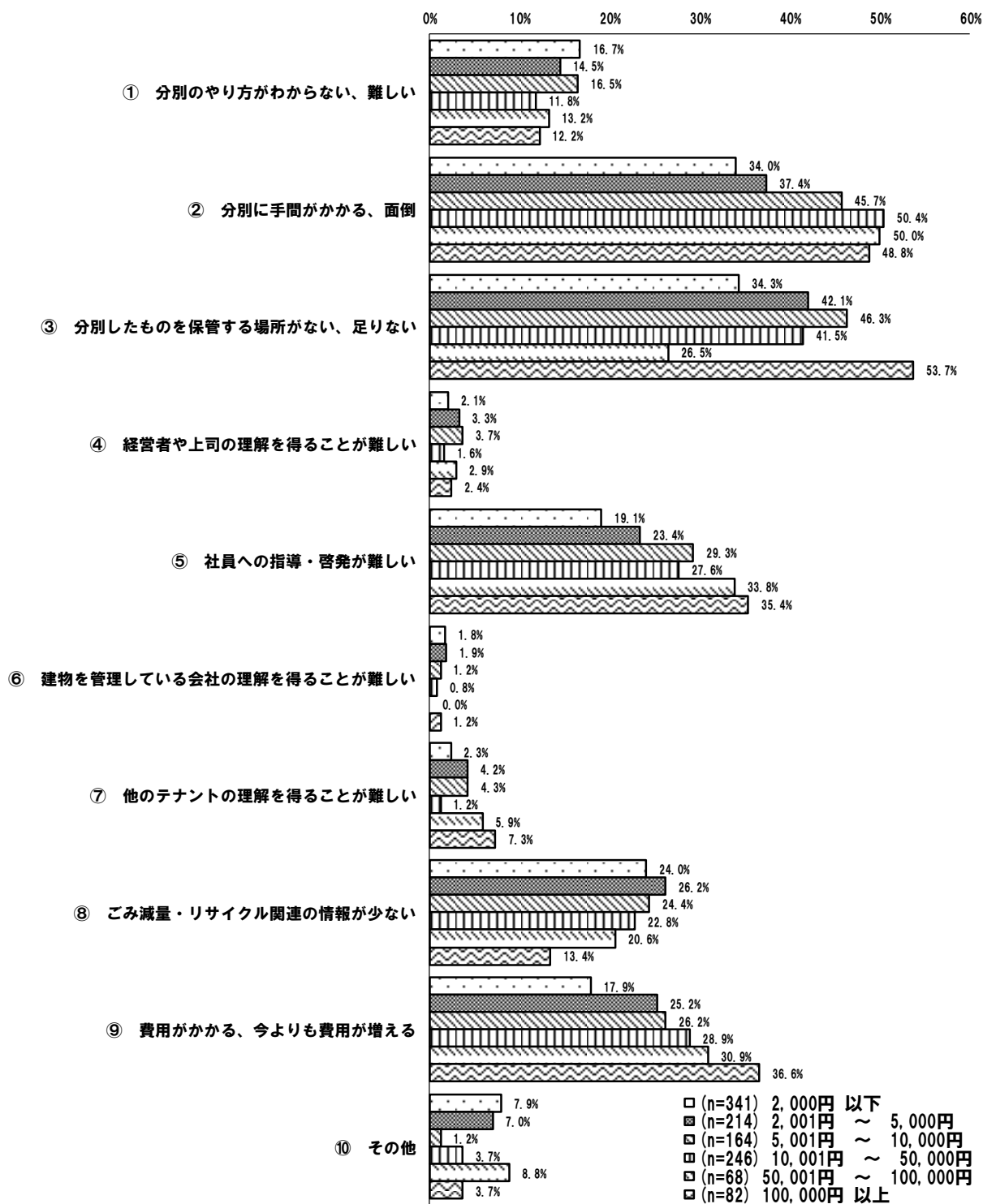
延べ床面積別に見ると、「⑤社員への指導・啓発が難しい」の割合は、延べ床面積が大きいほど高い傾向にある。

図表 176 ごみ減量・リサイクルの課題（延べ床面積）



1ヶ月あたりのごみ・資源物処理費用別に見ると、「⑨費用がかかる、今よりも費用が増える」、
「⑤社員への指揮・啓発が難しい」の割合は、1ヶ月あたりのごみ・資源物処理費用が高いほど
高い傾向にある。「⑧ごみ減量・リサイクル関連の情報が少ない」の割合は、1ヶ月あたりのごみ・
資源物処理費用が高いほど低い傾向にある。

図表 177 ごみ減量・リサイクルの課題（1ヶ月あたりのごみ・資源物処理費用）

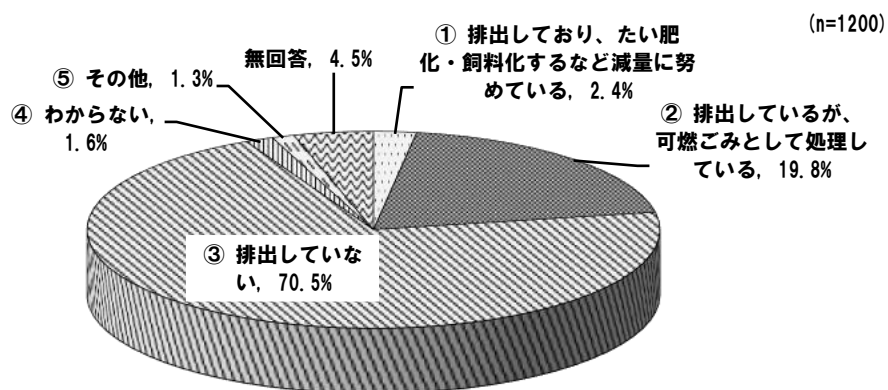


2.4 食品廃棄物・食品ロスについて

2.4.1 食品廃棄物の排出状況

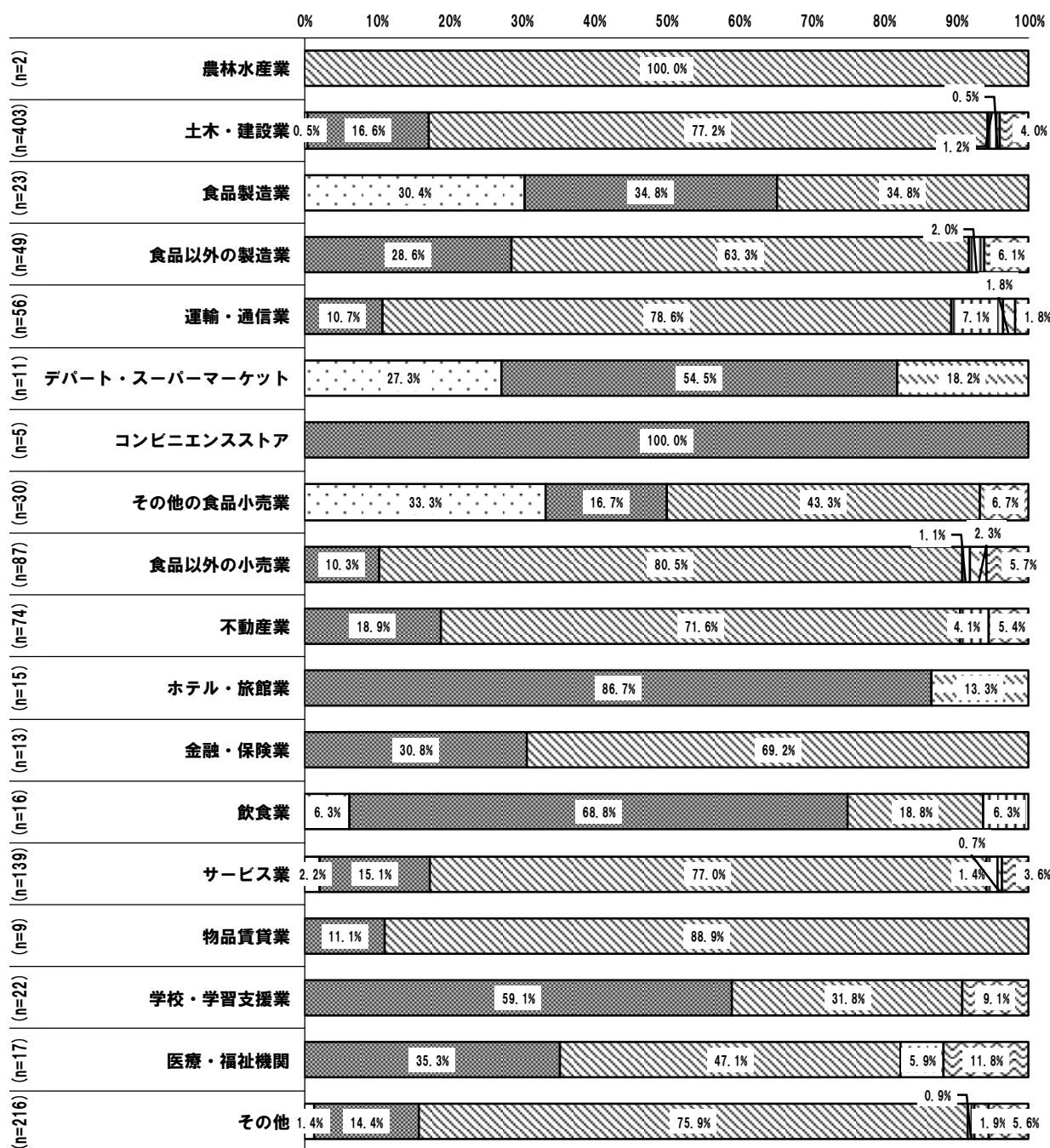
「③排出していない」の割合が最も高く 70.5%となっている。次いで、「②排出しているが、可燃ごみとして処理している (19.8%)」となっている。

図表 178 食品廃棄物の排出状況



業種別に見ると、「排出していない」の割合が高い業種は、「農林水産業（100.0%）」、「物品賃貸業（88.9%）」、「食品以外の小売業（80.5%）」となっている。「排出しており、たい肥化・飼料化するなど減量に努めている」の割合が高い業種は、「その他の食品小売業（33.3%）」、「食品製造業（30.4%）」、「デパート・スーパーマーケット（27.3%）」となっている。「排出しているが、可燃ごみとして処理している」の割合が高い業種は、「コンビニエンスストア（100.0%）」、「ホテル・旅館業（86.7%）」、「飲食業（68.8%）」となっている。

図表 179 食品廃棄物の排出状況（業種）

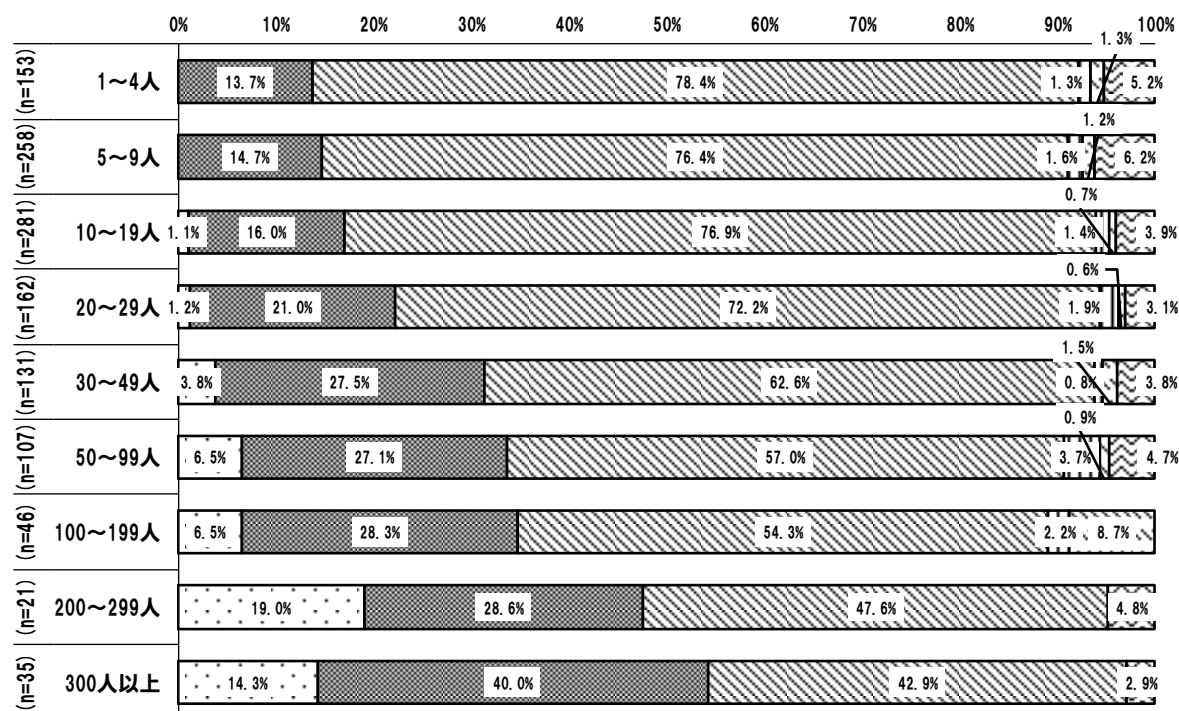


- ▨ 排出しており、たい肥化・飼料化するなど減量に努めている
- ▨ 排出しているが、可燃ごみとして処理している
- ▨ 排出していない
- わからない
- ▨ その他
- 無回答

	合計	排出しており、 たい肥化・飼料 化するなど減量 に努めている	排出している が、可燃ごみと して処理 している	排出していない	わからない	その他	無回答
合計	1,200	29	237	846	19	15	54
	100.0%	2.4%	19.8%	70.5%	1.6%	1.3%	4.5%
農林水産業	2	0	0	2	0	0	0
	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
土木・建設業	403	2	67	311	5	2	16
	100.0%	0.5%	16.6%	77.2%	1.2%	0.5%	4.0%
食品製造業	23	7	8	8	0	0	0
	100.0%	30.4%	34.8%	34.8%	0.0%	0.0%	0.0%
食品以外の製造業	49	0	14	31	1	0	3
	100.0%	0.0%	28.6%	63.3%	2.0%	0.0%	6.1%
運輸・通信業	56	0	6	44	4	1	1
	100.0%	0.0%	10.7%	78.6%	7.1%	1.8%	1.8%
デパート・スーパーマーケット	11	3	6	0	0	2	0
	100.0%	27.3%	54.5%	0.0%	0.0%	18.2%	0.0%
コンビニエンスストア	5	0	5	0	0	0	0
	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他の食品小売業	30	10	5	13	0	0	2
	100.0%	33.3%	16.7%	43.3%	0.0%	0.0%	6.7%
食品以外の小売業	87	0	9	70	1	2	5
	100.0%	0.0%	10.3%	80.5%	1.1%	2.3%	5.7%
不動産業	74	0	14	53	3	0	4
	100.0%	0.0%	18.9%	71.6%	4.1%	0.0%	5.4%
ホテル・旅館業	15	0	13	0	0	2	0
	100.0%	0.0%	86.7%	0.0%	0.0%	13.3%	0.0%
金融・保険業	13	0	4	9	0	0	0
	100.0%	0.0%	30.8%	69.2%	0.0%	0.0%	0.0%
飲食業	16	1	11	3	1	0	0
	100.0%	6.3%	68.8%	18.8%	6.3%	0.0%	0.0%
サービス業	139	3	21	107	2	1	5
	100.0%	2.2%	15.1%	77.0%	1.4%	0.7%	3.6%
物品賃貸業	9	0	1	8	0	0	0
	100.0%	0.0%	11.1%	88.9%	0.0%	0.0%	0.0%
学校・学習支援業	22	0	13	7	0	0	2
	100.0%	0.0%	59.1%	31.8%	0.0%	0.0%	9.1%
医療・福祉機関	17	0	6	8	0	1	2
	100.0%	0.0%	35.3%	47.1%	0.0%	5.9%	11.8%
その他	216	3	31	164	2	4	12
	100.0%	1.4%	14.4%	75.9%	0.9%	1.9%	5.6%

従業員数別に見ると、「排出しており、たい肥化・飼料化するなど減量に努めている」の割合は、従業員数が多いほど高い傾向にある。

図表 180 食品廃棄物の排出状況（従業員数）



- ▨ 排出しており、たい肥化・飼料化するなど減量に努めている
- ▤ 排出しているが、可燃ごみとして処理している
- 排出していない
- ▧ わからない
- ▩ その他
- ▨ 無回答

	合計	排出しており、たい肥化・飼料化するなど減量に努めている	排出しているが、可燃ごみとして処理している	排出していない	わからない	その他	無回答
合計	1,200	29	237	846	19	15	54
	100.0%	2.4%	19.8%	70.5%	1.6%	1.3%	4.5%
1～4人	153	0	21	120	2	2	8
	100.0%	0.0%	13.7%	78.4%	1.3%	1.3%	5.2%
5～9人	258	0	38	197	4	3	16
	100.0%	0.0%	14.7%	76.4%	1.6%	1.2%	6.2%
10～19人	281	3	45	216	4	2	11
	100.0%	1.1%	16.0%	76.9%	1.4%	0.7%	3.9%
20～29人	162	2	34	117	3	1	5
	100.0%	1.2%	21.0%	72.2%	1.9%	0.6%	3.1%
30～49人	131	5	36	82	1	2	5
	100.0%	3.8%	27.5%	62.6%	0.8%	1.5%	3.8%
50～99人	107	7	29	61	4	1	5
	100.0%	6.5%	27.1%	57.0%	3.7%	0.9%	4.7%
100～199人	46	3	13	25	1	4	0
	100.0%	6.5%	28.3%	54.3%	2.2%	8.7%	0.0%
200～299人	21	4	6	10	0	0	1
	100.0%	19.0%	28.6%	47.6%	0.0%	0.0%	4.8%
300人以上	35	5	14	15	0	0	1
	100.0%	14.3%	40.0%	42.9%	0.0%	0.0%	2.9%

2.4.2 食品廃棄物・食品ロスの削減に向けた取り組み状況

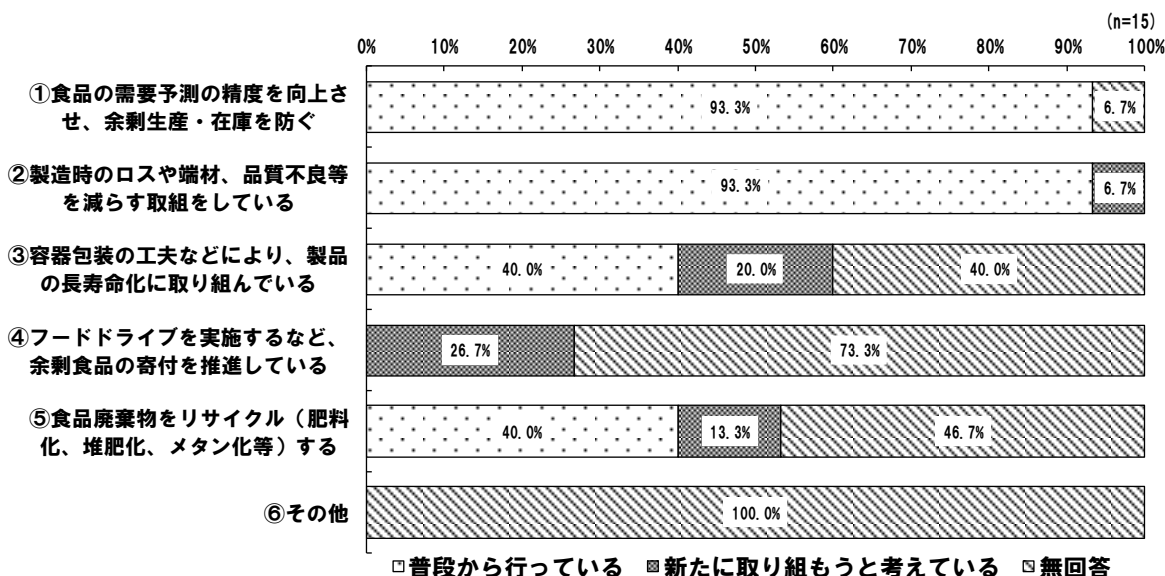
1) 食品製造業等

事業所から食品廃棄物を「①排出しており、たい肥化・飼料化するなど減量に努めている」又は「②排出しているが、可燃ごみとして処理している」と回答した食品製造業（15件）を対象に取り組み状況を把握した。

「普段から取り組んでいる」の割合が高い取り組みは、「①食品の需要予測の精度を向上させ、余剰生産・在庫を防ぐ（93.3%）」、「②製造時のロスや端材、品質不良等を減らす取組をしている（93.3%）」となっている。

「新たに取り組もうと考えている」の割合が高い取り組みは、「④フードドライブを実施するなど、余剰食品の寄付を推進している（26.7%）」、「③容器包装の工夫などにより、製品の長寿命化に取り組んでいる（20.0%）」となっている。

図表 181 食品廃棄物・食品ロスの削減に向けた取り組み状況 ※該当するものすべてを回答
(現在の取り組み及び新たに取り組もうと考えていること) (食品製造業)



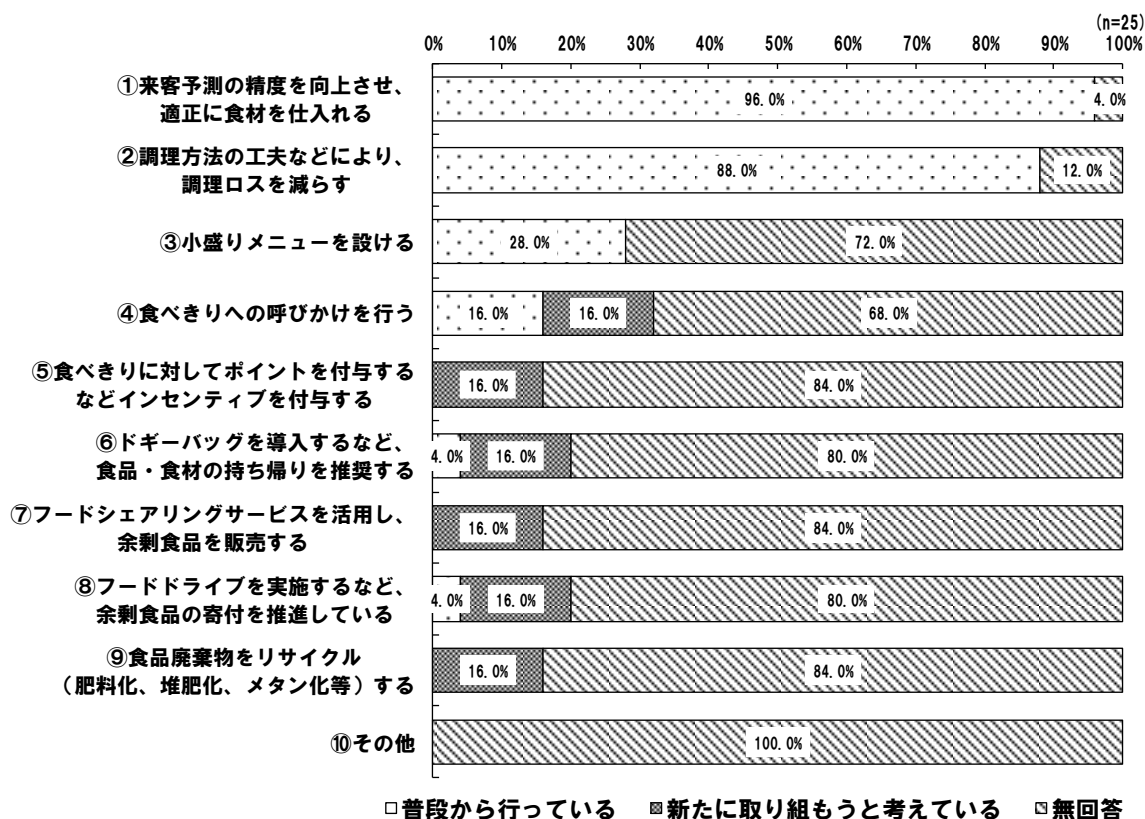
2) 飲食業/ホテル旅館業等

事業所から食品廃棄物を「①排出しており、たい肥化・飼料化するなど減量に努めている」又は「②排出しているが、可燃ごみとして処理している」と回答した飲食業/ホテル旅館業 (25 件) を対象に取り組み状況を把握した。

「普段から取り組んでいる」の割合が高い取り組みは、「①来客予測の精度を向上させ、適正に食材を仕入れる (96.0%)」、「②調理方法の工夫などにより、調理ロスを減らす (88.0%)」となっている。

「新たに取り組もうと考えている」の割合が高い取り組みは、「④食べきりへの呼びかけを行う」、「⑤食べきりに対してポイントを付与するなどインセンティブを付与する」、「⑥ドギーバッグを導入するなど、食品・食材の持ち帰りを推奨する」、「⑦フードシェアリングサービスを活用し、余剰食品を販売する」、「⑧フードドライブを実施するなど、余剰食品の寄付を推進している」、「⑨食品廃棄物をリサイクル (肥料化、堆肥化、メタン化等) する」がいずれも 16.0%と最も高くなっている。

図表 182 食品廃棄物・食品ロスの削減に向けた取り組み状況 ※該当するものすべてを回答 (現在の取り組み及び新たに取り組もうと考えていること) (飲食業/ホテル旅館業等)



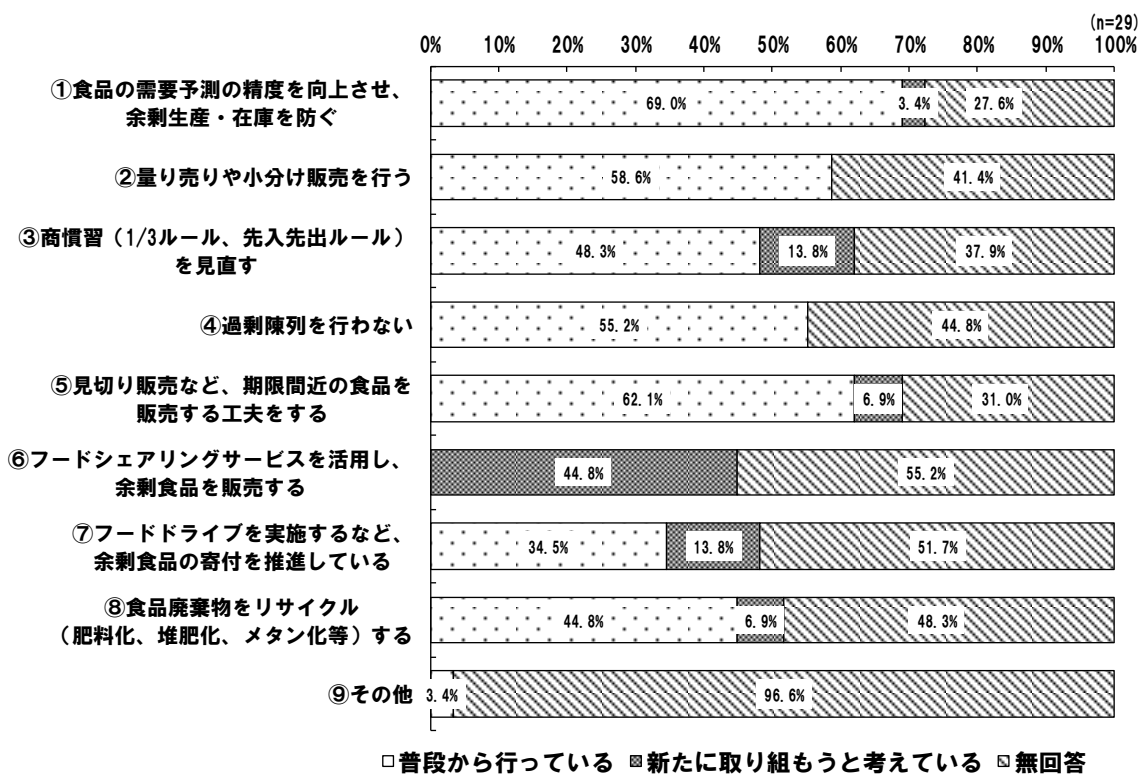
3) 飲食小売店業等

事業所から食品廃棄物を「①排出しており、たい肥化・飼料化するなど減量に努めている」又は「②排出しているが、可燃ごみとして処理している」と回答した飲食小売店業等（29件）を対象に取り組み状況を把握した。

「普段から取り組んでいる」の割合が高い取り組みは、「①食品の需要予測の精度を向上させ、余剰生産・在庫を防ぐ（69.0%）」、「⑤見切り販売など、期限間近の食品を販売する工夫をする（62.1%）」となっている。

「新たに取り組もうと考えている」の割合が高い取り組みは、「⑥フードシェアリングサービスを活用し、余剰食品を販売する（44.8%）」、「③商慣習（1/3ルール、先入先出ルール）を見直す（13.8%）」、「⑦フードドライブを実施するなど、余剰食品の寄付を推進している（13.8%）」となっている。

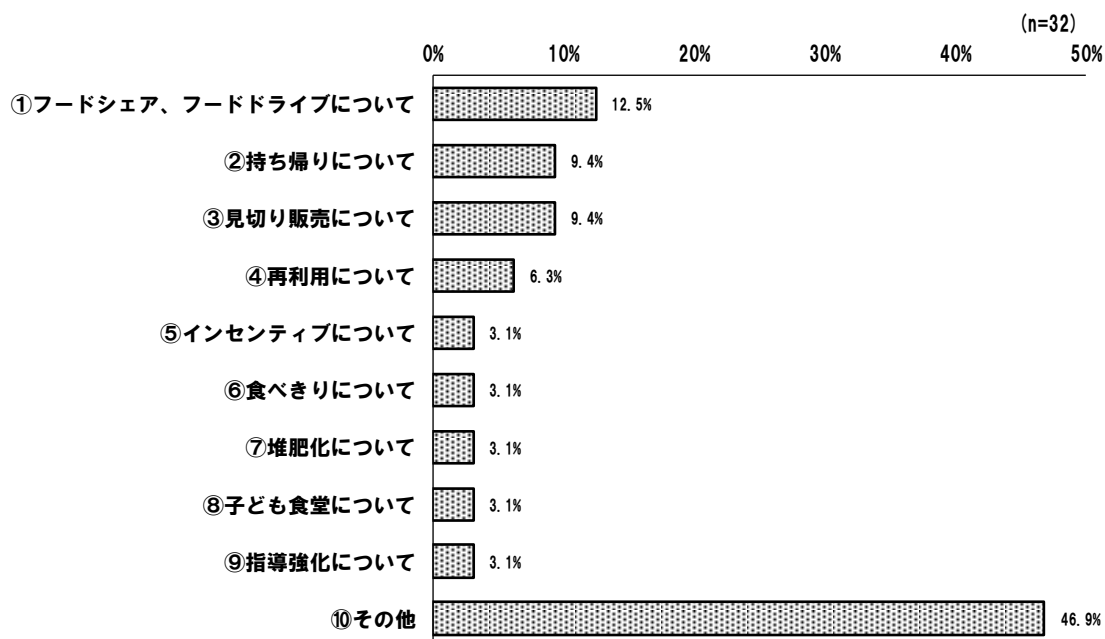
図表 183 食品廃棄物・食品ロスの削減に向けた取り組み状況 ※該当するものすべてを回答（現在の取り組み及び新たに取り組もうと考えていること）（飲食小売店業）



2.4.3 自由回答

食品廃棄物・食品ロスの削減のために市に求める支援策や市が講じるべき施策などについて自由記載で意見を求め、以下の10分類の回答集計を行った。「⑩その他」が最も多く46.9%となっている。次いで、「①フードシェア、フードドライブについて(12.5%)」、「②持ち帰りについて(9.4%)」、「③見切り販売について(9.4%)」となっている。

図表 184 自由回答の内容、件数



(全32件のうち) 主な回答

【フードシェア、フードドライブについて】4件

- 賞味期限切れが近い食品を有効活用できるようなしくみを確立してほしい。フードシェアリングサービスやフードドライブに、市の情報収集力や食品衛生に関するノウハウを活用できると考える。(その他)

【持ち帰りについて】3件

- 持ち帰り（オーダーして食べれなかった物）を営業認可により規制する。保健所の対応（指導）を改めて欲しい。(飲食業)

【見切り販売について】3件

- 見切り販売の購入→ゴミの減量につながる！と消費者にアピールしてほしいです。(その他の食品小売業)

【インセンティブについて】1件

- 目標達成にインセンティブを与える。(土木・建設業)

【その他】15件

- コンビニ等の小売店で深刻化している食料品大量廃棄の実態をより消費者に知ってもらうべき。実際の写真等をまじえた掲示物により世間に周知する。(土木・建設業)
- PM17時以降は値引きして売る。生活に困っている家庭に、安く購入出来るシステムを作る。(その他)

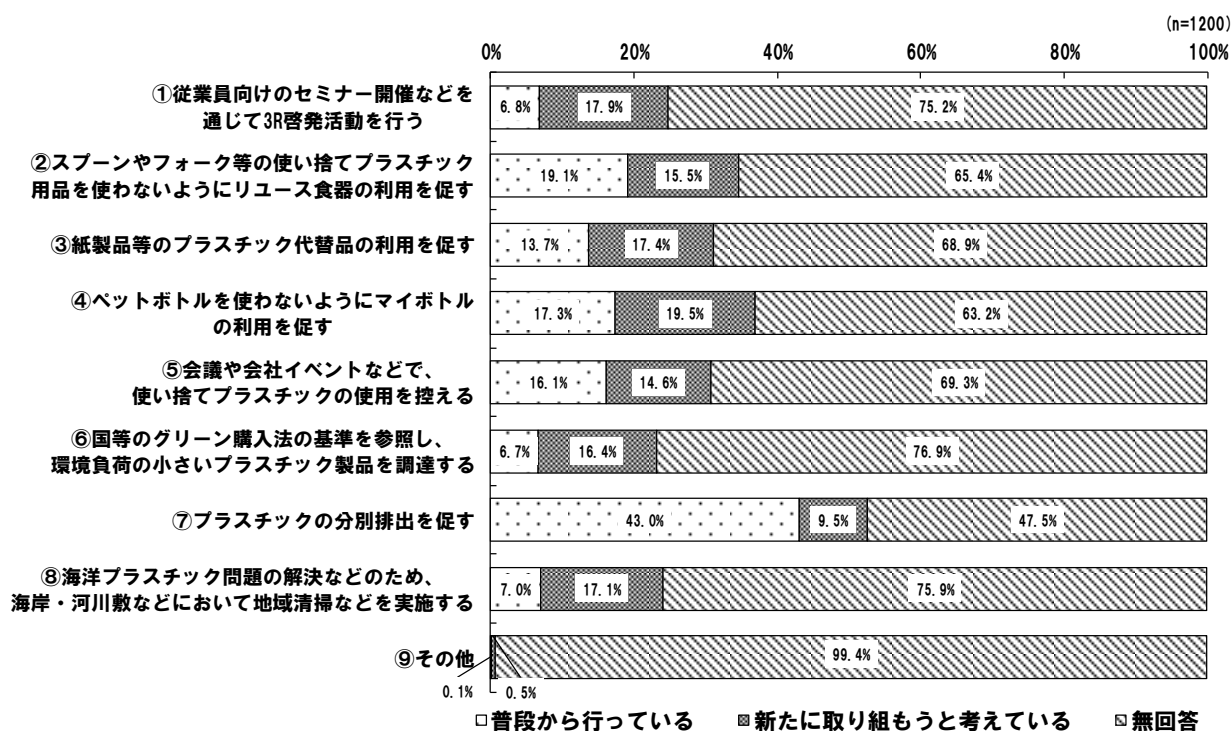
2.5 プラスチックについて

2.5.1 プラスチックごみの削減やリサイクルの取り組み状況

「普段から取り組んでいる」の割合が高い取り組みは、「⑦プラスチックの分別排出を促す（43.0%）」、「②スプーンやフォーク等の使い捨てプラスチック用品を使わないようにリユース食器の利用を促す（19.1%）」となっている。

「新たに取り組もうと考えている」の割合が高い取り組みは、「④ペットボトルを使わないようにマイボトルの利用を促す（19.5%）」、「①従業員向けのセミナー開催などを通じて3R啓発活動を行う（17.9%）」となっている。

図表 185 プラスチックごみの削減やリサイクルの取り組み状況 ※該当するものすべてを回答
(現在の取り組み及び新たに取り組もうと考えていること)



図表 186 プラスチックごみの削減やリサイクルの取り組み状況（業種）

〈普段から行っている〉

	①従業員 向けのセ ミナー開 催などを 通じて3R 啓発活動 を行う	②スプ ーンや フォーク 等の使い 捨てプラ スチック 用品を使 わないよ うにリ ユース食 器の利用 を促す	③紙製品 等のプラ スチック 代替品の 利用を促 す	④ペット ボトルを 使わない ようにマ イボトル の利用を 促す	⑤会議や 会社イベ ントなど で、使い 捨てプラ スチック の使用を 控える	⑥国等の グリーン 購入法の 基準を参 照し、環 境負荷の 小さいプ ラスチック 製品を 調達する	⑦プラス チックの 分別排出 を促す	⑧海洋プ ラスチック 問題の 解決など のため、 海岸・河 川敷など において 地域清掃 などを実 施する	⑨その他	全体
農林水産業	1 50.0%	1 50.0%	1 50.0%	1 50.0%	1 50.0%	1 50.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%
土木・建設業	27 6.7%	91 22.6%	65 16.1%	77 19.1%	71 17.6%	20 5.0%	193 47.9%	42 10.4%	0 0.0%	403 100.0%
食品製造業	0 0.0%	1 4.3%	0 0.0%	0 0.0%	2 8.7%	1 4.3%	7 30.4%	0 0.0%	0 0.0%	23 100.0%
食品以外の製造業	5 10.2%	4 8.2%	5 10.2%	5 10.2%	4 8.2%	3 6.1%	22 44.9%	3 6.1%	0 0.0%	49 100.0%
運輸・通信業	2 3.6%	8 14.3%	2 3.6%	7 12.5%	4 7.1%	3 5.4%	13 23.2%	0 0.0%	0 0.0%	56 100.0%
デパート・スーパーマーケット	1 9.1%	1 9.1%	0 0.0%	1 9.1%	2 18.2%	1 9.1%	9 81.8%	0 0.0%	0 0.0%	11 100.0%
コンビニエンスストア	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 100.0%
その他の食品小売業	9 30.0%	6 20.0%	4 13.3%	6 20.0%	12 40.0%	9 30.0%	16 53.3%	1 3.3%	1 6.7%	30 100.0%
食品以外の小売業	6 6.9%	15 17.2%	14 16.1%	20 23.0%	17 19.5%	5 5.7%	37 42.5%	6 6.9%	0 0.0%	87 100.0%
不動産業	3 4.1%	18 24.3%	10 13.5%	8 10.8%	10 13.5%	4 5.4%	26 35.1%	4 5.4%	0 0.0%	74 100.0%
ホテル・旅館業	0 0.0%	8 53.3%	3 20.0%	1 6.7%	3 20.0%	0 0.0%	7 46.7%	0 0.0%	0 0.0%	15 100.0%
金融・保険業	1 7.7%	1 7.7%	0 0.0%	3 23.1%	1 7.7%	1 7.7%	6 46.2%	1 7.7%	0 0.0%	13 100.0%
飲食業	0 0.0%	6 37.5%	2 12.5%	1 6.3%	4 25.0%	1 6.3%	7 43.8%	0 0.0%	0 0.0%	16 100.0%
サービス業	10 7.2%	22 15.8%	19 13.7%	29 20.9%	24 17.3%	12 8.6%	50 36.0%	10 7.2%	0 0.0%	139 100.0%
物品賃貸業	0 0.0%	0 0.0%	1 11.1%	3 33.3%	1 11.1%	0 0.0%	3 33.3%	1 11.1%	0 0.0%	9 100.0%
学校・学習支援業	1 4.5%	3 13.6%	1 4.5%	3 13.6%	4 18.2%	2 9.1%	8 36.4%	1 4.5%	0 0.0%	22 100.0%
医療・福祉機関	1 5.9%	5 29.4%	5 29.4%	3 17.6%	3 17.6%	1 5.9%	7 41.2%	1 5.9%	0 0.0%	17 100.0%
その他	14 6.5%	35 16.2%	28 13.0%	35 16.2%	27 12.5%	14 6.5%	98 45.4%	13 6.0%	0 0.0%	216 100.0%
合計	82 6.8%	229 19.1%	164 13.7%	208 17.3%	193 16.1%	80 6.7%	516 43.0%	84 7.0%	1 3.4%	1200 100.0%

〈新たに取り組もうと考えている〉

	①従業員 向けのセミナー開催などを通じて3R啓発活動を行う	②スプーンやフォーク等の使い捨てプラスチック用品を減らすようにリユース食器の利用を促す	③紙製品等のプラスチック代替品の利用を促す	④ペットボトルを減らすようにマイボトルの利用を促す	⑤会議やイベントなどで、使い捨てプラスチックの使用を控える	⑥国等のグリーン購入法の基準を参照し、環境負荷の小さいプラスチック製品を調達する	⑦プラスチックの分別排出を促す	⑧海洋プラスチック問題などのため、海岸・河川敷などにおいて地域清掃などを実施する	⑨その他	全体
農林水産業	1	1	1	1	1	1	0	1	0	2
	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	100.0%
土木・建設業	82	67	73	96	70	82	46	81	0	403
	20.3%	16.6%	18.1%	23.8%	17.4%	20.3%	11.4%	20.1%	0.0%	100.0%
食品製造業	7	5	5	7	5	5	3	5	0	23
	30.4%	21.7%	21.7%	30.4%	21.7%	21.7%	13.0%	21.7%	0.0%	100.0%
食品以外の製造業	8	9	8	12	8	8	5	7	0	49
	16.3%	18.4%	16.3%	24.5%	16.3%	16.3%	10.2%	14.3%	0.0%	100.0%
運輸・通信業	11	8	13	12	9	9	9	9	0	56
	19.6%	14.3%	23.2%	21.4%	16.1%	16.1%	16.1%	16.1%	0.0%	100.0%
デパート・スーパーマーケット	3	3	3	3	2	3	1	3	0	11
	27.3%	27.3%	27.3%	27.3%	18.2%	27.3%	9.1%	27.3%	0.0%	100.0%
コンビニエンスストア	0	1	2	0	0	0	0	0	0	5
	0.0%	20.0%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
その他の食品小売業	2	8	10	9	4	4	2	13	0	30
	6.7%	26.7%	33.3%	30.0%	13.3%	13.3%	6.7%	43.3%	0.0%	100.0%
食品以外の小売業	20	14	13	13	10	16	7	16	0	87
	23.0%	16.1%	14.9%	14.9%	11.5%	18.4%	8.0%	18.4%	0.0%	100.0%
不動産業	10	11	14	17	12	11	5	11	0	74
	13.5%	14.9%	18.9%	23.0%	16.2%	14.9%	6.8%	14.9%	0.0%	100.0%
ホテル・旅館業	4	2	3	1	1	2	2	2	0	15
	26.7%	13.3%	20.0%	6.7%	6.7%	13.3%	13.3%	13.3%	0.0%	100.0%
金融・保険業	2	4	3	3	2	2	1	3	0	13
	15.4%	30.8%	23.1%	23.1%	15.4%	15.4%	7.7%	23.1%	0.0%	100.0%
飲食業	2	1	1	2	0	3	1	3	0	16
	12.5%	6.3%	6.3%	12.5%	0.0%	18.8%	6.3%	18.8%	0.0%	100.0%
サービス業	21	19	20	18	14	17	16	15	0	139
	15.1%	13.7%	14.4%	12.9%	10.1%	12.2%	11.5%	10.8%	0.0%	100.0%
物品賃貸業	2	1	3	2	1	1	0	1	0	9
	22.2%	11.1%	33.3%	22.2%	11.1%	11.1%	0.0%	11.1%	0.0%	100.0%
学校・学習支援業	2	2	2	3	3	2	1	2	0	22
	9.1%	9.1%	9.1%	13.6%	13.6%	9.1%	4.5%	9.1%	0.0%	100.0%
医療・福祉機関	5	4	4	5	4	4	3	5	0	17
	29.4%	23.5%	23.5%	29.4%	23.5%	23.5%	17.6%	29.4%	0.0%	100.0%
その他	29	24	29	29	28	25	11	25	0	216
	13.4%	11.1%	13.4%	13.4%	13.0%	11.6%	5.1%	11.6%	0.0%	100.0%
合計	215	186	209	234	175	197	114	205	0	1200
	17.9%	15.5%	17.4%	19.5%	14.6%	16.4%	9.5%	17.1%	0.0%	100.0%

図表 187 プラスチックごみの削減やリサイクルの取り組み状況（従業員数）
 〈普段から行っている〉

	①従業員向けのセミナー開催などを通じて3R啓発活動を行う	②スプーンやフォーク等の使い捨てプラスチック用品を使わないようにリユース食器の利用を促す	③紙製品等のプラスチック代替品の利用を促す	④ペットボトルを使わないようにマイボトルの利用を促す	⑤会議や会社イベントなどで、使い捨てプラスチックの使用を控える	⑥国等のグリーン購入法の基準を参照し、環境負荷の小さいプラスチック製品を調達する	⑦プラスチックの分別排出を促す	⑧海洋プラスチック問題の解決のため、海岸・河川敷などにおいて地域清掃などを実施する	⑨その他	全体
1～4人	10 6.5%	34 22.2%	21 13.7%	31 20.3%	22 14.4%	5 3.3%	55 35.9%	8 5.2%	1 50.0%	153 100.0%
5～9人	9 3.5%	54 20.9%	31 12.0%	43 16.7%	39 15.1%	11 4.3%	107 41.5%	12 4.7%	0 0.0%	258 100.0%
10～19人	18 6.4%	60 21.4%	50 17.8%	53 18.9%	47 16.7%	14 5.0%	119 42.3%	21 7.5%	0 0.0%	281 100.0%
20～29人	7 4.3%	35 21.6%	27 16.7%	26 16.0%	24 14.8%	8 4.9%	72 44.4%	18 11.1%	0 0.0%	162 100.0%
30～49人	11 8.4%	18 13.7%	15 11.5%	23 17.6%	23 17.6%	8 6.1%	53 40.5%	11 8.4%	0 0.0%	131 100.0%
50～99人	12 11.2%	11 10.3%	10 9.3%	15 14.0%	23 21.5%	19 17.8%	49 45.8%	8 7.5%	0 0.0%	107 100.0%
100～199人	6 13.0%	9 19.6%	3 6.5%	6 13.0%	5 10.9%	4 8.7%	27 58.7%	1 2.2%	0 0.0%	46 100.0%
200～299人	3 14.3%	6 28.6%	5 23.8%	4 19.0%	4 19.0%	5 23.8%	12 57.1%	4 19.0%	0 0.0%	21 100.0%
300人以上	6 17.1%	2 5.7%	1 2.9%	7 20.0%	6 17.1%	6 17.1%	21 60.0%	1 2.9%	0 0.0%	35 100.0%
合計	82 6.8%	229 19.1%	164 13.7%	208 17.3%	193 16.1%	80 6.7%	516 43.0%	84 7.0%	1 3.4%	1200 100.0%

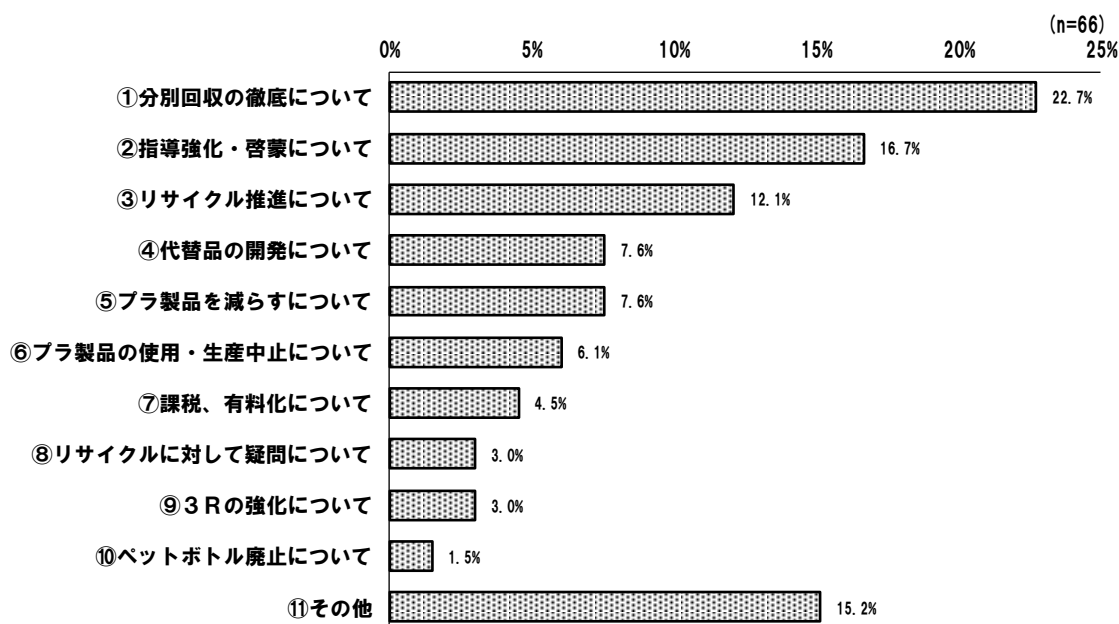
〈新たに取り組もうと考えている〉

	①従業員向けのセミナー開催などを通じて3R啓発活動を行う	②スプーンやフォーク等の使い捨てプラスチック用品を使わないようにリユース食器の利用を促す	③紙製品等のプラスチック代替品の利用を促す	④ペットボトルを使わないようにマイボトルの利用を促す	⑤会議や会社イベントなどで、使い捨てプラスチックの使用を控える	⑥国等のグリーン購入法の基準を参照し、環境負荷の小さいプラスチック製品を調達する	⑦プラスチックの分別排出を促す	⑧海洋プラスチック問題の解決のため、海岸・河川敷などにおいて地域清掃などを実施する	⑨その他	全体
1～4人	20 13.1%	17 11.1%	19 12.4%	24 15.7%	17 11.1%	21 13.7%	12 7.8%	23 15.0%	0 0.0%	153 100.0%
5～9人	42 16.3%	39 15.1%	49 19.0%	54 20.9%	36 14.0%	41 15.9%	23 8.9%	42 16.3%	0 0.0%	258 100.0%
10～19人	57 20.3%	43 15.3%	52 18.5%	55 19.6%	51 18.1%	53 18.9%	32 11.4%	55 19.6%	0 0.0%	281 100.0%
20～29人	31 19.1%	19 11.7%	24 14.8%	34 21.0%	23 14.2%	25 15.4%	17 10.5%	20 12.3%	0 0.0%	162 100.0%
30～49人	25 19.1%	23 17.6%	20 15.3%	22 16.8%	20 15.3%	24 18.3%	14 10.7%	21 16.0%	0 0.0%	131 100.0%
50～99人	22 20.6%	28 26.2%	29 27.1%	29 27.1%	14 13.1%	16 15.0%	11 10.3%	26 24.3%	0 0.0%	107 100.0%
100～199人	5 10.9%	5 10.9%	5 10.9%	4 8.7%	4 8.7%	4 8.7%	1 2.2%	5 10.9%	0 0.0%	46 100.0%
200～299人	5 23.8%	4 19.0%	3 14.3%	5 23.8%	5 23.8%	5 23.8%	3 14.3%	6 28.6%	0 0.0%	21 100.0%
300人以上	8 22.9%	8 22.9%	8 22.9%	7 20.0%	5 14.3%	8 22.9%	1 2.9%	7 20.0%	0 0.0%	35 100.0%
合計	215 17.9%	186 15.5%	209 17.4%	234 19.5%	175 14.6%	197 16.4%	114 9.5%	205 17.1%	0 0.0%	1200 100.0%

2.5.2 自由回答

プラスチックごみの削減やリサイクルを推進するために、市に求める支援策や市が講じるべき施策などについて自由記載で意見を求め、以下の10分類の回答集計を行った。「①分別回収の徹底について」が最も多く22.7%となっている。次いで、「②指導強化・啓蒙について(16.7%)」、「⑩その他15.2%」となっている。

図表 188 自由回答の内容、件数



(全66件のうち) 主な回答

【分別回収の徹底について】15件

- そのゴミがプラ・ペット・ビニールのどれなのか一目で分かるようマークもしくは色・文字を大きく印字するようメーカーにはたらきかけてほしい。(不動産業)
- 事業ごみのプラスチック分別集収(土木・建設業)

【指導強化・啓蒙について】11件

- 地球規模での環境汚染について市が事業所へごみ削減の啓発活動をしてもらったりすると行動に出しやすい(医療・福祉機関)
- 啓蒙活動(その他)

【リサイクル推進について】8件

- 事業者に対するリサイクル推進の普及啓発・環境教育(土木・建設業)

【代替品の開発について】5件

- プラスチック以外の素材利用の助成・啓発など(食品以外の製造業)

【課税、有料化について】3件

- ペットボトル税の導入を提案します。②仙台市指定ゴミ袋をレジ袋として有料販売にする。レジ袋として持ち帰ったあと、家庭ゴミ袋として再利用する。(土木・建設業)

【その他】10件

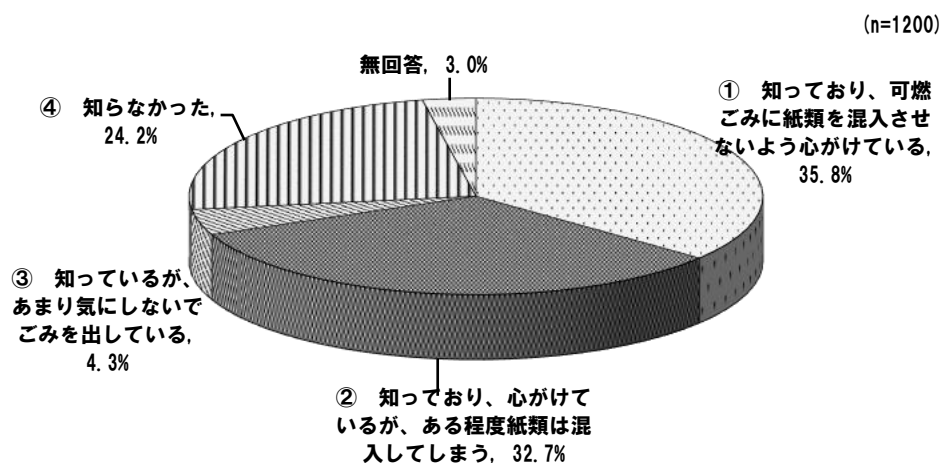
- 個人でゴミ削減に取り組んではいるが会社では手間がかかる為、取り組むことは難しい(サービス業)
- 街にもっとゴミ箱の設置をする。(土木・建設業)

2.6 紙類について

2.6.1 リサイクル可能な紙類を焼却工場へ搬入できないことの認知度

「①知っており、可燃ごみに紙類を混入させないように心がけている」の割合が最も高く 35.8%となっている。次いで、「②知っており、心がけているが、ある程度紙類は混入してしまう (32.7%)」、「④知らなかった (24.2%)」となっている。

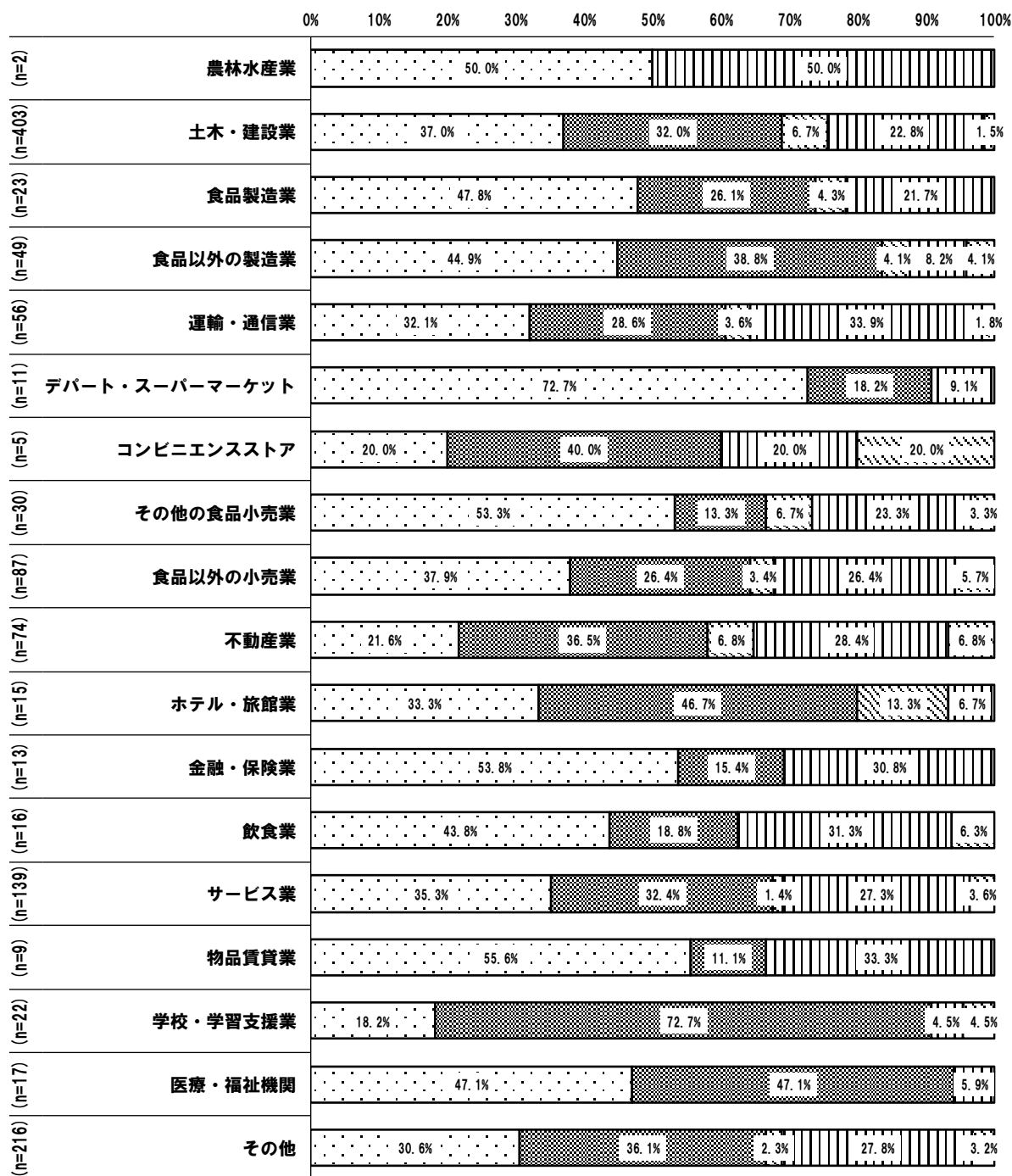
図表 189 リサイクル可能な紙類を焼却工場へ搬入できないことの認知度



業種別に見ると、「知っており、可燃ごみに紙類を混入させないように心がけている」の割合が高い業種は、「デパート・スーパーマーケット（72.7%）」、「物品賃貸業（55.6%）」となっている。

「知っており、心がけているが、ある程度紙類は混入してしまう」の割合が高い業種は、「学校・学習支援業（72.7%）」、「医療・福祉機関（47.1%）」となっている。「知らなかった」の割合が高い業種は、「農林水産業（50.0%）」、「運輸・通信業（33.9%）」となっている。

図表 190 リサイクル可能な紙類を焼却工場へ搬入できないことの認知度（業種）

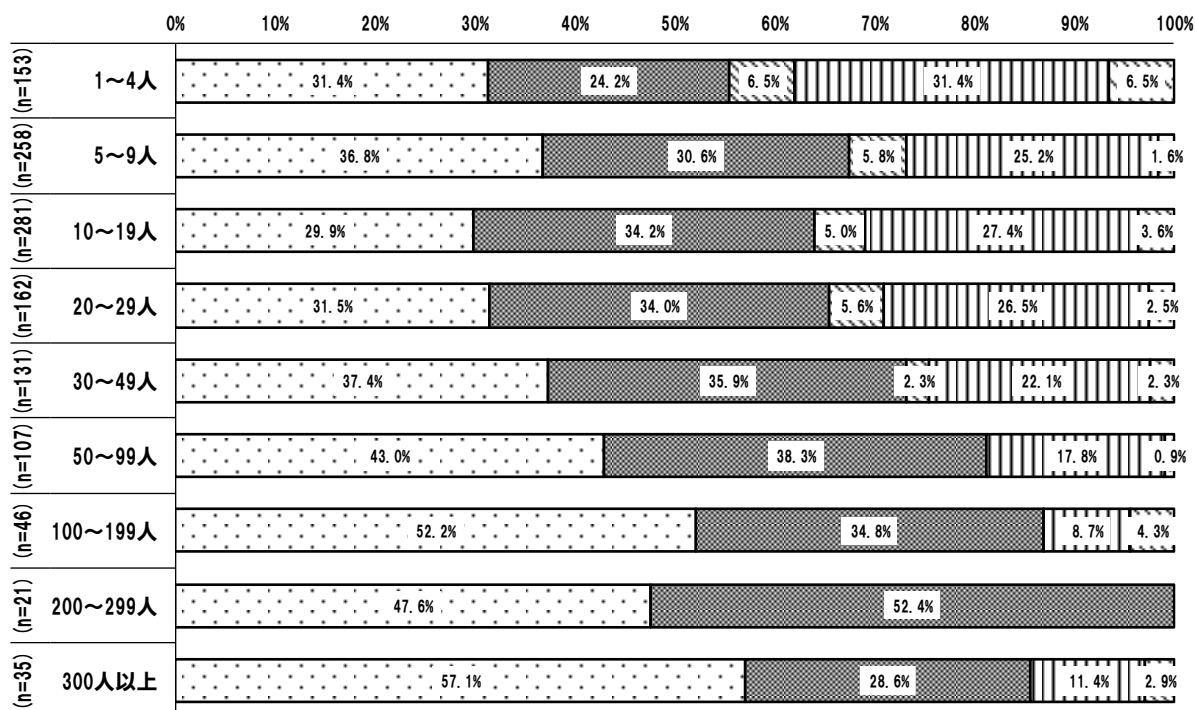


- 知っており、可燃ごみに紙類を混入させないように心がけている
- ▣ 知っており、心がけているが、ある程度紙類は混入してしまう
- ▤ 知っているが、あまり気にしないでごみを出している
- ▥ 知らなかった
- 無回答

	合計	知っており、可燃ごみに紙類を混入させないよう心がけている	知っており、心がけているが、ある程度紙類は混入してしまう	知っているが、あまり気にしないでごみを出している	知らなかった	無回答
合計	1,200	430	393	51	290	36
	100.0%	35.8%	32.7%	4.3%	24.2%	3.0%
農林水産業	2	1	0	0	1	0
	100.0%	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%
土木・建設業	403	149	129	27	92	6
	100.0%	37.0%	32.0%	6.7%	22.8%	1.5%
食品製造業	23	11	6	1	5	0
	100.0%	47.8%	26.1%	4.3%	21.7%	0.0%
食品以外の製造業	49	22	19	2	4	2
	100.0%	44.9%	38.8%	4.1%	8.2%	4.1%
運輸・通信業	56	18	16	2	19	1
	100.0%	32.1%	28.6%	3.6%	33.9%	1.8%
デパート・スーパーマーケット	11	8	2	0	1	0
	100.0%	72.7%	18.2%	0.0%	9.1%	0.0%
コンビニエンスストア	5	1	2	0	1	1
	100.0%	20.0%	40.0%	0.0%	20.0%	20.0%
その他の食品小売業	30	16	4	2	7	1
	100.0%	53.3%	13.3%	6.7%	23.3%	3.3%
食品以外の小売業	87	33	23	3	23	5
	100.0%	37.9%	26.4%	3.4%	26.4%	5.7%
不動産業	74	16	27	5	21	5
	100.0%	21.6%	36.5%	6.8%	28.4%	6.8%
ホテル・旅館業	15	5	7	2	1	0
	100.0%	33.3%	46.7%	13.3%	6.7%	0.0%
金融・保険業	13	7	2	0	4	0
	100.0%	53.8%	15.4%	0.0%	30.8%	0.0%
飲食業	16	7	3	0	5	1
	100.0%	43.8%	18.8%	0.0%	31.3%	6.3%
サービス業	139	49	45	2	38	5
	100.0%	35.3%	32.4%	1.4%	27.3%	3.6%
物品賃貸業	9	5	1	0	3	0
	100.0%	55.6%	11.1%	0.0%	33.3%	0.0%
学校・学習支援業	22	4	16	0	1	1
	100.0%	18.2%	72.7%	0.0%	4.5%	4.5%
医療・福祉機関	17	8	8	0	1	0
	100.0%	47.1%	47.1%	0.0%	5.9%	0.0%
その他	216	66	78	5	60	7
	100.0%	30.6%	36.1%	2.3%	27.8%	3.2%

従業員数別に見ると、「知っており、可燃ごみに紙類を混入させないように心がけている」の割合は、従業員数が多いほど高い傾向にある。「知らなかった」の割合は、従業員数が多いほど低い傾向にある。

図表 191 リサイクル可能な紙類を焼却工場へ搬入できないことの認知度（従業員数）



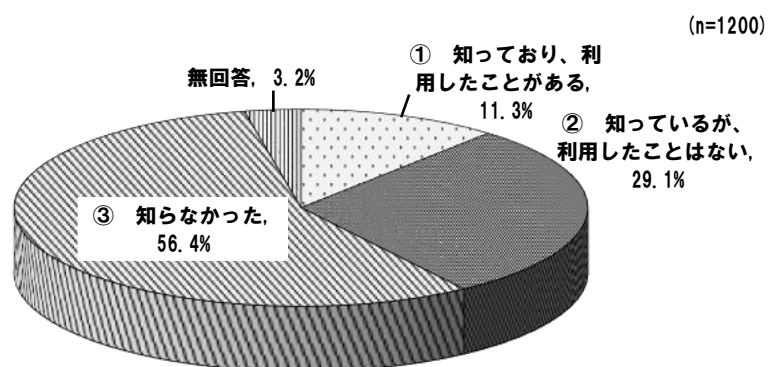
- 知っており、可燃ごみに紙類を混入させないように心がけている
- 知っており、心がけているが、ある程度紙類は混入してしまう
- 知っているが、あまり気にしないでごみを出している
- 知らなかった
- 無回答

	合計	知っており、可燃ごみに紙類を混入させないように心がけている	知っており、心がけているが、ある程度紙類は混入してしまう	知っているが、あまり気にしないでごみを出している	知らなかった	無回答
合計	1,200	430	393	51	290	36
	100.0%	35.8%	32.7%	4.3%	24.2%	3.0%
1～4人	153	48	37	10	48	10
	100.0%	31.4%	24.2%	6.5%	31.4%	6.5%
5～9人	258	95	79	15	65	4
	100.0%	36.8%	30.6%	5.8%	25.2%	1.6%
10～19人	281	84	96	14	77	10
	100.0%	29.9%	34.2%	5.0%	27.4%	3.6%
20～29人	162	51	55	9	43	4
	100.0%	31.5%	34.0%	5.6%	26.5%	2.5%
30～49人	131	49	47	3	29	3
	100.0%	37.4%	35.9%	2.3%	22.1%	2.3%
50～99人	107	46	41	0	19	1
	100.0%	43.0%	38.3%	0.0%	17.8%	0.9%
100～199人	46	24	16	0	4	2
	100.0%	52.2%	34.8%	0.0%	8.7%	4.3%
200～299人	21	10	11	0	0	0
	100.0%	47.6%	52.4%	0.0%	0.0%	0.0%
300人以上	35	20	10	0	4	1
	100.0%	57.1%	28.6%	0.0%	11.4%	2.9%

2.6.2 事業系紙類回収庫の設置状況の認知度

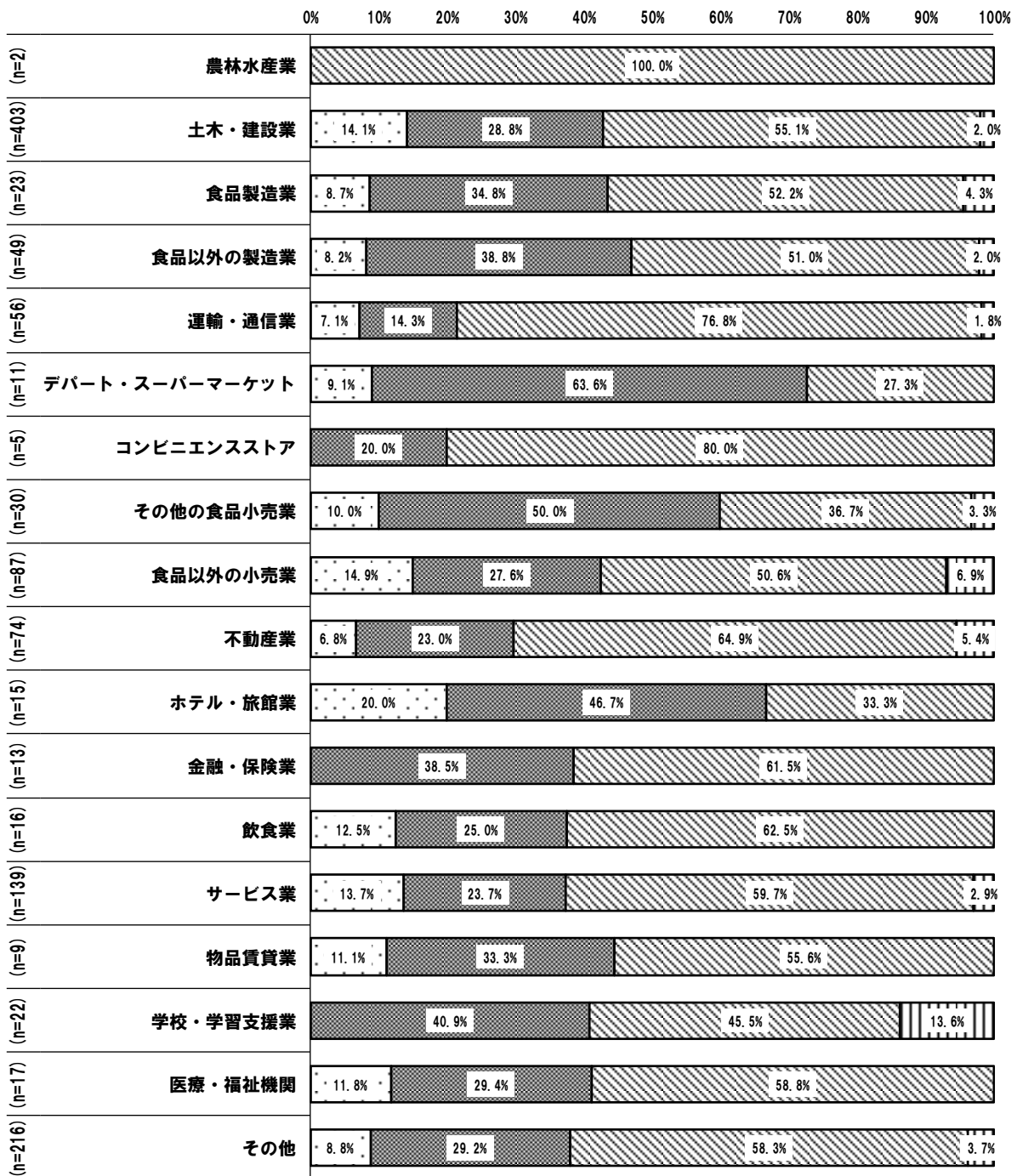
「③知らなかった」の割合が最も高く 56.4%となっている。次いで、「②知っているが、利用したことはない (29.1%)」、「①知っており、利用したことがある (11.3%)」となっている。

図表 192 事業系紙類回収庫の設置状況の認知度



業種別に見ると、「知っており、利用したことがある」の割合が高い業種は、「ホテル・旅館業 (20.0%)」、「食品以外の小売業 (14.9%)」となっている。「知っているが、利用したことはない」の割合が高い業種は、「デパート・スーパーマーケット (63.6%)」、「その他の食品小売業 (50.0%)」となっている。「知らなかった」の割合が高い業種は、「農林水産業 (100.0%)」、「コンビニエンスストア (80.0%)」となっている。

図表 193 事業系紙類回収庫の設置状況の認知度 (業種)

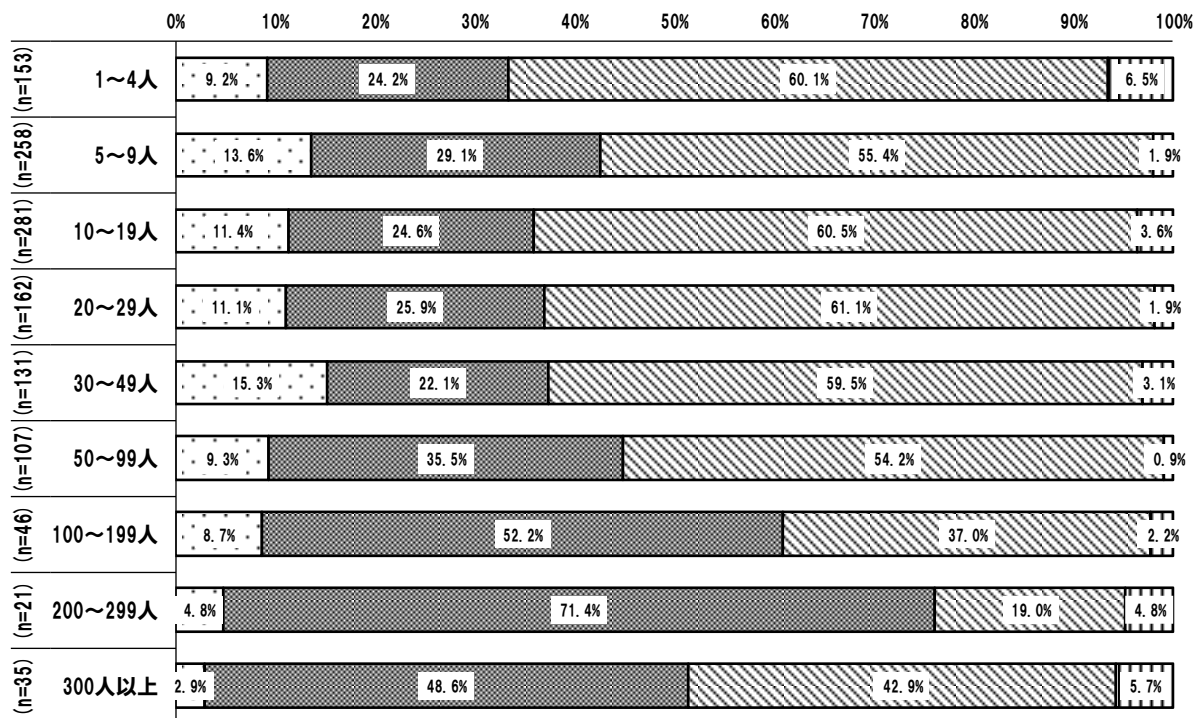


□知っており、利用したことがある □知っているが、利用したことはない □知らなかった □無回答

	合計	知っており、 利用したこ とがある	知っているが、 利用したこ とはない	知らなかった	無回答
合計	1,200	136	349	677	38
	100.0%	11.3%	29.1%	56.4%	3.2%
農林水産業	2	0	0	2	0
	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
土木・建設業	403	57	116	222	8
	100.0%	14.1%	28.8%	55.1%	2.0%
食品製造業	23	2	8	12	1
	100.0%	8.7%	34.8%	52.2%	4.3%
食品以外の製造業	49	4	19	25	1
	100.0%	8.2%	38.8%	51.0%	2.0%
運輸・通信業	56	4	8	43	1
	100.0%	7.1%	14.3%	76.8%	1.8%
デパート・スーパーマーケット	11	1	7	3	0
	100.0%	9.1%	63.6%	27.3%	0.0%
コンビニエンスストア	5	0	1	4	0
	100.0%	0.0%	20.0%	80.0%	0.0%
その他の食品小売業	30	3	15	11	1
	100.0%	10.0%	50.0%	36.7%	3.3%
食品以外の小売業	87	13	24	44	6
	100.0%	14.9%	27.6%	50.6%	6.9%
不動産業	74	5	17	48	4
	100.0%	6.8%	23.0%	64.9%	5.4%
ホテル・旅館業	15	3	7	5	0
	100.0%	20.0%	46.7%	33.3%	0.0%
金融・保険業	13	0	5	8	0
	100.0%	0.0%	38.5%	61.5%	0.0%
飲食業	16	2	4	10	0
	100.0%	12.5%	25.0%	62.5%	0.0%
サービス業	139	19	33	83	4
	100.0%	13.7%	23.7%	59.7%	2.9%
物品賃貸業	9	1	3	5	0
	100.0%	11.1%	33.3%	55.6%	0.0%
学校・学習支援業	22	0	9	10	3
	100.0%	0.0%	40.9%	45.5%	13.6%
医療・福祉機関	17	2	5	10	0
	100.0%	11.8%	29.4%	58.8%	0.0%
その他	216	19	63	126	8
	100.0%	8.8%	29.2%	58.3%	3.7%

従業員数別に見ると、「知っており、利用したことがある」の割合は、従業員数が多いほど低い傾向にある。「知っているが、利用したことはない」の割合は、従業員数が多いほど高い傾向にある。

図表 194 事業系紙類回収庫の設置状況の認知度（従業員数）



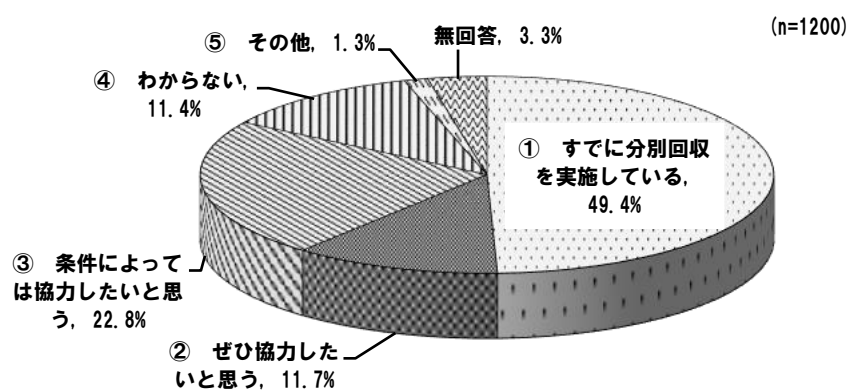
□知っており、利用したことがある □知っているが、利用したことはない □知らなかった □無回答

	合計	知っており、 利用したこと がある	知っているが、 利用したこと はない	知らなかった	無回答
合計	1,200	136	349	677	38
	100.0%	11.3%	29.1%	56.4%	3.2%
1～4人	153	14	37	92	10
	100.0%	9.2%	24.2%	60.1%	6.5%
5～9人	258	35	75	143	5
	100.0%	13.6%	29.1%	55.4%	1.9%
10～19人	281	32	69	170	10
	100.0%	11.4%	24.6%	60.5%	3.6%
20～29人	162	18	42	99	3
	100.0%	11.1%	25.9%	61.1%	1.9%
30～49人	131	20	29	78	4
	100.0%	15.3%	22.1%	59.5%	3.1%
50～99人	107	10	38	58	1
	100.0%	9.3%	35.5%	54.2%	0.9%
100～199人	46	4	24	17	1
	100.0%	8.7%	52.2%	37.0%	2.2%
200～299人	21	1	15	4	1
	100.0%	4.8%	71.4%	19.0%	4.8%
300人以上	35	1	17	15	2
	100.0%	2.9%	48.6%	42.9%	5.7%

2.6.3 事業所向けの紙類の分別回収の仕組み等の身近な取り組みへの協力意向

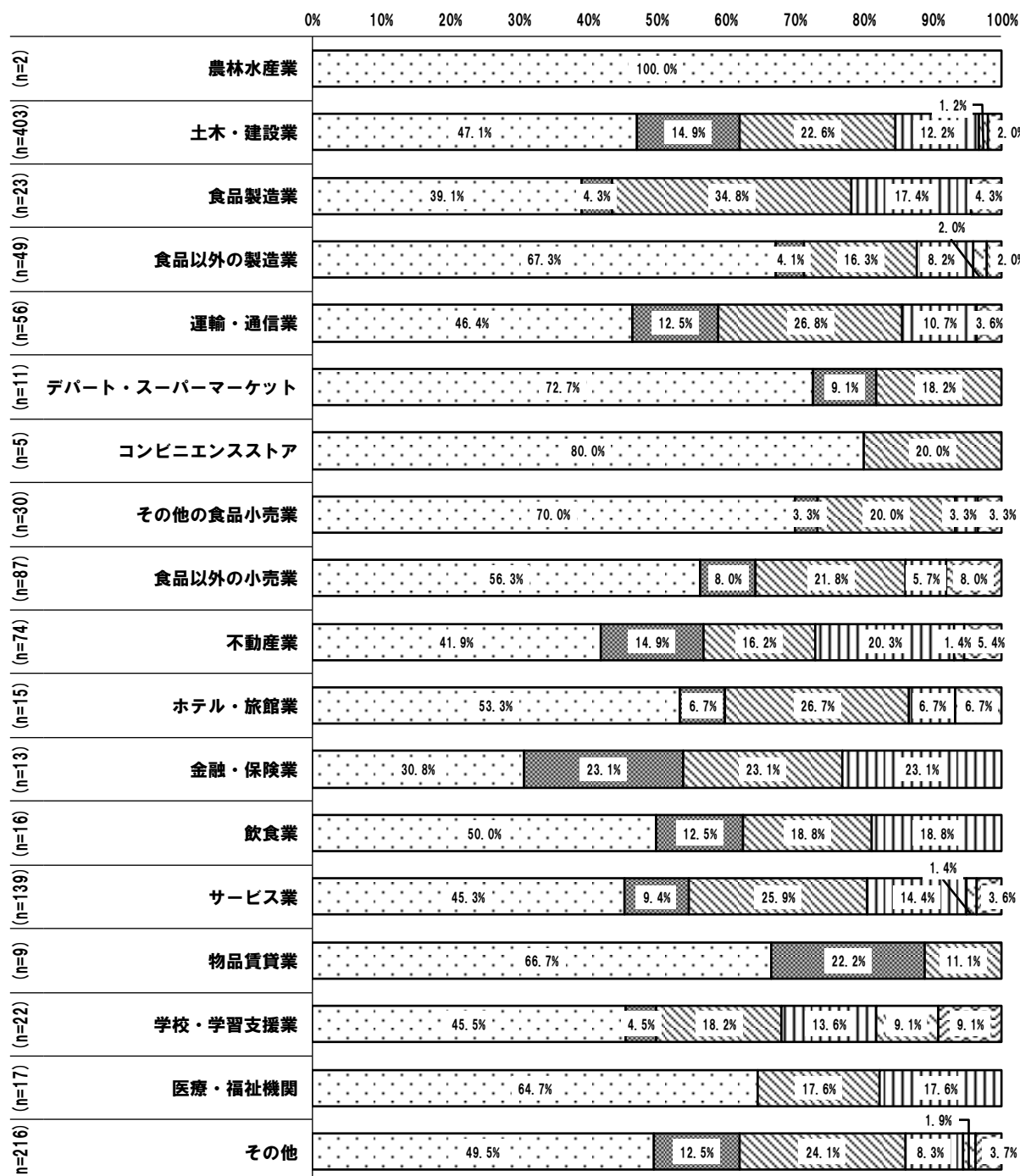
「①すでに分別回収を実施している」の割合が最も高く 49.4%となっている。次いで、「③条件によっては協力したいと思う (22.8%)」、「②ぜひ協力したいと思う (11.7%)」となっている。

図表 195 事業所向けの紙類の分別回収の仕組み等の身近な取り組みへの協力意向



業種別に見ると、「すでに分別回収を実施している」の割合が高い業種は、「農林水産業(100.0%)」、「コンビニエンスストア(80.0%)」となっている。「ぜひ協力したいと思う」の割合が高い業種は、「金融・保険業(23.1%)」、「物品賃貸業(22.2%)」となっている。「条件によっては協力したいと思う」の割合が高い業種は、「食品製造業(34.8%)」、「運輸・通信業(26.8%)」となっている。

図表 196 事業所向けの紙類の分別回収の仕組み等の身近な取り組みへの協力意向(業種)

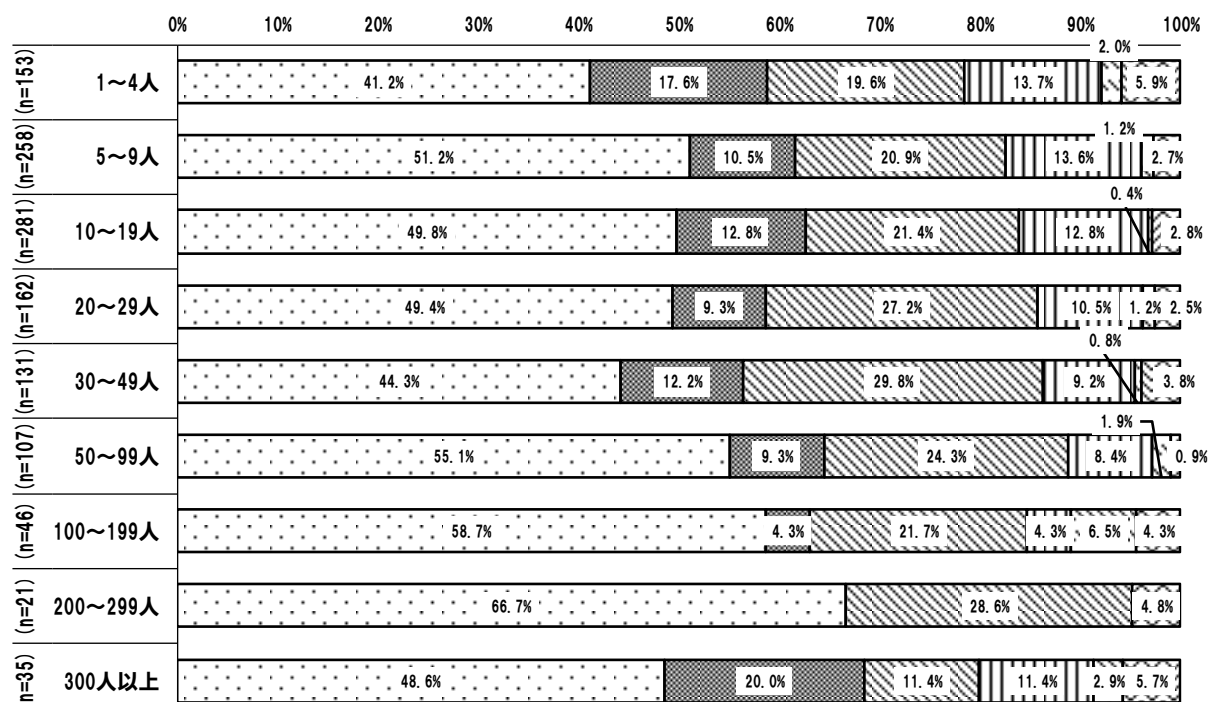


- すでに分別回収を実施している
- ▣ぜひ協力したいと思う
- ▨条件によっては協力したいと思う
- ▤わからない
- ▧その他
- 無回答

	合計	すでに分別回収 を実施している	ぜひ協力したい と思う	条件によっては 協力したい と思う	わからない	その他	無回答
合計	1,200	593	140	274	137	16	40
	100.0%	49.4%	11.7%	22.8%	11.4%	1.3%	3.3%
農林水産業	2	2	0	0	0	0	0
	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
土木・建設業	403	190	60	91	49	5	8
	100.0%	47.1%	14.9%	22.6%	12.2%	1.2%	2.0%
食品製造業	23	9	1	8	4	0	1
	100.0%	39.1%	4.3%	34.8%	17.4%	0.0%	4.3%
食品以外の製造業	49	33	2	8	4	1	1
	100.0%	67.3%	4.1%	16.3%	8.2%	2.0%	2.0%
運輸・通信業	56	26	7	15	6	0	2
	100.0%	46.4%	12.5%	26.8%	10.7%	0.0%	3.6%
デパート・スーパーマーケット	11	8	1	2	0	0	0
	100.0%	72.7%	9.1%	18.2%	0.0%	0.0%	0.0%
コンビニエンスストア	5	4	0	1	0	0	0
	100.0%	80.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他の食品小売業	30	21	1	6	1	0	1
	100.0%	70.0%	3.3%	20.0%	3.3%	0.0%	3.3%
食品以外の小売業	87	49	7	19	5	0	7
	100.0%	56.3%	8.0%	21.8%	5.7%	0.0%	8.0%
不動産業	74	31	11	12	15	1	4
	100.0%	41.9%	14.9%	16.2%	20.3%	1.4%	5.4%
ホテル・旅館業	15	8	1	4	1	1	0
	100.0%	53.3%	6.7%	26.7%	6.7%	6.7%	0.0%
金融・保険業	13	4	3	3	3	0	0
	100.0%	30.8%	23.1%	23.1%	23.1%	0.0%	0.0%
飲食業	16	8	2	3	3	0	0
	100.0%	50.0%	12.5%	18.8%	18.8%	0.0%	0.0%
サービス業	139	63	13	36	20	2	5
	100.0%	45.3%	9.4%	25.9%	14.4%	1.4%	3.6%
物品賃貸業	9	6	2	1	0	0	0
	100.0%	66.7%	22.2%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%
学校・学習支援業	22	10	1	4	3	2	2
	100.0%	45.5%	4.5%	18.2%	13.6%	9.1%	9.1%
医療・福祉機関	17	11	0	3	3	0	0
	100.0%	64.7%	0.0%	17.6%	17.6%	0.0%	0.0%
その他	216	107	27	52	18	4	8
	100.0%	49.5%	12.5%	24.1%	8.3%	1.9%	3.7%

従業員数別に見ると、「200～299人」における「すでに分別回収を実施している（66.7%）」、「100～199人」における「すでに分別回収を実施している（58.7%）」、「300人以上」における「ぜひ協力したいと思う（20.0%）」等で、全体の傾向よりも割合が高くなっている。

図表 197 事業所向けの紙類の分別回収の仕組み等の身近な取り組みへの協力意向
(従業員数)



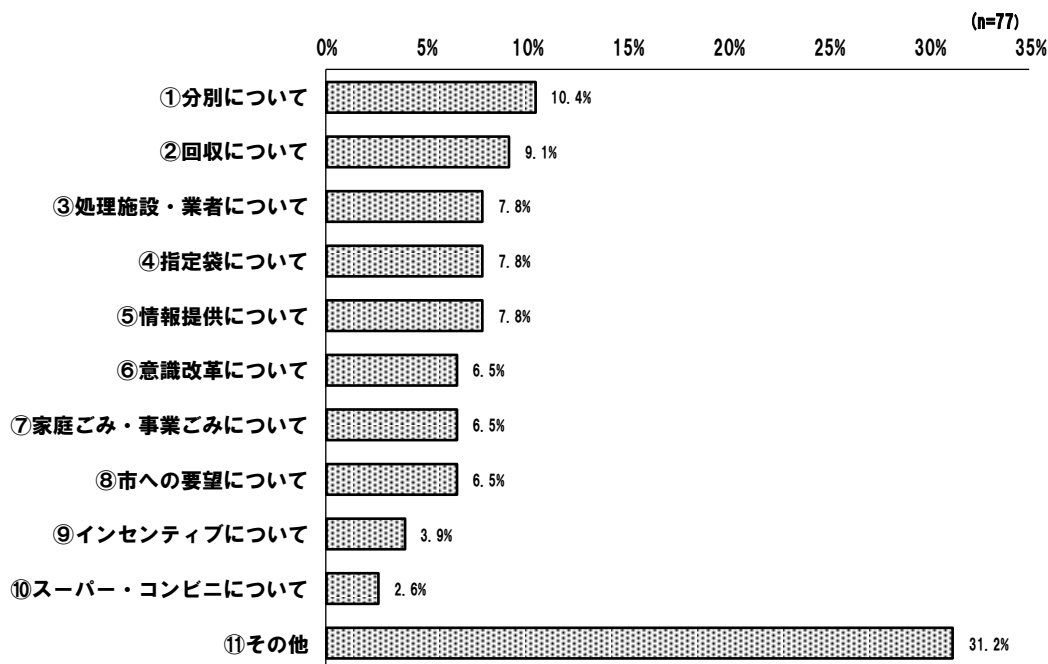
- すでに分別回収を実施している
- ぜひ協力したいと思う
- 条件によっては協力したいと思う
- わからない
- その他
- 無回答

	合計	すでに分別回収を実施している	ぜひ協力したいと思う	条件によっては協力したいと思う	わからない	その他	無回答
合計	1,200	593	140	274	137	16	40
	100.0%	49.4%	11.7%	22.8%	11.4%	1.3%	3.3%
1～4人	153	63	27	30	21	3	9
	100.0%	41.2%	17.6%	19.6%	13.7%	2.0%	5.9%
5～9人	258	132	27	54	35	3	7
	100.0%	51.2%	10.5%	20.9%	13.6%	1.2%	2.7%
10～19人	281	140	36	60	36	1	8
	100.0%	49.8%	12.8%	21.4%	12.8%	0.4%	2.8%
20～29人	162	80	15	44	17	2	4
	100.0%	49.4%	9.3%	27.2%	10.5%	1.2%	2.5%
30～49人	131	58	16	39	12	1	5
	100.0%	44.3%	12.2%	29.8%	9.2%	0.8%	3.8%
50～99人	107	59	10	26	9	2	1
	100.0%	55.1%	9.3%	24.3%	8.4%	1.9%	0.9%
100～199人	46	27	2	10	2	3	2
	100.0%	58.7%	4.3%	21.7%	4.3%	6.5%	4.3%
200～299人	21	14	0	6	0	0	1
	100.0%	66.7%	0.0%	28.6%	0.0%	0.0%	4.8%
300人以上	35	17	7	4	4	1	2
	100.0%	48.6%	20.0%	11.4%	11.4%	2.9%	5.7%

2.7 自由回答

仙台市のこれまでのごみ処理施策や今後の方向性などについて自由記載で意見を求め、以下の11分類の回答集計を行った。「⑪その他」が最も多く31.2%となっている。次いで、「①分別について(10.4%)」、「②回収について(9.1%)」となっている。

図表 198 自由回答の内容、件数



(全77件のうち) 主な回答

【分別について】8件

- プラスチックの分別がわかりにくい。(食品以外の小売業)
- ごみの処理方法で分別がしやすい方法を検討して欲しい。(土木・建設業)

【回収について】7件

- 仙台市は通勤族が多く、事業用だけでなく家庭ごみについても他の自治体とごみの出し方が異なり、わかりにくいとの意見をよく耳にする。処分場等の問題もあるでしょうが、出来るだけ統一されたごみの出し方が出来るようにすることが望ましい。(不動産業)

【処理施設・業者について】6件

- 食品リサイクルについては、処理施設が少なく、排出側は分別しリサイクルする意思があっても、最終的に受け入れ側の許容の問題や受け入れの中断で、分別回収処理が進んでいないと感じる。廃プラの回収処理に関しても同様に、受け入れ側の準備に投資し万全にしてから分別の推進が行なわれるのが望ましい。(その他)

【指定袋について】6件

- 毎年、秋になると街路樹の落葉の処理を行うが多い時はゴミ袋2個～3個になる事もあります回収袋の無料配布、回収も行って欲しい。(サービス業)

【情報提供について】6件

- 本アンケートによって海洋プラスチックごみ等、ごみの問題により関心をもつ事ができた。市

の刊行物等を利用し、より多くの人に関心をもってもらおう工夫が必要ではないか。(土木・建設業)

【意識改革について】5件

- リサイクル活動の結果が市民に届いていない。どこまで、意味のある、行動なのかもっと分かれば子供も進んで行動すると思う。(その他)

【家庭ごみ・事業ごみについて】5件

- 容器包装リサイクル法は一般の家庭を対象とし、事業所を対象としていない。よって事業所から排出される容器包装は廃棄物処理法の産業廃棄物又は事業系一般廃棄物どちらにも扱うことが可能である。仙台市の産業廃棄物の適正処理を推進するための事業者の指導においては、市の考え方を明確にされたい。(その他)

【インセンティブについて】3件

- 助成金等を導入して、施策をすすめやすくしてほしい。(運輸・通信業)

【その他】24件

- 自然に還る素材を使用してはどうか。(その他)
- 剪定枝、木くずのチップ化推進→チップ製品の責極的な利用推進(公園花壇、街路樹、緑地帯へのマルチング利用等)(土木・建設業)

3. 【参考】調査票と結果概要

仙台市「ごみに関する排出事業者意識調査」調査票

1. 貴事業所の概要について

(1) 以下の各項目について、該当するもの1つに○を付けてください。

◆ 貴事業所の業種（もつとも当てはまるもの1つに○）

- | | | |
|---------------|--------------|-------------------|
| 1. 農林水産業 | 2. 土木・建設業 | 3. 食品製造業 |
| 4. 食品以外の製造業 | 5. 運輸・通信業 | 6. デパート・スーパーマーケット |
| 7. コンビニエンスストア | 8. その他の食品小売業 | 9. 食品以外の小売業 |
| 10. 不動産業 | 11. ホテル・旅館業 | 12. 金融・保険業 |
| 13. 飲食業 | 14. サービス業 | 15. 物品賃貸業 |
| 16. 学校・学習支援業 | 17. 医療・福祉機関 | |
| 18. その他() | | |

	合計	①農林水産業	②土木・建設業	③食品製造業	④食品以外の製造業	⑤運輸・通信業	⑥デパート・スーパーマーケット	⑦コンビニエンスストア	⑧その他の食品小売業	⑨食品以外の小売業
合計	1200	2	403	23	49	56	11	5	30	87
	100.0%	0.2%	33.6%	1.9%	4.1%	4.7%	0.9%	0.4%	2.5%	7.2%

⑩不動産業	⑪ホテル・旅館業	⑫金融・保険業	⑬飲食業	⑭サービス業	⑮物品賃貸業	⑯学校・学習支援業	⑰医療・福祉機関	⑱その他	無回答
74	15	13	16	139	9	22	17	216	13
6.2%	1.3%	1.1%	1.3%	11.6%	0.7%	1.8%	1.4%	18.0%	1.1%

◆ 貴事業所の形態（もつとも当てはまるもの1つに○）

- | | | |
|------------|--------------|--------------|
| 1. 工場・作業所 | 2. 工場・作業所兼住宅 | 3. 倉庫・事務所兼倉庫 |
| 4. 営業所・事務所 | 5. 事務所兼住宅 | 6. 店舗 |
| 7. 店舗兼住宅 | 8. その他() | |

	合計	①工場・作業所	②工場・作業所兼住宅	③倉庫・事務所兼倉庫	④営業所・事務所	⑤事務所兼住宅	⑥店舗	⑦店舗兼住宅	⑧その他	無回答
合計	1200	121	6	202	609	48	127	17	57	13
	100.0%	10.1%	0.5%	16.8%	50.7%	4.0%	10.6%	1.4%	4.7%	1.1%

◆ 貴事業所のある建物の所有状況（当てはまるもの1つに○）

- | |
|-------------------------------|
| 1. 自社所有・自己所有 |
| 2. 賃貸 |
| 3. その他(※以下に詳細をご記入ください)
() |

	合計	① 自社所有・自己所有	②賃貸	③その他	無回答
合計	1200	664	510	19	7
	100.0%	55.3%	42.5%	1.6%	0.6%

◆ 従業員数（当てはまるもの1つに○）

1. 1～4人	2. 5～9人	3. 10～19人
4. 20～29人	5. 30～49人	6. 50～99人
7. 100～199人	8. 200～299人	9. 300人以上

※パート・役員を含む人数について、令和元年10月1日現在の状況でお答えください。

	合計	①1～4人	②5～9人	③10～19人	④20～29人	⑤30～49人	⑥50～99人	⑦100～199人	⑧200～299人	⑨300人以上	無回答
合計	1200	153	258	281	162	131	107	46	21	35	6
	100.0%	12.7%	21.5%	23.4%	13.5%	10.9%	8.9%	3.8%	1.8%	2.9%	0.5%

◆ 貴事業所の延べ床面積（当てはまるもの1つに○）

1. ～49㎡	2. 50～99㎡	3. 100～499㎡
4. 500～999㎡	5. 1,000～2,999㎡	6. 3,000㎡以上

	合計	①～49㎡	②50～99㎡	③100～499㎡	④500～999㎡	⑤1,000～2,999㎡	⑥3,000㎡以上	無回答
合計	1200	98	205	410	136	121	147	83
	100.0%	8.2%	17.1%	34.2%	11.3%	10.1%	12.3%	6.9%

◆ 貴事業所の資本金（当てはまるもの1つに○）

1. ～199万円	2. 200～299万円	3. 300～499万円
4. 500～999万円	5. 1,000～2,999万円	6. 3,000万円～

	合計	①～199万円	②200～299万円	③300～499万円	④500～999万円	⑤1,000～2,999万円	⑥3,000万円～	無回答
合計	1200	18	8	99	94	606	339	36
	100.0%	1.5%	0.7%	8.3%	7.8%	50.5%	28.2%	3.0%

2. ごみの排出について（産業廃棄物を除く）

(2) ごみの排出は誰が行っていますか。該当するもの1つに○を付けてください。

1. 自社で行う
2. 建物の管理会社が行う
3. その他（※以下に詳細をご記入ください）
（ ）

	合計	①自社で行う	②建物の管理会社が行う	③その他	無回答
合計	1200	926	152	95	27
	100.0%	77.2%	12.7%	7.9%	2.3%

(3) 1ヶ月にかかる、ごみ・資源物処理費用の合計は、おおよそいくらですか。該当するもの1つに○を付けてください。

1. ~ 2,000円	2. 2,001円 ~ 5,000円	3. 5,001円 ~ 10,000円
4. 10,001円 ~ 50,000円	5. 50,001円 ~ 100,000円	6. 100,000円以上 ~

	合計	①2,000円以下	②2,001円~5,000円	③5,001円~10,000円	④10,001円~50,000円	⑤50,001円~100,000円	⑥100,000円以上	無回答
合計	1200	341	214	164	246	68	82	85
	100.0%	28.4%	17.8%	13.7%	20.5%	5.7%	6.8%	7.1%

(4) 1週間あたりの、「可燃ごみ」のおおよその排出量はどのくらいですか。
該当するもの1つに○を付けてください。または、数値を記入してください。

可燃ごみの1週間あたりのおおよその排出量が変わる場合

(※該当するもの1つに○)

1. 10kg未満	2. 10 ~ 20kg	3. 21 ~ 30kg
4. 31 ~ 50kg	5. 51 ~ 70kg	6. 71 ~ 100kg
7. 101 ~ 150kg	8. 151 ~ 200kg	9. 201 ~ 300kg
10. 300kg超 ⇒ 具体的な数量 ()kg		

	合計	①10kg未満	②10~20kg	③21~30kg	④31~50kg	⑤51~70kg	⑥71~100kg	⑦101~150kg	⑧151~200kg	⑨201~300kg	⑩300kg超	無回答
合計	1200	514	184	67	54	25	45	34	24	26	62	165
	100.0%	42.8%	15.3%	5.6%	4.5%	2.1%	3.8%	2.8%	2.0%	2.2%	5.2%	13.8%

可燃ごみの具体的な排出量が分からない場合

(※数値を記入)

ごみ袋(容器)1個あたりの重さ ()kg
ごみ袋(容器)の1週間の排出個数 ()個

※重さは、量りや体重計などを用いて、可能な範囲で実測してください。

(5) 「可燃ごみ」の処理はどのように行っていますか。主な処理方法について該当するもの1つに○を付けてください。

1. 本市の処理施設に自己搬入する
2. 収集運搬許可業者に委託する(※)
3. 自社で処理する
4. その他(※以下に詳細をご記入ください) ()

※事業ごみの収集運搬を、他社に委託する場合には、自治体の許可を受けた処理業者(許可業者)に委託する必要があります。

	合計	①本市の処理施設に自己搬入する	②収集運搬許可業者に委託する	③自社で処理する	④その他	無回答
合計	1200	100	905	63	83	49
	100.0%	8.3%	75.4%	5.2%	6.9%	4.1%

(6) 1週間あたりの、「資源物」のおおよその排出量や、それぞれの処理方法について、次の選択肢から該当するもの1つに○を付けてください。

◆1週間あたりの排出量

それぞれの品目(1.～13.)について、おおよその排出量(ア.～サ.)のいずれか1つに○

	ア. 排出しない	イ. 10kg未満	ウ. 10kg 20kg	エ. 21kg 30kg	オ. 31kg 50kg	カ. 51kg 70kg	キ. 71kg 100kg	ク. 100kg 150kg	ケ. 151kg 200kg	コ. 201kg 300kg	サ. 300kg超	「サ. 300kg 超」に”○”をつけた場合は、以下に数量をご記入ください。
1. OA用紙												()kg
2. 新聞・チラシ												()kg
3. 段ボール												()kg
4. 雑誌・書籍												()kg
5. 紙パック												()kg
6. シュレッダー紙												()kg
7. その他紙類												()kg
8. 缶												()kg
9. びん												()kg
10. ペットボトル												()kg
11. 食品トレイ												()kg
12. 食品廃棄物												()kg
13. その他												()kg

※【重さの目安】45リットル袋に、生ごみを入れるとおよそ8kg、紙類を入れるとおよそ4kgです。

	合計	ア) 排出しない	イ) 10kg未満	ウ) 10～ 20kg	エ) 21～ 30kg	オ) 31～ 50kg	カ) 51～ 70kg	キ) 71～ 100kg	ク) 101～ 150kg	ケ) 151～ 200kg	コ) 201～ 300kg	サ) 300kg超	無回答	
1. OA用紙	合計	1200	125	715	63	24	10	10	5	6	2	2	3	235
		100.0%	10.4%	59.6%	5.2%	2.0%	0.8%	0.8%	0.4%	0.5%	0.2%	0.2%	0.2%	19.6%
2. 新聞・チラシ	合計	1200	235	610	59	19	12	8	2	3	3	0	2	247
		100.0%	19.6%	50.8%	4.9%	1.6%	1.0%	0.7%	0.2%	0.2%	0.2%	0.0%	0.2%	20.6%
3. 段ボール	合計	1200	113	596	93	48	29	21	18	17	6	12	30	217
		100.0%	9.4%	49.7%	7.8%	4.0%	2.4%	1.8%	1.5%	1.4%	0.5%	1.0%	2.5%	18.1%
4. 雑誌・書籍	合計	1200	280	544	40	14	11	9	4	5	2	1	1	289
		100.0%	23.3%	45.3%	3.3%	1.2%	0.9%	0.7%	0.3%	0.4%	0.2%	0.1%	0.1%	24.1%
5. 紙パック	合計	1200	512	316	10	2	1	5	3	2	0	0	1	348
		100.0%	42.7%	26.3%	0.8%	0.2%	0.1%	0.4%	0.2%	0.2%	0.0%	0.0%	0.1%	29.0%
6. シュレッダー紙	合計	1200	145	703	66	19	18	8	9	5	2	3	5	217
		100.0%	12.1%	58.6%	5.5%	1.6%	1.5%	0.7%	0.7%	0.4%	0.2%	0.2%	0.4%	18.1%
7. その他紙類	合計	1200	174	650	43	14	11	5	6	1	0	1	6	289
		100.0%	14.5%	54.2%	3.6%	1.2%	0.9%	0.4%	0.5%	0.1%	0.0%	0.1%	0.5%	24.1%
8. 缶	合計	1200	197	651	55	18	17	7	8	3	4	3	2	235
		100.0%	16.4%	54.3%	4.6%	1.5%	1.4%	0.6%	0.7%	0.2%	0.3%	0.2%	0.2%	19.6%
9. びん	合計	1200	241	607	47	14	9	7	5	4	4	2	3	257
		100.0%	20.1%	50.6%	3.9%	1.2%	0.7%	0.6%	0.4%	0.3%	0.3%	0.2%	0.2%	21.4%
10. ペットボトル	合計	1200	168	698	50	20	11	11	18	0	1	2	1	220
		100.0%	14.0%	58.2%	4.2%	1.7%	0.9%	0.9%	1.5%	0.0%	0.1%	0.2%	0.1%	18.3%
11. 食品トレイ	合計	1200	511	325	9	5	4	6	2	1	0	0	0	337
		100.0%	42.6%	27.1%	0.7%	0.4%	0.3%	0.5%	0.2%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	28.1%
12. 食品廃棄物	合計	1200	519	282	20	5	12	10	6	4	6	4	15	317
		100.0%	43.3%	23.5%	1.7%	0.4%	1.0%	0.8%	0.5%	0.3%	0.5%	0.3%	1.3%	26.4%
13. その他	合計	1200	281	200	10	2	4	6	5	0	0	2	2	688
		100.0%	23.4%	16.7%	0.8%	0.2%	0.3%	0.5%	0.4%	0.0%	0.0%	0.2%	0.2%	57.3%

◆それぞれの品目についての処理方法

それぞれの品目(1. ~13.)について、処理方法(ア. ~ク.)としてもっとも当てはまるもの1つに○

	ア. 業者に費用を払って 処理を 委託する	イ. 業者に 売却する	ウ. 業者に 無料で 引き渡す	エ. 納入業者に 引き渡す (返却)	オ. 自社で 処理する	カ. 本市資源 化施設に 自己搬入 する	キ. 民間資源 化施設に 自己搬入 する	ク. その他
1. OA用紙								
2. 新聞・チラシ								
3. 段ボール								
4. 雑誌・書籍								
5. 紙パック								
6. シュレッダー紙								
7. その他紙類								
8. 缶								
9. びん								
10. ペットボトル								
11. 食品トレイ								
12. 食品廃棄物								
13. その他								

「ク. その他」に“○”をつけた場合は、以下に詳細をご記入ください。

	合計	ア) 業者に 費用を払って 処理を 委託する	イ) 業者に 売却する	ウ) 業者に 無料で 引き渡す	エ) 納入業者に 引き渡す (返却)	オ) 自社で 処理する	カ) 本市資源 化施設に 自己搬入 する	キ) 民間資源 化施設に 自己搬入 する	ク) その他	無回答	
1. OA用紙	合計	1200	507	54	194	4	71	42	34	51	243
		100.0%	42.3%	4.5%	16.2%	0.3%	5.9%	3.5%	2.8%	4.3%	20.3%
2. 新聞・チラシ	合計	1200	322	75	313	7	50	47	54	61	271
		100.0%	26.8%	6.3%	26.1%	0.6%	4.2%	3.9%	4.5%	5.1%	22.6%
3. 段ボール	合計	1200	294	120	425	3	39	42	60	59	158
		100.0%	24.5%	10.0%	35.4%	0.2%	3.2%	3.5%	5.0%	4.9%	13.2%
4. 雑誌・書籍	合計	1200	293	62	318	2	39	38	61	64	323
		100.0%	24.4%	5.2%	26.5%	0.2%	3.2%	3.2%	5.1%	5.3%	26.9%
5. 紙パック	合計	1200	323	20	90	5	52	24	26	80	580
		100.0%	26.9%	1.7%	7.5%	0.4%	4.3%	2.0%	2.2%	6.7%	48.3%
6. シュレッダー紙	合計	1200	552	45	150	2	53	45	34	63	256
		100.0%	46.0%	3.8%	12.5%	0.2%	4.4%	3.8%	2.8%	5.2%	21.3%
7. その他紙類	合計	1200	485	40	141	3	56	34	31	65	345
		100.0%	40.4%	3.3%	11.7%	0.2%	4.7%	2.8%	2.6%	5.4%	28.7%
8. 缶	合計	1200	476	28	133	54	56	50	16	90	297
		100.0%	39.7%	2.3%	11.1%	4.5%	4.7%	4.2%	1.3%	7.5%	24.8%
9. びん	合計	1200	482	13	126	48	55	51	14	87	324
		100.0%	40.2%	1.1%	10.5%	4.0%	4.6%	4.3%	1.2%	7.2%	27.0%
10. ペットボトル	合計	1200	483	20	130	55	66	56	19	86	285
		100.0%	40.3%	1.7%	10.8%	4.6%	5.5%	4.7%	1.6%	7.2%	23.7%
11. 食品トレイ	合計	1200	359	10	34	3	50	29	13	96	606
		100.0%	29.9%	0.8%	2.8%	0.2%	4.2%	2.4%	1.1%	8.0%	50.5%
12. 食品廃棄物	合計	1200	370	4	30	1	54	28	4	107	602
		100.0%	30.8%	0.3%	2.5%	0.1%	4.5%	2.3%	0.3%	8.9%	50.2%
13. その他	合計	1200	198	2	19	1	27	12	4	73	864
		100.0%	16.5%	0.2%	1.6%	0.1%	2.3%	1.0%	0.3%	6.1%	72.0%

- (7) 事業所から出るごみについて、収集を許可業者に委託する場合、ごみを出す事業者が収集運搬許可業者に支払う費用には、本市の処理施設搬入手数料(100 kgあたり 1,500 円、100kg超 10kg毎 150 円)が含まれていますが、知っていますか。

次の選択肢から該当するもの1つに○を付けてください。

1. 知っていた
2. 知らなかった
3. その他()

	合計	①知っていた	②知らなかった	③その他	無回答
合計	1200	482	651	16	51
	100.0%	40.2%	54.3%	1.3%	4.3%

- (8) 収集運搬許可業者による収集について、普段感じていることはありますか。

次の選択肢から該当するものすべてに○を付けてください。

1. 収集の回数が少ない
2. 収集時に使用する袋の大きさが、大きすぎる
3. 収集時に使用する袋の大きさが、小さすぎる
4. 収集時に支払う費用や、毎月の収集委託費用が高い
5. 収集時に使用する袋の販売単位(例えば 50 枚1セットなど)が多すぎる
6. 収集の委託はしない
7. 特になし
8. その他()

合計	①収集の回数が少ない	②収集時に使用する袋の大きさが、大きすぎる	③収集時に使用する袋の大きさが、小さすぎる	④収集時に支払う費用や、毎月の収集委託費用が高い	⑤収集時に使用する袋の販売単位(例えば50枚1セットなど)が多すぎる	⑥収集の委託はしない	⑦特になし	⑧その他
合計	45	23	35	193	93	67	721	43
	3.8%	1.9%	2.9%	16.1%	7.8%	5.6%	60.1%	3.6%

3. ごみ減量・リサイクルの取り組み等について

(9) ごみ減量・リサイクルに関する方針を定めていますか。該当するもの1つに○を付けてください。

1. 「ISO14001」の認証を取得している
2. 「エコアクション21」の認証を取得している
3. 「グリーン経営認証」を取得している
4. 「みちのくEMS」を取得している
5. 「エコにこマイスター」、「エコにこゴールドマイスター」※の認証を取得している
6. 独自に方針を定めている
7. 特に定めていない
8. その他のごみ・資源物に関するマネジメントシステムの認証を取得している(※以下に詳細をご記入ください)

※「エコにこマイスター制度」とは、ごみの減量・リサイクルの推進等に取り組む市内事業者を、「仙台市環境配慮事業者(エコにこマイスター)」として認定し、事業者の環境保全に対する意識の高揚を図るとともに、自主的な取組を支援するものです。取組内容に応じて、「エコにこマイスター」、「エコにこゴールドマイスター」の2つの区分で認定しています。

合計	①「ISO14001」の認証を取得している	②「エコアクション21」の認証を取得している	③「グリーン経営認証」を取得している	④「みちのくEMS」を取得している	⑤「エコにこマイスター」、「エコにこゴールドマイスター」の認証を取得している	⑥独自に方針を定めている	⑦特に定めていない	⑧その他のごみ・資源物に関するマネジメントシステムの認証を取得している	無回答	
合計	1200	63	3	2	66	26	200	780	11	49
	100.0%	5.2%	0.2%	0.2%	5.5%	2.2%	16.7%	65.0%	0.9%	4.1%

(10) ((9)で、「特に定めていない」とお答えいただいた方に伺います。)

今後、どのような条件があれば定めようと思いますか。該当するもの1つに○を付けてください。

1. 方針の運用に係る手間やコストが今より少なくなる
2. 方針を定めることで、受注が有利になるなど、直接利益に結びつく
3. 方針を定めることで、社会貢献を一層アピールしやすくなる
4. 方針を定める必要を感じない
5. わからない
6. その他 (※以下に詳細をご記入ください)

合計	①方針の運用に係る手間やコストが今より少なくなる	②方針を定めることで、受注が有利になるなど、直接利益に結びつく	③方針を定めることで、社会貢献を一層アピールしやすくなる	④方針を定める必要を感じない	⑤わからない	⑥その他	無回答	
合計	780	143	26	93	171	313	19	15
	100.0%	18.3%	3.3%	11.9%	21.9%	40.1%	2.4%	1.9%

(11) 事業所内でごみ減量に取り組む責任者を定めていますか。

次の選択肢から該当するもの1つに○を付けてください。

- | |
|------------------------|
| 1. 常に定めている |
| 2. 必要に応じて(期間を設けて)定めている |
| 3. 特に定めていない |

	合計	①常に定めている	②必要に応じて(期間を設けて)定めている	③特に定めていない	無回答
合計	1200	68	236	896	0
	100.0%	5.7%	19.7%	74.7%	0.0%

(12) 次に挙げるごみ減量・リサイクルの取り組みのうち、「① 普段から行っている」又は「② 新たに取り組もうと考えている」項目に該当するものがあれば、すべてに○を付けてください。

取り組み	① 普段から行っている	② 新たに取り組もうと考えている
1. コピー用紙などの裏面の利用		
2. コピー枚数削減の指導・推進		
3. 封筒の再利用		
4. 再生紙(コピー用紙、トイレtpーパーなど)の利用		
5. コンピューターの利用によるペーパーレス化		
6. リサイクルトナーカートリッジなどリサイクル品の利用		
7. 分別回収用のダストボックスなどを設置し、分別を徹底		
8. グリーン購入(環境配慮製品を優先的に調達すること)の実施		
9. レジ袋使用量の削減		
10. 店頭回収の推進		
11. 紙コップなどの使い捨て容器の使用の自粛		
12. 簡易包装の積極的な取り組み		
13. 生ごみのたい肥化・減量化		
14. 事業所内での不用品の貸借		
15. 事業所内の掲示物・掲示板を活用した啓発や呼びかけ		
16. 事業所内の研修等の実施		
17. 「エコにこマイスター」・「エコにこゴールドマイスター」の認証取得		
18. その他		

「18. その他」に"○"をつけた場合は、以下に詳細をご記入ください。

--

		合計	普段から 行っている	新たに取り 組もうと考 えている	無回答
①コピー用紙などの裏面の利用	合計	1200	995	60	145
		100.0%	82.9%	5.0%	12.1%
②コピー枚数削減の指導・推進	合計	1200	845	83	272
		100.0%	70.4%	6.9%	22.7%
③封筒の再利用	合計	1200	707	108	385
		100.0%	58.9%	9.0%	32.1%
④再生紙（コピー用紙、トイレトペーパーなど）の利用	合計	1200	792	92	316
		100.0%	66.0%	7.7%	26.3%
⑤コンピューターの利用によるペーパーレス化	合計	1200	753	167	280
		100.0%	62.7%	13.9%	23.3%
⑥リサイクルトナーカートリッジなどリサイクル品の利用	合計	1200	647	140	413
		100.0%	53.9%	11.7%	34.4%
⑦分別回収用のダストボックスなどを設置し、分別を徹底	合計	1200	687	124	389
		100.0%	57.2%	10.3%	32.4%
⑧グリーン購入（環境配慮製品を優先的に調達すること）の実施	合計	1200	267	261	672
		100.0%	22.2%	21.8%	56.0%
⑨レジ袋使用量の削減	合計	1200	397	148	655
		100.0%	33.1%	12.3%	54.6%
⑩店頭回収の推進	合計	1200	171	190	839
		100.0%	14.2%	15.8%	69.9%
⑪紙コップなどの使い捨て容器の使用の自粛	合計	1200	393	158	649
		100.0%	32.7%	13.2%	54.1%
⑫簡易包装の積極的な取り組み	合計	1200	342	126	732
		100.0%	28.5%	10.5%	61.0%
⑬生ごみのたい肥化・減量化	合計	1200	123	192	885
		100.0%	10.2%	16.0%	73.8%
⑭事業所内での不用品の貸借	合計	1200	190	177	833
		100.0%	15.8%	14.7%	69.4%
⑮事業所内の掲示物・掲示板を活用した啓発や呼びかけ	合計	1200	306	178	716
		100.0%	25.5%	14.8%	59.7%
⑯事業所内の研修等の実施	合計	1200	133	241	826
		100.0%	11.1%	20.1%	68.8%
⑰「エコにこマイスター」「エコにこゴールドマイスター」の認証取得	合計	1200	49	258	893
		100.0%	4.1%	21.5%	74.4%
⑱その他	合計	1200	4	23	1173
		100.0%	0.3%	1.9%	97.8%

(13) 今後、事業ごみのさらなる減量・リサイクルを推進するために、どのような方法が有効だと思いますか。
該当するもの3つまでに○を付けてください。

1. 製造事業者がごみになりにくい商品を作る
2. 各事業者が事業所などから出る事業ごみの減量や資源物の分別を徹底する
3. 仙台市が市民・事業者・市の意見交換の機会を増やし、施策に反映させる
4. 再生紙など環境への負荷が少ない製品の利用を広げる
5. 事業ごみ収集時や処理施設搬入時に負担する、ごみ処理手数料を上げる
6. 製造事業者が自社の商品の回収・リサイクルまで責任を持つ
7. 仙台市が事業者に対する広報・啓発を強化する
8. その他 (※以下に詳細をご記入ください)

()

	合計	①製造事業者がごみになりにくい商品を作る	②各事業者が事業所などから出る事業ごみの減量や資源物の分別を徹底する	③仙台市が市民・事業者・市の意見交換の機会を増やし、施策に反映させる	④再生紙など環境への負荷が少ない製品の利用を広げる	⑤事業ごみ収集時や処理施設搬入時に負担する、ごみ処理手数料を上げる	⑥製造事業者が自社の商品の回収・リサイクルまで責任を持つ	⑦仙台市が事業者に対する広報・啓発を強化する	⑧その他
合計	1200	642	581	152	559	76	333	214	33
	100.0%	53.5%	48.4%	12.7%	46.6%	6.3%	27.8%	17.8%	2.7%

(14) ごみ減量・リサイクルを進める上で、課題となっていることは何ですか。
該当するもの3つまでに○を付けてください。

1. 分別のやり方がわからない、難しい
2. 分別に手間がかかる、面倒
3. 分別したものを保管する場所がない、足りない
4. 経営者や上司の理解を得ることが難しい
5. 社員への指導・啓発が難しい
6. 建物を管理している会社の理解を得ることが難しい
7. 他のテナントの理解を得ることが難しい
8. ごみ減量・リサイクル関連の情報が少ない
9. 費用がかかる、今よりも費用が増える
10. その他 (※以下に詳細をご記入ください)

()

	合計	①分別のやり方がわからない、難しい	②分別に手間がかかる、面倒	③分別したものを保管する場所がない、足りない	④経営者や上司の理解を得ることが難しい	⑤社員への指導・啓発が難しい	⑥建物を管理している会社の理解を得ることが難しい	⑦他のテナントの理解を得ることが難しい	⑧ごみ減量・リサイクル関連の情報が少ない	⑨費用がかかる、今よりも費用が増える	⑩その他
合計	1200	173	510	477	29	304	15	43	277	296	65
	100.0%	14.4%	42.5%	39.8%	2.4%	25.3%	1.3%	3.6%	23.1%	24.7%	5.4%

4. 食品廃棄物・食品ロスについて

日本では、年間 2,759 万トンの食品廃棄物等が出されており、このうち、まだ食べられるのに廃棄される食品（食品ロス）は 643 万トンです（平成 28 年度環境省・農林水産省推計値）。

市では、フードドライブの実施等を通じ、事業系の食品ロスの削減に取り組んでいます。市が今後事業系の食品廃棄物（調理くずや残飯など）・食品ロスの削減を推進するための施策を検討するため、以下の設問へのご回答をよろしくお願いします。

※食品ロスとは、本来食べられるにも関わらず、手をつけずに、もしくは食べ残しとして廃棄される食品を指します。

(15) 事業所から、食品廃棄物（調理くずや残飯など）を排出しますか。該当するもの1つに○を付けてください。

1. 排出しており、たい肥化・飼料化するなど減量に努めている
2. 排出しているが、可燃ごみとして処理している
3. 排出していない
4. わからない
5. その他（※以下に詳細をご記入ください）
（

	合計	①排出しており、たい肥化・飼料化するなど減量に努めている	②排出しているが、可燃ごみとして処理している	③排出していない	④わからない	⑤その他	無回答
合計	1200	29	237	846	19	15	54
	100.0%	2.4%	19.8%	70.5%	1.6%	1.3%	4.5%

(16) ((15)で「1.」又は「2.」を選択した方に伺います。)

次の項目のうち、食品廃棄物・食品ロスの削減に向けて、「① 普段から行っている」又は「② 新たに取り組もうと考えている」に該当するものがあれば、すべてに○を付けてください。

(食品製造業等の方に伺います。)

取り組み	① 普段から行っている	② 新たに取り組もうと考えている
1. 食品の需要予測の精度を向上させ、余剰生産・在庫を防ぐ		
2. 製造時のロスや端材、品質不良等を減らす取組をしている		
3. 容器包装の工夫などにより、製品の長寿命化に取り組んでいる		
4. フードドライブ※を実施するなど、余剰食品の寄付を推進している		
5. 食品廃棄物をリサイクル（肥料化、堆肥化、メタン化等）する		
6. その他（※以下に詳細をご記入ください）		
（		

※フードドライブとは、家庭で余っている食べ物を学校や施設などに持ち寄り、それらを地域の福祉団体やフードバンクなどに寄贈する活動です。

		合計	普段から 行っている	新たに取り 組もうと考 えている	無回答
①食品の需要予測の精度を向上させ、余剰生産・在庫を防ぐ	合計	15 100.0%	14 93.3%	0 0.0%	1 6.7%
②製造時のロスや端材、品質不良等を減らす取組をしている	合計	15 100.0%	14 93.3%	1 6.7%	0 0.0%
③容器包装の工夫などにより、製品の長寿命化に取り組んでいる	合計	15 100.0%	6 40.0%	3 20.0%	6 40.0%
④フードドライブを実施するなど、余剰食品の寄付を推進している	合計	15 100.0%	0 0.0%	4 26.7%	11 73.3%
⑤食品廃棄物をリサイクル（肥料化、堆肥化、メタン化等）する	合計	15 100.0%	6 40.0%	2 13.3%	7 46.7%
⑥その他	合計	15 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	15 100.0%

(飲食を提供している飲食業／ホテル旅館業等の方に伺います。)

取り組み	① 普段から 行っている	② 新たに 取り組もうと 考えている
1. 来客予測の精度を向上させ、適正に食材を仕入れる		
2. 調理方法の工夫などにより、調理ロスを減らす		
3. 小盛りメニューを設ける		
4. 食べきりへの呼びかけを行う		
5. 食べきりに対してポイントを付与するなどインセンティブを付与する		
6. ドギーバッグを導入するなど、食品・食材の持ち帰りを推奨する		
7. フードシェアリングサービス※を活用し、余剰食品を販売する		
8. フードドライブ※を実施するなど、余剰食品の寄付を推進している		
9. 食品廃棄物をリサイクル(肥料化、堆肥化、メタン化等)する		
10. その他 (※以下に詳細をご記入ください) ()		

※フードシェアリングサービスとは、余剰食品を消費者に販売するアプリやWEBサイトを指します。

※フードドライブとは、家庭で余っている食べ物を学校や施設などに持ち寄り、それらを地域の福祉団体やフードバンクなどに寄贈する活動です。

		合計	普段から 行っている	新たに取り 組もうと考 えている	無回答
①来客予測の精度を向上させ、適正に食材を仕入れる	合計	25 100.0%	24 96.0%	0 0.0%	1 4.0%
②調理方法の工夫などにより、調理ロスを減らす	合計	25 100.0%	22 88.0%	0 0.0%	3 12.0%
③小盛りメニューを設ける	合計	25 100.0%	7 28.0%	0 0.0%	18 72.0%
④食べきりへの呼びかけを行う	合計	25 100.0%	4 16.0%	4 16.0%	17 68.0%
⑤食べきりに対してポイントを付与するなどインセンティブを付与する	合計	25 100.0%	0 0.0%	4 16.0%	21 84.0%
⑥ドギーバッグを導入するなど、食品・食材の持ち帰りを推奨する	合計	25 100.0%	1 4.0%	4 16.0%	20 80.0%
⑦フードシェアリングサービスを活用し、余剰食品を販売する	合計	25 100.0%	0 0.0%	4 16.0%	21 84.0%
⑧フードドライブを実施するなど、余剰食品の寄付を推進している	合計	25 100.0%	1 4.0%	4 16.0%	20 80.0%
⑨食品廃棄物をリサイクル（肥料化、堆肥化、メタン化等）する	合計	25 100.0%	0 0.0%	4 16.0%	21 84.0%
⑩その他	合計	25 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	25 100.0%

(食品小売業等の方に伺います。)

取り組み	① 普段から行っている	② 新たに取組もうと考えている
1. 食品の需要予測の精度を向上させ、余剰生産・在庫を防ぐ		
2. 量り売りや小分け販売を行う		
3. 商慣習(1/3ルール※、先入先出ルール)を見直す		
4. 過剰陳列を行わない		
5. 見切り販売など、期限間近の食品を販売する工夫をする		
6. フードシェアリングサービス※を活用し、余剰食品を販売する		
7. フードドライブ※を実施するなど、余剰食品の寄付を推進している		
8. 食品廃棄物をリサイクル(肥料化、堆肥化、メタン化等)する		
9. その他 (※以下に詳細をご記入ください) ()		

※1/3ルールとは、小売店などが設定するメーカーからの納品期限及び店頭での販売期限が、製造日から賞味期限までの期間を3等分して商慣習として設定されていること、を指します。

※フードシェアリングサービスとは、余剰食品を消費者に販売するアプリやWEBサイトを指します。

※フードドライブとは、家庭で余っている食べ物を学校や施設などに持ち寄り、それらを地域の福祉団体やフードバンクなどに寄贈する活動です。

		合計	普段から行っている	新たに取組もうと考えている	無回答
①食品の需要予測の精度を向上させ、余剰生産・在庫を防ぐ	合計	29 100.0%	20 69.0%	1 3.4%	8 27.6%
②量り売りや小分け販売を行う	合計	29 100.0%	17 58.6%	0 0.0%	12 41.4%
③商慣習(1/3ルール、先入先出ルール)を見直す	合計	29 100.0%	14 48.3%	4 13.8%	11 37.9%
④過剰陳列を行わない	合計	29 100.0%	16 55.2%	0 0.0%	13 44.8%
⑤見切り販売など、期限間近の食品を販売する工夫をする	合計	29 100.0%	18 62.1%	2 6.9%	9 31.0%
⑥フードシェアリングサービスを活用し、余剰食品を販売する	合計	29 100.0%	0 0.0%	13 44.8%	16 55.2%
⑦フードドライブを実施するなど、余剰食品の寄付を推進している	合計	29 100.0%	10 34.5%	4 13.8%	15 51.7%
⑧食品廃棄物をリサイクル(肥料化、堆肥化、メタン化等)する	合計	29 100.0%	13 44.8%	2 6.9%	14 48.3%
⑨その他	合計	29 100.0%	1 3.4%	0 0.0%	28 96.6%

(17) 食品廃棄物・食品ロスの削減のために市に求める支援策や市が講じるべき施策などがあれば、ご自由にご記入ください。

5. プラスチックについて

容器包装など私たちの豊かな生活を支えてくれているプラスチックがポイ捨てなどにより、回収されずに河川などを通じて海に流れ込む「海洋プラスチックごみ」が日々発生しており、地球規模での環境汚染が懸念されています。

当市の事業系可燃ごみの排出量は近年ほぼ横ばいで推移しており、事業系可燃ごみに占めるプラスチックごみの割合は 22.0%(平成 26 年度調査結果)です。当市では、リサイクル可能なペットボトルの分別排出の呼びかけ等により、事業系可燃ごみに占めるプラスチックごみの削減に取り組んでいます。当市が今後更にプラスチックごみの削減やリサイクルを推進するための施策を検討するため、以下の設問へのご回答をよろしくお願い致します。

- (18) 次の項目のうち、プラスチックごみの削減やリサイクルに向けて「普段から行っている」又は「新たに取組もうと考えている」に該当するものがあれば、すべてに○を付けてください。

取組み	① 普段から行っている	② 新たに取組もうと考えている
1. 従業員向けのセミナー開催などを通じて 3R 啓発活動を行う		
2. スプーンやフォーク等の使い捨てプラスチック用品を使わないようにリユース食器の利用を促す		
3. 紙製品等のプラスチック代替品の利用を促す		
4. ペットボトルを使わないようにマイボトルの利用を促す		
5. 会議や会社イベントなどで、使い捨てプラスチックの使用を控える		
6. 国等のグリーン購入法の基準を参照し、環境負荷の小さいプラスチック製品を調達する		
7. プラスチックの分別排出を促す		
8. 海洋プラスチック問題の解決などのため、海岸・河川敷などにおいて地域清掃などを実施する		
9. その他 (※以下に詳細をご記入ください) ()		

	合計	普段から行っている	新たに取組もうと考えている	無回答	
①従業員向けのセミナー開催などを通じて3R啓発活動を行う	合計	1200	82	215	903
		100.0%	6.8%	17.9%	75.2%
②スプーンやフォーク等の使い捨てプラスチック用品を使わないようにリユース食器の利用を促す	合計	1200	229	186	785
		100.0%	19.1%	15.5%	65.4%
③紙製品等のプラスチック代替品の利用を促す	合計	1200	164	209	827
		100.0%	13.7%	17.4%	68.9%
④ペットボトルを使わないようにマイボトルの利用を促す	合計	1200	208	234	758
		100.0%	17.3%	19.5%	63.2%
⑤会議や会社イベントなどで、使い捨てプラスチックの使用を控える	合計	1200	193	175	832
		100.0%	16.1%	14.6%	69.3%
⑥国等のグリーン購入法の基準を参照し、環境負荷の小さいプラスチック製品を調達する	合計	1200	80	197	923
		100.0%	6.7%	16.4%	76.9%
⑦プラスチックの分別排出を促す	合計	1200	516	114	570
		100.0%	43.0%	9.5%	47.5%
⑧海洋プラスチック問題の解決などのため、海岸・河川敷などにおいて地域清掃などを実施する	合計	1200	84	205	911
		100.0%	7.0%	17.1%	75.9%
⑨その他	合計	1200	1	6	1193
		100.0%	0.1%	0.5%	99.4%

- (19) プラスチックごみの削減やリサイクルを推進するために、市に求める支援策や市が講じるべき施策などがありましたら、ご自由にご記入ください。

6. 紙類について

市では、古紙問屋等の民間事業者様のご協力のもと、新たに事業系紙類回収ステーション制度を設け、事業系紙類回収拠点を増設する等、事業系紙類の減量とリサイクルを進めています。今後の紙類の削減やリサイクルを推進するための施策を検討するため、以下の設問へのご回答をよろしくお願いします。

- (20) 本市では、リサイクル可能な紙類は、平成 17 年 4 月から焼却工場へ搬入できないことになっていますが、知っていますか。該当するもの1つに○を付けてください。

1. 知っており、可燃ごみに紙類を混入させないよう心がけている
 2. 知っており、心がけているが、ある程度紙類は混入してしまう
 3. 知っているが、あまり気にしないでごみを出している
 4. 知らなかった

※搬入受付で混入が認められた場合は、分別して(21)の事業系紙類回収庫に搬入するよう指導しています。

	合計	①知っており、可燃ごみに紙類を混入させないよう心がけている	②知っており、心がけているが、ある程度紙類は混入してしまう	③知っているが、あまり気にしないでごみを出している	④知らなかった	無回答
合計	1200	430	393	51	290	36
	100.0%	35.8%	32.7%	4.3%	24.2%	3.0%

- (21) 本市では、環境事業所の敷地内(4ヶ所)に、無料でリサイクル可能な紙類を持ち込める事業系紙類回収庫を設置していますが、知っていますか。該当するもの1つに○を付けてください。

1. 知っており、利用したことがある
 2. 知っているが、利用したことはない
 3. 知らなかった

	合計	①知っており、利用したことがある	②知っているが、利用したことはない	③知らなかった	無回答
合計	1200	136	349	677	38
	100.0%	11.3%	29.1%	56.4%	3.2%

(22) 事業所から出る新聞紙や段ボールなどの紙類について、分別回収の仕組みや回収拠点など、参加・協力できる取り組みが身近にあれば、協力しますか。該当するもの1つに○を付けてください。

1. すでに分別回収を実施している
2. ぜひ協力したいと思う
3. 条件によっては協力したいと思う
4. わからない
5. その他 (※以下に詳細をご記入ください)

()

	合計	①すでに分別回収を実施している	②ぜひ協力したいと思う	③条件によっては協力したいと思う	④わからない	⑤その他	無回答
合計	1200	593	140	274	137	16	40
	100.0%	49.4%	11.7%	22.8%	11.4%	1.3%	3.3%

7. その他

(23) 本市がこれまで取り組んできたごみ処理施策や、今後のごみ処理施策の方向性などについて、ご意見などございましたら、ご自由にご記入ください。

アンケートは以上です。
ご協力、誠にありがとうございました。

ご記入が終わりましたら、この調査票を同封の封筒に入れ、
令和元年11月29日(金)までにご投函ください。
切手は不要です。

仙台市一般廃棄物処理基本計画策定支援業務 報告書（資料編）

令和2年2月

発行 仙台市 環境局

〒980-0802 仙台市青葉区二日町 6-12 MSビル二日町 3F

電話：022-214-8230／FAX：022-214-8840

調査受託 三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社

〒105-8501 東京都港区虎ノ門 5-11-2

電話：03-6733-1023／FAX：03-6733-1028
